

JP1 Version 9

JP1/Cm2/Network Element
Configuration **運用・操作ガイド**

手引・文法・操作書

3020-3-T06-30

対象製品

P-2442-E794 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Manager 09-50 (適用 OS : Windows Server 2003 , Windows Server 2003(x64) , Windows Server 2003 R2 , Windows Server 2003 R2(x64))

P-2442-E894 JP1/Cm2/Network Element Configuration - View 09-50(適用 OS : Windows XP , Windows Server 2003 , Windows Server 2003(x64) , Windows Server 2003 R2 , Windows Server 2003 R2(x64))

P-2442-E974 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for GS Series 07-50 (適用 OS : Windows 2000 , Windows Server 2003 , Windows Server 2003 R2)

P-2442-EA74 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal 07-50(適用 OS : Windows 2000 , Windows Server 2003 , Windows Server 2003 R2)

P-2442-EB94 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for BS Series 09-50 (適用 OS : Windows Server 2003 , Windows Server 2003(x64) , Windows Server 2003 R2 , Windows Server 2003 R2(x64))

P-2442-EC84 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for Cisco Switch 08-00 (適用 OS : Windows Server 2003 , Windows Server 2003 R2)

P-2442-ED84 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for AX Series 08-10 (適用 OS : Windows Server 2003 , Windows Server 2003 R2)

P-2442-EE84 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for F5 Load Balancer 08-00 (適用 OS : Windows Server 2003 , Windows Server 2003 R2)

P-2442-EF84 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for System Traffic Manager 08-00(適用 OS : Windows Server 2003 , Windows Server 2003 R2)

P-2A42-E794 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Manager 09-50 (適用 OS : Windows Server 2008 , Windows Server 2008(x64) , Windows Server 2008 R2)

P-2A42-E894 JP1/Cm2/Network Element Configuration - View 09-50 (適用 OS : Windows Vista , Windows Vista(x64) , Windows 7 , Windows 7(x64) , Windows Server 2008 , Windows Server 2008(x64) , Windows Server 2008 R2)

P-2A42-EB94 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for BS Series 09-50 (適用 OS : Windows Server 2008 , Windows Server 2008(x64) , Windows Server 2008 R2)

輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

商標類

Cisco は、米国 Cisco Systems, Inc. の米国および他の国々における登録商標です。

Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

F5, F5 Networks, BIG-IP および iControl は、米国およびその他の国における F5 Networks, Inc. の商標または登録商標です。

Itanium は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

This product includes software developed by IAIK of Graz University of Technology.

HITACHI
Inspire the Next

株式会社 日立製作所



マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは、マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

表記		製品名	
Windows	Windows 2000	Microsoft(R) Windows(R) 2000 Advanced Server Operating System	
		Microsoft(R) Windows(R) 2000 Datacenter Server Operating System	
		Microsoft(R) Windows(R) 2000 Professional Operating System	
		Microsoft(R) Windows(R) 2000 Server Operating System	
	Windows 7	Windows 7	Microsoft(R) Windows(R) 7 Professional
			Microsoft(R) Windows(R) 7 Enterprise
			Microsoft(R) Windows(R) 7 Ultimate
		Windows 7 (x64)	Microsoft(R) Windows(R) 7 Professional x64
			Microsoft(R) Windows(R) 7 Enterprise x64

表記		製品名
		Microsoft(R) Windows(R) 7 Ultimate x64
Windows Server 2003	Windows Server 2003	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise Edition
		Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard Edition
	Windows Server 2003 (x64)	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise x64 Edition
		Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard x64 Edition
Windows Server 2003 R2	Windows Server 2003 R2	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise Edition
		Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard Edition
	Windows Server 2003 R2 (x64)	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise x64 Edition
		Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard x64 Edition
Windows Server 2008	Windows Server 2008	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise Edition
		Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard Edition
	Windows Server 2008 (x64)	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise x64 Edition
		Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard x64 Edition
Windows Server 2008 R2		Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2, Datacenter Edition
		Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2, Enterprise Edition
		Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2, Standard Edition
Windows Vista	Windows Vista	Microsoft(R) Windows Vista(R) Business
		Microsoft(R) Windows Vista(R) Enterprise
		Microsoft(R) Windows Vista(R) Ultimate
	Windows Vista (x64)	Microsoft(R) Windows Vista(R) Business x64
Microsoft(R) Windows Vista(R) Enterprise x64		

表記		製品名
		Microsoft(R) Windows Vista(R) Ultimate x64
	Windows XP	Microsoft(R) Windows(R) XP Professional Operating System

発行

2012年4月 3020-3-T06-30

著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2009, 2012, Hitachi, Ltd.

変更内容

変更内容 (3020-3-T06-30) JP1/Cm2/Network Element Configuration 09-50

追加・変更内容	変更箇所
サポートする管理対象スイッチに BS500 および BS500 1Gbx40 を追加した。	1.4.6 , 2.2.2 , 2.4 , 2.4.2 , 3.1 , 3.2 , 3.2.2 , 3.3 , 5.1 , 5.1.1 , 5.1.2 , 5.4 , 6.1.2 , 6.1.4 , 6.3.2 , 6.5.1 , 6.7 , 7 , 7.11 , 14 , 14.1 , 14.1.1 , 14.1.3 , 14.1.4 , 14.5 , 14.9 , 14.17 , 付録 B.2
[Network Element Configuration - View] ウィンドウの「管理対象ビュー」で、リストフィールドに表示されるスイッチリスト、スイッチ情報リストに「スイッチ種別」を追加した。	6.3 , 6.4
BS500 1Gbx40 の追加に伴い、ポート名に関する注を追加した。	6.7.1 , 14.21.2
BS500 および BS500 1Gbx40 の追加に伴い、[フロー検出モード] の詳細を追加した。	14.1.3 , 14.7 , 14.9.1 , 14.20
BS500 および BS500 1Gbx40 の追加に伴い、インターフェースに適用できるフィルター表を追加した。	14.9.1
サポートする OS に Windows 7 および Windows Server 2008 R2 を追加した。	16. コマンド使用時の注意事項

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

なお、「はじめに」の記載の一部をマニュアル「JP1 Version 9 JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド (3020-3-T05-30)」の付録「このマニュアルの参考情報」に移動しました。

はじめに

このマニュアルは JP1/Cm2/Network Element Configuration (以降 JP1/Cm2/NC と略します) の起動および終了方法, 操作手順, 画面の詳細, および JP1/Cm2/NC の運用中に使用するコマンドの文法について説明しています。

対象読者

JP1/Cm2/NC のマニュアルは, 次の方を対象にしています。

- JP1/Cm2/NC を使用して VLAN, サーバロードバランシング, アクセス制御, QoS 制御またはアップリンクフェイルオーバーを使用したネットワーク環境を構築および管理したい方
- JP1/AJS3 または JP1/SC などの運用管理プログラムと連携したシステムの自動運用に JP1/Cm2/NC を取り入れるために, CLI を使用したい方
- BladeSymphony の運用に JP1/Cm2/NC を使用したい方

なお, 対象読者は, VLAN, サーバロードバランシング, アクセス制御, QoS 制御またはアップリンクフェイルオーバーについて理解していることを前提にしています。CLI を使用する方は, XML について理解していることを前提にしています。

マニュアルの構成

このマニュアルは, 次を示す章から構成されています。

第 1 章 JP1/Cm2/NC の起動と終了

JP1/Cm2/NC の各プログラムの起動と終了について説明しています。

第 2 章 ネットワーク構成情報の表示

JP1/Cm2/NC を使用して管理しているスイッチのネットワーク構成状況を表示させる手順について説明しています。

第 3 章 VLAN の設定

JP1/Cm2/NC を使用して VLAN を設定する手順について説明しています。

第 4 章 SLB の設定

JP1/Cm2/NC を使用してサーバロードバランシングを設定する手順について説明しています。

第 5 章 VLAN および SLB 以外の情報の設定

JP1/Cm2/NC を使用してアクセス制御, QoS 制御およびアップリンクフェイルオーバーを設定する手順について説明しています。

第 6 章 画面 - 基本画面

JP1/Cm2/NC のログイン画面およびメイン画面の詳細について説明しています。

第 7 章 画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40)

JP1/Cm2/NC の画面のうち、AX2400S、AX3600S、BS2000、BS320、BS500、または BS500 1Gbx40 で構成している VLAN の設定および管理に使用する画面の詳細について説明しています。

第 8 章 画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000)

JP1/Cm2/NC の画面のうち、AX5400S、AX7800S、GS3000、または GS4000 で構成している VLAN の設定および管理に使用する画面の詳細について説明しています。

第 9 章 画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (BS1000)

JP1/Cm2/NC の画面のうち、BS1000 で構成している VLAN の設定および管理に使用する画面の詳細について説明しています。

第 10 章 画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (Cisco Catalyst)

JP1/Cm2/NC の画面のうち、Cisco Catalyst で構成している VLAN の設定および管理に使用する画面の詳細について説明しています。

第 11 章 画面 - SLB ビューのダイアログボックス (BIG-IP)

JP1/Cm2/NC の画面のうち、BIG-IP で管理している SLB の設定および管理に使用する画面の詳細について説明しています。

第 12 章 画面 - SLB ビューのダイアログボックス (HA8000-ie/Loadflowbal)

JP1/Cm2/NC の画面のうち、HA8000-ie/Loadflowbal で管理している SLB の設定および管理に使用する画面の詳細について説明しています。

第 13 章 画面 - SLB ビューのダイアログボックス (STM)

JP1/Cm2/NC の画面のうち、STM で管理している SLB の設定および管理に使用する画面の詳細について説明しています。

第 14 章 画面 - スイッチ構成ビューのダイアログボックス (AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40)

JP1/Cm2/NC の画面のうち、AX2400S、AX3600S、BS2000、BS320、BS500、または BS500 1Gbx40 に設定されているアクセス制御の設定および管理に使用する画面の詳細について説明しています。

また、JP1/Cm2/NC の画面のうち、BS2000、BS320、BS500、または BS500 1Gbx40 に設定されているアップリンクフェイルオーバーの設定および管理に使用する画面の詳細について説明しています。

第 15 章 画面 - スイッチ構成ビューのダイアログボックス (BS1000)

JP1/Cm2/NC の画面のうち、BS1000 に設定されているアクセス制御、QoS 制御の設定および管理に使用する画面の詳細について説明しています。

第 16 章 運用関連コマンド

JP1/Cm2/NC の運用中に使用するコマンドについて説明しています。

読書手順

このマニュアルは、利用目的に合わせて章を選択して読むことができます。利用目的別にお読みいただくことをお勧めします。

マニュアルを読む目的	記述箇所
JP1/Cm2/NC の起動と終了の手順について知りたい。	1 章
JP1/Cm2/NC を使ってスイッチの設定状況を表示したい。	2 章, 6 章, 7 章, 8 章, 9 章, 10 章, 11 章, 12 章, 13 章, 14 章, 15 章
JP1/Cm2/NC を使って AX2400S, AX3600S, BS2000, BS320, BS500, または BS500 1Gbx40 へ VLAN を設定したい。	3 章, 7 章
JP1/Cm2/NC を使って AX5400S, AX7800S, GS3000, または GS4000 へ VLAN を設定したい。	3 章, 8 章
JP1/Cm2/NC を使って BS1000 へ VLAN を設定したい。	3 章, 9 章
JP1/Cm2/NC を使って Cisco Catalyst へ VLAN を設定したい。	3 章, 10 章
JP1/Cm2/NC を使って BIG-IP へサーバロードバランシングを設定したい。	4 章, 11 章
JP1/Cm2/NC を使って HA8000-ie/Loadflowbal へサーバロードバランシングを設定したい。	4 章, 12 章
JP1/Cm2/NC を使って STM へサーバロードバランシングを設定したい。	4 章, 13 章
JP1/Cm2/NC を使って AX2400S, AX3600S, BS2000, BS320, BS500, または BS500 1Gbx40 へアクセス制御を設定したい。	5 章, 14 章
JP1/Cm2/NC を使って BS1000 へアクセス制御または QoS 制御を設定したい。	5 章, 15 章
JP1/Cm2/NC を使って BS2000, BS320, BS500, または BS500 1Gbx40 へアップリンクフェイルオーバーを設定したい。	5 章, 14 章
JP1/Cm2/NC の運用中に使用するコマンドの文法について知りたい。	16 章

このマニュアルで使用している記号

このマニュアルで使用する記号を次に示します。

記号	意味
[]	メニュー項目、ダイアログボックス、ボタンなどを示します。
[] - []	メニュー項目を連続して選択することを示します。
太字	変数の値を示します。

コマンドで使用している記号

このマニュアルのコマンドの説明で使用する記号を、次に示します。

記号	意味
(ストローク)	複数の項目に対して項目間の区切りを示し、「または」の意味を示します。 (例) 「A B C」は、「A, B, または C」を示します。
{ } (波括弧)	この記号で囲まれている複数の項目の中から、一組の項目を必ず選択します。項目と項目の区切りは「 」で示します。 (例) 「{A B C}」は、「A, B, または C のどれかを必ず指定する」ことを示します。
[] (角括弧)	この記号で囲まれている項目は、任意に指定・省略できます。 (例) 「[A]」は、「必要に応じて A を指定する」ことを示します。必要でない場合は、A を省略できます。 「[B C]」は、「必要に応じて B, または C を指定する」ことを示します。必要でない場合は、B および C を省略できます。

デフォルトのインストール先フォルダの表記

このマニュアルでは、JP1/Cm2/NC の該当プログラムについて、デフォルトのインストール先フォルダを次のように表記しています。

製品名	デフォルトのインストール先フォルダ	このマニュアルでの表記
JP1/Cm2/NC - Manager	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥manager	JP1/Cm2/NC - Manager インストール先フォルダ

注 32bit アプリケーションとして動作する JP1/Cm2/NC を 64bit カーネルモードの OS 上で動作させた場合、デフォルトのインストールフォルダ「システムドライブ ¥Program Files」は「システムドライブ ¥Program Files (x86)」になります。

目次

1	JP1/Cm2/NC の起動と終了	1
1.1	サービス一覧	2
1.2	起動	5
1.2.1	JP1/Cm2/NC - Manager または JP1/Cm2/NC - Adaptor を起動する	5
1.2.2	JP1/Cm2/NC - View を起動する	6
1.3	終了	8
1.3.1	JP1/Cm2/NC - View を終了する	8
1.3.2	JP1/Cm2/NC - Manager または JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了する	8
1.4	運用上の注意事項	10
1.4.1	スイッチの構成定義変更に関する注意事項	10
1.4.2	AX2400S および AX3600S に関する注意事項	11
1.4.3	AX5400S および AX7800S に関する注意事項	11
1.4.4	BIG-IP に関する注意事項	12
1.4.5	BS1000 に関する注意事項	13
1.4.6	BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 に関する注意事項	13
1.4.7	Cisco Catalyst に関する注意事項	14
1.4.8	GS3000 および GS4000 に関する注意事項	14
1.4.9	HA8000-ie/Loadflowbal に関する注意事項	15
1.4.10	STM に関する注意事項	16
2	ネットワーク構成情報の表示	17
2.1	JP1/Cm2/NC が管理しているスイッチを表示する	18
2.1.1	ネットワーク構成要素の内容をリストエリアに表示する (管理対象ビュー)	18
2.2	VLAN の構成状況を表示する	19
2.2.1	ネットワーク構成要素の内容をリストエリアに表示する (VLAN ビュー)	19
2.2.2	スイッチのプロパティ画面を表示する (VLAN ビュー)	19
2.3	SLB の構成状況を表示する	22
2.3.1	ネットワーク構成要素の内容をリストエリアに表示する (SLB ビュー)	22
2.3.2	スイッチのプロパティ画面を表示する (SLB ビュー)	22
2.4	VLAN および SLB 以外の情報の設定状況を表示する	25
2.4.1	ネットワーク構成要素の内容をリストエリアに表示する (スイッチ構成ビュー)	25
2.4.2	スイッチのプロパティ画面を表示する (スイッチ構成ビュー)	26
2.5	ネットワーク構成ツリーを更新する	29

2.5.1	DB の情報が更新されたときの動作を設定する	29
2.5.2	最新の情報に更新する	30
2.5.3	スイッチの構成情報の同期を取る	30

3

VLAN の設定 33

3.1	VLAN 定義情報を設定する	34
3.1.1	VLAN の定義を追加する	34
3.1.2	VLAN の定義内容を変更する	35
3.1.3	デフォルト VLAN の定義内容を変更する	36
3.2	スイッチ構成情報を設定する	38
3.2.1	未定義フレームを破棄するポートを選択する	39
3.2.2	ポートの設定を変更する	39
3.3	VLAN 構成情報を設定する	41
3.3.1	スイッチを VLAN に追加する	41
3.3.2	VLAN を構成しているスイッチの設定を変更する	43
3.3.3	定義情報を削除する	43

4

SLB の設定 47

4.1	スイッチ構成情報を設定する	48
4.1.1	ポートプロファイルを設定する	49
4.2	論理サーバ構成情報を設定する	51
4.2.1	論理サーバを追加する	51
4.2.2	論理サーバの設定内容を変更する	52
4.2.3	論理サーバを削除する	53
4.2.4	論理サーバポートを設定する	54
4.3	物理サーバ構成情報を設定する (BIG-IP の場合)	56
4.3.1	プールを追加する	56
4.3.2	プールの設定内容を変更する	57
4.3.3	プールを削除する	57
4.3.4	プールに物理サーバを追加する	58
4.3.5	物理サーバの設定内容を変更する	59
4.3.6	物理サーバを削除する	60
4.3.7	物理サーバポートを設定する	61
4.4	物理サーバ構成情報を設定する (HA8000-ie/Loadflowbal の場合)	63
4.4.1	物理サーバを追加する	63

4.4.2	物理サーバの設定内容を変更する	64
4.4.3	物理サーバを削除する	65
4.4.4	物理サーバポートを設定する	66
4.5	物理サーバ構成情報を設定する（STM の場合）	68
4.5.1	物理サーバを追加する	68
4.5.2	物理サーバの設定内容を変更する	69
4.5.3	物理サーバを削除する	70
4.6	バインド構成情報を設定する（STM 以外の場合）	72
4.6.1	バインドの設定を追加する	72
4.6.2	バインドの設定を変更する	73
4.6.3	バインドの設定を削除する	74
4.7	バインド構成情報を設定する（STM の場合）	76
4.7.1	バインドの設定を追加する	77
4.7.2	バインドの設定を変更する	78
4.7.3	バインドの設定を削除する	79

5

	VLAN および SLB 以外の情報の設定	81
5.1	アクセス制御を設定する（AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 の場合）	82
5.1.1	スイッチヘフロー検出モードを指定する	82
5.1.2	アクセス制御リスト情報を設定する	83
5.1.3	アクセス制御情報を設定する	91
5.2	アクセス制御を設定する（BS1000 の場合）	95
5.2.1	スイッチヘフロー制御の有効または無効を設定する	95
5.2.2	アクセス制御情報を設定する	96
5.3	QoS 制御を設定する	103
5.3.1	スイッチヘフロー制御の有効または無効を設定する	103
5.3.2	QoS 制御情報を設定する	104
5.4	アップリンクフェイルオーバーを設定する	109

6

	画面 - 基本画面	111
6.1	画面遷移	112
6.1.1	管理対象ビューを選択した場合の画面遷移	112
6.1.2	VLAN ビューを表示した場合の画面遷移	113
6.1.3	SLB ビューを表示した場合の画面遷移	115

6.1.4	スイッチ構成ビューを表示した場合の画面遷移	118
6.2	[ログイン] ダイアログボックス	124
6.3	[Network Element Configuration - View] ウィンドウ (概要)	126
6.3.1	[Network Element Configuration - View] ウィンドウの構成要素	128
6.3.2	メニューコマンド一覧	129
6.4	[Network Element Configuration - View] ウィンドウ (管理対象ビュー)	134
6.4.1	管理対象ビューの構成要素	135
6.5	[Network Element Configuration - View] ウィンドウ (VLAN ビュー)	141
6.5.1	VLAN ビューの構成要素	142
6.6	[Network Element Configuration - View] ウィンドウ (SLB ビュー)	152
6.6.1	SLB ビューの構成要素	153
6.7	[Network Element Configuration - View] ウィンドウ (スイッチ構成ビュー)	185
6.7.1	スイッチ構成ビューの構成要素	186

7

	画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40)	193
7.1	[スイッチ情報] ダイアログボックス	195
7.1.1	[全般] ページ	195
7.1.2	[スイッチ構成情報] ページ	196
7.2	[スイッチ一覧] ダイアログボックス	198
7.3	[VLAN 一覧] ダイアログボックス	199
7.4	[VLAN 定義の追加] ダイアログボックス	201
7.5	[VLAN 定義の変更] ダイアログボックス	202
7.6	[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス	203
7.7	[ポートの設定] ダイアログボックス	205
7.8	[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックス	207
7.9	[スイッチの選択] ダイアログボックス	210
7.10	[ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックス	211
7.11	[ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックス	213
7.12	[設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報)	216

8

	画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000)	219
8.1	[スイッチ情報] ダイアログボックス	221
8.1.1	[全般] ページ	221

8.1.2 [スイッチ構成情報] ページ	222
8.2 [スイッチ一覧] ダイアログボックス	223
8.3 [VLAN 一覧] ダイアログボックス	224
8.4 [VLAN 定義の追加] ダイアログボックス	226
8.5 [VLAN 定義の変更] ダイアログボックス	227
8.6 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス	228
8.7 [ポートの選択] ダイアログボックス	230
8.8 [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックス	231
8.9 [スイッチの選択] ダイアログボックス	234
8.10 [ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックス	235
8.11 [ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックス	238
8.12 [設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報)	241

9

画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (BS1000)	243
9.1 [スイッチ情報] ダイアログボックス	244
9.2 [スイッチ一覧] ダイアログボックス	246
9.3 [VLAN 一覧] ダイアログボックス	247
9.4 [VLAN 定義の追加] ダイアログボックス	249
9.5 [VLAN 定義の変更] ダイアログボックス	250
9.6 [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックス	251
9.7 [スイッチの選択] ダイアログボックス	254
9.8 [ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックス	255
9.9 [ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックス	258
9.10 [設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報)	260

10

画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (Cisco Catalyst)	263
10.1 [スイッチ情報] ダイアログボックス	264
10.1.1 [全般] ページ	264
10.1.2 [スイッチ構成情報] ページ	265
10.2 [スイッチ一覧] ダイアログボックス	267
10.3 [VLAN 一覧] ダイアログボックス	268
10.4 [VLAN 定義の追加] ダイアログボックス	270
10.5 [VLAN 定義の変更] ダイアログボックス	271
10.6 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス	272

10.7 [ポートの設定] ダイアログボックス	274
10.8 [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックス	276
10.9 [スイッチの選択] ダイアログボックス	280
10.10 [ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックス	281
10.11 [ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックス	284
10.12 [設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報)	287

11

画面 - SLB ビューのダイアログボックス (BIG-IP)	289
11.1 [スイッチ情報] ダイアログボックス	290
11.2 [論理サーバ情報] ダイアログボックス	291
11.3 [物理サーバ情報] ダイアログボックス	292
11.4 [論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス	293
11.5 [論理サーバの設定] ダイアログボックス	295
11.6 [論理サーバポートの設定] ダイアログボックス	297
11.7 [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス	299
11.8 [プールの設定] ダイアログボックス	301
11.9 [物理サーバの設定] ダイアログボックス	303
11.10 [物理サーバポートの設定] ダイアログボックス	305
11.11 [バインド構成情報の設定] ダイアログボックス	306
11.12 [バインドの設定] ダイアログボックス	308
11.13 [設定結果] ダイアログボックス	310
11.13.1 [設定結果] ダイアログボックス (論理サーバ構成情報)	310
11.13.2 [設定結果] ダイアログボックス (物理サーバ構成情報)	311
11.13.3 [設定結果] ダイアログボックス (バインド構成情報)	312

12

画面 - SLB ビューのダイアログボックス (HA8000-ie/Loadflowbal)	315
12.1 [スイッチ情報] ダイアログボックス	317
12.1.1 [全般] ページ	317
12.1.2 [スイッチ構成情報] ページ	318
12.2 [論理サーバ情報] ダイアログボックス	320
12.3 [物理サーバ情報] ダイアログボックス	322
12.4 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス	324
12.5 [ポートプロファイルの設定] ダイアログボックス	326
12.6 [論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス	327

12.7	[論理サーバの設定] ダイアログボックス	329
12.8	[論理サーバポートの設定] ダイアログボックス	332
12.9	[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス	333
12.10	[物理サーバの設定] ダイアログボックス	335
12.11	[物理サーバポートの設定] ダイアログボックス	337
12.12	[バインド構成情報の設定] ダイアログボックス	338
12.13	[バインドの設定] ダイアログボックス	340
12.14	[設定結果] ダイアログボックス	342
12.14.1	[設定結果] ダイアログボックス (論理サーバ構成情報)	342
12.14.2	[設定結果] ダイアログボックス (物理サーバ構成情報)	343
12.14.3	[設定結果] ダイアログボックス (バインド構成情報)	344

13 画面 - SLB ビューのダイアログボックス (STM) 347

13.1	[ゾーン情報] ダイアログボックス	348
13.1.1	[全般] ページ	348
13.1.2	[ポリシー] ページ	349
13.2	[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス	351
13.3	[物理サーバの設定] ダイアログボックス	353
13.4	[バインド構成情報の設定] ダイアログボックス	354
13.5	[ゾーンを選択] ダイアログボックス	356
13.6	[バインドの設定] ダイアログボックス	357
13.7	[グループを選択] ダイアログボックス	359
13.8	[物理サーバを選択] ダイアログボックス	360
13.9	[設定結果] ダイアログボックス	361
13.9.1	[設定結果] ダイアログボックス (物理サーバ構成情報)	361
13.9.2	[設定結果] ダイアログボックス (バインド構成情報)	362

14 画面 - スイッチ構成ビューのダイアログボックス (AX2400S ・ AX3600S ・ BS2000 ・ BS320 ・ BS500 ・ BS500 1Gbx40) 365

14.1	[スイッチ情報] ダイアログボックス	367
14.1.1	[全般] ページ	367
14.1.2	[スイッチ構成情報] ページ (AX2400S ・ AX3600S の場合)	368
14.1.3	[フロー検出モード] ページ (BS2000 ・ BS320 ・ BS500 ・ BS500 1Gbx40 の場合)	369

14.1.4 [アップリンクフェイルオーバー] ページ (BS2000 ・ BS320 ・ BS500 ・ BS500 1Gbx40 の場合)	370
14.2 [アクセス制御リスト情報] ダイアログボックス	372
14.3 [MAC フィルター情報] ダイアログボックス	374
14.4 [IPv4 アドレスフィルター情報] ダイアログボックス	376
14.5 [IPv4 パケットフィルター情報] ダイアログボックス	378
14.6 [IPv6 フィルター情報] ダイアログボックス	380
14.7 [アクセス制御情報] ダイアログボックス	382
14.7.1 [ポート] ページ	383
14.7.2 [VLAN インターフェース] ページ	384
14.8 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス (AX2400S ・ AX3600S の場合)	385
14.9 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス (BS2000 ・ BS320 ・ BS500 ・ BS500 1Gbx40 の場合)	387
14.9.1 [フロー検出モード] ページ	387
14.9.2 [アップリンクフェイルオーバー] ページ	389
14.10 [アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックス	392
14.11 [MAC フィルターの設定] ダイアログボックス	395
14.12 [MAC フィルター条件の設定] ダイアログボックス	398
14.13 [IPv4 アドレスフィルターの設定] ダイアログボックス	401
14.14 [IPv4 アドレスフィルター条件の設定] ダイアログボックス	404
14.15 [IPv4 パケットフィルターの設定] ダイアログボックス	406
14.16 [IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックス (AX2400S ・ AX3600S の場合)	409
14.17 [IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックス (BS2000 ・ BS320 ・ BS500 ・ BS500 1Gbx40 の場合)	416
14.18 [IPv6 フィルターの設定] ダイアログボックス	422
14.19 [IPv6 フィルター条件の設定] ダイアログボックス	425
14.20 [アクセス制御情報の設定] ダイアログボックス	427
14.20.1 [ポート] ページ	428
14.20.2 [VLAN インターフェース] ページ	430
14.21 [設定結果] ダイアログボックス	432
14.21.1 [設定結果] ダイアログボックス (アクセス制御リスト情報)	432
14.21.2 [設定結果] ダイアログボックス (アクセス制御情報)	433

15	画面 - スイッチ構成ビューのダイアログボックス (BS1000)	435
15.1	[スイッチ情報] ダイアログボックス	436
15.1.1	[全般] ページ	436
15.1.2	[スイッチ構成情報] ページ	437
15.2	[アクセス制御情報] ダイアログボックス	438
15.3	[QoS 制御情報] ダイアログボックス	441
15.4	[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス	443
15.5	[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックス	444
15.6	[アクセス制御の設定] ダイアログボックス	446
15.7	[フィルター条件の設定 - 基本設定] ダイアログボックス	449
15.8	[フィルター条件の設定 - 拡張設定] ダイアログボックス	453
15.9	[QoS 制御情報の設定] ダイアログボックス	456
15.10	[QoS 制御の設定] ダイアログボックス	458
15.11	[優先条件の設定] ダイアログボックス	460
15.12	[設定結果] ダイアログボックス	462
15.12.1	[設定結果] ダイアログボックス (アクセス制御情報)	462
15.12.2	[設定結果] ダイアログボックス (QoS 制御情報)	463
16	運用関連コマンド	465
	コマンドの記述形式	466
	コマンド使用時の注意事項	468
	コマンド一覧	469
	ncmiscond	470
	ncmisinfo	474
付録		477
付録 A	制限値一覧	478
付録 A.1	文字の制限	478
付録 B	JP1/Cm2/NC - Adaptor が発行するコマンド一覧	481
付録 B.1	JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series が発行するコマンド一覧	481
付録 B.2	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series が発行するコマンド一覧	484
付録 B.3	JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch が発行するコマンド一覧	488
付録 B.4	JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer が発行するコマンドについて	489

付録 B.5	JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series が発行するコマンド一覧	489
付録 B.6	JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal が発行するコマンド一覧	490
付録 B.7	JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager が発行するコマンド について	491
付録 C	DB 更新時に [Network Element Configuration - View] ウィンドウが取得する 情報	492
付録 D	コマンド一覧および文法記載先マニュアル	496
付録 E	各バージョンの変更内容	500
付録 F	用語解説	507

索引	509
-----------	------------

1

JP1/Cm2/NC の起動と終了

この章では、JP1/Cm2/NC の起動と終了について説明します。JP1/Cm2/NC - Manager および JP1/Cm2/NC - Adaptor を、起動または終了するには、該当するサービスを開始または停止します。JP1/Cm2/NC - View を起動または終了するには、メニューから実行します。該当するサービスを起動し、メニューから JP1/Cm2/NC - View を起動することで、VLAN や SLB などの表示や設定ができるようになります。また、定義ファイルの設定を変更した場合、サービスを再起動して、変更した設定を反映させる必要があります。そのため、はじめに JP1/Cm2/NC のサービス一覧を示します。そのあと、各プログラムの起動と終了方法について説明します。

1.1 サービス一覧

1.2 起動

1.3 終了

1.4 運用上の注意事項

1.1 サービス一覧

この節では、JP1/Cm2/NC のサービスについて説明します。JP1/Cm2/NC - Manager および JP1/Cm2/NC - Adaptor を、起動または終了するには、該当するサービスを開始または停止します。該当するサービスを起動し、メニューから JP1/Cm2/NC - View を起動することで、VLAN や SLB などの表示や設定ができるようになります。また、定義ファイルの設定を変更した場合、サービスを再起動して、変更した設定を反映させる必要があります。

JP1/Cm2/NC のサービスのスタートアップの種類は、デフォルトでは手動です。スタートアップの種類を自動に変更すると、プログラムの起動順序によっては、ネットワーク構成情報を取得できないおそれがあります。そのため、手動のまま使用することをお勧めします。

各プログラムのサービス一覧を次の表に示します。なお、アカウントはローカルシステムアカウントです。

表 1-1 JP1/Cm2/NC - Manager のサービス一覧

プログラム	サービス名	機能	スタートアップの種類
JP1/Cm2/NC - Manager	JP1/Cm2/NC - Manager	ネットワーク構成情報を管理するサービスです。	手動
	Hitachi Network Objectplaza Trace Monitor 2	統合トレース機能を利用するためのサービスです。JP1/Cm2/NC を使用する場合に起動している必要があります。	自動

表 1-2 JP1/Cm2/NC - View のサービス一覧

プログラム	サービス名	機能	スタートアップの種類
JP1/Cm2/NC - View	Hitachi Network Objectplaza Trace Monitor 2	統合トレース機能を利用するためのサービスです。JP1/Cm2/NC を使用する場合に起動している必要があります。	自動
	JP1/Cm2/NC - CLI Controller	CLI を使用し、コマンドによってネットワーク構成情報を設定するためのサービスです。CLI を使用する場合に起動している必要があります。	手動

注

このサービスの使用については、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration CLI 運用ガイド」を参照してください。

表 1-3 JP1/Cm2/NC - Adaptor のサービス一覧

プログラム	サービス名	機能	スタートアップの種類
JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series	JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX	スイッチに対して構成情報を設定したり、取得したりするサービスです。	手動
	Hitachi Network Objectplaza Trace Monitor 2	統合トレース機能を利用するためのサービスです。JP1/Cm2/NCを使用する場合に起動している必要があります。	自動
JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS	スイッチに対して構成情報を設定したり、取得したりするサービスです。	手動
	Hitachi Network Objectplaza Trace Monitor 2	統合トレース機能を利用するためのサービスです。JP1/Cm2/NCを使用する場合に起動している必要があります。	自動
JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch	JP1/Cm2/NC - Adaptor for CS	スイッチに対して構成情報を設定したり、取得したりするサービスです。	手動
	Hitachi Network Objectplaza Trace Monitor 2	統合トレース機能を利用するためのサービスです。JP1/Cm2/NCを使用する場合に起動している必要があります。	自動
JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BI	スイッチに対して構成情報を設定したり、取得したりするサービスです。	手動
	Hitachi Network Objectplaza Trace Monitor 2	統合トレース機能を利用するためのサービスです。JP1/Cm2/NCを使用する場合に起動している必要があります。	自動
JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series	JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS	スイッチに対して構成情報を設定したり、取得したりするサービスです。	手動
	Hitachi Network Objectplaza Trace Monitor 2	統合トレース機能を利用するためのサービスです。JP1/Cm2/NCを使用する場合に起動している必要があります。	自動
JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/ Loadflowbal	JP1/Cm2/NC - Adaptor for LF	スイッチに対して構成情報を設定したり、取得したりするサービスです。	手動
	Hitachi Network Objectplaza Trace Monitor 2	統合トレース機能を利用するためのサービスです。JP1/Cm2/NCを使用する場合に起動している必要があります。	自動

1. JP1/Cm2/NC の起動と終了

プログラム	サービス名	機能	スタートアップの種類
JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager	JP1/Cm2/NC - Adaptor for ST	スイッチに対して構成情報を設定したり、取得したりするサービスです。	手動
	Hitachi Network Objectplaza Trace Monitor 2	統合トレース機能を利用するためのサービスです。JP1/Cm2/NC を使用する場合に起動している必要があります。	自動

なお、上書きインストールの場合、それまでのサービスの設定が継続されます。また、Hitachi Network Objectplaza Trace Monitor 2 サービスがほかのプログラムによってインストールされている場合には、それまでの設定が継続されます。

1.2 起動

この節では、JP1/Cm2/NC のプログラムを起動する方法について説明します。プログラムを起動する順序は次のとおりです。

1. JP1/Cm2/NC - Manager
2. JP1/Cm2/NC - Adaptor
3. JP1/Cm2/NC - View

! 注意事項

サービスを起動する場合、JP1/Cm2/NC - Manager サービスまたは各 JP1/Cm2/NC - Adaptor のサービス (JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX サービス, JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS サービスなど) を起動する前に、Hitachi Network Objectplaza Trace Monitor 2 サービスを起動してください。このことによって、統合トレース機能で出力されるログがログファイルに書き込まれるようになります。

1.2.1 JP1/Cm2/NC - Manager または JP1/Cm2/NC - Adaptor を起動する

JP1/Cm2/NC - Manager および JP1/Cm2/NC - Adaptor のサービスの起動方法について説明します。サービスを起動することで、JP1/Cm2/NC - Manager の起動、または JP1/Cm2/NC - Adaptor の起動ができます。ここでは手動でサービスを起動する方法について示します。

参考

JP1/Cm2/NC - Manager および JP1/Cm2/NC - Adaptor を起動したときに、JP1/Cm2/NC - Manager の DB に構成情報がないスイッチ (新規に追加されたスイッチなど) があると、JP1/Cm2/NC - Adaptor は該当するスイッチの構成情報を取得し、JP1/Cm2/NC - Manager の DB を更新します。すでに DB に構成情報があるスイッチについては、構成情報を取得しません。

(1) [サービス] ダイアログボックスから起動する

1. コントロールパネルから [管理ツール] - [サービス] を選択する。
[サービス] ダイアログボックスが表示されます。なお、[ファイル名を指定して実行] ダイアログボックスの [名前] に「services.msc」と入力したあと、[OK] ボタンをクリックしても、[サービス] ダイアログボックスが表示されます。
2. 起動させたい JP1/Cm2/NC のサービス名を選択する。

1. JP1/Cm2/NC の起動と終了

サービス名については、「1.1 サービス一覧」を参照してください。

3. [操作] - [開始] を選択する。

選択したサービスが起動します。なお、右クリックして表示されるメニューや、サービスの開始ボタンでも起動できます。

(2) コマンドラインから起動する

Windows の `net start` コマンドを使用して、サービスを起動できます。

1. コマンド プロンプトを起動する。

2. 次に示すコマンドを実行する。

```
net start サービス名またはサービスの制御名
```

指定できるサービスの制御名とサービス名の対応を、次の表に示します。

表 1-4 サービスの制御名とサービス名の対応

サービスの制御名	サービス名
JP1Cm2NC_Manager	JP1/Cm2/NC - Manager
JP1Cm2NC_Adaptorax	JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX
JP1Cm2NC_Adaptorbi	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BI
JP1Cm2NC_Adaptorbs	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS
JP1Cm2NC_Adaptorscs	JP1/Cm2/NC - Adaptor for CS
JP1Cm2NC_Adaptorgs	JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS
JP1Cm2NC_Adaptorlf	JP1/Cm2/NC - Adaptor for LF
JP1Cm2NC_Adaptorst	JP1/Cm2/NC - Adaptor for ST

サービスの制御名は、サービスのプロパティ画面の [サービス名] に表示されている名称と同じです。また、サービス名を指定する場合、名称に半角のスペースがありますので、表示名を「"」（引用符）で囲ってください。

1.2.2 JP1/Cm2/NC - View を起動する

JP1/Cm2/NC で VLAN や SLB などの構成状況を、スイッチから取得して一覧表示したり、VLAN や SLB などの構成を設定したりするために、JP1/Cm2/NC - View を起動して JP1/Cm2/NC - Manager にログインする必要があります。

なお、JP1/Cm2/NC - View を起動する前に、次の設定が必要です。

- `ncmuser` コマンドでマネージャーサーバへログインユーザーおよびパスワードを登録する。
- JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (`ncm.conf`) でポート番号をデフォルトから変更している場合、JP1/Cm2/NC - View 接続先定義ファイル (`ncvdest.conf`)

でもポート番号を一致させる。

また、接続先マネージャーサーバの名称を JP1/Cm2/NC - View 接続先定義ファイル (nevdest.conf) で定義しておくこと、ログイン時にプルダウンメニューから接続先ホストを選択できます。

各セットアップについては、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」を参照してください。

JP1/Cm2/NC - View の起動方法を次に示します。

1. Windows の [スタート] メニューから、[プログラム] - [JP1_Cm2_Network Element Configuration - View] - [ネットワーク構成管理] を選択する。
[ログイン] ダイアログボックスが表示されます。
2. ユーザー名、パスワード、接続先ホスト名、および表示ビューを入力する。
[ログイン] ダイアログボックスの入力内容については、「6.2 [ログイン] ダイアログボックス」を参照してください。
3. [OK] ボタンをクリックする。
ログイン中であることを示すダイアログボックスが表示されます。JP1/Cm2/NC - Manager へのログインが成功すると、[Network Element Configuration - View] ウィンドウが表示されます。そのあと、マネージャーサーバの DB からネットワーク構成情報を取得している旨のダイアログボックスが表示されます。ネットワーク構成情報の取得が終了したら、[Network Element Configuration - View] ウィンドウで操作できるようになります。
ログインが失敗した場合は、ユーザー認証が失敗したことを示すメッセージが表示されます。そのメッセージの対処方法に従って問題を解決し、再ログインしてください。

1.3 終了

この節では、JP1/Cm2/NC のプログラムを終了する方法について説明します。

プログラム終了時の注意事項

JP1/Cm2/NC - View を終了する前に、JP1/Cm2/NC - Manager を終了すると、マネージャーサーバの DB に格納されている情報が取得できないため、エラーになることがあります。JP1/Cm2/NC - Manager を終了する前に、JP1/Cm2/NC - View を終了してください。そのあとで、JP1/Cm2/NC - Adaptor、JP1/Cm2/NC - Manager の順に終了してください。

1.3.1 JP1/Cm2/NC - View を終了する

JP1/Cm2/NC - View の終了方法を次に示します。

1. [Network Element Configuration - View] ウィンドウで、[ファイル] - [終了 (ログアウト)] を選択する。
ログアウトを確認するダイアログボックスが表示されます。
2. [はい] ボタンをクリックする。
[Network Element Configuration - View] ウィンドウが閉じられます。

1.3.2 JP1/Cm2/NC - Manager または JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了する

JP1/Cm2/NC - Manager および JP1/Cm2/NC - Adaptor のサービスの終了方法について説明します。ここでは手動でサービスを終了する方法について示します。

(1) [サービス] ダイアログボックスから終了する

1. コントロールパネルから [管理ツール] - [サービス] を選択する。
[サービス] ダイアログボックスが表示されます。なお、[ファイル名を指定して実行] ダイアログボックスの [名前] に「services.msc」と入力したあと、[OK] ボタンをクリックしても、[サービス] ダイアログボックスが表示されます。
2. 終了させたい JP1/Cm2/NC のサービス名を選択する。
サービス名については、「1.1 サービス一覧」を参照してください。
3. [操作] - [停止] を選択する。
選択したサービスが終了します。なお、右クリックして表示されるメニューや、サービスの停止ボタンでも終了できます。

(2) コマンドラインから終了する

Windows の net stop コマンドを使用して、サービスを終了できます。

1. コマンド プロンプトを起動する。
2. 次に示すコマンドを実行する。

```
net stop サービス名またはサービスの制御名
```

指定できるサービスの制御名とサービス名の対応を、次の表に示します。

表 1-5 サービスの制御名とサービス名の対応

サービスの制御名	サービス名
JP1Cm2NC_Manager	JP1/Cm2/NC - Manager
JP1Cm2NC_Adaptorax	JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX
JP1Cm2NC_Adaptorbi	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BI
JP1Cm2NC_Adaptorbs	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS
JP1Cm2NC_Adaptorcs	JP1/Cm2/NC - Adaptor for CS
JP1Cm2NC_Adaptorgs	JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS
JP1Cm2NC_Adaptorlf	JP1/Cm2/NC - Adaptor for LF
JP1Cm2NC_Adaptorst	JP1/Cm2/NC - Adaptor for ST

サービスの制御名は、サービスのプロパティ画面の [サービス名] に表示されている名称と同じです。また、サービス名を指定する場合、名称に半角のスペースがありますので、表示名を「」(引用符)で囲んでください。

1.4 運用上の注意事項

JP1/Cm2/NC の運用上の注意事項のうち、構成情報の変更および各設定対象スイッチの仕様に関する注意事項について説明します。運用を始める前に、この節で説明している内容を理解して、運用中のトラブルを回避するようにしてください。また、運用中もここで説明している内容を確認し、トラブルを回避するようにしてください。

1.4.1 スwitchの構成定義変更に関する注意事項

(1) JP1/Cm2/NC とスイッチとの間の通信経路について

JP1/Cm2/NC は管理端末、マネージャーサーバ、アダプターサーバ、および管理対象スイッチ間で TCP/IP による通信を使ってスイッチの構成を管理しています。そのため、スイッチの構成情報を変更する際、各装置間で通信できない構成に変更しないでください。

(2) スwitchの設定が失敗した場合について

スイッチへの設定が失敗した場合、設定内容は破棄され、スイッチの状態表示が「構成情報の同期が必要です。」に変わります。ネットワーク構成ツリーにも、設定内容は反映されません。これは、スイッチへの設定が途中で中断されているため、JP1/Cm2/NC で持っている情報と実際のスイッチの設定情報との間に矛盾が生じないようにするためです。この場合、設定が失敗したスイッチの構成情報の同期を取り、最新の情報を取得し直してください。スイッチの構成情報の同期については、「2.5.3 スwitchの構成情報の同期を取る」を参照してください。

(3) JP1/Cm2/NC 以外の手段による構成定義変更について

JP1/Cm2/NC で設定できる構成情報を、JP1/Cm2/NC 以外の手段（コンソール、リモート運用端末など）で変更しないでください。JP1/Cm2/NC は、スイッチの設定コマンドを発行してスイッチの構成情報を設定します。JP1/Cm2/NC 以外の手段で、スイッチの構成情報を変更すると、JP1/Cm2/NC - Manager の DB の情報とスイッチの情報に矛盾が発生して設定できなくなるおそれがあります。

JP1/Cm2/NC が発行する設定コマンドについては、「付録 B JP1/Cm2/NC - Adaptor が発行するコマンド一覧」を参照してください。

JP1/Cm2/NC 以外の手段でスイッチの構成情報を変更した場合、JP1/Cm2/NC - View を使って、スイッチの構成情報の同期を取り、最新の情報を取得し直してください。また、スイッチの構成定義ファイル自体を更新した場合も、JP1/Cm2/NC - View を使って、スイッチの構成情報の同期を取り、最新の情報を取得し直してください。

スイッチの構成情報の同期については、「2.5.3 スwitchの構成情報の同期を取る」を参照してください。

1.4.2 AX2400S および AX3600S に関する注意事項

(1) ミラーポートに設定されているポートについて

ミラーポートを設定したポートには、ポート VLAN を割り当てられません。JP1/Cm2/NC を使用して AX2400S または AX3600S のポートにポート VLAN を割り当てる場合、割り当てる対象のポートがミラーポートに設定されていないか確認してください。

(2) システム状態の変更について

JP1/Cm2/NC は、構成情報を取得したり、設定したりするために、以降に示すコマンドを実行し、AX2400S および AX3600S の状態を変更します。変更した状態は AX2400S および AX3600S に記憶されます。

```
set logging console disable E9
```

イベントレベルが E9 以下のシステムメッセージの画面表示を抑止します。

```
set terminal pager disable
```

ページングしません。

JP1/Cm2/NC が使用しているログインユーザーを使用して、JP1/Cm2/NC 以外の製品や telnet など AX2400S および AX3600S に対してコマンド処理を実行する場合は、JP1/Cm2/NC を使用して設定した状態が有効になっています。AX2400S および AX3600S の状態の違いに注意してコマンドを実行してください。

なお、この設定は、ほかのログインユーザーには影響しません。

1.4.3 AX5400S および AX7800S に関する注意事項

(1) 認識できる NIF の状態

AX5400S および AX7800S に搭載されている NIF のうち、JP1/Cm2/NC が認識できる NIF は、active 状態の NIF だけです。close nif コマンドや close psu コマンドなどで閉塞状態になっている NIF については認識できません。そのため、JP1/Cm2/NC を使用してポートの追加設定などはできません。free nif コマンドや free psu コマンドで NIF を active 状態にしてポートの追加設定などをしてください。

(2) VLAN にポートを設定する場合の注意

JP1/Cm2/NC で VLAN に設定されたポートを追加したり削除したりする場合、AX5400S および AX7800S の CP がリスタートすることがあります。また、ポートが設定されている VLAN を削除した場合も CP がリスタートすることがあります。

(3) システム状態の変更について

JP1/Cm2/NC は、構成情報を取得したり、設定したりするために、以降に示すコマンド

1. JP1/Cm2/NC の起動と終了

を実行し、AX5400S および AX7800S の状態を変更します。変更した状態は AX5400S および AX7800S に記憶されるため、ほかのログインユーザーに対しても、その設定が有効になります。ほかのログインユーザーで JP1/Cm2/NC を使用しないで AX5400S および AX7800S に対してコマンド処理を実行する場合は、AX5400S および AX7800S の状態の違いに注意してコマンドを実行してください。

set logging console disable E9

イベントレベルが E9 以下のシステムメッセージの画面表示を抑止します。

set terminal pager disable

ページングしません。

prompt off

実行確認メッセージを表示しません。

1.4.4 BIG-IP に関する注意事項

(1) 論理サーバポート名の指定について

論理サーバポート名は、255 バイト以内で指定するようにしてください。

JP1/Cm2/NC では、255 バイトを超える論理サーバポート名は扱いません。このため、スイッチに 255 バイトを超える論理サーバポート名が設定されていた場合、該当する論理サーバポートに関する情報は取得しません。つまり、JP1/Cm2/NC 上では該当する論理サーバポートは設定されていないように見えます。

255 バイトを超える論理サーバポート名が設定されている論理サーバを JP1/Cm2/NC - View から削除しようとする時、JP1/Cm2/NC が管理している SLB 情報からは該当する論理サーバの情報が削除されます。しかし、スイッチには 255 バイトを超える論理サーバポート名が設定されているため、スイッチからは該当する論理サーバは削除されません。このような状態のスイッチに対して構成情報の同期を取ると、JP1/Cm2/NC - View には、論理サーバポートがまったく設定されていない論理サーバが表示されます。論理サーバポートがまったく設定されていない論理サーバは JP1/Cm2/NC - View から削除できません。なお、この論理サーバに対して、新しく論理サーバポートを追加することはできます。

(2) プール名の指定について

プール名は、255 バイト以内で指定するようにしてください。

JP1/Cm2/NC では、255 バイトを超えるプール名は扱いません。このため、スイッチに 255 バイトを超えるプール名が設定されていた場合、該当するプールに関する情報は取得しません。また、論理サーバポートと 255 バイトを超える名称のプールが関連づけられていた場合、その論理サーバポートに関する情報も取得しません。つまり、JP1/Cm2/NC 上では該当するプールや論理サーバポートは設定されていないように見えます。

1.4.5 BS1000 に関する注意事項

(1) システム状態の変更について

JP1/Cm2/NC は、次に示すコマンドを実行し、BS1000 の状態を変更します。変更した状態は BS1000 に記憶されるため、ほかのログインユーザーに対しても、その設定が有効になります。ほかのログインユーザーで JP1/Cm2/NC を使用しないで BS1000 に対してコマンド処理を実行する場合は、BS1000 の状態の違いに注意してコマンドを実行してください。

```
prompt off
```

実行確認メッセージを表示しません。

(2) 冗長化（二重化）されているスイッチの設定について

スイッチが冗長構成になっている場合、2 台のスイッチへ同時には設定できません。1 台ずつ設定する必要があります。一方のスイッチへ設定が完了してから、もう一方のスイッチを設定してください。同時に設定すると、どちらか一方の設定が失敗するおそれがあります。

1.4.6 BS2000 , BS320 , BS500 , および BS500 1Gbx40 に関する注意事項

(1) システム状態の変更について

JP1/Cm2/NC は、構成情報を取得したり、設定したりするために、以降に示すコマンドを実行し、BS2000 , BS320 , BS500 , および BS500 1Gbx40 の状態を変更します。変更した状態は BS2000 , BS320 , BS500 , および BS500 1Gbx40 に記憶されます。

```
set logging console disable E9
```

イベントレベルが E9 以下のシステムメッセージの画面表示を抑止します。

```
set terminal pager disable
```

ページングしません。

JP1/Cm2/NC が使用しているログインユーザーを使用して、JP1/Cm2/NC 以外の製品や telnet などでも BS2000 , BS320 , BS500 , および BS500 1Gbx40 に対してコマンド処理を実行する場合は、JP1/Cm2/NC を使用して設定した状態が有効になっています。BS2000 , BS320 , BS500 , および BS500 1Gbx40 の状態の違いに注意してコマンドを実行してください。

なお、この設定は、ほかのログインユーザーには影響しません。

1.4.7 Cisco Catalyst に関する注意事項

(1) JP1/Cm2/NC で扱うポートについて

Cisco Catalyst のポートには、レイヤー 2 モードとレイヤー 3 モードがありますが、JP1/Cm2/NC ではレイヤー 2 モードのポートだけ扱います。レイヤー 3 モードに設定されているポートは、JP1/Cm2/NC 上には表示されません。

(2) 拡張範囲 VLAN の作成について

拡張範囲 VLAN は、1006 ~ 4094 の範囲のうち、4094 に近い VLAN-ID で作成するようにしてください。

JP1/Cm2/NC では、スイッチで内部的に使用されている VLAN (Internal VLAN) を扱わないため、Internal VLAN に割り当て済みの拡張範囲 VLAN の ID を使用して VLAN を作成しようとすると、設定が失敗します。Internal VLAN は、拡張範囲 VLAN の ID (1006 ~ 4096) のうち、1006 番寄りに設定されています。

(3) VTP の扱いについて

JP1/Cm2/NC では、VTP 情報について、表示だけサポートしています。設定はできません。したがって、JP1/Cm2/NC を使用して VLAN を設定するスイッチは、VTP サーバモードまたは VTP トランスペアモードである必要があります。

(4) VTP アドバタイズによる情報の更新について

VTP サーバモードのスイッチに VLAN の設定を実行すると、VTP ドメイン内の各 Cisco スイッチに VTP アドバタイズが送信され、各 Cisco スイッチは必要に応じて VLAN 設定を更新します。このため、JP1/Cm2/NC - View に表示されている各 Cisco スイッチの設定内容が、実際にスイッチに設定されている内容より古くなるおそれがあります。したがって、VLAN を設定する前に、必ずスイッチの構成情報の同期を取ってください。また、VLAN を設定したあとも、必要に応じてスイッチの構成情報の同期を取ってください。

1.4.8 GS3000 および GS4000 に関する注意事項

(1) 認識できる NIF の状態

GS3000 および GS4000 に搭載されている NIF のうち、JP1/Cm2/NC が認識できる NIF は、active 状態の NIF だけです。close nif コマンドや close psu コマンドなどで閉塞状態になっている NIF については認識できません。そのため、JP1/Cm2/NC を使用してポートの追加設定などはできません。free nif コマンドや free psu コマンドで NIF を active 状態にしてポートの追加設定などをしてください。

(2) VLAN にポートを設定する場合の注意

JP1/Cm2/NC で VLAN に設定されたポートを追加したり削除したりする場合、GS3000 および GS4000 の CP がリスタートすることがあります。また、ポートが設定されている VLAN を削除した場合も CP がリスタートすることがあります。

(3) システム状態の変更について

JP1/Cm2/NC は、構成情報を取得したり、設定したりするために、以降に示すコマンドを実行し、GS3000 および GS4000 の状態を変更します。変更した状態は GS3000 および GS4000 に記憶されるため、ほかのログインユーザーに対しても、その設定が有効になります。ほかのログインユーザーで JP1/Cm2/NC を使用しないで GS3000 および GS4000 に対してコマンド処理を実行する場合は、GS3000 および GS4000 の状態の違いに注意してコマンドを実行してください。

set logging console disable E9

イベントレベルが E9 以下のシステムメッセージの画面表示を抑止します。

set terminal pager disable

ページングしません。

prompt off

実行確認メッセージを表示しません。

1.4.9 HA8000-ie/Loadflowbal に関する注意事項

JP1/Cm2/NC で HA8000-ie/Loadflowbal を管理しているとき、次のコマンドを使用して、HA8000-ie/Loadflowbal の設定を変更しないでください。JP1/Cm2/NC の運用と同時に使用すると、JP1/Cm2/NC のコマンド実行が失敗するおそれがあります。

banner exec

ユーザーが CLI の Privileged EXEC レベルに入ると、メッセージを表示します。

banner incoming

ユーザーが Telnet セッションを確立したときに、コンソールにメッセージを表示します。

banner motd

ユーザーが Telnet セッションを確立したときに、ユーザー端末にメッセージを表示します。

1.4.10 STM に関する注意事項

(1) ESTM Admin を使用して STM を設定する場合の注意

ESTM Admin を使用して STM を設定する場合、次のことに注意してください。

- ゾーン名、グループ名、および物理サーバ名などの名称に、会社名と同じ名称を付けないでください。
- 会社は、必ず一つ以上登録しておいてください。
- 会社を追加する場合、次の手順で追加してください。必ず手順 2 まで実施してください。
 1. [Account Management] ページで、Company を追加する。
 2. [Component Management] ページで、追加した Company のツリーを表示する。
- IP アドレスを指定する個所（Full Notice IP、物理サーバの IP アドレスなど）には必ず適切な値を設定してください。不正な値が設定されていると、JP1/Cm2/NC では、設定値とは異なる値が表示されたり、構成情報の取得に失敗したりします。

(2) バインド構成情報の設定について

STM では、ゾーン配下にグループは 3 階層まで設定できます。ただし、ESTM Admin を使用して STM にバインドを設定した場合、グループを 4 階層以上バインドできてしまうことがあります。JP1/Cm2/NC では、グループが 4 階層以上バインドされているときでも、4 階層目以降の情報を取得しません。

2

ネットワーク構成情報の表示

この章では、JP1/Cm2/NC を使用して、管理しているスイッチのネットワーク構成状況を表示させる手順について説明します。また、表示内容を最新の情報に更新する手順についても説明します。

操作はメイン画面である [Network Element Configuration - View] ウィンドウから実行します。[Network Element Configuration - View] ウィンドウは、表示する内容によってビューが分かれています。

なお、操作手順の説明で使用している JP1/Cm2/NC - View の画面については、6 ~ 15 章に記載されている画面の説明を参照してください。

2.1 JP1/Cm2/NC が管理しているスイッチを表示する

2.2 VLAN の構成状況を表示する

2.3 SLB の構成状況を表示する

2.4 VLAN および SLB 以外の情報の設定状況を表示する

2.5 ネットワーク構成ツリーを更新する

2.1 JP1/Cm2/NC が管理しているスイッチを表示する

表示ビューに「管理対象ビュー」を選択して JP1/Cm2/NC・Manager にログインすると、[Network Element Configuration・View] ウィンドウの管理対象ビューが表示され、JP1/Cm2/NC が管理しているスイッチの一覧を参照できます。管理対象ビューは、別のビューの「ビュー選択メニュー」で「管理対象ビュー」を選択して表示することもできます。別のビューから管理対象ビューに切り替える場合、起動時と同様に JP1/Cm2/NC・Manager の DB から情報を取得し、最新のネットワーク構成ツリーを表示します。

管理対象ビューのツリーエリアには、JP1/Cm2/NC が管理しているスイッチのネットワーク構成ツリーが表示されます。ネットワーク構成ツリーの要素を選択すると、リストエリアに情報を表示できます。

2.1.1 ネットワーク構成要素の内容をリストエリアに表示する（管理対象ビュー）

ネットワーク構成要素の内容をリストエリアに表示する方法は次のとおりです。

1. 管理対象ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、内容を表示するネットワーク構成要素を選択する。

リストエリアには、選択したネットワーク構成要素に対応した一覧が表示されます。

ツリーエリアで選択した要素とリストエリアに表示される内容（管理対象ビュー）の対応、および各リストの表示イメージおよび表示項目の詳細については、「6.4.1（4）リストエリア」を参照してください。

2.2 VLAN の構成状況を表示する

表示ビューに「VLAN ビュー」を選択して JP1/Cm2/NC - Manager にログインすると、[Network Element Configuration - View] ウィンドウの VLAN ビューが表示され、JP1/Cm2/NC が管理している VLAN 環境のネットワーク構成ツリーを参照できます。VLAN ビューは、別のビューの「ビュー選択メニュー」で「VLAN ビュー」を選択して表示することもできます。別のビューから VLAN ビューに切り替える場合、起動時と同様に JP1/Cm2/NC - Manager の DB から情報を取得し、最新のネットワーク構成ツリーを表示します。

VLAN ビューのツリーエリアには、JP1/Cm2/NC が管理しているスイッチが VLAN 単位で整理されたネットワーク構成ツリーが表示されます。VLAN ビューでは、ネットワーク構成ツリーの要素を選択して、リストエリアに情報を表示させたり、プロパティ画面を表示させたりできます。

2.2.1 ネットワーク構成要素の内容をリストエリアに表示する (VLAN ビュー)

ネットワーク構成要素の内容をリストエリアに表示する方法は次のとおりです。

1. VLAN ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、内容を表示するネットワーク構成要素を選択する。
リストエリアには選択したネットワーク構成要素に対応した一覧が表示されます。

ツリーエリアで選択した要素とリストエリアに表示される内容の対応、および各情報の表示イメージおよび表示項目の詳細については、「6.5.1 (4) リストエリア」を参照してください。

2.2.2 スイッチのプロパティ画面を表示する (VLAN ビュー)

VLAN ビューでは、ネットワーク構成ツリーに表示されているスイッチに関する情報を、プロパティ画面で表示できます。

VLAN ビューで表示できるプロパティ画面およびマニュアルでの参照先をスイッチ別に次の表に示します。適宜参照してください。

2. ネットワーク構成情報の表示

表 2-1 VLAN ビューで表示できるプロパティ画面およびマニュアルでの参照先

プロパティ画面	用途	参照先			
		AX2400S・ AX3600S・ BS2000・ BS320・ BS500・ BS500 1Gbx40	AX5400S・ AX7800S・ GS3000・ GS4000	BS1000	Cisco Catalyst
スイッチ情報	該当するスイッチについて、スイッチ名などの基本情報や、ネットワーク構成情報の一つであるスイッチ構成情報を参照します。	7.1	8.1	9.1	10.1
スイッチ一覧	VLAN 管理ドメイン配下のスイッチを参照します。 VLAN ビューのリストエリアに表示できる「スイッチリスト」と同じ内容です。	7.2	8.2	9.2	10.2
VLAN 一覧	スイッチ内に設定されている VLAN を参照します。	7.3	8.3	9.3	10.3

VLAN ビューで各プロパティ画面を表示する手順を次に示します。

(1) スイッチ情報を表示する

スイッチ情報を表示する手順を次に示します。

1. VLAN ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、スイッチ情報を表示するスイッチを選択する。
2. スイッチを選択したまま右クリックする。
ショートカットメニューが表示されます。
3. ショートカットメニューから [スイッチ情報] を選択する。
[スイッチ情報] ダイアログボックスが表示されます。

(2) スイッチ一覧を表示する

スイッチ一覧を表示する手順を次に示します。

1. VLAN ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、スイッチ一覧を表示する VLAN 管理ドメインを選択する。
2. VLAN 管理ドメインを選択したまま右クリックする。
ショートカットメニューが表示されます。
3. ショートカットメニューから [スイッチ一覧] を選択する。
[スイッチ一覧] ダイアログボックスが表示されます。

(3) VLAN 一覧を表示する

VLAN 一覧を表示する手順を次に示します。

1. [スイッチ一覧] ダイアログボックスを表示する。
2. [スイッチ一覧] ダイアログボックスに表示されているスイッチから、VLAN 一覧を表示するスイッチを選択する。
3. [詳細] ボタンをクリックする。
[VLAN 一覧] ダイアログボックスが表示されます。
選択したスイッチをダブルクリックしても [VLAN 一覧] ダイアログボックスを表示できます。

2.3 SLB の構成状況を表示する

表示ビューに「SLB ビュー」を選択して JP1/Cm2/NC・Manager にログインすると、[Network Element Configuration - View] ウィンドウの SLB ビューが表示され、JP1/Cm2/NC が管理している SLB 環境のネットワーク構成ツリーを参照できます。SLB ビューは、別のビューの「ビュー選択メニュー」で「SLB ビュー」を選択して表示することもできます。別のビューから SLB ビューに切り替える場合、起動時と同様に JP1/Cm2/NC・Manager の DB から情報を取得し、最新のネットワーク構成ツリーを表示します。

SLB ビューのツリーエリアには、SLB の設定状況を基に整理されたネットワーク構成ツリーが表示されます。SLB ビューでは、ネットワーク構成ツリーの要素を選択して、リストエリアに情報を表示したり、プロパティ画面を表示したりできます。

2.3.1 ネットワーク構成要素の内容をリストエリアに表示する (SLB ビュー)

ネットワーク構成要素の内容をリストエリアに表示する方法は次のとおりです。

1. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、内容を表示するネットワーク構成要素を選択する。
リストエリアには、選択したネットワーク構成要素に対応した一覧が表示されます。

ツリーエリアで選択した要素とリストエリアに表示される内容の対応、および各情報の表示イメージおよび表示項目の詳細について、マニュアルの参照先を次の表に示します。適宜参照してください。

表 2-2 マニュアルの参照先一覧

用途	参照先
BIG-IP に関する参照	6.6.1 (6)
HA8000-ie/Loadflowbal に関する参照	6.6.1 (7)
STM に関する参照	6.6.1 (8)

2.3.2 スイッチのプロパティ画面を表示する (SLB ビュー)

SLB ビューでは、ネットワーク構成ツリーに表示されているスイッチに関する情報を、プロパティ画面で表示できます。

SLB ビューで表示できるプロパティ画面およびマニュアルでの参照先をスイッチ別に次の表に示します。適宜参照してください。

表 2-3 SLB ビューで表示できるプロパティ画面およびマニュアルでの参照先

プロパティ画面	用途	参照先		
		BIG-IP	HA8000-ie/ Loadflowbal	STM
スイッチ情報	該当するスイッチについて、スイッチ名などの基本情報や、ネットワーク構成情報の一つであるスイッチ構成情報を参照します。	11.1	12.1	-
論理サーバ情報	該当する論理サーバの基本情報を参照します。	11.2	12.2	-
物理サーバ情報	該当する物理サーバの基本情報を参照します。	11.3	12.3	-
ゾーン情報	該当するゾーンの基本情報を参照します。	-	-	13.1

(凡例)

- : 該当しない。

SLB ビューで各プロパティ画面を表示する手順を次に示します。

(1) スイッチ情報を表示する

スイッチ情報を表示する手順を次に示します。

1. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、スイッチ情報を表示するスイッチを選択する。
2. スイッチを選択したまま右クリックする。
ショートカットメニューが表示されます。
3. ショートカットメニューから [スイッチ情報] を選択する。
[スイッチ情報] ダイアログボックスが表示されます。

(2) 論理サーバ情報を表示する

論理サーバ情報を表示する手順を次に示します。

1. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、論理サーバ情報を表示する論理サーバを選択する。
2. 論理サーバを選択したまま右クリックする。
ショートカットメニューが表示されます。
3. ショートカットメニューから [論理サーバ情報] を選択する。
[論理サーバ情報] ダイアログボックスが表示されます。

(3) 物理サーバ情報を表示する

物理サーバ情報を表示する手順を次に示します。

2. ネットワーク構成情報の表示

1. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、物理サーバ情報を表示する物理サーバを選択する。
2. 物理サーバを選択したまま右クリックする。
ショートカットメニューが表示されます。
3. ショートカットメニューから [物理サーバ情報] を選択する。
[物理サーバ情報] ダイアログボックスが表示されます。

(4) ゾーン情報を表示する

ゾーン情報を表示する手順を次に示します。

1. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、ゾーン情報を表示するゾーンを選択する。
2. ゾーンを選択したまま右クリックする。
ショートカットメニューが表示されます。
3. ショートカットメニューから [ゾーン情報] を選択する。
[ゾーン情報] ダイアログボックスが表示されます。

2.4 VLAN および SLB 以外の情報の設定状況を表示する

表示ビューに「スイッチ構成ビュー」を選択して JP1/Cm2/NC - Manager にログインすると、[Network Element Configuration - View] ウィンドウのスイッチ構成ビューが表示され、VLAN や SLB 以外に JP1/Cm2/NC で設定および管理している情報について、設定状況を参照できます。

JP1/Cm2/NC では、次の設定状況を参照できます。

AX2400S・AX3600S

- アクセス制御の設定状況

BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40

- アクセス制御の設定状況
- アップリンクフェイルオーバーの設定状況

BS1000

- アクセス制御の設定状況
- QoS 制御の設定状況

スイッチ構成ビューは、別のビューの「ビュー選択メニュー」で「スイッチ構成ビュー」を選択して表示することもできます。別のビューからスイッチ構成ビューに切り替える場合、起動時と同様に JP1/Cm2/NC - Manager の DB から情報を取得し、最新のネットワーク構成ツリーを表示します。

スイッチ構成ビューでは、ネットワーク構成ツリーの要素を選択して、リストエリアに情報を表示したり、プロパティ画面を表示したりできます。

2.4.1 ネットワーク構成要素の内容をリストエリアに表示する（スイッチ構成ビュー）

ネットワーク構成要素の内容をリストエリアに表示する方法は次のとおりです。

1. スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、内容を表示するネットワーク構成要素を選択する。
リストエリアには、選択したネットワーク構成要素に対応した一覧が表示されます。

ツリーエリアで選択した要素とリストエリアに表示される内容の対応、および各情報の表示イメージおよび表示項目の詳細については、「6.7.1 (4) リストエリア」を参照してください。

2.4.2 スイッチのプロパティ画面を表示する（スイッチ構成ビュー）

スイッチ構成ビューでは、ネットワーク構成ツリーに表示されているスイッチに関する情報を、プロパティ画面で表示できます。

スイッチ構成ビューで表示できるプロパティ画面およびマニュアルでの参照先を次の表に示します。適宜参照してください。

表 2-4 スイッチ構成ビューで表示できるプロパティ画面およびマニュアルでの参照先

プロパティ画面	用途	参照先	
		AX2400S・ AX3600S・ BS2000・ BS320・ BS500・ BS500 1Gbx40	BS1000
スイッチ情報	該当するスイッチについて、スイッチ名などの基本情報や、ネットワーク構成情報の一つであるスイッチ構成情報を参照します。 該当するポートに設定されているアップリンクフェイルオーバーの情報を参照します。	14.1	15.1
アクセス制御リスト情報	該当するスイッチに設定されている、アクセス制御のフィルター条件リストの情報を参照します。	14.2	-
アクセス制御情報	該当するポートに設定されているアクセス制御の情報を参照します。	14.7	15.2
QoS 制御情報	該当するポートに設定されている QoS 制御の情報を参照します。	-	15.3

（凡例）

- : 該当しない

注 BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 だけで参照できます。

スイッチ構成ビューで各プロパティ画面を表示する手順を次に示します。

（1）スイッチ情報を表示する

スイッチ情報を表示する手順を次に示します。

1. スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、スイッチ情報を表示するスイッチを選択する。
2. スイッチを選択したまま右クリックする。
ショートカットメニューが表示されます。
3. ショートカットメニューから [スイッチ情報] を選択する。

[スイッチ情報] ダイアログボックスが表示されます。

(2) アップリンクフェイルオーバー情報を表示する

アップリンクフェイルオーバー情報を表示する手順を次に示します。

1. スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、スイッチ情報を表示するスイッチを選択する。
2. スイッチを選択したまま右クリックする。
ショートカットメニューが表示されます。
3. ショートカットメニューから [スイッチ情報] を選択する。
[スイッチ情報] ダイアログボックスが表示されます。
4. [アップリンクフェイルオーバー] ページを選択する。

(3) アクセス制御リスト情報を表示する

アクセス制御リスト情報を表示する手順を次に示します。

1. スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、スイッチ情報を表示するスイッチを選択する。
2. スイッチを選択したまま右クリックする。
ショートカットメニューが表示されます。
3. ショートカットメニューから [アクセス制御] - [アクセス制御リスト情報] を選択する。
[アクセス制御リスト情報] ダイアログボックスが表示されます。

(4) アクセス制御情報を表示する

アクセス制御情報を表示する手順を次に示します。

1. スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、アクセス制御情報を表示するポートを選択する。
2. ポートを選択したまま右クリックする。
ショートカットメニューが表示されます。
3. ショートカットメニューから [アクセス制御] - [アクセス制御情報] を選択する。
[アクセス制御情報] ダイアログボックスが表示されます。

(5) QoS 制御情報を表示する

QoS 制御情報を表示する手順を次に示します。

1. スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、QoS 制御情報を表示するポートを選択する。
2. ポートを選択したまま右クリックする。
ショートカットメニューが表示されます。

2. ネットワーク構成情報の表示

3. ショートカットメニューから [QoS 制御] - [QoS 制御情報] を選択する。
[QoS 制御情報] ダイアログボックスが表示されます。

2.5 ネットワーク構成ツリーを更新する

JP1/Cm2/NC - View の起動中に、ほかの JP1/Cm2/NC - View でネットワーク構成情報を変更したり、スイッチのコマンドで直接スイッチの設定を変更したりすると、現在表示されている情報と最新の情報が異なってしまいます。その場合、最新のネットワーク構成情報を表示するために、DB から更新された情報を取得したり、スイッチと構成情報の同期を取ったりして、ネットワーク構成ツリーを再構成する必要があります。

この節では情報の更新に関する手順を説明します。

2.5.1 DB の情報が更新されたときの動作を設定する

ほかの JP1/Cm2/NC - View から JP1/Cm2/NC - Manager の DB が更新されたときに JP1/Cm2/NC - View がする動作を、次の三つから選択できます。

- 確認
JP1/Cm2/NC - Manager の DB が更新されると、ネットワーク構成ツリーを再構成するかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。ユーザーはその場でツリーを自動的に再構成するか、手動で任意に再構成するかを選択できます。
- 自動
JP1/Cm2/NC - Manager の DB が更新されると、自動的にネットワーク構成ツリーを再構成します。再構成を確認するダイアログボックスは表示されません。
- 手動
JP1/Cm2/NC - Manager の DB が更新されても、ネットワーク構成ツリーを再構成しません。再構成を確認するダイアログボックスも表示されません。任意のタイミングでツリーを再構成する必要があります。

デフォルトの設定は「確認」です。JP1/Cm2/NC - View を起動するときは、必ず「確認」に設定されます。設定を「確認」以外に変更しても、JP1/Cm2/NC - View を再起動すると「確認」に戻ります。

JP1/Cm2/NC - Manager の DB が更新されたときの、JP1/Cm2/NC - View の動作を設定する手順を次に示します。

1. [Network Element Configuration - View] ウィンドウのメニューバーから [オプション] - [ツリーの更新] を選択する。
2. 表示されるメニューから、「確認」、「自動」、または「手動」のうちのどれかを選択する。

2. ネットワーク構成情報の表示

参考

複数の JP1/Cm2/NC - View を使用して運用する場合、[Network Element Configuration - View] ウィンドウ以外のダイアログボックスを開いているときにほかの JP1/Cm2/NC - View から構成情報が更新されても、DB の更新は開知されません。複数の JP1/Cm2/NC - View を使用して運用する場合、常に最新のネットワーク構成情報を取得しておくために、[Network Element Configuration - View] ウィンドウ以外のダイアログボックスを閉じたあとに必ず手動でネットワーク構成ツリーを再構成することをお勧めします。最新の情報に更新する手順については、「2.5.2 最新の情報に更新する」を参照してください。

2.5.2 最新の情報に更新する

JP1/Cm2/NC - Manager の DB が更新されたときの JP1/Cm2/NC - View の動作を、次のように設定した場合は、手動でネットワーク構成ツリーを再構成する必要があります。

- 「手動」に設定した場合。
- 「確認」に設定した場合で、ツリーの再構成を確認するダイアログボックスが表示されても、すぐに再構成を実行しなかったとき。

最新のネットワーク構成情報を DB から取得し、ネットワーク構成ツリーを再構成する方法は次の 2 とおりです。

- [Network Element Configuration - View] ウィンドウのメニューバーから [表示] - [最新の情報に更新] を選択する。
- [Network Element Configuration - View] ウィンドウのツールバーにある、最新の情報に更新ボタンをクリックする。

2.5.3 スイッチの構成情報の同期を取る

次に示すどれかに当てはまる場合、JP1/Cm2/NC - View の表示内容がスイッチ本体の構成状況と異なっています。

- スイッチへの設定処理に失敗して、スイッチの状態が「構成情報の同期を取る必要があります。」になっている場合
- スイッチの構成情報取得に失敗し、DB にスイッチの構成情報がない場合
- 構成情報の設定中に、JP1/Cm2/NC - Manager または JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了した場合
- 直接スイッチの設定を変更した場合

スイッチ本体の構成状況と JP1/Cm2/NC - View の表示内容を一致させるためには、スイッチと構成情報の同期を取り、ネットワーク構成ツリーを再構成する必要があります。

また、上記に該当しない場合についても、適宜スイッチの構成情報の同期を取ってください。

スイッチの構成情報の同期を取る手順を次に示します。

1. [Network Element Configuration - View] ウィンドウのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、構成情報の同期を取りたいスイッチを選択する。
2. メニューバーで [表示] - [構成情報の同期] を選択する。
スイッチの構成情報の同期が取られ、ネットワーク構成ツリーが再構成されます。
スイッチの構成情報の同期は、目的のスイッチを選択したあと、ショートカットメニューから [構成情報の同期] を選択しても実行できます。

3

VLAN の設定

この章では、JP1/Cm2/NC を使って VLAN 環境を設定する手順を説明します。VLAN は [Network Element Configuration - View] ウィンドウの VLAN ビューで設定します。

なお、操作手順の説明で使用している JP1/Cm2/NC - View の各画面については、6 章および 7 ~ 10 章に記載されている画面の説明を参照してください。

また、各スイッチの設定内容の詳細については、各スイッチのソフトウェアマニュアルを参照してください。

3.1 VLAN 定義情報を設定する

3.2 スイッチ構成情報を設定する

3.3 VLAN 構成情報を設定する

3.1 VLAN 定義情報を設定する

VLAN 管理ドメインに VLAN を定義するために、ネットワーク構成情報の VLAN 定義情報を設定します。

VLAN 定義情報は、JP1/Cm2/NC 内で管理している情報です。JP1/Cm2/NC 内で使用する VLAN 名などを定義します。直接スイッチには設定されません。

また、VLAN 定義情報は、VLAN 管理ドメイン内でユニークな情報です。設定するときは、VLAN 管理ドメイン内で VLAN-ID および VLAN 名が重ならないようにしてください。

VLAN 定義情報の設定で使用する画面について、マニュアルの参照先をスイッチ別に次の表に示します。適宜参照してください。

表 3-1 VLAN 定義情報の設定で使用する画面についてのマニュアル参照先

画面名	用途	参照先			
		AX2400S・ AX3600S・ BS2000・ BS320・ BS500・ BS500 1Gbx40	AX5400S・ AX7800S・ GS3000・ GS4000	BS1000	Cisco Catalyst
[VLAN 定義の追加] ダイアログボックス	VLAN の追加	7.4	8.4	9.4	10.4
[VLAN 定義の変更] ダイアログボックス	VLAN の設定内 容の変更	7.5	8.5	9.5	10.5

VLAN 定義情報を設定する手順を次に示します。

3.1.1 VLAN の定義を追加する

VLAN 管理ドメインに VLAN を追加する手順は、次の 2 とおりあります。

- [VLAN 定義の追加] ダイアログボックスを表示して設定する。
- [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスから [VLAN 定義の追加] ダイアログボックスを表示して設定する。

ここでは、[VLAN 定義の追加] ダイアログボックスを表示して設定する手順について説明します。

参考

一つの VLAN 管理ドメインに定義できる VLAN 数は 4,095 個です。すでに 4,095 個の VLAN が定義されている VLAN 管理ドメインに VLAN を追加しようとしても、メニューやボタンが不活性になり、ダイアログボックスを開けません。

1. VLAN ビューを表示する。
2. VLAN ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、VLAN を追加する VLAN 管理ドメイン名を選択する。
3. メニューバーから [編集] - [VLAN 情報] - [VLAN 定義の追加] を選択する。
[VLAN 定義の追加] ダイアログボックスが表示されます。
4. 各項目を設定する。
5. [OK] ボタンをクリックする。
設定中のダイアログボックスが表示され、JP1/Cm2/NC - Manager に設定要求を送信します。
設定が完了すると [VLAN 定義の追加] ダイアログボックスが閉じ、ネットワーク構成ツリーが再構成されます。また、リストエリアに表示されている VLAN リストのいちばん下にも、追加した VLAN が表示されます。

[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスからは、[VLAN 定義の追加] ボタンをクリックして [VLAN 定義の追加] ダイアログボックスを表示します。

参考

[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスから VLAN を追加した場合、設定完了後、[VLAN 定義の追加] ダイアログボックスが閉じ、[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスの VLAN リストに追加されます。すでに設定は完了しているので、[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスの [キャンセル] ボタンをクリックしても設定はキャンセルされません。VLAN の追加を取り消す場合は、改めて該当する VLAN を削除してください。VLAN の削除については、「3.3.3 (1) VLAN 管理ドメインから VLAN を削除する」を参照してください。

3.1.2 VLAN の定義内容を変更する

VLAN 定義情報を変更する手順は、次の 2 とおりあります。

- [VLAN 定義の変更] ダイアログボックスを表示して設定する。
- [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスから [VLAN 定義の変更] ダイアログボックスを表示して設定する。

ここでは、[VLAN 定義の変更] ダイアログボックスを表示して設定する手順について説明します。

3. VLAN の設定

1. VLAN ビューを表示する。
2. VLAN ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、VLAN 定義情報の内容を変更する VLAN を選択する。
3. メニューバーから [編集] - [VLAN 情報] - [VLAN 定義の変更] を選択する。
[VLAN 定義の変更] ダイアログボックスが表示されます。
4. 設定内容を変更する。
5. [OK] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、JP1/Cm2/NC - Manager に設定要求が送信されます。
設定が完了すると [VLAN 定義の変更] ダイアログボックスが閉じ、ネットワーク構成ツリーが再構成されます。

[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスからは、[VLAN 定義の変更] ボタンをクリックして [VLAN 定義の変更] ダイアログボックスを表示します。

参考

[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスから VLAN を変更した場合、設定完了後、[VLAN 定義の変更] ダイアログボックスが閉じ、[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスに戻ります。すでに設定は完了しているので、[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスの [キャンセル] ボタンをクリックしても設定はキャンセルされません。設定を元に戻す場合は、再度 [VLAN 定義の変更] ボタンをクリックして該当する VLAN の設定を変更してください。

3.1.3 デフォルト VLAN の定義内容を変更する

新しい VLAN 管理ドメインが追加されると、JP1/Cm2/NC - Manager が自動的にデフォルト VLAN を定義します。

デフォルト VLAN の値はあらかじめ設定されています。デフォルト VLAN の内容を変更したい場合は、「3.1.2 VLAN の定義内容を変更する」を参照してください。ただし、変更できるのは [VLAN 名]、[備考] だけです。

デフォルト VLAN の内容を次の表に示します。

表 3-2 デフォルト VLAN の内容

項目	初期値
VLAN-ID	「1」
VLAN 名	「デフォルト VLAN」
タイプ	「ポート」

項目	初期値
備考	設定なし

参考

ここで説明しているデフォルト VLAN は、VLAN 定義情報としてのデフォルト VLAN です。スイッチに設定されている VLAN-ID = 1 のデフォルト VLAN を、JP1/Cm2/NC で「デフォルト VLAN」以外の名称で管理したい場合などに設定を変更できます。

なお、この設定では、VLAN-ID = 1 のデフォルト VLAN の、スイッチに設定されている名称を変更することはできません。

3.2 スイッチ構成情報を設定する

スイッチ内のすべての VLAN に関する情報を定義するために、ネットワーク構成情報のスイッチ構成情報を設定します。

スイッチ構成情報は、スイッチに直接設定する情報です。スイッチの状態が「正常」のときにだけ設定できます。ただし、BS1000 に VLAN を設定する場合は、スイッチ構成情報の設定はありません。

スイッチ構成情報には、VLAN 構成情報を設定する前に設定しておく必要がある項目もあるので、VLAN 構成情報との設定の順序関係を意識して設定してください。

スイッチ構成情報の設定で使用する画面について、マニュアルの参照先をスイッチ別に次の表に示します。適宜参照してください。

表 3-3 スイッチ構成情報の設定で使用する画面についてのマニュアル参照先

画面名	用途	参照先			
		AX2400S・ AX3600S・ BS2000・ BS320・ BS500・ BS500 1Gbx40	AX5400S・ AX7800S・ GS3000・ GS4000	BS1000	Cisco Catalyst
[スイッチ構成情報の設定]ダイアログボックス	スイッチ構成情報 (VLAN 情報) の設定	7.6	8.6	-	10.6
[ポートの選択]ダイアログボックス	ポートの選択	-	8.7	-	-
[ポートの設定]ダイアログボックス	ポートに関する設定	7.7	-	-	10.7

(凡例)

- : 該当しない。

スイッチ構成情報を設定する手順を次に示します。

1. VLAN ビューを表示する。
2. VLAN ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、スイッチ構成情報を設定するスイッチを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [スイッチ構成情報の設定] を選択する。
[スイッチ構成情報の設定]ダイアログボックスが表示されます。
[スイッチ構成情報の設定]ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [スイッチ構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにあるスイッチ構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。

4. 各項目を設定する。
5. [OK] ボタンをクリックする。

設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容がスイッチに反映されます。処理が完了すると、設定完了のダイアログボックスが表示されます。

ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、設定完了のダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。
6. 設定完了のダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。

3.2.1 未定義フレームを破棄するポートを選択する

AX5400S, AX7800S, GS3000, および GS4000 のスイッチ構成情報の設定で、未定義フレームを破棄するポートを選択する手順を次に示します。

1. [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスを開く。
2. 「未定義フレーム破棄ポート」欄の [ポートの選択] ボタンをクリックする。

[ポートの選択] ダイアログボックスが表示されます。
3. 未定義フレームを破棄するポートを選択する。
4. [OK] ボタンをクリックする。

[ポートの選択] ダイアログボックスが閉じ、[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスの [未定義フレーム破棄ポート] に、選択したポートが表示されます。

設定内容は、[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックするとスイッチに反映されます。

3.2.2 ポートの設定を変更する

AX2400S, AX3600S, Cisco Catalyst, BS2000, BS320, BS500, または BS500 1Gbx40 に VLAN を設定するとき、ポートのモードなどの設定を変更する手順を次に示します。

1. [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスを開く。
2. 「ポート情報」の [ポートの設定] ボタンをクリックする。

[ポートの設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. [選択可能ポート] から、設定を変更するポートを選択する。

ポートは複数選択できます。ただし、一度に複数のポートを選択した場合、以降の設定内容は選択したポートすべてに対して設定されます。ポートごとに別の設定をしたい場合は、ポートを一つずつ選択して設定してください。
4. 該当するポートについて、設定を変更する。
5. [変更] をクリックする。

変更内容が、[選択可能ポート] に反映されます。

3. VLAN の設定

6. [OK] ボタンをクリックする。

[ポートの設定] ダイアログボックスが閉じ , [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスの [ポート情報] に設定内容が反映されます。

設定内容は , [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックするとスイッチに反映されます。

3.3 VLAN 構成情報を設定する

VLAN ごとの情報を定義するために、ネットワーク構成情報の VLAN 構成情報を設定します。

VLAN 構成情報はスイッチに直接設定される情報です。スイッチの状態が「正常」のときだけ設定できます。

VLAN 構成情報の中には、スイッチ構成情報で設定した情報を使用するものがあるため、VLAN 構成情報を設定する場合、スイッチ構成情報との設定の順序関係を意識して設定する必要があります。

VLAN 構成情報の設定で使用する画面について、マニュアルの参照先をスイッチ別に次の表に示します。適宜参照してください。

表 3-4 VLAN 構成情報の設定で使用する画面についてのマニュアル参照先

画面名	用途	参照先			
		AX2400S・ AX3600S・ BS2000・ BS320・ BS500・ BS500 1Gbx40	AX5400S・ AX7800S・ GS3000・ GS4000	BS1000	Cisco Catalyst
[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックス	スイッチの VLAN への追加, 変更, および削除	7.8	8.8	9.6	10.8
[スイッチの選択] ダイアログボックス	VLAN へ追加したり設定を変更したりするスイッチの選択	7.9	8.9	9.7	10.9
[ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックス	ポート VLAN の基本設定	7.10	8.10	9.8	10.10
[ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックス	ポート VLAN の拡張設定	7.11	8.11	9.9	10.11
[設定結果] ダイアログボックス	設定結果の確認	7.12	8.12	9.10	10.12

VLAN 構成情報を設定する手順を次に示します。

3.3.1 スイッチを VLAN に追加する

スイッチを VLAN に追加する手順を次に示します。

3. VLAN の設定

1. VLAN ビューを表示する。
2. VLAN ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、スイッチを追加する VLAN を選択する。
3. メニューバーから [編集] - [VLAN 情報] - [VLAN 構成情報の設定] を選択する。選択した VLAN がフォーカスされた状態で [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [VLAN 構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにある VLAN 構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. [スwitchの追加] ボタンをクリックする。
[スwitchの選択] ダイアログボックスが表示されます。
5. 追加するスイッチを選択して [OK] ボタンをクリックする。
選択したスイッチに対応した [ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックスが表示されます。
一回の [スwitchの追加] の操作で追加できるスイッチは一つだけです。複数のスイッチを追加する場合は、4 ~ 13 の手順を繰り返します。
6. 各項目を設定する。
7. [拡張設定] ボタンをクリックする。
[ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックスが表示されます。
8. 各項目を設定する。
9. [ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
設定内容が記憶され、[ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックスが閉じます。
10. [ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
[ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックスが閉じ、[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスの「スイッチ一覧」にスイッチが追加表示されます。
11. [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
VLAN 構成情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。
12. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容がスイッチに反映されます。処理が終了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じて処理は続行されています。処理が終了するまで、ほかの設定はできません。
13. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] をクリックする。

3.3.2 VLAN を構成しているスイッチの設定を変更する

スイッチに設定されている、VLAN に関する設定内容を変更する手順を次に示します。

1. VLAN ビューを表示する。
2. VLAN ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、設定内容を変更するスイッチを一つだけ選択する。
3. メニューバーから [編集] - [VLAN 情報] - [VLAN 構成情報の設定] を選択する。選択したスイッチがフォーカスされた状態で [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [VLAN 構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにある VLAN 構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. [スwitchの変更] ボタンをクリックする。
[ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックスが表示されます。
5. 設定内容を変更する。
6. [拡張設定] ボタンをクリックする。
[ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックスが表示されます。
7. 設定内容を変更する。
8. [ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
設定内容が記憶され、[ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックスが閉じます。
9. [ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
設定内容が記憶され、[ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックスが閉じます。
10. [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
VLAN 構成情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。
11. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、変更内容がスイッチに設定されます。処理が終了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が終了するまで、ほかの設定はできません。
12. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] をクリックする。

3.3.3 定義情報を削除する

VLAN 管理ドメインから VLAN を削除したり、VLAN からスイッチを削除したりする手順を次に示します。

3. VLAN の設定

(1) VLAN 管理ドメインから VLAN を削除する

VLAN 管理ドメインから VLAN を削除する手順を次に示します。一度に複数の VLAN を選択すると、一括して削除することもできます。

1. VLAN ビューを表示する。
2. VLAN ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、VLAN を削除する VLAN 管理ドメインを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [VLAN 情報] - [VLAN 構成情報の設定] を選択する。
[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [VLAN 構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにある VLAN 構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. 削除する VLAN を [VLAN 一覧] から選択する。
削除する VLAN は複数選択できます。
5. [VLAN 定義の削除] ボタンをクリックする。
VLAN 定義の削除を確認するダイアログボックスが表示されます。
6. [はい] ボタンをクリックする。
指定した VLAN が [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスの VLAN リストから削除されます。
7. [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
VLAN 構成情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。
8. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、変更内容がスイッチに反映されます。処理が終了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じて処理は続行されています。処理が終了するまで、ほかの設定はできません。
9. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] をクリックする。

VLAN を削除すると、削除対象の VLAN に設定されていたすべてのスイッチから該当する VLAN が削除されます。すべてのスイッチから該当する VLAN が削除された時点でこの操作は完了します。一つでも VLAN の削除に失敗したスイッチがある場合は、VLAN は削除されません。

(2) VLAN からスイッチを削除する

VLAN から構成するスイッチを削除する手順を次に示します。一度に複数のスイッチを選択すると、一括して削除することもできます。

1. VLAN ビューを表示する。

2. VLAN ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーで、スイッチを削除する VLAN を選択する。
3. メニューバーから [編集] - [VLAN 情報] - [VLAN 構成情報の設定] を選択する。選択した VLAN がフォーカスされた状態で [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [VLAN 構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにある VLAN 構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. 「スイッチ一覧」から削除するスイッチを選択する。
削除するスイッチは複数選択できます。
5. [スwitchの削除] ボタンをクリックする。
スイッチ削除を確認するダイアログボックスが表示されます。
6. [はい] ボタンをクリックする。
[スwitch一覧] から選択したスイッチが削除されます。
7. [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
VLAN 構成情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。
8. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、変更内容がスイッチに反映されます。処理が終了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が終了するまで、ほかの設定はできません。

VLAN 内のすべてのスイッチを削除しても、VLAN そのものは削除されません。VLAN の削除については、「3.3.3 (1) VLAN 管理ドメインから VLAN を削除する」を参照してください。

4

SLB の設定

この章では、JP1/Cm2/NC を使って SLB を設定する手順を説明します。SLB は [Network Element Configuration - View] ウィンドウの SLB ビューで設定します。

なお、操作手順の説明で使用している JP1/Cm2/NC - View の各画面については、6 章および 11 ~ 13 章に記載されている画面の説明を参照してください。

また、各スイッチの設定内容の詳細については、各スイッチのソフトウェアマニュアルを参照してください。

4.1 スイッチ構成情報を設定する

4.2 論理サーバ構成情報を設定する

4.3 物理サーバ構成情報を設定する (BIG-IP の場合)

4.4 物理サーバ構成情報を設定する (HA8000-ie/Loadflowbal の場合)

4.5 物理サーバ構成情報を設定する (STM の場合)

4.6 バインド構成情報を設定する (STM 以外の場合)

4.7 バインド構成情報を設定する (STM の場合)

4.1 スイッチ構成情報を設定する

スイッチ内の論理・物理サーバすべてに関係する情報を定義するために、ネットワーク構成情報のスイッチ構成情報を設定します。

スイッチ構成情報は、スイッチに直接設定される情報です。スイッチの状態が「正常」のときだけ設定できます。なお、BIG-IP および STM には、スイッチ構成情報の設定はありません。

スイッチ構成情報には、論理サーバ構成情報および物理サーバ構成情報を設定するとき使用する情報もあります。そのため、論理サーバ構成情報および物理サーバ構成情報との設定の順序関係を意識して設定する必要があります。

スイッチ構成情報の設定で使用する画面について、マニュアルの参照先をスイッチ別に次の表に示します。適宜参照してください。

表 4-1 スイッチ構成情報の設定で使用する画面についてのマニュアル参照先

画面名	用途	参照先		
		BIG-IP	HA8000-ie/ Loadflowbal	STM
[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス	スイッチ構成情報 (SLB 情報) の設定	-	12.4	-
[ポートプロファイルの設定] ダイアログボックス	ポートプロファイルの設定	-	12.5	-

(凡例)

- : 該当しない。

スイッチ構成情報を設定する手順を次に示します。

1. SLB ビューを表示する。
2. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、スイッチ構成情報を設定するスイッチを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [スイッチ構成情報の設定] を選択する。
[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [スイッチ構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにあるスイッチ構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. 各項目を設定する。
5. [OK] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容がスイッチに反映されます。処理が完了すると、設定完了のダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、設定完了のダイア

ログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じてても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。

6. 設定完了のダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。

4.1.1 ポートプロファイルを設定する

論理サーバ構成情報および物理サーバ構成情報の設定などで使用するポートを設定する手順を次に示します。

ポートは、[ポートプロファイルの設定] ダイアログボックスから設定します。[ポートプロファイルの設定] ダイアログボックスで設定した内容は、[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックしたときにスイッチに反映されません。

参考

一つのスイッチに定義できるポートの数は 65,535 個です。すでに 65,535 個のポートが定義されているスイッチにポートを追加しようとしても、メニューやボタンが不活性になり、ダイアログボックスを開けません。

(1) ポートを追加する

スイッチにポートを追加する手順を次に示します。

1. [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス (SLB ビュー) を開く。
2. [ポートプロファイル] の [追加] ボタンをクリックする。
[ポートプロファイルの設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. 各項目を設定する。
4. [OK] ボタンをクリックする。
[ポートプロファイルの設定] ダイアログボックスが閉じ、[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスの [ポートプロファイル] に、追加したポートが表示されません。

(2) ポートの設定を変更する

ポートの設定を変更する手順を次に示します。

1. [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス (SLB ビュー) を開く。
2. [ポートプロファイル] から設定を変更するポートを選択し、[変更] ボタンをクリックする。
[ポートプロファイルの設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. 設定内容を変更する。
[ポートプロファイルの設定] ダイアログボックスで変更できる項目は [タイプ] だ

4. SLB の設定

けです。

4. [OK] ボタンをクリックする。

[ポートプロファイルの設定] ダイアログボックスが閉じ、[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスの [ポートプロファイル] に、変更内容が反映されます。

(3) ポートを削除する

スイッチから設定済みのポートを削除する手順を次に示します。一度に複数のポートを選択すると、一括して削除することもできます。

1. [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス (SLB ビュー) を開く。

2. [ポートプロファイル] から削除するポートを選択して [削除] ボタンをクリックする。

削除するポートは複数選択できます。

[削除] ボタンをクリックすると、ポートプロファイルの削除を確認するダイアログボックスが表示されます。

3. [はい] ボタンをクリックする。

指定したポートが [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスの [ポートプロファイル] から削除されます。

4.2 論理サーバ構成情報を設定する

スイッチに論理サーバを定義するために、ネットワーク構成情報の論理サーバ構成情報を設定します。

論理サーバ構成情報はスイッチに直接設定される情報です。スイッチの状態が「正常」のときだけ設定できます。

論理サーバ構成情報には、スイッチ構成情報で設定した情報を使用するものがあります。そのため、論理サーバ構成情報を設定する場合、スイッチ構成情報との設定の順序関係を意識して設定する必要があります。

論理サーバ構成情報の設定で使用する画面について、マニュアルの参照先をスイッチ別に次の表に示します。適宜参照してください。

表 4-2 論理サーバ構成情報の設定で使用する画面についてのマニュアル参照先

画面名	用途	参照先		
		BIG-IP	HA8000-ie/ Loadflowbal	STM
[論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス	論理サーバの追加, 変更, および削除	11.4	12.6	-
[論理サーバの設定] ダイアログボックス	<ul style="list-style-type: none"> 論理サーバの設定 論理サーバポートの追加, 変更, および削除 	11.5	12.7	-
[論理サーバポートの設定] ダイアログボックス	論理サーバポートの設定	11.6	12.8	-
[設定結果] ダイアログボックス	設定結果の参照	11.13.1	12.14.1	-

(凡例)

- : 該当しない。

論理サーバ構成情報を設定する手順を次に示します。

4.2.1 論理サーバを追加する

スイッチに論理サーバを追加する手順を次に示します。

1. SLB ビューを表示する。
2. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、論理サーバを追加するスイッチまたは論理サーバツリーのルートを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [SLB 情報] - [論理サーバ構成情報の設定] を選択する。

[論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。

4. SLB の設定

[論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [論理サーバ構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにある論理サーバ構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。

4. [論理サーバー一覧] の [追加] ボタンをクリックする。
[論理サーバの設定] ダイアログボックスが表示されます。
5. 各項目を設定する。
6. [OK] ボタンをクリックする。
[論理サーバの設定] ダイアログボックスが閉じ、[論理サーバ構成情報の設定] の [論理サーバー一覧] に設定内容が反映されます。
7. [論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
論理サーバ構成情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。
8. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容がスイッチに反映されます。処理が完了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。
9. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリックする。

4.2.2 論理サーバの設定内容を変更する

論理サーバの設定内容を変更する手順を次に示します。

1. SLB ビューを表示する。
2. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、論理サーバツリー上の、設定内容を変更する論理サーバを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [SLB 情報] - [論理サーバ構成情報の設定] を選択する。
選択した論理サーバにフォーカスした状態で [論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [論理サーバ構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにある論理サーバ構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. [論理サーバー一覧] の [変更] ボタンをクリックする。
[論理サーバの設定] ダイアログボックスが表示されます。
5. 設定内容を変更する。
6. [論理サーバの設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。

[論理サーバの設定] ダイアログボックスが閉じ, [論理サーバ構成情報の設定] の [論理サーバ一覧] に設定内容が反映されます。

7. [論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。論理サーバ構成情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されません。
8. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され, 設定内容がスイッチに反映されません。処理が完了すると, [設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし, 途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると, [設定結果] ダイアログボックスは表示されません。また, 設定処理中を示すダイアログボックスを閉じて処理は続行されています。処理が完了するまで, ほかの設定はできません。
9. 設定結果を確認し, [設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリックする。

4.2.3 論理サーバを削除する

スイッチから論理サーバを削除する手順を説明します。一度に複数の論理サーバを選択すると, 一括して削除することもできます。

1. SLB ビューを表示する。
2. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから, 論理サーバツリーのルートを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [SLB 情報] - [論理サーバ構成情報の設定] を選択する。
[論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスは, ショートカットメニューの [論理サーバ構成情報の設定] を選択したり, ツールバーにある論理サーバ構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. [論理サーバ一覧] から削除する論理サーバを選択する。
削除する論理サーバは複数選択できます。
5. [論理サーバ一覧] の [削除] ボタンをクリックする。
[削除] ボタンをクリックすると, 論理サーバの削除を確認するダイアログボックスが表示されます。
6. [はい] ボタンをクリックする。
指定した論理サーバが [論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [論理サーバ一覧] から削除されます。
7. [論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。論理サーバ構成情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されません。

4. SLB の設定

8. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、変更内容がスイッチに反映されます。処理が終了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が終了するまで、ほかの設定はできません。
9. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] をクリックする。

! 注意事項

同じ名前または IP アドレスの論理サーバに対して、削除および追加を同時に実行することはできません。いったん [論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックして該当する論理サーバを削除したあと、改めて追加し直してください。

4.2.4 論理サーバポートを設定する

論理サーバにポートを設定する手順を次に示します。

論理サーバポートの設定は [論理サーバポートの設定] ダイアログボックスから操作します。[論理サーバポートの設定] ダイアログボックスで設定した内容は、[論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックしたときにスイッチに反映されます。

(1) 論理サーバポートを追加する

論理サーバにポートを追加する手順を次に示します。

1. [論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスを開く。
2. [論理サーバ一覧] の [追加] ボタンまたは [変更] ボタンをクリックして、[論理サーバの設定] ダイアログボックスを開く。
[変更] ボタンは、[論理サーバ一覧] から設定を変更する論理サーバを選択してからクリックします。
3. [論理サーバポート] の [追加] ボタンをクリックする。
[論理サーバポートの設定] ダイアログボックスが表示されます。
4. 各項目を設定する。
5. [OK] ボタンをクリックする。
[論理サーバポートの設定] ダイアログボックスが閉じ、[論理サーバの設定] ダイアログボックスの [論理サーバポート] に設定内容が反映されます。

(2) 論理サーバポートの設定を変更する

論理サーバポートの設定を変更する手順を次に示します。

1. [論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスを開く。
2. [論理サーバ一覧] から設定を変更する論理サーバを選択し,[論理サーバ一覧] の [変更] ボタンをクリックする。
[論理サーバの設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. [論理サーバポート] から設定を変更するポートを選択したあと,[変更] ボタンをクリックする。
[論理サーバポートの設定] ダイアログボックスが表示されます。
4. 設定内容を変更する。
5. [OK] ボタンをクリックする。
[論理サーバポートの設定] ダイアログボックスが閉じ,[論理サーバの設定] ダイアログボックスの [論理サーバポート] に設定内容が反映されます。

(3) 論理サーバポートを削除する

論理サーバから設定済みのポートを削除する手順を次に示します。一度に複数の論理サーバポートを選択すると、一括して削除することもできます。

1. [論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスを開く。
2. [論理サーバ一覧] から設定を変更する論理サーバを選択し,[変更] ボタンをクリックして,[論理サーバの設定] ダイアログボックスを開く。
3. [論理サーバポート] から削除するポートを選択したあと,[削除] ボタンをクリックする。
論理サーバポートは複数選択できます。
論理サーバポートの削除を確認するダイアログボックスが表示されます。
4. [はい] ボタンをクリックする。
指定した論理サーバポートが [論理サーバの設定] ダイアログボックスの [論理サーバポート] から削除されます。

4.3 物理サーバ構成情報を設定する（BIG-IP の場合）

BIG-IP に物理サーバを定義するために、ネットワーク構成情報の物理サーバ構成情報を設定します。

物理サーバ構成情報はスイッチに直接設定される情報です。スイッチの状態が「正常」のときだけ設定できます。

BIG-IP の物理サーバ構成情報の設定で使用する画面について、マニュアルの参照先を次の表に示します。適宜参照してください。

表 4-3 物理サーバ構成情報の設定で使用する画面についてのマニュアル参照先（BIG-IP）

画面名	用途	参照先
[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス	<ul style="list-style-type: none"> プールの追加, 変更, および削除 物理サーバの追加, 変更, および削除 	11.7
[プールの設定] ダイアログボックス	プールの設定	11.8
[物理サーバの設定] ダイアログボックス	<ul style="list-style-type: none"> 物理サーバの設定 物理サーバポートの追加, 変更, および削除 	11.9
[物理サーバポートの設定] ダイアログボックス	物理サーバポートの設定	11.10
[設定結果] ダイアログボックス	設定結果の参照	11.13.2

4.3.1 プールを追加する

BIG-IP へ物理サーバを所属させるプールを追加する手順を次に示します。

1. SLB ビューを表示する。
2. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、プールを追加する BIG-IP または物理サーバツリーのルートを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [SLB 情報] - [物理サーバ構成情報の設定] を選択する。

[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。

[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [物理サーバ構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにある物理サーバ構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。

4. [プール一覧] の [プールの追加] ボタンをクリックする。
[プールの設定] ダイアログボックスが表示されます。

5. 各項目を設定する。
6. [プールの設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
[プールの設定] ダイアログボックスが閉じ、[物理サーバ構成情報の設定] の [プール一覧] に設定内容が反映されます。
設定した内容は、[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックしたときに BIG-IP に反映されます。ただし、新規に作成したプールに対して、構成する物理サーバが一つもないと、該当するプールはロードバランシングの対象として使用できません。プールを新規に作成する場合、同時に該当するプールを構成する物理サーバを一つ以上設定することを推奨します。
物理サーバを追加する方法については、「4.3.4 プールに物理サーバを追加する」を参照してください。

4.3.2 プールの設定内容を変更する

プールの設定内容を変更する手順を次に示します。

1. SLB ビューを表示する。
2. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、物理サーバツリー上の、設定内容を変更するプールを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [SLB 情報] - [物理サーバ構成情報の設定] を選択する。
選択したプールがフォーカスされた状態で、[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [物理サーバ構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにある物理サーバ構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. [プール一覧] の [プールの変更] ボタンをクリックする。
[プールの設定] ダイアログボックスが表示されます。
5. 設定内容を変更する。
6. [プールの設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
[プールの設定] ダイアログボックスが閉じ、[物理サーバ構成情報の設定] の [プール一覧] に設定内容が反映されます。
設定した内容は、[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックしたときに BIG-IP に反映されます。

4.3.3 プールを削除する

BIG-IP からプールを削除する手順を説明します。一度に複数のプールを選択すると、一括して削除することもできます。

1. SLB ビューを表示する。

4. SLB の設定

2. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、プールを削除する BIG-IP または物理サーバツリーのルートを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [SLB 情報] - [物理サーバ構成情報の設定] を選択する。
[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [物理サーバ構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにある物理サーバ構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. [プール一覧] から削除するプールを選択する。
削除するプールは複数選択できます。
5. [プール一覧] の [プールの削除] ボタンをクリックする。
[削除] ボタンをクリックすると、プールの削除を確認するダイアログボックスが表示されます。
6. [はい] ボタンをクリックする。
指定したプールが [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [プール一覧] から削除されます。
設定した内容は、[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックしたときに BIG-IP に反映されます。

! 注意事項

同じ名前のプールに対して、削除および追加を同時に実行することはできません。いったん [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックして該当するプールを削除したあと、改めて追加し直してください。

4.3.4 プールに物理サーバを追加する

プールに物理サーバを追加する手順を次に示します。

1. SLB ビューを表示する。
2. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、物理サーバを追加するプールを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [SLB 情報] - [物理サーバ構成情報の設定] を選択する。
選択したプールがフォーカスされた状態で、[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [物理サーバ構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにある物理サーバ構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。

4. [物理サーバー一覧] の [物理サーバの追加] ボタンをクリックする。
[物理サーバの設定] ダイアログボックスが表示されます。
5. 各項目を設定する。
6. [物理サーバの設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
[物理サーバの設定] ダイアログボックスが閉じ、[物理サーバ構成情報の設定] の [物理サーバー一覧] に追加した物理サーバが表示されます。
7. [物理サーバ構成情報の設定] の [OK] ボタンをクリックする。
物理サーバ構成情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示され
ます。
8. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容が BIG-IP に反映されま
す。処理が完了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイ
アログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉
じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。
9. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリック
する。

4.3.5 物理サーバの設定内容を変更する

物理サーバの設定内容を変更する手順を次に示します。

1. SLB ビューを表示する。
2. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、物理サー
バツリー上の、設定内容を変更する物理サーバを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [SLB 情報] - [物理サーバ構成情報の設定] を選択す
る。
選択した物理サーバおよび所属するプールがフォーカスされた状態で、[物理サーバ
構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの
[物理サーバ構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにある物理サーバ構成情報
の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. [物理サーバー一覧] の [物理サーバの変更] ボタンをクリックする。
[物理サーバの設定] ダイアログボックスが表示されます。
5. [物理サーバの設定] ダイアログボックスの設定内容を変更する。
6. [OK] ボタンをクリックする。
設定内容が記憶され、[物理サーバの設定] ダイアログボックスが閉じます。
7. [物理サーバ構成情報の設定] の [OK] ボタンをクリックする。
物理サーバ構成情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されま

4. SLB の設定

す。

8. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容が BIG-IP に反映され
ます。処理が完了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイ
アログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉
じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。
9. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリック
する。

4.3.6 物理サーバを削除する

BIG-IP から定義済みの物理サーバを削除する手順を説明します。一度に複数の物理サー
バを選択すると、一括して削除することもできます。

1. SLB ビューを表示する。
2. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、物理サー
バツリー上の、削除する物理サーバが所属するプールを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [SLB 情報] - [物理サーバ構成情報の設定] を選択す
る。
選択したプールがフォーカスされた状態で、[物理サーバ構成情報の設定] ダイアロ
グボックスが表示されます。
[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの
[物理サーバ構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにある物理サーバ構成情報
の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. [物理サーバー一覧] から削除する物理サーバを選択する。
削除する物理サーバは複数選択できます。
5. [物理サーバー一覧] の [物理サーバの削除] ボタンをクリックする。
[削除] ボタンをクリックすると、物理サーバの削除を確認するダイアログボックス
が表示されます。
6. [はい] ボタンをクリックする。
指定した物理サーバが [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [物理
サーバー一覧] から削除されます。
7. [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
物理サーバ構成情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されま
す。
8. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、変更内容が BIG-IP に反映されま
す。処理が終了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイ

アログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が終了するまで、ほかの設定はできません。

9. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] をクリックする。

! 注意事項

同じ名前または IP アドレスの物理サーバに対して、削除および追加を同時に実行することはできません。いったん [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックして該当する物理サーバを削除したあと、改めて追加し直してください。

4.3.7 物理サーバポートを設定する

物理サーバにポートを設定する手順を次に示します。

物理サーバポートの設定は、[物理サーバポートの設定] ダイアログボックスから操作します。[物理サーバポートの設定] ダイアログボックスで設定した内容は、[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックしたときにスイッチに反映されます。

(1) 物理サーバポートを追加する

物理サーバにポートを追加する手順を次に示します。

1. [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスを開く。
2. [物理サーバ一覧] の [物理サーバの追加] ボタンまたは [物理サーバの変更] ボタンをクリックして、[物理サーバの設定] ダイアログボックスを開く。
[物理サーバの変更] ボタンは、[物理サーバ一覧] から設定を変更する物理サーバを選択してからクリックします。
3. [物理サーバポート] の [追加] ボタンをクリックする。
[物理サーバポートの設定] ダイアログボックスが表示されます。
4. 各項目を設定する。
5. [OK] ボタンをクリックする。
[物理サーバポートの設定] ダイアログボックスが閉じ、[物理サーバの設定] ダイアログボックスの [物理サーバポート] に設定内容が反映されます。

(2) 物理サーバポートの設定を変更する

物理サーバポートの設定を変更する手順を次に示します。

1. [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスを開く。
2. [物理サーバ一覧] から設定を変更する物理サーバを選択し、[物理サーバの変更] ボタンをクリックする。

4. SLB の設定

[物理サーバの設定] ダイアログボックスが表示されます。

3. [物理サーバポート] から、設定を変更する物理サーバポートを選択する。

4. [変更] ボタンをクリックする。

[物理サーバポートの設定] ダイアログボックスが表示されます。

5. 設定内容を変更する。

6. [OK] ボタンをクリックする。

[物理サーバポートの設定] ダイアログボックスが閉じ、[物理サーバの設定] ダイアログボックスの [物理サーバポート] に設定内容が反映されます。

(3) 物理サーバポートを削除する

物理サーバからポートを削除する手順を次に示します。一度に複数の物理サーバポートを選択すると、一括して削除することもできます。

1. [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスを開く。

2. [物理サーバ一覧] から設定を変更する物理サーバを選択し、[物理サーバ一覧] の [物理サーバの変更] ボタンをクリックする。

[物理サーバの設定] ダイアログボックスが表示されます。

3. [物理サーバポート] から削除するポートを選択する。

削除するポートは複数選択できます。

4. [削除] ボタンをクリックする。

物理サーバポートの削除を確認するダイアログボックスが表示されます。

5. [はい] ボタンをクリックする。

指定した物理サーバポートが [物理サーバの設定] ダイアログボックスの [物理サーバポート] から削除されます。

4.4 物理サーバ構成情報を設定する (HA8000-ie/Loadflowbal の場合)

HA8000-ie/Loadflowbal に物理サーバを定義するために、ネットワーク構成情報の物理サーバ構成情報を設定します。

物理サーバ構成情報はスイッチに直接設定される情報です。スイッチの状態が「正常」のときだけ設定できます。

物理サーバ構成情報には、スイッチ構成情報で設定した情報を使用するものがあります。そのため、物理サーバ構成情報を設定する場合、スイッチ構成情報との設定の順序関係を意識して設定する必要があります。

HA8000-ie/Loadflowbal の物理サーバ構成情報の設定で使用する画面について、マニュアルの参照先を次の表に示します。適宜参照してください。

表 4-4 物理サーバ構成情報の設定で使用する画面についてのマニュアル参照先

画面名	用途	参照先
[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス	物理サーバの追加, 変更, および削除	12.9
[物理サーバの設定] ダイアログボックス	<ul style="list-style-type: none"> 物理サーバの設定 物理サーバポートの追加, 変更, および削除 	12.10
[物理サーバポートの設定] ダイアログボックス	物理サーバポートの設定	12.11
[設定結果] ダイアログボックス	設定結果の参照	12.14.2

4.4.1 物理サーバを追加する

HA8000-ie/Loadflowbal に物理サーバを追加する手順を次に示します。

1. SLB ビューを表示する。
2. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、物理サーバを追加する HA8000-ie/Loadflowbal または物理サーバツリーのルートを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [SLB 情報] - [物理サーバ構成情報の設定] を選択する。
 [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
 [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [物理サーバ構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにある物理サーバ構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. [物理サーバ一覧] の [追加] ボタンをクリックする。
 [物理サーバの設定] ダイアログボックスが表示されます。

4. SLB の設定

5. 各項目を設定する。
6. [物理サーバの設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
[物理サーバの設定] ダイアログボックスが閉じ、[物理サーバ構成情報の設定] の [物理サーバ一覧] に設定内容が反映されます。
7. [物理サーバ構成情報の設定] の [OK] ボタンをクリックする。
物理サーバ構成情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されま
す。
8. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容が HA8000-ie/
Loadflowbal に反映されます。処理が完了すると、[設定結果] ダイアログボックス
が表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイ
アログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉
じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。
9. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリック
する。

4.4.2 物理サーバの設定内容を変更する

物理サーバの設定内容を変更する手順を次に示します。

1. SLB ビューを表示する。
2. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、物理サー
バツリー上の、設定内容を変更する物理サーバを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [SLB 情報] - [物理サーバ構成情報の設定] を選択す
る。
選択した物理サーバがフォーカスされた状態で、[物理サーバ構成情報の設定] ダイ
アログボックスが表示されます。
[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの
[物理サーバ構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにある物理サーバ構成情報
の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. [物理サーバ一覧] の [変更] ボタンをクリックする。
[物理サーバの設定] ダイアログボックスが表示されます。
5. 設定内容を変更する。
6. [OK] ボタンをクリックする。
[物理サーバの設定] ダイアログボックスが閉じ、[物理サーバ構成情報の設定] の
[物理サーバ一覧] に設定内容が反映されます。
7. [物理サーバ構成情報の設定] の [OK] ボタンをクリックする。
物理サーバ構成情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されま

す。

8. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容が HA8000-ie/
Loadflowbal に反映されます。処理が完了すると、[設定結果] ダイアログボックス
が表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイ
アログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉
じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。
9. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリック
する。

4.4.3 物理サーバを削除する

HA8000-ie/Loadflowbal から定義済みの物理サーバを削除する手順を説明します。一度
に複数の物理サーバを選択すると、一括して削除することもできます。

1. SLB ビューを表示する。
2. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、物理サー
バツリーのルートを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [SLB 情報] - [物理サーバ構成情報の設定] を選択す
る。
[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの
[物理サーバ構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにある物理サーバ構成情報
の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. [物理サーバー一覧] から削除する物理サーバを選択する。
削除する物理サーバは複数選択できます。
5. [物理サーバー一覧] の [削除] ボタンをクリックする。
[削除] ボタンをクリックすると、物理サーバの削除を確認するダイアログボックス
が表示されます。
6. [はい] ボタンをクリックする。
指定した物理サーバが [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [物理
サーバー一覧] から削除されます。
7. [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
物理サーバ構成情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されま
す。
8. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容が HA8000-ie/
Loadflowbal に反映されます。処理が完了すると、[設定結果] ダイアログボックス

4. SLB の設定

が表示されます。

ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果]ダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。

9. 設定結果を確認し、[設定結果]ダイアログボックスの[閉じる]ボタンをクリックする。

! 注意事項

同じ名前または IP アドレスの物理サーバに対して、削除および追加を同時に実行することはできません。いったん [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックして該当する物理サーバを削除したあと、改めて追加し直してください。

4.4.4 物理サーバポートを設定する

物理サーバにポートを設定する手順を次に示します。

物理サーバポートの設定は [物理サーバポートの設定] ダイアログボックスから操作します。[物理サーバポートの設定] ダイアログボックスで設定した内容は、[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックしたときにスイッチに反映されます。

(1) 物理サーバポートを追加する

物理サーバにポートを追加する手順を次に示します。

1. [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスを開く。
2. [物理サーバ一覧] の [追加] ボタンまたは [変更] ボタンをクリックして、[物理サーバの設定] ダイアログボックスを開く。
[変更] ボタンは、[物理サーバ一覧] から設定を変更する物理サーバを選択してからクリックします。
3. [物理サーバポート] の [追加] ボタンをクリックする。
[物理サーバポートの設定] ダイアログボックスが表示されます。
4. 各項目を設定する。
5. [OK] ボタンをクリックする。
[物理サーバポートの設定] ダイアログボックスが閉じ、[物理サーバの設定] ダイアログボックスの [物理サーバポート] に設定内容が反映されます。

(2) 物理サーバポートの設定を変更する

物理サーバポートの設定を変更する手順を次に示します。

1. [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスを開く。

2. [物理サーバー一覧] から設定を変更する物理サーバを選択し,[物理サーバー一覧]の [変更] ボタンをクリックする。
[物理サーバポートの設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. 設定内容を変更する。
4. [OK] ボタンをクリックする。
[物理サーバポートの設定] ダイアログボックスが閉じ,[物理サーバの設定] ダイアログボックスの [物理サーバポート] に設定内容が反映されます。

(3) 物理サーバポートを削除する

物理サーバからポートを削除する手順を次に示します。一度に複数の物理サーバポートを選択すると、一括して削除することもできます。

1. [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスを開く。
2. [物理サーバー一覧] から設定を変更する物理サーバを選択し,[物理サーバー一覧]の [変更] ボタンをクリックする。
[物理サーバの設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. [物理サーバポート] から削除するポートを選択したあと,[削除] ボタンをクリックする。
物理サーバポートは複数選択できます。
物理サーバポートの削除を確認するダイアログボックスが表示されます。
4. [はい] ボタンをクリックする。
指定した物理サーバポートが [物理サーバの設定] ダイアログボックスの [物理サーバポート] から削除されます。

4.5 物理サーバ構成情報を設定する（STM の場合）

STM に登録されている会社に物理サーバを定義するために、ネットワーク構成情報の物理サーバ構成情報を設定します。

物理サーバ構成情報はスイッチに直接設定される情報です。スイッチの状態が「正常」のときだけ設定できます。

STM の物理サーバ構成情報の設定で使用する画面について、マニュアルの参照先を次の表に示します。適宜参照してください。

表 4-5 物理サーバ構成情報の設定で使用する画面についてのマニュアル参照先（STM）

画面名	用途	参照先
[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス	物理サーバの追加, 変更, および削除	13.2
[物理サーバの設定] ダイアログボックス	物理サーバの設定	13.3
[設定結果] ダイアログボックス	設定結果の参照	13.9.1

4.5.1 物理サーバを追加する

STM に登録されている会社に物理サーバを追加する手順を次に示します。

1. SLB ビューを表示する。
2. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、物理サーバツリーのルートを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [SLB 情報] - [物理サーバ構成情報の設定] を選択する。
[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [物理サーバ構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにある物理サーバ構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. [会社一覧] から、物理サーバを設定する会社を選択し、[物理サーバ一覧] の [追加] ボタンをクリックする。
[物理サーバの設定] ダイアログボックスが表示されます。
5. 各項目を設定する。
6. [物理サーバの設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
[物理サーバの設定] ダイアログボックスが閉じ、[物理サーバ構成情報の設定] の [物理サーバ一覧] に設定内容が反映されます。

7. [物理サーバ構成情報の設定] の [OK] ボタンをクリックする。
物理サーバ構成情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。
8. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容が STM に反映されます。
処理が完了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。
9. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリックする。

4.5.2 物理サーバの設定内容を変更する

物理サーバの設定内容を変更する手順を次に示します。

1. SLB ビューを表示する。
2. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーで、物理サーバツリーから、設定内容を変更する物理サーバを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [SLB 情報] - [物理サーバ構成情報の設定] を選択する。
選択した物理サーバがフォーカスされた状態で、[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [物理サーバ構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにある物理サーバ構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. [物理サーバ一覧] の [変更] ボタンをクリックする。
[物理サーバの設定] ダイアログボックスが表示されます。
5. 設定内容を変更する。
6. [OK] ボタンをクリックする。
[物理サーバの設定] ダイアログボックスが閉じ、[物理サーバ構成情報の設定] の [物理サーバ一覧] に設定内容が反映されます。
7. [物理サーバ構成情報の設定] の [OK] ボタンをクリックする。
物理サーバ構成情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。
8. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容が STM に反映されます。
処理が完了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイ

4. SLB の設定

アログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。

9. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリックする。

4.5.3 物理サーバを削除する

STM に登録されている会社から、設定済みの物理サーバを削除する手順を説明します。一度に複数の物理サーバを選択すると、一括して削除することもできます。

1. SLB ビューを表示する。
2. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、物理サーバツリーのルートを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [SLB 情報] - [物理サーバ構成情報の設定] を選択する。
[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [物理サーバ構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにある物理サーバ構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. [会社一覧] から、物理サーバを削除する会社を選択する。
[物理サーバ一覧] に、選択した会社を設定されている物理サーバが一覧で表示されます。
5. [物理サーバ一覧] から削除する物理サーバを選択する。
削除する物理サーバは複数選択できます。
6. [物理サーバ一覧] の [削除] ボタンをクリックする。
[削除] ボタンをクリックすると、物理サーバの削除を確認するダイアログボックスが表示されます。
7. [はい] ボタンをクリックする。
指定した物理サーバが [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [物理サーバ一覧] から削除されます。
8. [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
物理サーバ構成情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されません。
9. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容が STM に反映されます。処理が完了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。

10. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリックする。

! 注意事項

同じ名前または IP アドレスの物理サーバに対して、削除および追加を同時に実行することはできません。いったん [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックして該当する物理サーバを削除したあと、改めて追加し直してください。

4.6 バインド構成情報を設定する（STM 以外の場合）

論理サーバと物理サーバを対応づけるために、ネットワーク構成情報のバインド構成情報を設定します。

バインド構成情報は、スイッチに直接設定される情報です。スイッチの状態が「正常」のときだけ設定できます。

バインド構成情報の設定で使用する画面について、マニュアルの参照先をスイッチ別に次の表に示します。適宜参照してください。

表 4-6 バインド構成情報の設定で使用する画面についてのマニュアル参照先

画面名	用途	参照先	
		BIG-IP	HA8000-ie/ Loadflowbal
[バインド構成情報の設定] ダイアログボックス	バインドの設定の追加, 変更, および削除	11.11	12.12
[バインドの設定] ダイアログボックス	バインドの設定	11.12	12.13
[設定結果] ダイアログボックス	設定結果の参照	11.13.3	12.14.3

バインド構成情報を設定する手順を次に示します。

4.6.1 バインドの設定を追加する

バインドの設定を追加する手順を次に示します。

1. SLB ビューを表示する。
2. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、バインド状況ツリーのルートを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [SLB 情報] - [バインド構成情報の設定] を選択する。
[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [バインド構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにあるバインド構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. [論理サーバー一覧] の [追加] ボタンをクリックする。
[バインドの設定] ダイアログボックスが表示されます。
5. 各項目を設定する。
必ず一つ以上バインドを設定してください。

6. [バインドの設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
[バインドの設定] ダイアログボックスが閉じ、[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスの [論理サーバー一覧] に設定内容が追加されます。
7. [バインド構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
バインド構成情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。
8. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容がスイッチに反映されま
す。処理が完了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイ
アログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉
じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。
9. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリック
する。

4.6.2 バインドの設定を変更する

バインドの設定を変更する手順を次に示します。

1. SLB ビューを表示する。
2. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーのバインド状況
ツリーから、バインドの設定を変更する論理サーバを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [SLB 情報] - [バインド構成情報の設定] を選択す
る。
選択した論理サーバがフォーカスされた状態で、該当するスイッチの [バインド構成
情報の設定] ダイアログボックスが、表示されます。
[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [バ
インド構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにあるバインド構成情報の設定ボ
タンをクリックしたりしても表示できます。
4. [論理サーバー一覧] の [変更] ボタンをクリックする。
[バインドの設定] ダイアログボックスが表示されます。
5. 設定内容を変更する。
6. [バインドの設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
設定内容が記憶され、[バインドの設定] ダイアログボックスが閉じます。
なお、HA8000-ie/Loadflowbal の設定では、[バインドの設定] ダイアログボックス
で [バインド済み物理サーバ] からすべての物理サーバを削除した場合、バインドそ
のものの削除として扱われます。そのため、[バインド構成情報の設定] ダイアログ
ボックスの [論理サーバー一覧] からは、該当する論理サーバのバインド情報が削除さ
れます。
7. [バインド構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。

4. SLB の設定

バインド構成情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。

8. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容がスイッチに反映され
ます。処理が完了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイ
アログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉
じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。
9. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリック
する。

4.6.3 バインドの設定を削除する

バインドの設定を削除する手順を次に示します。一度に複数のバインドを選択すると、
一括して削除することもできます。

1. SLB ビューを表示する。
2. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、該当する
スイッチのバインド状況ツリーのルートを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [SLB 情報] - [バインド構成情報の設定] を選択す
る。
[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [バ
インド構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにあるバインド構成情報の設定ボ
タンをクリックしたりしても表示できます。
4. [論理サーバー一覧] からバインドの設定を削除する論理サーバを選択する。
削除する論理サーバは複数選択できます。
5. [論理サーバー一覧] の [削除] ボタンをクリックする。
[削除] ボタンをクリックすると、バインド設定の削除を確認するダイアログボック
スが表示されます。
6. [はい] ボタンをクリックする。
指定した論理サーバのバインド設定が [バインド構成情報の設定] ダイアログボック
スの [論理サーバー一覧] から削除されます。
7. [バインド構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
バインド構成情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。
8. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容がスイッチに反映されま
す。処理が完了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイ
アログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉
じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。

9. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリックする。

! 注意事項

同じ論理サーバポートに対して、バインドの削除および追加を同時に実行することはできません。いったん [バインド構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックして該当するバインドを削除したあと、改めて追加し直してください。

4.7 バインド構成情報を設定する（STM の場合）

STM に設定されているゾーンにグループまたは物理サーバを対応づけるために、ネットワーク構成情報のバインド構成情報を設定します。

バインド構成情報は、スイッチに直接設定される情報です。スイッチの状態が「正常」のときだけ設定できます。

STM のバインド構成情報の設定で使用する画面について、マニュアルの参照先を次の表に示します。STM では、上位要素によって追加できる要素に制限があります。各ダイアログボックスの説明を参照し、追加できる要素を確認した上でバインド構成情報を設定してください。

！ 注意事項

次に示す理由から、STM のバインド構成情報を設定する前および設定したあとには、必ず構成情報の同期を取り、最新の設定状況を取得および確認してください。また、意図しない設定になっている場合は、再度設定をし直してください。

- STM は、過去に設定していたバインドの情報を記憶しているため、JP1/Cm2/NC でバインド構成情報を設定するときに過去の設定が復元され、意図しない設定になったり設定が失敗したりする場合があります。
- あるグループに対してバインドを設定したとき、それ以降に別のバインドでそのグループを追加すると、該当するグループのバインド状況も含めてバインドされます。しかし、JP1/Cm2/NC・View による設定では、該当するグループにバインドを設定した位置にだけ配下のバインド状況が表示され、それ以降別のバインドで使用する該当グループの配下には表示されません。
- バインド構成情報の設定時、スイッチへの設定自体は成功していても、KDNV30153-E、KDNV31014-E、KDNV31020-E メッセージが出力される場合があります。

表 4-7 バインド構成情報の設定で使用する画面についてのマニュアル参照先

画面名	用途	参照先
[バインド構成情報の設定] ダイアログボックス	バインドの設定の追加、変更、および削除	13.4
[ゾーンの選択] ダイアログボックス	バインドを定義するゾーンの選択	13.5
[バインドの設定] ダイアログボックス	バインドの設定	13.6
[グループの選択] ダイアログボックス	ゾーンに追加するグループの選択	13.7
[物理サーバの選択] ダイアログボックス	ゾーンに追加する物理サーバの選択	13.8
[設定結果] ダイアログボックス	設定結果の参照	13.9.2

バインド構成情報を設定する手順を次に示します。

4.7.1 バインドの設定を追加する

バインドの設定を追加する手順を次に示します。

1. SLB ビューを表示する。
2. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、バインド状況ツリーのルートを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [SLB 情報] - [バインド構成情報の設定] を選択する。
[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [バインド構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにあるバインド構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. [会社一覧] からゾーンを追加する会社を選択し、[ゾーン一覧] の [追加] ボタンをクリックする。
[ゾーンを選択] ダイアログボックスが表示されます。
5. [ゾーンを選択] ダイアログボックスで、追加するゾーン名を選択し、[OK] ボタンをクリックする。
[バインドの設定] ダイアログボックスが表示されます。
[バインドの設定] ダイアログボックスには、会社名をルートに、選択したゾーンがツリー状に表示されています。
6. [バインドの設定] ダイアログボックスに表示された該当するゾーン名を選択し、右クリックする。
グループ名または物理サーバ名を追加するショートカットメニューが表示されます。
7. グループまたは物理サーバを追加する。
グループを追加する場合は [グループの選択] ダイアログボックスが、物理サーバを追加する場合は [物理サーバの選択] ダイアログボックスが表示されます。
それぞれのダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックすると、[バインドの設定] ダイアログボックスに結果が反映されます。
8. [バインドの設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
[バインドの設定] ダイアログボックスが閉じ、[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスの [ゾーン一覧] に追加したゾーンが表示されます。
9. [バインド構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
バインド構成情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。
10. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容が STM に反映されます。
処理が完了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。

4. SLB の設定

11. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリックする。

4.7.2 バインドの設定を変更する

バインドの設定を変更する手順を次に示します。

1. SLB ビューを表示する。
2. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーで、バインド状況ツリーから、バインドの設定を変更するゾーンを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [SLB 情報] - [バインド構成情報の設定] を選択する。
選択したゾーンがフォーカスされた状態で、該当する STM の [バインド構成情報の設定] ダイアログボックスが、表示されます。
[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [バインド構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにあるバインド構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. [ゾーン一覧] の [変更] ボタンをクリックする。
[バインドの設定] ダイアログボックスが表示されます。
[バインドの設定] ダイアログボックスには、会社名をルートに、現在のバインド状況がツリー状に表示されます。
5. [バインドの設定] ダイアログボックスに表示されたゾーン配下の任意の要素を選択し、右クリックする。
グループ名または物理サーバ名を追加または削除するショートカットメニューが表示されます。
6. グループおよび物理サーバを追加または削除する。
グループを追加する場合は [グループの選択] ダイアログボックスが、物理サーバを追加する場合は [物理サーバの選択] ダイアログボックスが表示されます。
それぞれのダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックすると、[バインドの設定] ダイアログボックスに結果が反映されます。
なお、バインド済みのグループまたは物理サーバを、別のグループまたは物理サーバに変更したい場合は、いったんバインド済みのグループまたは物理サーバを削除してから、改めて追加してください。
7. [バインドの設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
設定内容が記憶され、[バインドの設定] ダイアログボックスが閉じます。
8. [バインド構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
バインド構成情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。
9. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容が STM に反映されます。
処理が完了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。

ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。

10. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリックする。

4.7.3 バインドの設定を削除する

バインドの設定を削除する手順を次に示します。一度に複数のバインドを選択すると、一括して削除することもできます。

1. SLB ビューを表示する。
2. SLB ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、バインド状況ツリーのルートを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [SLB 情報] - [バインド構成情報の設定] を選択する。

[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。

[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [バインド構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにあるバインド構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。

4. [会社一覧] から、削除するゾーンが設定されている会社を選択する。
[ゾーン一覧] に、選択した会社に設定されている、バインド済みのゾーンが一覧表示されます。
5. [ゾーン一覧] からバインドの設定を削除するゾーンを選択する。
削除するゾーンは複数選択できます。
6. [ゾーン一覧] の [削除] ボタンをクリックする。
[削除] ボタンをクリックすると、バインド設定の削除を確認するダイアログボックスが表示されます。
7. [はい] ボタンをクリックする。
指定したゾーンのバインド設定が [バインド構成情報の設定] ダイアログボックスの [ゾーン一覧] から削除されます。
8. [バインド構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
バインド構成情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。
9. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容が STM に反映されます。処理が完了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。

4. SLB の設定

10. 設定結果を確認し, [設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリックする。

注意事項

同じゾーンに対して, バインドの削除および追加を同時に実行することはできません。いったん [バインド構成情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックして該当するバインドを削除したあと, 改めて追加し直してください。

5

VLAN および SLB 以外の情報の設定

この章では、JP1/Cm2/NC の [Network Element Configuration - View] ウィンドウのスイッチ構成ビューで設定できるスイッチの機能について、設定手順を説明します。スイッチ構成ビューで設定できるスイッチの機能とは、アクセス制御、QoS 制御およびアップリンクフェイルオーバーです。なお、操作手順の説明で使用している JP1/Cm2/NC - View の各画面については、6 章、14 章および 15 章に記載されている画面の説明を参照してください。また、各スイッチの設定内容の詳細については、各スイッチのソフトウェアマニュアルを参照してください。

-
- 5.1 アクセス制御を設定する (AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 の場合)

 - 5.2 アクセス制御を設定する (BS1000 の場合)

 - 5.3 QoS 制御を設定する

 - 5.4 アップリンクフェイルオーバーを設定する
-

5.1 アクセス制御を設定する (AX2400S ・ AX3600S ・ BS2000 ・ BS320 ・ BS500 ・ BS500 1Gbx40 の場合)

JP1/Cm2/NC では、AX2400S、AX3600S、BS2000、BS320、BS500、および BS500 1Gbx40 に対してアクセス制御を設定できます。アクセス制御の各設定について、次に説明します。

5.1.1 スイッチヘフロー検出モードを指定する

スイッチヘフロー検出モードを指定するために、ネットワーク構成情報のスイッチ構成情報を設定します。

スイッチ構成情報は、スイッチに直接設定される情報です。スイッチの状態が「正常」のときだけ設定できます。

スイッチ構成情報で設定したフロー検出モードによって、スイッチで検出できるフローが異なります。フロー検出の条件は、アクセス制御情報で設定します。そのため、アクセス制御情報の設定を意識してスイッチ構成情報を設定する必要があります。

スイッチ構成情報の設定で使用する画面について、マニュアルの参照先を次の表に示します。適宜参照してください。

表 5-1 スイッチ構成情報の設定で使用する画面についてのマニュアル参照先

画面名	用途	参照先
[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス	スイッチ構成情報の設定	14.8, 14.9

(1) AX2400S ・ AX3600S の場合

AX2400S および AX3600S のフロー検出モードを指定する手順を次に示します。

1. スイッチ構成ビューを表示する。
2. スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、スイッチ構成情報を設定するスイッチを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [スイッチ構成情報の設定] を選択する。
[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [スイッチ構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにあるスイッチ構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. フロー検出モードをプルダウンメニューから選択する。

スイッチによって選択できるモードが異なります。

5. [OK] ボタンをクリックする。

設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容がスイッチに反映されません。処理が完了すると、設定完了のダイアログボックスが表示されます。

ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、設定完了のダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。

6. 設定完了のダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。

(2) BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 の場合

BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 のフロー検出モードを指定する手順を次に示します。

1. スイッチ構成ビューを表示する。

2. スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、スイッチ構成情報を設定するスイッチを選択する。

3. メニューバーから [編集] - [スイッチ構成情報の設定] を選択する。

[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。

[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [スイッチ構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにあるスイッチ構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。

4. [フロー検出モード] ページを選択する。

5. フロー検出モードをプルダウンメニューから選択する。

スイッチによって選択できるモードが異なります。

6. [OK] ボタンをクリックする。

設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容がスイッチに反映されません。処理が完了すると、設定完了のダイアログボックスが表示されます。

ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、設定完了のダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。

7. 設定完了のダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。

5.1.2 アクセス制御リスト情報を設定する

スイッチへアクセス制御をするフィルターを定義するために、ネットワーク構成情報のアクセス制御リスト情報を設定します。ここで定義したフィルターは、アクセス制御情報の設定でインターフェースに適用することで、アクセス制御として有効になります。アクセス制御をする場合は、まずアクセス制御リスト情報の設定でフィルターを定義する必要があります。

5. VLAN および SLB 以外の情報の設定

アクセス制御リスト情報は、スイッチに直接設定される情報です。スイッチの状態が「正常」のときにだけ設定できます。

アクセス制御リスト情報の設定で使用する画面について、マニュアルの参照先を次の表に示します。適宜参照してください。

表 5-2 アクセス制御リスト情報の設定で使用する画面についてのマニュアル参照先

画面名	用途	参照先	
[アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックス	<ul style="list-style-type: none"> アクセス制御リスト情報の設定 MAC フィルター, IPv4 アドレスフィルター, IPv4 パケットフィルター, または IPv6 フィルターの追加, 変更および削除 	14.10	
[MAC フィルターの設定] ダイアログボックス	<ul style="list-style-type: none"> MAC フィルターのフィルター名, 説明の設定 フィルター条件の追加, 変更, および削除 	14.11	
[MAC フィルター条件の設定] ダイアログボックス	フィルター条件の設定	14.12	
[IPv4 アドレスフィルターの設定] ダイアログボックス	<ul style="list-style-type: none"> IPv4 アドレスフィルターのフィルター名, 説明の設定 フィルター条件の追加, 変更, および削除 	14.13	
[IPv4 アドレスフィルター条件の設定] ダイアログボックス	フィルター条件の設定	14.14	
[IPv4 パケットフィルターの設定] ダイアログボックス	<ul style="list-style-type: none"> IPv4 パケットフィルターのフィルター名, 説明の設定 フィルター条件の追加, 変更, および削除 	14.15	
[IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックス	フィルター条件の設定	AX2400S および AX3600S の場合	14.16
		BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 の場合	14.17
[IPv6 フィルターの設定] ダイアログボックス	<ul style="list-style-type: none"> IPv6 フィルターのフィルター名, 説明の設定 フィルター条件の追加, 変更, および削除 	14.18	
[IPv6 フィルター条件の設定] ダイアログボックス	フィルター条件の設定	14.19	
[設定結果] ダイアログボックス	設定結果の確認	14.21.1	

(1) フィルターを追加する

アクセス制御リストにフィルターを追加する手順を次に示します。

1. スイッチ構成ビューを表示する。
2. スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、フィルターを追加するスイッチを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [アクセス制御情報] - [アクセス制御リスト情報の設定] を選択する。
[アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [アクセス制御] - [アクセス制御リスト情報の設定] を選択しても表示できません。
4. 追加したいフィルターのフィルター一覧にある [追加] ボタンをクリックする。
クリックした [追加] ボタンに対応するフィルター一覧によって、次のどれかが表示されます。
 - MAC フィルター一覧の場合
[MAC フィルターの設定] ダイアログボックス
 - IPv4 アドレスフィルター一覧の場合
[IPv4 アドレスフィルターの設定] ダイアログボックス
 - IPv4 パケットフィルター一覧の場合
[IPv4 パケットフィルターの設定] ダイアログボックス
 - IPv6 フィルター一覧の場合
[IPv6 フィルターの設定] ダイアログボックス
5. フィルターの設定ダイアログボックスで、フィルターの情報を設定する。
[フィルター名] は必ず指定してください。また、[説明] と [フィルター条件] は、どちらかを必ず指定してください。
6. フィルターの設定ダイアログボックスで、[OK] ボタンをクリックする。
フィルターの設定ダイアログボックスが閉じ、[アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスのフィルター一覧に、設定したフィルターが追加表示されます。
7. [アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
アクセス制御リスト情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。
8. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容がスイッチに反映されます。処理が完了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じて処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。

5. VLAN および SLB 以外の情報の設定

9. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリックする。

(2) フィルターの設定内容を変更する

アクセス制御リストに設定されているフィルターの設定内容を変更する手順を次に示します。

1. スイッチ構成ビューを表示する。
2. スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、フィルターの設定内容を変更するスイッチを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [アクセス制御情報] - [アクセス制御リスト情報の設定] を選択する。
[アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [アクセス制御] - [アクセス制御リスト情報の設定] を選択しても表示できません。
4. フィルター一覧から変更したいフィルターの行を一つ選択し、[変更] ボタンをクリックする。
クリックした [変更] ボタンに対応するフィルター一覧によって、次のどれかが表示されます。
 - MAC フィルター一覧の場合
[MAC フィルターの設定] ダイアログボックス
 - IPv4 アドレスフィルター一覧の場合
[IPv4 アドレスフィルターの設定] ダイアログボックス
 - IPv4 パケットフィルター一覧の場合
[IPv4 パケットフィルターの設定] ダイアログボックス
 - IPv6 フィルター一覧の場合
[IPv6 フィルターの設定] ダイアログボックス
5. フィルターの設定内容を変更する。
[説明] または [フィルター条件] を変更できます。
6. [OK] ボタンをクリックする。
フィルターの設定ダイアログボックスを閉じ、[アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスのフィルター一覧に設定内容が反映されます。
インターフェースに適用されていないフィルターで、[フィルター名] 以外に何も設定しなかった場合、またはインターフェースに適用されているがスイッチに実在しないフィルターの場合は、そのフィルターの削除を確認するダイアログボックスが表示されます。確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックすると、そのフィルターは削除され、[アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスのフィルター一覧からも削除されます。
7. [アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックす

る。

アクセス制御リスト情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。

8. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容がスイッチに反映されます。処理が完了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。
9. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリックする。

(3) フィルターを削除する

アクセス制御リストに設定されているフィルターを削除する手順を次に示します。一度に複数のフィルターを選択すると、一括して削除することもできます。

1. スイッチ構成ビューを表示する。
2. スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、フィルターを削除するスイッチを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [アクセス制御情報] - [アクセス制御リスト情報の設定] を選択する。
[アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [アクセス制御] - [アクセス制御リスト情報の設定] を選択しても表示できません。
4. フィルター一覧から削除するフィルターの行を選択する。
削除するフィルターは複数選択できます。インターフェースに適用されていて、かつスイッチに実在しているフィルターは削除できません。
5. フィルター一覧の [削除] ボタンをクリックする。
[削除] ボタンをクリックすると、フィルターの削除を確認するダイアログボックスが表示されます。
6. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
選択したフィルターが、フィルター一覧から削除されます。
7. [アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
アクセス制御情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。
8. 設定処理開始確認用のダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、変更内容がスイッチに反映されます。処理が終了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイ

5. VLAN および SLB 以外の情報の設定

アログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。

9. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリックする。

(4) フィルター条件を設定する

各フィルターの設定で、フィルター条件を設定する手順について説明します。

フィルター条件の設定は次に示す各フィルターの設定ダイアログボックスから操作します。

- [MAC フィルターの設定] ダイアログボックス
- [IPv4 アドレスフィルターの設定] ダイアログボックス
- [IPv4 パケットフィルターの設定] ダイアログボックス
- [IPv6 フィルターの設定] ダイアログボックス

フィルターの設定ダイアログボックスで設定した内容は、[アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックしたときにスイッチに反映されません。

(a) フィルター条件を追加する

フィルターの設定で、フィルター条件を追加する手順を次に示します。

1. [アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスを開く。
2. 各フィルター一覧の [追加] ボタンまたは [変更] ボタンをクリックして、フィルターの設定ダイアログボックスを開く。
[変更] ボタンは、フィルター一覧からフィルター条件を追加するフィルターを選択してからクリックします。クリックしたボタンに対応するフィルター一覧によって、次のどれかが表示されます。
 - MAC フィルター一覧の場合
[MAC フィルターの設定] ダイアログボックス
 - IPv4 アドレスフィルター一覧の場合
[IPv4 アドレスフィルターの設定] ダイアログボックス
 - IPv4 パケットフィルター一覧の場合
[IPv4 パケットフィルターの設定] ダイアログボックス
 - IPv6 フィルター一覧の場合
[IPv6 フィルターの設定] ダイアログボックス
3. [フィルター条件] の [追加] ボタンをクリックする。
フィルター条件の設定ダイアログボックスが表示されます。[追加] ボタンをクリックしたダイアログボックスによって、次のどれかが表示されます。
 - [MAC フィルターの設定] ダイアログボックスの場合
[MAC フィルター条件の設定] ダイアログボックス

- [IPv4 アドレスフィルターの設定] ダイアログボックスの場合
[IPv4 アドレスフィルター条件の設定] ダイアログボックス
- [IPv4 パケットフィルターの設定] ダイアログボックスの場合
[IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックス
- [IPv6 フィルターの設定] ダイアログボックスの場合
[IPv6 フィルター条件の設定] ダイアログボックス

4. 各項目を設定する。

5. フィルター条件の設定ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
フィルター条件の設定ダイアログボックスが閉じ、フィルターの設定ダイアログボックスの [フィルター条件] に、追加したフィルター条件が追加表示されます。
設定内容は、[アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックしたときにスイッチに反映されます。

(b) フィルター条件の内容を変更する

フィルターの設定で、フィルター条件の内容を変更する手順を次に示します。

1. [アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスを開く。
2. 各フィルター一覧の [追加] ボタンまたは [変更] ボタンをクリックして、フィルターの設定ダイアログボックスを開く。
[変更] ボタンは、フィルター一覧からフィルター条件を変更するフィルターを選択してからクリックします。クリックしたボタンに対応するフィルター一覧によって、次のどれかが表示されます。
 - MAC フィルター一覧の場合
[MAC フィルターの設定] ダイアログボックス
 - IPv4 アドレスフィルター一覧の場合
[IPv4 アドレスフィルターの設定] ダイアログボックス
 - IPv4 パケットフィルター一覧の場合
[IPv4 パケットフィルターの設定] ダイアログボックス
 - IPv6 フィルター一覧の場合
[IPv6 フィルターの設定] ダイアログボックス
3. [フィルター条件] から変更したいフィルター条件を一つ選択して [変更] ボタンをクリックする。
フィルター条件の設定ダイアログボックスが表示されます。[変更] ボタンをクリックしたダイアログボックスによって、次のどれかが表示されます。
 - [MAC フィルターの設定] ダイアログボックスから表示された場合
[MAC フィルター条件の設定] ダイアログボックス
 - [IPv4 アドレスフィルターの設定] ダイアログボックスから表示された場合
[IPv4 アドレスフィルター条件の設定] ダイアログボックス
 - [IPv4 パケットフィルターの設定] ダイアログボックスから表示された場合
[IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックス

5. VLAN および SLB 以外の情報の設定

- [IPv6 フィルターの設定] ダイアログボックスから表示された場合
[IPv6 フィルター条件の設定] ダイアログボックス

4. 必要な項目を変更する。

5. フィルター条件の設定ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。

フィルター条件の設定ダイアログボックスが閉じ、フィルターの設定ダイアログボックスの [フィルター条件] に、設定内容が反映されます。

設定内容は、[アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックしたときにスイッチに反映されます。

(c) フィルター条件を削除する

フィルターの設定で、フィルター条件を削除する手順を次に示します。一度に複数の条件を選択すると、一括して削除することもできます。

1. [アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスを開く。

2. 各フィルター一覧の [追加] ボタンまたは [変更] ボタンをクリックして、フィルターの設定ダイアログボックスを開く。

[変更] ボタンは、フィルター一覧からフィルター条件を削除するフィルターを選択してからクリックします。クリックしたボタンに対応するフィルター一覧によって、次のどれかが表示されます。

- MAC フィルター一覧の場合
[MAC フィルターの設定] ダイアログボックス
- IPv4 アドレスフィルター一覧の場合
[IPv4 アドレスフィルターの設定] ダイアログボックス
- IPv4 パケットフィルター一覧の場合
[IPv4 パケットフィルターの設定] ダイアログボックス
- IPv6 フィルター一覧の場合
[IPv6 フィルターの設定] ダイアログボックス

3. [フィルター条件] から削除するフィルター条件を選択し、[削除] ボタンをクリックする。

削除するフィルター条件は複数選択できます。

[削除] ボタンをクリックすると、フィルター条件の削除を確認するダイアログボックスが表示されます。

4. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。

選択したフィルター条件が、[フィルター条件] から削除されます。

設定内容は、[アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックしたときにスイッチに反映されます。

(5) フィルター条件の優先順位を変更する

設定したフィルター条件について、上位、または下位の優先順位のフィルター条件と、優先順位を入れ替えられます。

アクセス制御リスト情報の設定で、フィルター条件の優先順位を変更する手順を次に示します。

1. [アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスを開く。
2. フィルター一覧からフィルター条件の優先順位を変更するフィルターを選択し、[変更] ボタンをクリックする。
 クリックした [変更] ボタンに対応するフィルター一覧によって、次のどれかが表示されます。
 - MAC フィルター一覧の場合
 [MAC フィルターの設定] ダイアログボックス
 - IPv4 アドレスフィルター一覧の場合
 [IPv4 アドレスフィルターの設定] ダイアログボックス
 - IPv4 パケットフィルター一覧の場合
 [IPv4 パケットフィルターの設定] ダイアログボックス
 - IPv6 フィルター一覧の場合
 [IPv6 フィルターの設定] ダイアログボックス
3. [フィルター条件] から、順位を入れ替えたい条件を一つ選択する。
4. [上に移動] ボタン、または [下に移動] ボタンを、任意の回数クリックする。
 上位のフィルター条件と優先順位を入れ替えたい場合は [上に移動] ボタンを、下位のフィルター条件と入れ替えたい場合は [下に移動] ボタンをクリックしてください。
 ボタンをクリックするごとに、該当するフィルター条件が上位または下位のフィルター条件と入れ替わります。
 設定内容は、[アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックしたときにスイッチに反映されます。

5.1.3 アクセス制御情報を設定する

スイッチに適用するアクセス制御の内容を定義するために、ネットワーク構成情報のアクセス制御情報を設定します。アクセス制御情報の設定として、アクセス制御リスト情報の設定で定義したフィルターをインターフェースに適用することで、アクセス制御が有効になります。

アクセス制御情報は、スイッチに直接設定される情報です。スイッチの状態が「正常」のときにだけ設定できます。

アクセス制御情報は、スイッチ構成情報で設定するフロー制御の状態と関連しています。そのため、アクセス制御情報を設定する場合は、スイッチ構成情報との関連を意識して設定してください。

アクセス制御情報の設定で使用する画面について、マニュアルの参照先を次の表に示します。適宜参照してください。

表 5-3 アクセス制御情報の設定で使用する画面についてのマニュアル参照先

画面名	用途	参照先
[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックス	アクセス制御情報の設定	14.20
[設定結果] ダイアログボックス	設定結果の確認	14.21.2

(1) ポートにフィルターを適用する

ポートに対し、アクセス制御として適用するフィルターを設定する手順を次に示します。

1. スイッチ構成ビューを表示する。
2. スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、フィルターを適用するスイッチまたはポートを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [アクセス制御情報] - [アクセス制御情報の設定] を選択する。
[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [アクセス制御] - [アクセス制御情報の設定] を選択したり、ツールバーにあるアクセス制御情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. [選択可能ポート] で、フィルターを適用したいポートを選択する。
ポートを選択して [アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスを表示した場合は、そのポートが [選択可能ポート] で選択された状態になっています。
ポートは複数選択できます。
5. [変更後の MAC フィルター], [変更後の IPv4 フィルター], および [変更後の IPv6 フィルター] に、適用したいフィルターを指定する。
適用したいフィルターのフィルター名を直接入力、またはプルダウンメニューから選択します。
フロー検出モードによって、指定できないフィルターもあります。
6. [変更] ボタンをクリックする。
[選択可能ポート] で選択したポートの [MAC フィルター], [IPv4 フィルター], および [IPv6 フィルター] を、変更後のフィルターのフィルター名に変更します。
変更後のフィルターに何も指定していない場合は、フィルターは変更されません。変更後のフィルターに「フィルターの適用を削除する。」を選択していた場合は、フィルターの適用が解除され、対応するフィルターの欄は空白になります。
7. [OK] ボタンをクリックする。
アクセス制御情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。
8. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容がスイッチに反映されます。処理が完了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイ

アログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。

9. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリックする。

(2) VLAN インターフェイスにフィルターを適用する

VLAN インターフェイスに対し、アクセス制御として適用するフィルターを設定する手順を次に示します。

1. スイッチ構成ビューを表示する。
2. スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、フィルターを適用するスイッチまたはポートを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [アクセス制御情報] - [アクセス制御情報の設定] を選択する。
[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [アクセス制御] - [アクセス制御情報の設定] を選択したり、ツールバーにあるアクセス制御情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. [VLAN インターフェイス] タブを選択する。
[VLAN インターフェイス] ページが表示されます。
5. [選択可能 VLAN] で、フィルターを適用したい VLAN インターフェイスを選択する。
VLAN インターフェイスは複数選択できます。
6. [変更後の MAC フィルター] および [変更後の IPv4 フィルター] に、適用したいフィルターを指定する。
適用したいフィルターのフィルター名を直接入力、またはプルダウンメニューから選択します。
フロー検出モードによって、指定できないフィルターもあります。
7. [変更] ボタンをクリックする。
[選択可能 VLAN] で選択した VLAN インターフェイスの [MAC フィルター] および [IPv4 フィルター] を、変更後のフィルターのフィルター名に変更します。
変更後のフィルターに何も指定していない場合は、フィルターは変更されません。変更後のフィルターに「フィルターの適用を削除する。」を選択していた場合は、フィルターの適用が解除され、対応するフィルターの欄は空白になります。
8. [OK] ボタンをクリックする。
アクセス制御情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。
9. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容がスイッチに反映されます。処理が完了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイ

5. VLAN および SLB 以外の情報の設定

アログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じて処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。

10. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリックする。

5.2 アクセス制御を設定する（BS1000 の場合）

JP1/Cm2/NC では、BS1000 に対してアクセス制御を設定できます。アクセス制御の各設定について、次に説明します。

5.2.1 スイッチへフロー制御の有効または無効を設定する

スイッチへフロー制御の有効または無効を設定します。フロー制御を有効にすると、アクセス制御の設定が有効になります。フロー制御を無効にすると、アクセス制御の設定は無効になります。フロー制御の有効または無効を設定するには、ネットワーク構成情報のスイッチ構成情報を設定します。

スイッチ構成情報は、スイッチに直接設定される情報です。スイッチの状態が「正常」のときだけ設定できます。

スイッチ構成情報は、アクセス制御情報で定義した内容を有効または無効にする情報です。そのため、アクセス制御情報との設定の順序関係を意識して設定する必要があります。また、この設定は、QoS 制御と共通です。QoS 制御への影響も考慮して設定してください。

スイッチ構成情報の設定で使用する画面について、マニュアルの参照先を次の表に示します。適宜参照してください。

表 5-4 スイッチ構成情報の設定で使用する画面についてのマニュアル参照先

画面名	用途	参照先
[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス	スイッチ構成情報の設定	15.4

スイッチ構成情報を設定する手順を次に示します。

1. スイッチ構成ビューを表示する。
2. スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、スイッチ構成情報を設定するスイッチを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [スイッチ構成情報の設定] を選択する。
[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [スイッチ構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにあるスイッチ構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. フロー制御を有効または無効にする。
5. [OK] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容がスイッチに反映されま

5. VLAN および SLB 以外の情報の設定

す。処理が完了すると、設定完了のダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、設定完了のダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。

6. 設定完了のダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。

5.2.2 アクセス制御情報を設定する

スイッチに適用するアクセス制御の内容を定義するために、ネットワーク構成情報のアクセス制御情報を設定します。

アクセス制御情報は、スイッチに直接設定される情報です。スイッチの状態が「正常」のときにだけ設定できます。

アクセス制御情報は、スイッチ構成情報で設定するフロー制御の状態と関連しています。そのため、アクセス制御情報を設定する場合は、スイッチ構成情報との関連を意識して設定してください。

アクセス制御情報の設定で使用する画面について、マニュアルの参照先を次の表に示します。適宜参照してください。

表 5-5 アクセス制御情報の設定で使用する画面についてのマニュアル参照先

画面名	用途	参照先
[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックス	アクセス制御情報の設定	15.5
[アクセス制御の設定] ダイアログボックス	<ul style="list-style-type: none">• アクセス制御の対象ポートの選択• アクセス制御の状態• フィルター条件の追加, 変更, および削除	15.6
[フィルター条件の設定 - 基本設定] ダイアログボックス	フィルター条件の基本設定	15.7
[フィルター条件の設定 - 拡張設定] ダイアログボックス	フィルター条件の拡張設定	15.8
[設定結果] ダイアログボックス	設定結果の確認	15.12.1

(1) ポートにアクセス制御を設定する

アクセス制御が設定されていないポートに、アクセス制御を設定する手順を次に示します。

1. スイッチ構成ビューを表示する。
2. スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、アクセス制御の設定を追加するスイッチを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [アクセス制御情報] - [アクセス制御情報の設定] を

選択する。

[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。

[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [アクセス制御] - [アクセス制御情報の設定] を選択したり、ツールバーにあるアクセス制御情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。

4. [アクセス制御情報一覧] の [追加] ボタンをクリックする。
[アクセス制御の設定] ダイアログボックスが表示されます。
5. [ポート] の [選択可能ポート] に表示されているポートから、アクセス制御を設定するポートを選択し、[追加 >>] ボタンをクリックする。
選択したポートが [選択ポート] へ移動し、アクセス制御の対象になります。
追加するポートは複数指定できます。ただし、一度に複数のポートを [選択ポート] へ移動した場合、以降の設定内容は選択したポートすべてに対して設定されます。
ポートごとに別の設定をしたい場合は、ポートを一つずつ選択して設定してください。
また、[追加 >>] ボタンで [選択ポート] へ移動させたポートを [選択可能] ポートへ戻したい場合は、[選択ポート] から該当するポートを選択し、[<< 削除] ボタンをクリックします。削除するポートは複数選択できます。
6. [選択ポート] へ移動したポートに対して、[状態] および [フィルター条件] を設定する。
7. [OK] ボタンをクリックする。
[アクセス制御の設定] ダイアログボックスが閉じ、[アクセス制御情報の設定] の [アクセス制御情報一覧] に設定内容が反映されます。
8. [アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
アクセス制御情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。
9. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容がスイッチに反映されます。処理が完了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じて処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。
10. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリックする。

(2) アクセス制御の設定内容を変更する

ポートに設定されているアクセス制御の設定内容を変更する手順を次に示します。

1. スイッチ構成ビューを表示する。
2. スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、アクセス制御の設定内容を変更するポートを選択する。

5. VLAN および SLB 以外の情報の設定

3. メニューバーから [編集] - [アクセス制御情報] - [アクセス制御情報の設定] を選択する。
選択したポートがフォーカスされた状態で、[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [アクセス制御] - [アクセス制御情報の設定] を選択したり、ツールバーにあるアクセス制御情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. [アクセス制御情報一覧] の [変更] ボタンをクリックする。
[アクセス制御の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[ポート] の [選択ポート] には、選択したポートが表示されます。
5. [状態] および [フィルター条件] の設定内容を変更する。
6. [OK] ボタンをクリックする。
[アクセス制御の設定] ダイアログボックスが閉じ、[アクセス制御情報の設定] の [アクセス制御情報一覧] に設定内容が反映されます。
7. [アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
アクセス制御情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。
8. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容がスイッチに反映されます。処理が完了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じていても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。
9. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリックする。

(3) ポートからアクセス制御の設定を削除する

すでにアクセス制御が設定されているポートから、アクセス制御の設定を削除する手順を次に示します。一度に複数のポートを選択すると、一括して削除することもできます。

1. スイッチ構成ビューを表示する。
2. スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、アクセス制御の設定内容を削除するスイッチを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [アクセス制御情報] - [アクセス制御情報の設定] を選択する。
[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [アクセス制御] - [アクセス制御情報の設定] を選択したり、ツールバーにあるアクセス制御情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. [アクセス制御情報一覧] から設定を削除するポートの行を選択する。
削除するポートは複数選択できます。

5. [アクセス制御情報一覧] の [削除] ボタンをクリックする。
[削除] ボタンをクリックすると、アクセス制御情報の削除を確認するダイアログボックスが表示されます。
6. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
指定したポートが [アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスの [アクセス制御情報一覧] から削除されます。
7. [アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
アクセス制御情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。
8. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、変更内容がスイッチに反映されます。処理が終了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が終了するまで、ほかの設定はできません。
9. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] をクリックする。

(4) フィルター条件を設定する

アクセス制御情報の設定で、フィルター条件を設定する手順を次に示します。

フィルター条件の設定は [フィルター条件の設定] ダイアログボックスから操作します。
[フィルター条件の設定] ダイアログボックスで設定した内容は、[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックしたときにスイッチに反映されません。

(a) フィルター条件を追加する

アクセス制御情報の設定で、フィルター条件を追加する手順を次に示します。

1. [アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスを開く。
2. [アクセス制御情報一覧] の [追加] ボタンまたは [変更] ボタンをクリックして、
[アクセス制御の設定] ダイアログボックスを開く。
[変更] ボタンは、[アクセス制御情報一覧] からフィルター条件を追加するポートを選択してからクリックします。
3. [追加] ボタンで [アクセス制御の設定] ダイアログボックスを開いた場合、[選択可能ポート] から追加するポートを選択して [追加 >>] ボタンをクリックする。
4. [フィルター条件] の [追加] ボタンをクリックする。
[フィルター条件の設定 - 基本設定] ダイアログボックスが表示されます。
5. 各項目を設定する。
6. [拡張設定] ボタンをクリックする。
[フィルター条件の設定 - 拡張設定] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、[フィルター条件の設定 - 拡張設定] ダイアログボックスは、フィルター条

5. VLAN および SLB 以外の情報の設定

件に IP アドレスだけを使用する場合の拡張設定用ダイアログボックスです。フィルター条件に MAC アドレス, または MAC アドレスおよび IP アドレスの両方を使用する場合は設定できません。

7. 各項目を設定する。
8. [フィルター条件の設定 - 拡張設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
設定内容が記憶され, [フィルター条件の設定 - 拡張設定] ダイアログボックスが閉じます。
9. [フィルター条件の設定 - 基本設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
[フィルター条件の設定 - 基本設定] ダイアログボックスが閉じ, [アクセス制御の設定] ダイアログボックスの [フィルター条件] に, 追加したフィルター条件が追加表示されます。
設定内容は, [アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックしたときにスイッチに反映されます。

(b) フィルター条件の内容を変更する

アクセス制御情報の設定で, フィルター条件の内容を変更する手順を次に示します。

1. [アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスを開く。
2. [アクセス制御情報一覧] からフィルター条件の内容を変更するポートを選択し, [変更] ボタンをクリックする。
[アクセス制御の設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. [フィルター条件] から内容を変更する条件を一つ選択し, [変更] ボタンをクリックする。
[フィルター条件の設定 - 基本設定] ダイアログボックスが表示されます。
4. 必要な項目を変更する。
5. [拡張設定] ボタンをクリックする。
[フィルター条件の設定 - 拡張設定] ダイアログボックスが表示されます。
ただし, [フィルター条件の設定 - 拡張設定] ダイアログボックスは, フィルター条件に IP アドレスだけを使用する場合の拡張設定用ダイアログボックスです。フィルター条件に MAC アドレス, または MAC アドレスおよび IP アドレスの両方を使用する場合は設定しません。
6. 必要な項目を変更する。
7. [フィルター条件の設定 - 拡張設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
設定内容が記憶され, [フィルター条件の設定 - 拡張設定] ダイアログボックスが閉じます。
8. [フィルター条件の設定 - 基本設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリック

する。

[フィルター条件の設定 - 基本設定] ダイアログボックスが閉じ, [アクセス制御の設定] ダイアログボックスの [フィルター条件] に, 設定内容が反映されます。

設定内容は, [アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックしたときにスイッチに反映されます。

(c) フィルター条件を削除する

アクセス制御情報の設定で, フィルター条件を削除する手順を次に示します。一度に複数の条件を選択すると, 一括して削除することもできます。

1. [アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスを開く。
2. [アクセス制御情報一覧] からフィルター条件を削除するポートを選択し, [変更] ボタンをクリックする。
[アクセス制御の設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. [フィルター条件] から削除する条件を選択し, [削除] ボタンをクリックする。
削除する条件は複数選択できます。
[削除] ボタンをクリックすると, フィルター条件の削除を確認するダイアログボックスが表示されます。
4. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
指定したフィルター条件が, [アクセス制御の設定] ダイアログボックスの [フィルター条件] から削除されます。
なお, フィルター条件をすべて削除した場合, [アクセス制御の設定] ダイアログで [OK] ボタンをクリックすると, 削除を確認するダイアログボックスが表示されます。 [OK] ボタンをクリックすると, [アクセス制御情報の設定] ダイアログのアクセス制御情報一覧から設定対象のポートが削除されます。
設定内容は, [アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックしたときにスイッチに反映されます。

(5) フィルター条件の優先順位を変更する

設定したフィルター条件について, 上位, または下位の優先順位のフィルター条件と, 優先順位を入れ替えられます。

アクセス制御情報の設定で, フィルター条件の優先順位を変更する手順を次に示します。

1. [アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスを開く。
2. [アクセス制御情報一覧] からフィルター条件の優先順位を変更するポートを選択し, [変更] ボタンをクリックする。
[アクセス制御の設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. [フィルター条件] から, 順位を入れ替えたい条件を一つ選択する。
4. [優先順位変更] の上, または下にあるボタンを, 任意の回数クリックする。
上位のフィルター条件と優先順位を入れ替えたい場合は上のボタンを, 下位のフィルター条件と入れ替えたい場合は下のボタンをクリックしてください。

5. VLAN および SLB 以外の情報の設定

ボタンをクリックするごとに、該当するフィルター条件が上位または下位のフィルター条件と入れ替わります。

設定内容は、[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックしたときにスイッチに反映されます。

5.3 QoS 制御を設定する

JP1/Cm2/NC では、BS1000 に対して QoS 制御を設定できます。QoS 制御の各設定について、次に説明します。

5.3.1 スイッチへフロー制御の有効または無効を設定する

スイッチへフロー制御の有効または無効を設定します。フロー制御を有効にすると、QoS 制御の設定が有効になります。フロー制御を無効にすると、QoS 制御の設定は無効になります。フロー制御の有効または無効を設定するには、ネットワーク構成情報のスイッチ構成情報を設定します。

スイッチ構成情報は、スイッチに直接設定される情報です。スイッチの状態が「正常」のときだけ設定できます。

スイッチ構成情報は、QoS 制御情報で定義した内容を有効または無効にする情報です。そのため、QoS 制御情報との設定の順序関係を意識して設定する必要があります。また、この設定は、アクセス制御と共通です。アクセス制御への影響も考慮して設定してください。

スイッチ構成情報の設定で使用する画面について、マニュアルの参照先を次の表に示します。適宜参照してください。

表 5-6 スイッチ構成情報の設定で使用する画面についてのマニュアル参照先

画面名	用途	参照先
[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス	スイッチ構成情報の設定	15.4

スイッチ構成情報を設定する手順を次に示します。

1. スイッチ構成ビューを表示する。
2. スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、スイッチ構成情報を設定するスイッチを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [スイッチ構成情報の設定] を選択する。
[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [スイッチ構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにあるスイッチ構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. フロー制御を有効または無効にする。
5. [OK] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容がスイッチに反映されます。処理が完了すると、設定完了のダイアログボックスが表示されます。

5. VLAN および SLB 以外の情報の設定

ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、設定完了のダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。

6. 設定完了のダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。

5.3.2 QoS 制御情報を設定する

スイッチに適用する QoS 制御の内容を定義するために、ネットワーク構成情報の QoS 制御情報を設定します。

QoS 制御情報は、スイッチに直接設定される情報です。スイッチの状態が「正常」のときにだけ設定できます。

QoS 制御情報は、スイッチ構成情報で設定するフロー制御の状態と関連しています。そのため、QoS 制御情報を設定する場合は、スイッチ構成情報との関連を意識して設定してください。

QoS 制御情報の設定で使用する画面について、マニュアルの参照先を次の表に示します。適宜参照してください。

表 5-7 QoS 制御情報の設定で使用する画面についてのマニュアル参照先

画面名	用途	参照先
[QoS 制御情報の設定] ダイアログボックス	QoS 制御情報の設定	15.9
[QoS 制御の設定] ダイアログボックス	<ul style="list-style-type: none">• QoS 制御の対象ポートの選択• QoS 制御の状態• 優先条件の追加, 変更, および削除	15.10
[優先条件の設定] ダイアログボックス	優先条件の基本設定	15.11
[設定結果] ダイアログボックス	設定結果の確認	15.12.2

(1) ポートに QoS 制御を設定する

QoS 制御が設定されていないポートに、QoS 制御を設定する手順を次に示します。

1. スイッチ構成ビューを表示する。
2. スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、QoS 制御の設定を追加するスイッチを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [QoS 制御情報] - [QoS 制御情報の設定] を選択する。

[QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。

[QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [QoS 制

御] - [QoS 制御情報の設定] を選択したり、ツールバーにある QoS 制御情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。

4. [QoS 制御情報一覧] の [追加] ボタンをクリックする。
[QoS 制御の設定] ダイアログボックスが表示されます。
5. [ポート] の [選択可能ポート] に表示されているポートから、QoS 制御を設定するポートを選択し、[追加 >>] ボタンをクリックする。
選択したポートが [選択ポート] へ移動し、QoS 制御の対象になります。
追加するポートは複数指定できます。ただし、一度に複数のポートを [選択ポート] へ移動した場合、以降の設定内容は選択したポートすべてに対して設定されます。ポートごとに別の設定をしたい場合は、ポートを一つずつ選択して設定してください。
また、[追加 >>] ボタンで [選択ポート] へ移動させたポートを [選択可能] ポートへ戻したい場合は、[選択ポート] から該当するポートを選択し、[<< 削除] ボタンをクリックします。削除するポートは複数選択できます。
6. [選択ポート] へ移動したポートに対して、[状態] および [優先条件] を設定する。
7. [OK] ボタンをクリックする。
[QoS 制御の設定] ダイアログボックスが閉じ、[QoS 制御情報の設定] の [QoS 制御情報一覧] に設定内容が反映されます。
8. [QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
QoS 制御情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。
9. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容がスイッチに反映されます。処理が完了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。
10. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリックする。

(2) QoS 制御の設定内容を変更する

ポートに設定されている QoS 制御の設定内容を変更する手順を次に示します。

1. スイッチ構成ビューを表示する。
2. スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、QoS 制御の設定内容を変更するポートを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [QoS 制御情報] - [QoS 制御情報の設定] を選択する。
選択したポートがフォーカスされた状態で、[QoS 制御情報の設定] ダイアログボッ

5. VLAN および SLB 以外の情報の設定

クスが表示されます。

[QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [QoS 制御] - [QoS 制御情報の設定] を選択したり、ツールバーにある QoS 制御情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。

4. [QoS 制御情報一覧] の [変更] ボタンをクリックする。
[QoS 制御の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[ポート] の [選択ポート] には、選択したポートが表示されます。
5. [状態] および [優先条件] の設定内容を変更する。
6. [OK] ボタンをクリックする。
[QoS 制御の設定] ダイアログボックスが閉じ、[QoS 制御情報の設定] の [QoS 制御情報一覧] に設定内容が反映されます。
7. [QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
QoS 制御情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。
8. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容がスイッチに反映されます。処理が完了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じて処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。
9. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリックする。

(3) ポートから QoS 制御の設定を削除する

すでに QoS 制御が設定されているポートから、QoS 制御の設定を削除する手順を次に示します。一度に複数のポートを選択すると、一括して削除することもできます。

1. スイッチ構成ビューを表示する。
2. スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、QoS 制御の設定内容を削除するスイッチを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [QoS 制御情報] - [QoS 制御情報の設定] を選択する。
[QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [QoS 制御] - [QoS 制御情報の設定] を選択したり、ツールバーにある QoS 制御情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. [QoS 制御情報一覧] から設定を削除するポートの行を選択する。
削除するポートは複数選択できます。
5. [QoS 制御情報一覧] の [削除] ボタンをクリックする。

[削除] ボタンをクリックすると、QoS 制御情報の削除を確認するダイアログボックスが表示されます。

6. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
指定したポートが [QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスの [QoS 制御情報一覧] から削除されます。
7. [QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
QoS 制御情報の設定処理の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。
8. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、変更内容がスイッチに反映されます。処理が終了すると、[設定結果] ダイアログボックスが表示されます。
ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、[設定結果] ダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が終了するまで、ほかの設定はできません。
9. 設定結果を確認し、[設定結果] ダイアログボックスの [閉じる] をクリックする。

(4) 優先条件を設定する

QoS 制御情報の設定で、優先条件を設定する手順を次に示します。

優先条件の設定は [優先条件の設定] ダイアログボックスから操作します。[優先条件の設定] ダイアログボックスで設定した内容は、[QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックしたときにスイッチに反映されます。

(a) 優先条件を追加する

QoS 制御情報の設定で、優先条件を追加する手順を次に示します。

1. [QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスを開く。
2. [QoS 制御情報一覧] の [追加] ボタンまたは [変更] ボタンをクリックして、[QoS 制御の設定] ダイアログボックスを開く。
[変更] ボタンは、[QoS 制御情報一覧] から優先条件を追加するポートを選択してからクリックします。
3. [追加] ボタンで [QoS 制御の設定] ダイアログボックスを開いた場合、[選択可能ポート] から追加するポートを選択して [追加 >>] ボタンをクリックする。
4. [優先条件] の [追加] ボタンをクリックする。
[優先条件の設定] ダイアログボックスが表示されます。
5. 各項目を設定する。
6. [優先条件の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
[優先条件の設定] ダイアログボックスが閉じ、[QoS 制御の設定] ダイアログボックスの [優先条件] に、追加した優先条件が追加表示されます。
設定内容は、[QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリック

5. VLAN および SLB 以外の情報の設定

したときにスイッチに反映されます。

(b) 優先条件の内容を変更する

QoS 制御情報の設定で、優先条件の内容を変更する手順を次に示します。

1. [QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスを開く。
2. [QoS 制御情報一覧] から優先条件の内容を変更するポートを選択し、[変更] ボタンをクリックする。
[QoS 制御の設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. [優先条件] から内容を変更する条件を一つ選択し、[変更] ボタンをクリックする。
[優先条件の設定] ダイアログボックスが表示されます。
4. 必要な項目を変更する。
5. [優先条件の設定] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。
[優先条件の設定] ダイアログボックスが閉じ、[QoS 制御の設定] ダイアログボックスの [優先条件] に、設定内容が反映されます。
設定内容は、[QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックしたときにスイッチに反映されます。

(5) 優先条件を削除する

QoS 制御情報の設定で、優先条件を削除する手順を次に示します。一度に複数の条件を選択すると、一括して削除することもできます。

1. [QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスを開く。
2. [QoS 制御情報一覧] から優先条件を削除するポートを選択し、[変更] ボタンをクリックする。
[QoS 制御の設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. [優先条件] から削除する条件を選択し、[削除] ボタンをクリックする。
削除する条件は複数選択できます。
[削除] ボタンをクリックすると、優先条件の削除を確認するダイアログボックスが表示されます。
4. 確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックする。
指定した優先条件が、[QoS 制御の設定] ダイアログボックスの [優先条件] から削除されます。
なお、優先条件をすべて削除した場合、[QoS 制御の設定] ダイアログで [OK] ボタンをクリックすると、削除を確認するダイアログボックスが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると、[QoS 制御情報の設定] ダイアログの QoS 制御情報一覧から設定対象のポートが削除されます。
設定内容は、[QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックしたときにスイッチに反映されます。

5.4 アップリンクフェイルオーバーを設定する

JP1/Cm2/NC では、BS2000、BS320、BS500、および BS500 1Gb \times 40 に対して、アップリンクフェイルオーバーを設定できます。

スイッチにアップリンクフェイルオーバーを定義するために、ネットワーク構成情報のアップリンクフェイルオーバー情報を設定します。

アップリンクフェイルオーバー情報は、スイッチに直接設定される情報です。スイッチの状態が「正常」のときにだけ設定できます。

ポートごとに指定したアップリンクフェイルオーバー情報は、アップリンクフェイルオーバーの拡張機能の種類によってはスイッチに認識されません。そのため、ポートごとに指定したアップリンクフェイルオーバー情報と拡張機能の関係を意識して設定する必要があります。

スイッチ構成情報の設定で使用する画面について、マニュアルの参照先を次の表に示します。適宜参照してください。

表 5-8 スイッチ構成情報の設定で使用する画面についてのマニュアル参照先

画面名	用途	参照先
[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス - [アップリンクフェイルオーバー] ページ	アップリンクフェイルオーバー情報の設定	14.9

アップリンクフェイルオーバー情報を設定する手順を次に示します。

1. スイッチ構成ビューを表示する。
2. スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示されているネットワーク構成ツリーから、スイッチ構成情報を設定するスイッチを選択する。
3. メニューバーから [編集] - [スイッチ構成情報の設定] を選択する。
[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスは、ショートカットメニューの [スイッチ構成情報の設定] を選択したり、ツールバーにあるスイッチ構成情報の設定ボタンをクリックしたりしても表示できます。
4. [アップリンクフェイルオーバー] ページを選択する。
[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスの [アップリンクフェイルオーバー] ページが表示されます。
5. アップリンクフェイルオーバーの拡張機能の種類をプルダウンメニューから選択する。
選択できる拡張機能の種類は次のとおりです。
 - 拡張機能を使用しない
 - 部分ポート単位制御

5. VLAN および SLB 以外の情報の設定

- ポート単位制御

6. ポート情報の [選択可能ポート] から、設定を変更するポートを選択する。
ポートは複数選択できます。ただし、一度に複数のポートを選択した場合、設定内容は選択したポートすべてに対して設定されます。ポートごとに別の設定をしたい場合は、ポートを一つずつ選択して設定してください。
7. [変更後の uplink-failover] および [変更後の uplink-failover-group] のプルダウンメニューから、設定したい項目を選択する。または、アップリンクフェイルオーバーグループ番号を入力する。
8. [変更] ボタンをクリックする。
変更内容が、[選択可能ポート] に反映されます。
9. [OK] ボタンをクリックする。
設定処理中を示すダイアログボックスが表示され、設定内容がスイッチに反映されません。処理が完了すると、設定完了のダイアログボックスが表示されます。ただし、途中で設定処理中を示すダイアログボックスを閉じると、設定完了のダイアログボックスは表示されません。また、設定処理中を示すダイアログボックスを閉じても処理は続行されています。処理が完了するまで、ほかの設定はできません。
10. 設定完了のダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする。

6

画面 - 基本画面

この章では、JP1/Cm2/NC で使用する画面について、画面遷移を説明します。また、JP1/Cm2/NC の基本画面として、[ログイン] ダイアログボックス、[Network Element Configuration - View] ウィンドウの表示項目について説明します。

6.1 画面遷移

6.2 [ログイン] ダイアログボックス

6.3 [Network Element Configuration - View] ウィンドウ (概要)

6.4 [Network Element Configuration - View] ウィンドウ (管理対象ビュー)

6.5 [Network Element Configuration - View] ウィンドウ (VLAN ビュー)

6.6 [Network Element Configuration - View] ウィンドウ (SLB ビュー)

6.7 [Network Element Configuration - View] ウィンドウ (スイッチ構成ビュー)

6.1 画面遷移

JP1/Cm2/NC - View は GUI を提供する製品で、メイン画面である [Network Element Configuration - View] ウィンドウとダイアログボックスから構成されています。このマニュアルでは、ウィンドウとダイアログボックスをまとめて画面と呼びます。

[Network Element Configuration - View] ウィンドウは、用途によって次のビューに分かれています。

- 管理対象ビュー
JP1/Cm2/NC が管理しているスイッチを、アダプターサーバ単位で表示します。どのアダプターサーバがどのスイッチを管理しているか確認するためのビューです。
- VLAN ビュー
JP1/Cm2/NC が管理しているスイッチを、VLAN 単位で表示します。構築している VLAN の設定状況を表示したり、スイッチへ VLAN の情報を設定したりするためのビューです。
- SLB ビュー
JP1/Cm2/NC が管理している SLB を設定するスイッチに設定されているサーバの構成や状態を表示します。SLB の設定状況を表示したり、スイッチへ SLB を設定したりするためのビューです。
- スイッチ構成ビュー
JP1/Cm2/NC が管理しているスイッチのアクセス制御、QoS 制御およびアップリンクフェイルオーバーの設定状況を表示したり、設定したりするためのビューです。

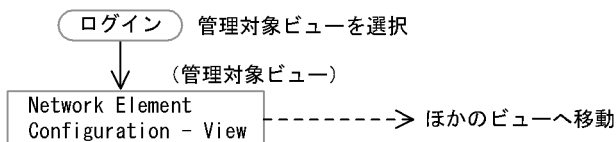
ログインするときに表示するビューを指定すると、指定したビューがメイン画面として表示されます。メイン画面を表示したあと、別のビューに移動することもできます。

各ビューで表示される画面について、画面同士の遷移関係について説明します。

6.1.1 管理対象ビューを選択した場合の画面遷移

ログインするときに管理対象ビューを選択した場合の画面遷移を次に示します。

図 6-1 画面遷移図（管理対象ビュー）



(凡例)

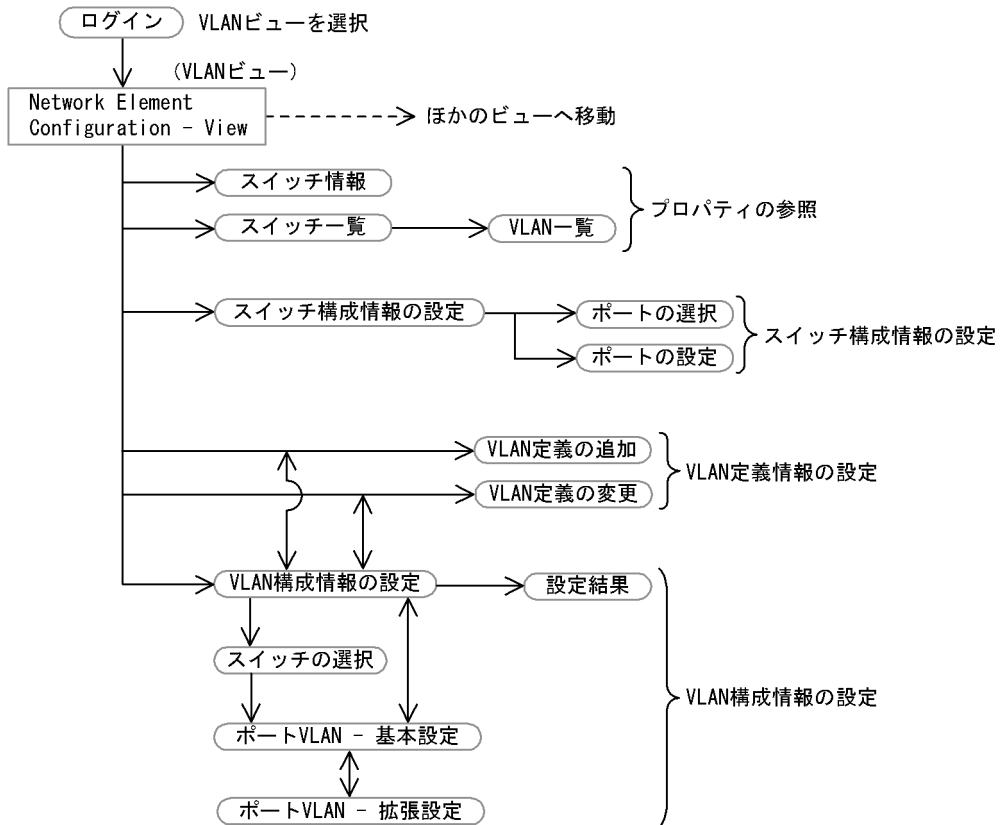
□ : ウィンドウ

○ : ダイアログボックス

6.1.2 VLAN ビューを表示した場合の画面遷移

ログインするときに VLAN ビューを選択した場合の画面遷移を次に示します。

図 6-2 画面遷移図 (VLAN ビュー)



(凡例)

□ : ウィンドウ

○ : ダイアログボックス

注 設定するスイッチによっては使用しない画面があります。

VLAN ビューから表示される各画面の機能およびマニュアルの参照先を次に示します。

6. 画面 - 基本画面

表 6-1 VLAN ビューから表示される画面についてのマニュアル参照先

分類	ダイアログボックス名	機能	参照先			
			AX2400S・ AX3600S・ BS2000・ BS320・ BS500・ BS500 1Gbx40	AX5400S ・ AX7800S ・ GS4000・ GS3000	BS1000	Cisco Catalyst
プロパティ	[スイッチ情報]ダイアログボックス	スイッチの基本情報や構成情報を表示する。	7.1	8.1	9.1	10.1
	[スイッチ一覧]ダイアログボックス	VLAN 管理ドメインにあるスイッチの一覧を表示する。	7.2	8.2	9.2	10.2
	[VLAN 一覧]ダイアログボックス	スイッチに割り当てられている VLAN の一覧を表示する。	7.3	8.3	9.3	10.3
VLAN 定義情報	[VLAN 定義の追加]ダイアログボックス	VLAN 管理ドメインに VLAN 定義情報を追加する。	7.4	8.4	9.4	10.4
	[VLAN 定義の変更]ダイアログボックス	定義済みの VLAN 定義情報の内容を変更する。	7.5	8.5	9.5	10.5
スイッチ構成情報	[スイッチ構成情報の設定]ダイアログボックス	スイッチにスイッチ構成情報を設定する。	7.6	8.6	-	10.6
	[ポートの選択]ダイアログボックス	ポートを選択する。	-	8.7	-	-
	[ポートの設定]ダイアログボックス	ポートに関する設定をする。	7.7	-	-	10.7
VLAN 構成情報	[VLAN 構成情報の設定]ダイアログボックス	スイッチに VLAN 構成情報を設定する。	7.8	8.8	9.6	10.8
	[スイッチの選択]ダイアログボックス	VLAN に追加するスイッチを選択する。	7.9	8.9	9.7	10.9

分類	ダイアログボックス名	機能	参照先			
			AX2400S・ AX3600S・ BS2000・ BS320・ BS500・ BS500 1Gbx40	AX5400S ・ AX7800S ・ GS4000・ GS3000	BS1000	Cisco Catalyst
	[ポート VLAN - 基本設定]ダイアログボックス	ポートをポート VLAN に設定する。 ポート VLAN からポートを削除する。	7.10	8.10	9.8	10.10
	[ポート VLAN - 拡張設定]ダイアログボックス	ポート VLAN の詳細を設定する。	7.11	8.11	9.9	10.11
設定結果	[設定結果]ダイアログボックス	VLAN 構成情報の設定結果を表示する。	7.12	8.12	9.10	10.12

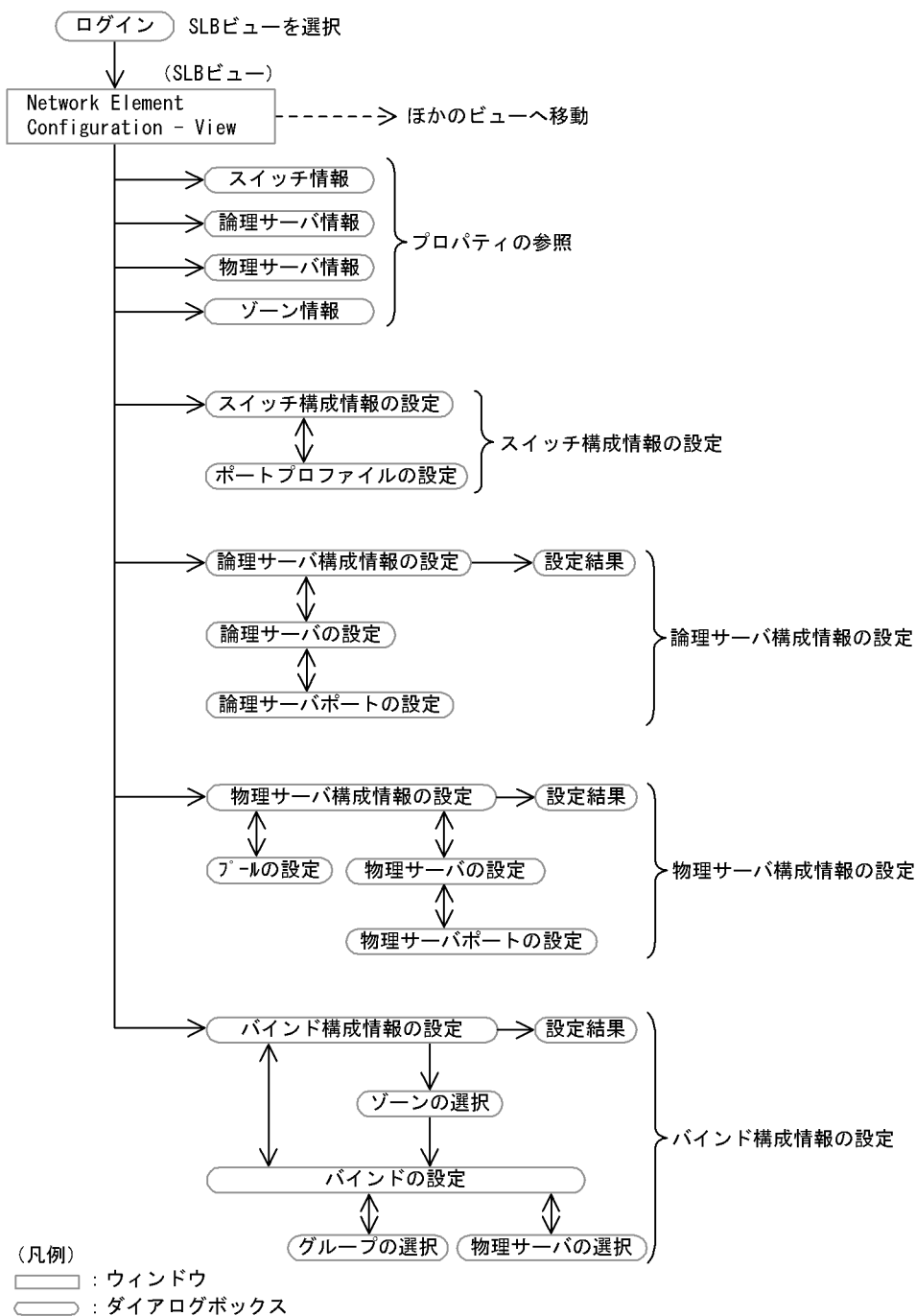
(凡例)

- : 該当しない。

6.1.3 SLB ビューを表示した場合の画面遷移

ログインするときに SLB ビューを選択した場合の画面遷移を次に示します。

図 6-3 画面遷移図 (SLB ビュー)



注 設定するスイッチによっては使用しない画面があります。

SLB ビューから表示される各画面の機能およびマニュアルの参照先を次に示します。

表 6-2 SLB ビューから表示される画面についてのマニュアル参照先

分類	ダイアログボックス名	機能	参照先		
			BIG-IP	HA8000-ie/ Loadflowbal	STM
プロパティ	[スイッチ情報] ダイアログボックス	スイッチの基本情報や構成情報を表示する。	11.1	12.1	-
	[論理サーバ情報] ダイアログボックス	論理サーバの設定状況を表示する。	11.2	12.2	-
	[物理サーバ情報] ダイアログボックス	物理サーバの設定情報を表示する。	11.3	12.3	-
	[ゾーン情報] ダイアログボックス	ゾーンの設定状況を表示する。	-	-	13.1
スイッチ構成情報	[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス	スイッチにスイッチ構成情報を設定する。	-	12.4	-
	[ポートプロファイルの設定] ダイアログボックス	スイッチに論理サーバポートおよび物理サーバポートで使用するポートを設定する。	-	12.5	-
論理サーバ構成情報	[論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス	スイッチに論理サーバ構成情報を設定する。	11.4	12.6	-
	[論理サーバの設定] ダイアログボックス	スイッチに論理サーバを設定する。または論理サーバの設定を変更する。	11.5	12.7	-
	[論理サーバポートの設定] ダイアログボックス	論理サーバに論理サーバポートを追加する。または論理サーバポートの設定を変更する。	11.6	12.8	-
物理サーバ構成情報	[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス	スイッチに物理サーバ構成情報を設定する。	11.7	12.9	13.2
	[プールの設定] ダイアログボックス	スイッチにプールを追加する。またはプールの設定を変更する。	11.8	-	-
	[物理サーバの設定] ダイアログボックス	スイッチに物理サーバを設定する。または物理サーバの設定を変更する。	11.9	12.10	13.3

6. 画面 - 基本画面

分類	ダイアログボックス名	機能	参照先		
			BIG-IP	HA8000-ie/ Loadflowbal	STM
	[物理サーバポートの設定]ダイアログボックス	物理サーバに物理サーバポートを追加する。または物理サーバポートの設定を変更する。	11.10	12.11	-
バインド構成情報	[バインド構成情報の設定]ダイアログボックス	スイッチにバインド構成情報を定義する。	11.11	12.12	13.4
	[ゾーンの選択]ダイアログボックス	バインドを定義するゾーンを選択する。	-	-	13.5
	[バインドの設定]ダイアログボックス	バインドの設定を追加する。またはバインドの設定を変更する。	11.12	12.13	13.6
	[グループの選択]ダイアログボックス	ゾーンまたはグループに、グループを追加する。	-	-	13.7
	[物理サーバの選択]ダイアログボックス	ゾーンまたはグループに、物理サーバを追加する。	-	-	13.8
設定結果	[設定結果]ダイアログボックス	次の設定結果を表示する。 <ul style="list-style-type: none"> • 論理サーバ構成情報 • 物理サーバ構成情報 • バインド構成情報 	11.13	12.14	13.9

(凡例)

- : 該当しない。

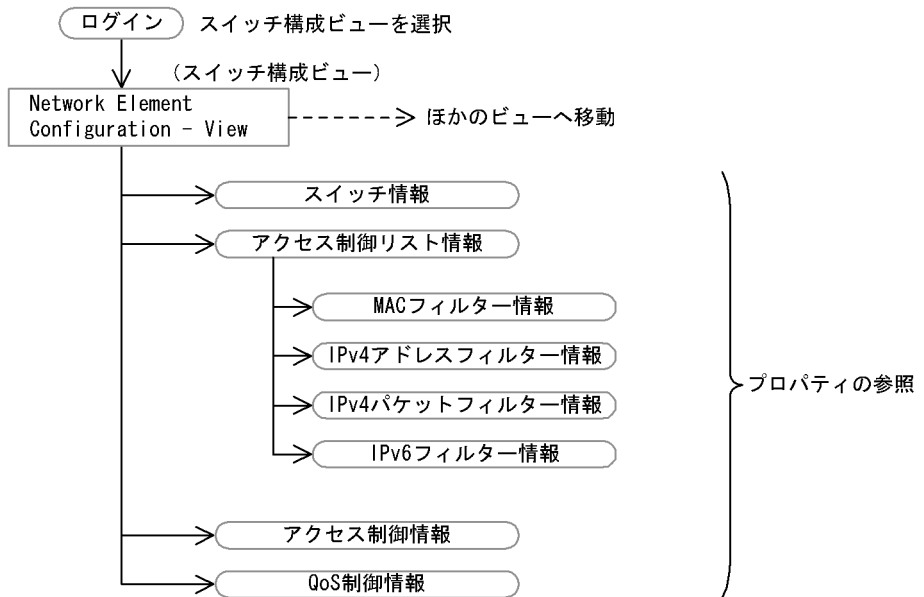
注

STM は該当しません。

6.1.4 スイッチ構成ビューを表示した場合の画面遷移

ログインするときにスイッチ構成ビューを選択した場合の画面遷移を次に示します。

図 6-4 画面遷移図 (スイッチ構成ビュー, プロパティ画面)



(凡例)

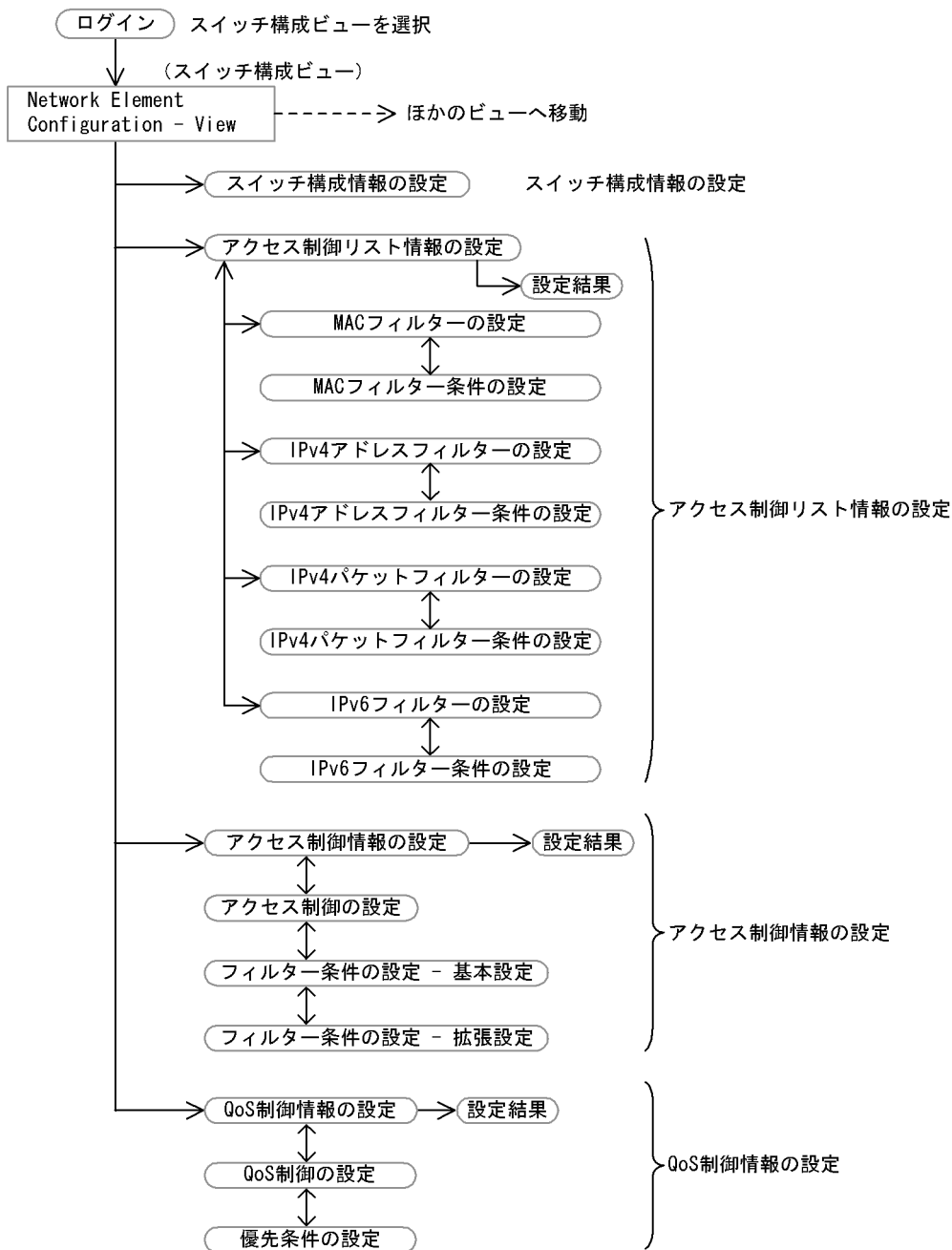
□ : ウィンドウ

○ : ダイアログボックス

注 設定するスイッチによっては使用しない画面があります。

6. 画面 - 基本画面

図 6-5 画面遷移図 (スイッチ構成ビュー, 設定用画面)



(凡例)

- : ウィンドウ
- : ダイアログボックス

注 設定するスイッチによっては使用しない画面があります。

スイッチ構成ビューから表示される各画面の機能およびマニュアルの参照先を次に示します。

表 6-3 スイッチ構成ビューから表示される画面についてのマニュアル参照先

分類	ダイアログボックス名	機能	参照先	
			AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40	BS1000
プロパティ	[スイッチ情報]ダイアログボックス	スイッチの基本情報や構成情報を表示する。	14.1	15.1
	[アクセス制御リスト情報]ダイアログボックス	アクセス制御リストの設定状況を表示する。	14.2	-
	[MAC フィルター情報]ダイアログボックス	MAC フィルターの設定状況を表示する。	14.3	-
	[IPv4 アドレスフィルター情報]ダイアログボックス	IPv4 アドレスフィルターの設定状況を表示する。	14.4	-
	[IPv4 パケットフィルター情報]ダイアログボックス	IPv4 パケットフィルターの設定状況を表示する。	14.5	-
	[IPv6 フィルター情報]ダイアログボックス	IPv6 フィルターの設定状況を表示する。	14.6	-
	[アクセス制御情報]ダイアログボックス	アクセス制御の設定状況を表示する。	14.7	15.2
	[QoS 制御情報]ダイアログボックス	QoS 制御の設定状況を表示する。	-	15.3
スイッチ構成情報	[スイッチ構成情報の設定]ダイアログボックス	スイッチにスイッチ構成情報を設定する。	14.8, 14.9	15.4
アクセス制御リスト情報	[アクセス制御リスト情報の設定]ダイアログボックス	スイッチにアクセス制御リスト情報を設定する。	14.10	-
	[MAC フィルターの設定]ダイアログボックス	アクセス制御を実行する MAC フィルターを定義する。	14.11	-
	[MAC フィルター条件の設定]ダイアログボックス	MAC フィルターにフィルター条件を定義する。	14.12	-

6. 画面 - 基本画面

分類	ダイアログボックス名	機能	参照先	
			AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40	BS1000
	[IPv4 アドレスフィルターの設定] ダイアログボックス	アクセス制御を実行する IPv4 アドレスフィルターを定義する。	14.13	-
	[IPv4 アドレスフィルター条件の設定] ダイアログボックス	IPv4 アドレスフィルターにフィルター条件を定義する。	14.14	-
	[IPv4 パケットフィルターの設定] ダイアログボックス	アクセス制御を実行する IPv4 パケットフィルターを定義する。	14.15	-
	[IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックス	AX2400S または AX3600S の場合の IPv4 パケットフィルターにフィルター条件を定義する。	14.16	-
		BS2000, BS320, BS500, または BS500 1Gbx40 の場合の IPv4 パケットフィルターにフィルター条件を定義する。	14.17	-
	[IPv6 フィルターの設定] ダイアログボックス	アクセス制御を実行する IPv6 フィルターを定義する。	14.18	-
	[IPv6 フィルター条件の設定] ダイアログボックス	IPv6 フィルターにフィルター条件を定義する。	14.19	-
アクセス制御情報	[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックス	スイッチにアクセス制御情報を設定する。	14.20	15.5
	[アクセス制御の設定] ダイアログボックス	アクセス制御を実行するポートを選択したり, 制御状態を指定したりする。	-	15.6
	[フィルター条件の設定 - 基本設定] ダイアログボックス	アクセス制御のフィルター条件 (基本設定) を設定する。	-	15.7
	[フィルター条件の設定 - 拡張設定] ダイアログボックス	アクセス制御のフィルター条件 (拡張設定) を設定する。	-	15.8

分類	ダイアログボックス名	機能	参照先	
			AX2400S・ AX3600S・ BS2000・ BS320・ BS500・ BS500 1Gb×40	BS1000
QoS 制御情報	[QoS 制御情報の設定] ダイアログボックス	スイッチに QoS 制御情報を設定する。	-	15.9
	[QoS 制御の設定] ダイアログボックス	QoS 制御を実行するポートを選択したり, 制御状態を指定したりする。	-	15.10
	[優先条件の設定] ダイアログボックス	QoS 制御の優先条件を設定する。	-	15.11
設定結果	[設定結果] ダイアログボックス	次の設定結果を表示する。 <ul style="list-style-type: none"> • アクセス制御リスト情報 • アクセス制御情報 • QoS 制御情報 	14.21	15.12

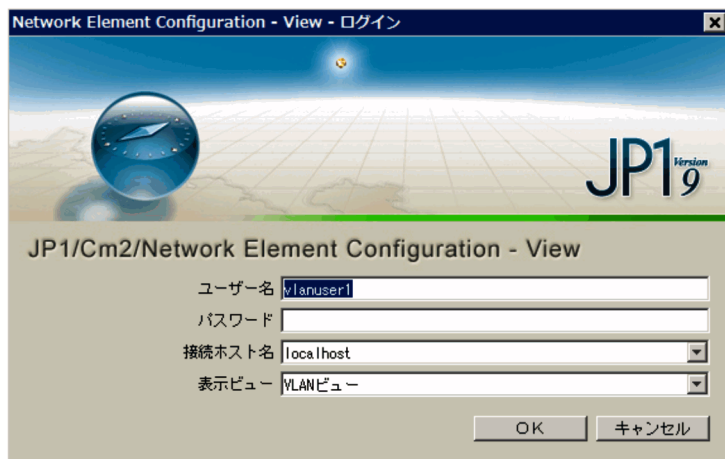
(凡例)

- : 該当しない。

6.2 [ログイン] ダイアログボックス

JP1/Cm2/NC - View を起動すると、最初に [ログイン] ダイアログボックスが表示されます。[ログイン] ダイアログボックスは、JP1/Cm2/NC - Manager にログインするためのダイアログボックスです。[ログイン] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 6-6 [ログイン] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[ユーザー名]

ログインするユーザー名を指定します。ユーザー名は、あらかじめ ncmuser コマンドで JP1/Cm2/NC に登録してある名称です。

ユーザー名は、すべて小文字で登録されています。大文字を入力しても小文字として認証されます。

デフォルトは、初回ログイン時は空白、2 回目以降は前回ログインしたユーザー名です。

[パスワード]

ログインするユーザーのパスワードを指定します。パスワードは、あらかじめ ncmuser コマンドで JP1/Cm2/NC に登録してある文字列です。

[パスワード] 欄は、常に空白で表示されます。入力された文字は「*」で表示されます。

[接続ホスト名]

接続するマネージャーサーバのホスト名または IP アドレスを入力します。ホスト名の先頭は英文字を指定してください。デフォルトは、初回ログイン時は空白、2 回目以降は前回接続したマネージャーサーバのホスト名または IP アドレスです。

JP1/Cm2/NC - View 接続先定義ファイル (ncvdest.conf) に、ホスト名または IP アドレスを定義しておく、プルダウンメニューに、ホスト名または IP アドレスが表

示され、毎回接続先を入力する手間を省けます。

[表示ビュー]

表示するビューをプルダウンメニューから指定します。プルダウンメニューで選択できるビューは次の四つです。

- 管理対象ビュー
- VLAN ビュー
- SLB ビュー
- スイッチ構成ビュー

デフォルトは、「VLAN ビュー」が表示されています。

上記の項目を入力して [OK] ボタンをクリックしログインに成功すると、[Network Element Configuration - View] ウィンドウが表示されます。

6.3 [Network Element Configuration - View] ウィンドウ (概要)

[Network Element Configuration - View] ウィンドウは、JP1/Cm2/NC が管理しているスイッチの構成状況を表示したり、スイッチに構成情報を設定したりするためのウィンドウです。このウィンドウには用途によって次のビューがあります。

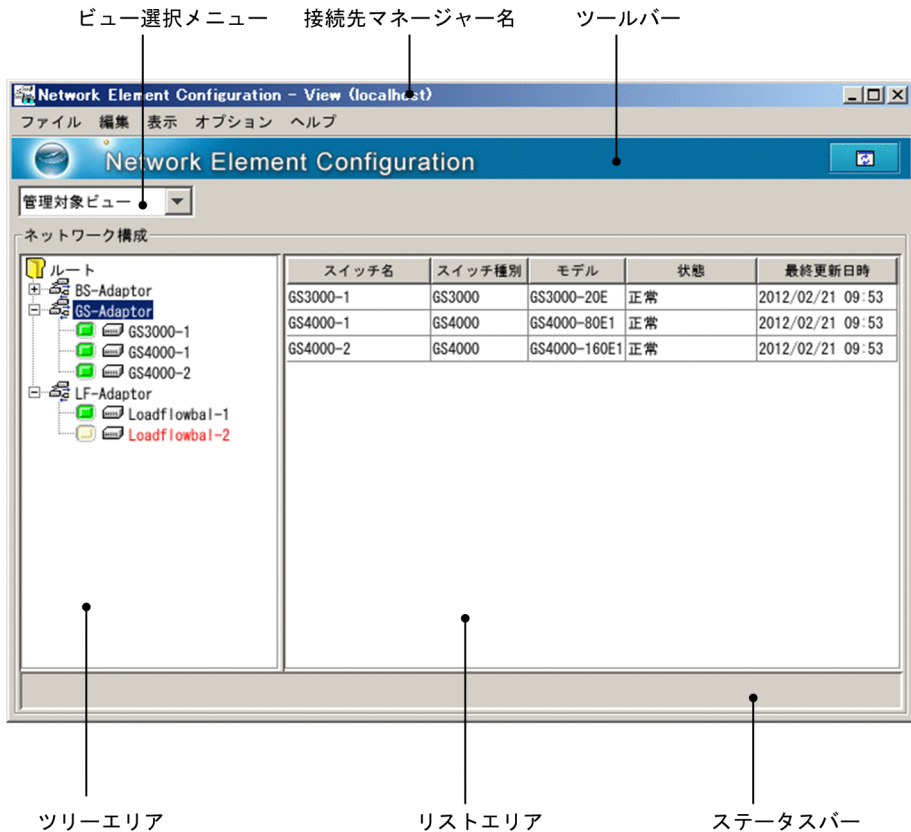
- 管理対象ビュー
- VLAN ビュー
- SLB ビュー
- スイッチ構成ビュー

ユーザーは、表示、または設定したい情報に合わせてビューを選択し、表示したビューを起点にして操作します。

この節では、[Network Element Configuration - View] ウィンドウの概要を説明します。各ビューの詳細については、「6.4 [Network Element Configuration - View] ウィンドウ (管理対象ビュー)」、「6.5 [Network Element Configuration - View] ウィンドウ (VLAN ビュー)」、「6.6 [Network Element Configuration - View] ウィンドウ (SLB ビュー)」、または「6.7 [Network Element Configuration - View] ウィンドウ (スイッチ構成ビュー)」を参照してください。

[Network Element Configuration - View] ウィンドウを次の図に示します。

図 6-7 [Network Element Configuration - View] ウィンドウ



次の項で、引き出し線を引いた各構成要素について説明します。

参考

[Network Element Configuration - View] ウィンドウのサイズと表示について

- 起動時のサイズより小さくすることはできません。上下左右に大きくできます。
- ツリーエリアのリストエリアと表示幅の比は変更できます。ただし、ツリーエリアまたはリストエリアだけを表示するようにはできません。
- タイトルバーには、接続先のマネージャーサーバ名が表示されます。
- マネージャーサーバが起動していない場合、情報は表示されません。情報が無い場合、「ルート」だけが表示されます。
- リストエリアの各カラムでは、カラム名をクリックすると ASCII コードの昇順または降順でソートして表示できます。なお、ソートしようとするカラムで、すべて空白であったり、すべて同じ数字であったりした場合は、ソートされません。ソート表示は、各ダイアログボックスのカラムでも同様にできます。

6.3.1 [Network Element Configuration - View] ウィンドウの構成要素

[Network Element Configuration - View] ウィンドウは、次に示す要素から構成されています。

- ツールバー
- ビュー選択メニュー
- ツリーエリア
- リストエリア
- ステータスバー

各構成要素の内容は、表示するビューによって異なります。各ビューの構成要素の詳細については、「6.4.1 管理対象ビューの構成要素」、「6.5.1 VLAN ビューの構成要素」、「6.6.1 SLB ビューの構成要素」、または「6.7.1 スイッチ構成ビューの構成要素」を参照してください。

[Network Element Configuration - View] ウィンドウを構成する要素について、概要を次に説明します。

(1) ツールバー

ツールバーには、よく使うメニューコマンドの機能のボタンが表示されています。ボタンをクリックすると、複数の操作をしないで直接機能を利用できます。

(2) ビュー選択メニュー


ビュー選択メニューは、ビューを切り替えるためのプルダウンメニューです。プルダウンメニューからビュー名を選択すると、[Network Element Configuration - View] ウィンドウの表示が選択したビューに切り替わります。





(3) ツリーエリア

ツリーエリアには、ネットワーク構成ツリーが表示されます。ネットワーク構成ツリーとは、JP1/Cm2/NC が管理しているスイッチの構成や状態が階層構造で表示されたものです。

また、ネットワーク構成要素の「スイッチ」は、JP1/Cm2/NC とスイッチとの接続状態を知らせるアイコンとともに表示されます。このアイコンを状態アイコンと呼びます。状態アイコンの色と状態の意味を次の表に示します。

表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味

状態アイコン	アイコンの意味	状態
 (緑)	正常	該当するスイッチを管理しているアダプターサーバが起動しており、かつ、スイッチに対して接続できます。

状態アイコン	アイコンの意味	状態
 (黄)	構成情報の同期が必要です。	構成情報の設定に失敗したなどの理由によって、DBとスイッチの情報が不一致になっているおそれがあります。[表示] - [構成情報の同期] を実行してください。
 (赤)	スイッチに接続できません。	該当するスイッチを管理しているアダプターサーバは起動していますが、スイッチが停止しているなどの理由によって、スイッチに接続できないおそれがあります。スイッチが起動しているか確認してください。
 (青)	アダプターが起動していません。	該当するスイッチを管理しているアダプターサーバが起動していないか、またはアダプターは起動しているがマネージャーサーバと接続されていないおそれがあります。JP1/Cm2/NC - Adaptor を起動してください。
 (オフホワイト)	構成情報なし。	スイッチ定義ファイル (ncaswtich.conf) の定義ミスなどが原因で、スイッチからネットワークの構成情報が取得できていないため、DBにまったく情報が無いおそれがあります。このアイコンのスイッチは、管理対象ビューだけに表示されます。定義が正しいか確認するか、管理対象ビューで [表示] - [構成情報の同期] を実行してください。

(4) リストエリア

リストエリアには、ネットワーク構成ツリーで選択した各要素の中身を一覧 (リスト) で表示します。

(5) ステータスバー

現在の JP1/Cm2/NC - View のステータスを示すメッセージが表示されます。スイッチに対して構成情報を設定しているときには「ネットワーク構成情報の設定処理中です。」が表示されます。設定処理が終了すると、「ネットワーク構成情報の設定が完了しました。」または「ネットワーク構成情報の設定が失敗しました。」が表示されます。

6.3.2 メニューコマンド一覧

[Network Element Configuration - View] ウィンドウのメニューコマンドの一覧を次の表に示します。

6. 画面 - 基本画面

表 6-5 [Network Element Configuration - View] ウィンドウのメニューコマンドの一覧

メニューバー	メニューコマンド	機能	活性条件	
ファイル	接続先変更	[ログイン] ダイアログボックスを表示します。 接続先のマネージャーサーバを変更するために、このメニューコマンドの操作を実施します。	常時活性	
	終了 (ログアウト)	接続中のマネージャーサーバからログアウトし、表示中の画面を終了します。JP1/Cm2/NC - View の利用を正常に終了するために、このメニューコマンドの操作を実施します。	常時活性	
編集	スイッチ構成情報の設定	各ビューに対応した [スイッチ構成情報の設定] ダイアログを表示します。 スイッチ全体に関する情報を、実際にスイッチに設定するためにこのメニューコマンドの操作を実施します。	ネットワーク構成ツリーのスイッチを選択したとき	
	VLAN 情報	VLAN 定義の追加	[VLAN 定義の追加] ダイアログボックスを表示します。 VLAN 管理ドメインに、VLAN-ID と VLAN 種別の対応などの定義を追加するために、このメニューコマンドの操作を実施します。	VLAN ビューのネットワーク構成ツリーで VLAN 管理ドメインを選択し、かつドメイン内の VLAN の定義数が 4,094 個以下のとき
		VLAN 定義の変更	[VLAN 定義の変更] ダイアログボックスを表示します。 VLAN 名と VLAN に定義したコメントを変更するために、このメニューコマンドの操作を実施します。	VLAN ビューのネットワーク構成ツリーで VLAN を選択したとき
		VLAN 構成情報の設定	[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスを表示します。 VLAN 管理ドメインに VLAN を追加したり、VLAN を構成するスイッチを追加したりするために、このメニューコマンドの操作を実施します。	VLAN ビューのネットワーク構成ツリーで次の要素を選択したとき <ul style="list-style-type: none"> • VLAN 管理ドメイン • VLAN • スイッチ
SLB 情報	論理サーバ構成情報の設定	[論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスを表示します。 スイッチ内の論理サーバごとに、論理サーバ名や IP アドレス、該当する TCP/UDP ポートなどを設定するためにこのメニューコマンドの操作を実施します。	SLB ビューのネットワーク構成ツリーで次の要素を選択したとき <ul style="list-style-type: none"> • スイッチ • 論理サーバツリーのルート • 論理サーバツリーの論理サーバ 	

メニューバー	メニューコマンド	機能	活性条件
	物理サーバ構成情報の設定	[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスを表示します。スイッチ内の物理サーバごとに、物理サーバ名や IP アドレスなどを設定するためにこのメニューコマンドの操作を実施します。	SLB ビューのネットワーク構成ツリーで次の要素を選択したとき <ul style="list-style-type: none"> • スイッチ • 物理サーバツリーのルート • 物理サーバツリーの物理サーバ • 物理サーバツリーのプール¹ • 物理サーバツリーの会社²
	バインド構成情報の設定	[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスを表示します。スイッチにバインドを定義するために、このメニューコマンドの操作を実施します。	SLB ビューのネットワーク構成ツリーで次の要素を選択したとき <ul style="list-style-type: none"> • スイッチ • 論理サーバ³ • 物理サーバ • プール¹ • 会社² • ゾーン² • グループ² • バインド状況ツリーのルート • 論理サーバポート³
アクセス制御情報	アクセス制御情報の設定	[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスを表示します。スイッチにアクセス制御を設定するために、このメニューコマンドの操作を実施します。	スイッチ構成ビューのネットワーク構成ツリーで次の要素を選択したとき <ul style="list-style-type: none"> • スイッチ • ポート
	アクセス制御リスト情報の設定	[アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスを表示します。スイッチにアクセス制御リストを設定するために、このメニューコマンドの操作を実施します。	スイッチ構成ビューのネットワーク構成ツリーで、AX2400S、AX3600S、BS2000、BS320、BS500、または BS500 1Gbx40 のスイッチを選択したとき

6. 画面 - 基本画面

メニューバー	メニューコマンド		機能	活性条件
	QoS 制御情報	QoS 制御情報の設定	[QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスを表示します。スイッチに、QoS 制御を設定するために、このメニューコマンドの操作を実施します。	スイッチ構成ビューのネットワーク構成ツリーで BS1000 に対する次の要素を選択したとき <ul style="list-style-type: none"> • スイッチ • ポート
表示	最新の情報に更新		マネージャーサーバの DB から最新の情報を取得し、JP1/Cm2/NC - View のツリーエリアのネットワーク構成ツリーを再構成します。	常時活性
	構成情報の同期		スイッチから最新の情報を取得し、JP1/Cm2/NC - View で表示した情報を DB に格納します。また、DB に格納された最新の情報に基づいて、ツリーエリアのネットワーク構成ツリーを再構成します。スイッチのコマンドで情報が変更されたり、スイッチへの設定が失敗し、DB とスイッチの情報に不一致が発生したりした場合に、DB とスイッチの情報を一致させるために、このメニューコマンドの操作を実施します。	ネットワーク構成ツリーで次の要素を選択したとき <ul style="list-style-type: none"> • スイッチ • スイッチ (構成情報なし)
ビュー	管理対象ビュー		[Network Element Configuration - View] ウィンドウのビューを、現在表示されているビューから「管理対象ビュー」に切り替えます。	常時活性
	VLAN ビュー		[Network Element Configuration - View] ウィンドウのビューを、現在表示されているビューから [VLAN ビュー] に切り替えます。	常時活性
	SLB ビュー		[Network Element Configuration - View] ウィンドウのビューを、現在表示されているビューから「SLB ビュー」に切り替えます。	常時活性
	スイッチ構成ビュー		[Network Element Configuration - View] ウィンドウのビューを、現在表示されているビューから「スイッチ構成ビュー」に切り替えます。	常時活性

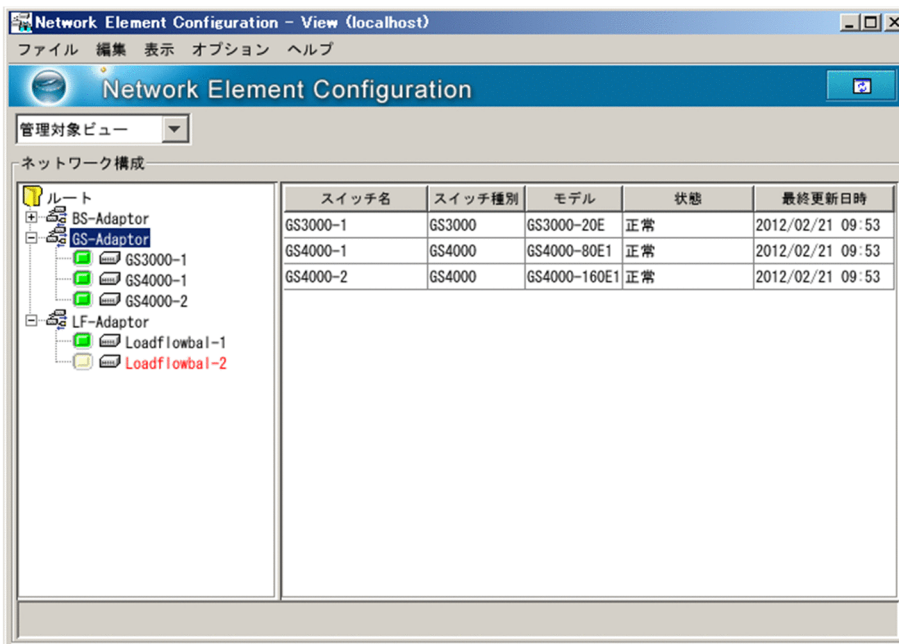
メニューバー	メニューコマンド		機能	活性条件
オプション	ツリーの更新	確認	このオプションを選択していると、マネージャーサーバのDBが更新されたとき、ネットワーク構成ツリーを最新の状態にするかどうかを確認するダイアログボックスを表示します。DBが更新されたことがわかった上でツリーの情報を更新したい場合に、このオプションを推奨します。JP1/Cm2/NC - View 起動時のデフォルトです。	常時活性
		自動	マネージャーサーバのDBが更新されたとき、ネットワーク構成ツリーを自動的に再構成します。確認ダイアログボックスは表示されません。使用目的が情報の参照だけに限定したユーザーが、JP1/Cm2/NC - View を使用する場合に、このオプションを推奨します。	常時活性
		手動	マネージャーサーバのDBが更新されたとき、ネットワーク構成ツリーを自動的に再構成しません。確認ダイアログボックスは表示されません。任意のタイミングで情報を更新したい場合に、このオプションを推奨します。	常時活性
	telnet		telnet クライアントを起動し、スイッチに接続 (open) します。ログイン以降はユーザーが行ってください。 JP1/Cm2/NC では設定をサポートしていない情報について、直接スイッチに接続して参照・設定するために使用します。Telnet 接続がサポートされていないスイッチは使用できません。	ネットワーク構成ツリーで次の要素を選択したとき ・スイッチ名 ・スイッチ名 (構成情報なし)
ヘルプ	バージョン情報		[バージョン情報] ダイアログボックスを表示します。 JP1/Cm2/NC - View のバージョン情報を確認するために、このメニューコマンドの操作を実施します。	常時活性

- 注 1
BIG-IP の場合に該当します。
- 注 2
STM の場合に該当します。
- 注 3
STM 以外の場合に該当します。

6.4 [Network Element Configuration - View] ウィンドウ (管理対象ビュー)

管理対象ビューは、アダプターサーバが管理しているスイッチを確認したり、アダプターサーバと管理しているスイッチの対応を確認したりするためのビューです。
[Network Element Configuration - View] ウィンドウ (管理対象ビュー) を次の図に示します。

図 6-8 [Network Element Configuration - View] ウィンドウ (管理対象ビュー)



管理対象ビュー表示時、ネットワーク構成ツリーでは「ルート」が選択されています。

管理対象ビューでは、各ネットワーク構成要素についてリストフィールドに内容を表示できます。スイッチへ情報を設定することはできません。スイッチを設定したいときは、管理対象ビュー以外の各ビューで操作してください。

管理対象ビューの構成要素について、マニュアルの参照先を次の表に示します。

表 6-6 管理対象ビューの構成要素についてのマニュアル参照先

管理対象ビューの構成要素	参照先
ツールバー	6.4.1 (1)
ビュー選択メニュー	6.4.1 (2)
ツリーエリア	6.4.1 (3)

管理対象ビューの構成要素	参照先
リストエリア	6.4.1 (4)

6.4.1 管理対象ビューの構成要素

管理対象ビューを構成する要素について次に説明します。

(1) ツールバー

管理対象ビューのツールバーには、管理対象ビューでよく使うメニューコマンドの機能がボタンで表示されています。ツールバーのボタンを使うと、複数の操作をしないで直接機能を利用できます。管理対象ビューのツールバーに表示されるボタンのアイコンと機能を次に説明します。



最新の情報に更新ボタン

マネージャーサーバのDBから最新の情報を取得し、ツリーエリアのネットワーク構成ツリーを再構成します。

(2) ビュー選択メニュー

ビュー選択メニューは、管理対象ビューから別のビューに表示を切り替えるためのプルダウンメニューです。プルダウンメニューから表示したいビュー名を選択すると、[Network Element Configuration - View] ウィンドウの表示が選択したビューに切り替わります。

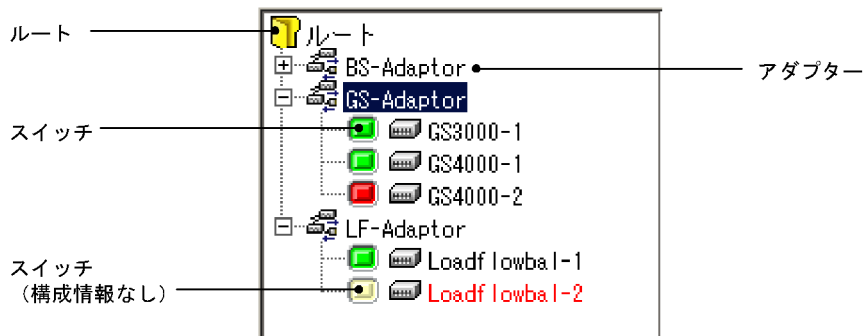
(3) ツリーエリア

管理対象ビューのツリーエリアには、JP1/Cm2/NC が管理しているスイッチの一覧や状態がネットワーク構成ツリーとして表示されます。管理対象ビューのネットワーク構成ツリーを参照すると、次のような情報がわかります。

- JP1/Cm2/NC が管理しているスイッチは何か。
- どのアダプターサーバがどのスイッチを管理しているのか。

管理対象ビューのネットワーク構成ツリーを構成する要素を、次の図に示します。

図 6-9 ネットワーク構成要素



管理対象ビューのネットワーク構成要素の詳細について次の表に示します。

表 6-7 ネットワーク構成要素の詳細

ネットワーク構成要素	説明
ルート	ネットワーク構成ツリーの最上位の要素です。ネットワーク構成ツリー上に「ルート」と表示されます。表示する情報がまったくない場合、ツリーエリアには「ルート」だけ表示されます。
アダプター	JP1/Cm2/NC・View の接続先 JP1/Cm2/NC・Manager が管理している JP1/Cm2/NC・Adaptor が表示されます。
スイッチ	該当する JP1/Cm2/NC・Adaptor が管理しているスイッチが表示されます。
スイッチ (構成情報なし)	JP1/Cm2/NC・Adaptor のスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) の誤りなどによって、スイッチから設定情報を取得できないため、DB に情報がまったくないスイッチです。アダプターの直下に赤字で表示されます。このスイッチは管理対象ビューだけに表示されます。また、操作できるのは「構成情報の同期」だけです。

JP1/Cm2/NC・View 起動直後、ツリーエリアには「アダプター」が開かれた状態で、ネットワーク構成ツリーが表示されます。

なお、ツリーエリアでは、一度に複数のネットワーク構成要素を選択することはできません。

また、ネットワーク構成要素の「スイッチ」について、JP1/Cm2/NC とスイッチとの接続状態を状態アイコンの色で識別しています。状態アイコンの色と状態の意味については、「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。

(4) リストエリア

管理対象ビューのリストエリアには、ネットワーク構成ツリーで選択した各要素の中身が一覧（リスト）で表示されます。選択した要素によって表示される内容が異なります。ツリーエリアで選択した要素とリストエリアに表示される内容（管理対象ビュー）の対応を次の表に示します。

表 6-8 ツリーエリアで選択した要素とリストエリアに表示される内容の対応（管理対象ビュー）

ツリーエリアで選択した要素	リストエリアに表示される内容	
ルート	アダプターリスト	該当するマネージャーサーバに接続されているアダプターサーバの一覧が表示されます。
アダプター	スイッチリスト (管理対象ビュー)	該当するアダプターサーバが管理しているスイッチの一覧が表示されます。
スイッチ	スイッチ情報リスト	該当スイッチの基本情報と現在の状態が表示されます。なお、構成情報がないスイッチを選択した場合は、リストエリアには何も表示されません。

以降に、それぞれの情報の表示イメージを示します。また、各リストの表示項目の詳細について説明します。

(a) アダプターリスト

マネージャーサーバに接続されているアダプターサーバを示す一覧表です。

図 6-10 アダプターリストの表示イメージ

アダプター名	タイプ
BS-Adaptor	BS1000
GS-Adaptor	GS Series
LF-Adaptor	HA8000-ie/Loadf lowbal

表 6-9 アダプターリストの表示項目の説明

表示項目	内容
[アダプター名]	該当するアダプターサーバの動作条件定義ファイル (nca.conf) に定義したアダプターサーバ名が表示されます。

6. 画面 - 基本画面

表示項目	内容
[タイプ]	JP1/Cm2/NC - Adaptor の種類が表示されます。表示されるタイプは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • 「AX Series」 • 「BS1000」 • 「BS Series」 • 「Cisco Switch」 • 「F5 Load Balancer」 • 「GS Series」 • 「HA8000-ie/Loadflowbal」 • 「System Traffic Manager」

注 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS1000 の場合「BS1000」と表示され、JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series の場合「BS Series」と表示されます。

(b) スイッチリスト

該当するアダプターサーバが管理しているスイッチとスイッチの状態を示す一覧表です。

図 6-11 スイッチリストの表示イメージ

スイッチ名	スイッチ種別	モデル	状態	最終更新日時
GS3000-1	GS3000	GS3000-20E	正常	2012/02/21 09:53
GS4000-1	GS4000	GS4000-80E1	正常	2012/02/21 09:53
GS4000-2	GS4000	GS4000-160E1	正常	2012/02/21 09:53

表 6-10 スイッチリストの表示項目の説明

表示項目	内容
[スイッチ名]	該当するアダプターサーバのスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。
[スイッチ種別]	該当するスイッチの種別が表示されます。 表示内容の詳細は「表 6-11 スイッチ種別の表示内容」を参照してください。
[モデル]	該当するスイッチのモデルが表示されます。実際にスイッチから取得した情報が表示されます。モデルの情報を持たないスイッチの場合は何も表示されません。

表示項目	内容
[状態]	<p>該当するスイッチとの接続状態が表示されます。スイッチリスト（管理対象ビュー）に表示される状態を次に示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「正常」 • 「構成情報の同期が必要です。」 • 「スイッチに接続できません。」 • 「アダプターが起動していません。」 • 「構成情報なし。」 <p>表示される状態の意味は、ツリーエリアに表示されるアイコンの意味と同じです。表示される状態の意味については、「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。</p>
[最終更新日時]	該当するスイッチの構成情報を DB に格納した日時が表示されます。

表 6-11 スイッチ種別の表示内容

アダプター	表示内容
AX	AX2400S, AX3600S, AX5400S, AX7800S
BI	BIG-IP1500, BIG-IP6400
BS	BS1000, BS2000, BS320, BS500, BS500 1Gbx40
CS	Catalyst3550, Catalyst3750
GS	GS3000, GS4000
LF	Loadflowbal
ST	STM

(c) スイッチ情報リスト

該当するスイッチの基本情報とスイッチの状態を示す一覧表です。

図 6-12 スイッチ情報リストの表示イメージ

スイッチ情報	内容
スイッチ名	GS4000-1
状態	正常
スイッチ種別	GS4000
モデル	GS4000-80E1
ソフトウェアバージョン	09-01-/A
最終更新日時	2012/02/21 10:15

6. 画面 - 基本画面

表 6-12 スイッチ情報リストの表示項目の説明

表示項目		内容
[スイッチ情報]	スイッチ名	スイッチリストと同様の内容が表示されます。表示内容の詳細については、「6.4.1(4)(b) スイッチリスト」を参照してください。
	状態	
	スイッチ種別	
	モデル	
	ソフトウェアバージョン	ルーティングソフトウェアのバージョンが表示されます。バージョンは、先頭から 11 文字までが表示されます。11 文字より長い場合、12 文字目以降は表示されません。
最終更新日時	該当するスイッチの構成情報を DB に格納した日時が表示されません。	

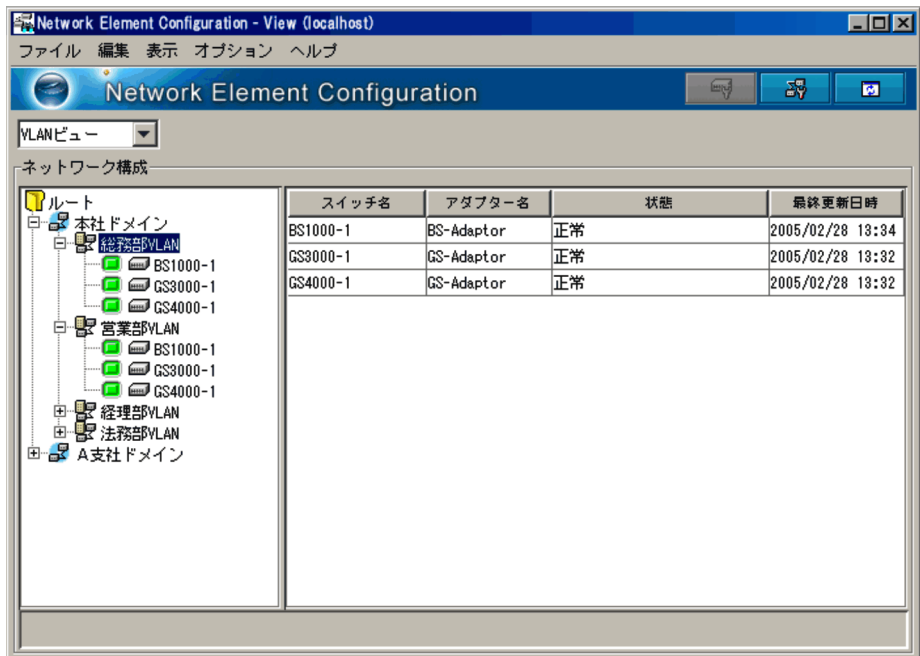
(5) ステータスバー

管理対象ビューでは、スイッチへ情報を設定しないため、ステータスバーには何も表示されません。

6.5 [Network Element Configuration - View] ウィンドウ (VLAN ビュー)

VLAN ビューは、構築している VLAN の構成や状態を表示させたり、スイッチへ VLAN の情報を設定したりするためのビューです。このビューを起点にして操作します。
[Network Element Configuration - View] ウィンドウ (VLAN ビュー) を次の図に示します。

図 6-13 [Network Element Configuration - View] ウィンドウ (VLAN ビュー)



VLAN ビュー表示時、ネットワーク構成ツリーでは「ルート」が選択されています。

VLAN ビューには、構成情報がない（オフホワイトの）スイッチは表示されません。構成情報がないスイッチから構成情報を再取得する場合は、管理対象ビューから操作してください。

VLAN ビューの構成要素について、マニュアルの参照先を次の表に示します。

表 6-13 VLAN ビューの構成要素についてのマニュアル参照先

VLAN ビューの構成要素	参照先
ツールバー	6.5.1 (1)
ビュー選択メニュー	6.5.1 (2)

VLAN ビューの構成要素	参照先
ツリーエリア	6.5.1 (3)
リストエリア	6.5.1 (4)

6.5.1 VLAN ビューの構成要素

VLAN ビューを構成する要素について次に説明します。

(1) ツールバー

VLAN ビューのツールバーには、VLAN ビューでよく使うメニューコマンドの機能がボタンで表示されています。ツールバーのボタンを使うと、複数の操作をしないで直接機能を利用できます。VLAN ビューのツールバーに表示されるボタンのアイコンと機能を次に説明します。

スイッチ構成情報の設定ボタン

[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスを表示します。ツリーエリアで「スイッチ」を選択したときにボタンをクリックできます。

VLAN 構成情報の設定ボタン

[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスを表示します。ネットワーク構成ツリーで次の要素を選択したときにボタンをクリックできます。

- VLAN 管理ドメイン
- VLAN
- スイッチ

最新の情報に更新ボタン

マネージャーサーバの DB から最新の情報を取得し、ツリーエリアのネットワーク構成ツリーを再構成します。

(2) ビュー選択メニュー

ビュー選択メニューは、VLAN ビューから別のビューに表示を切り替えるためのプルダウンメニューです。プルダウンメニューから表示したいビュー名を選択すると、[Network Element Configuration - View] ウィンドウの表示が選択したビューに切り替わります。

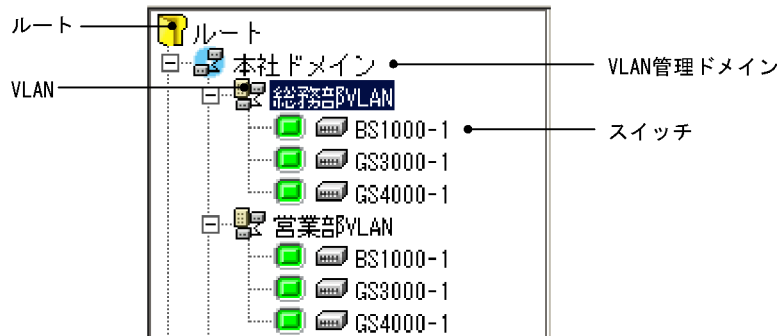
(3) ツリーエリア

VLAN ビューのツリーエリアには、VLAN のネットワーク構成や状態がネットワーク構成ツリーとして表示されます。VLAN ビューのネットワーク構成ツリーを参照すると、次のような情報がわかります。

- どのような VLAN 管理ドメインがあるのか。
- その VLAN 管理ドメインには、どのような VLAN が何個所属しているのか。
- それらの VLAN をどのスイッチで構成しているのか。

VLAN ビューのネットワーク構成ツリーを構成する要素を、次の図に示します。

図 6-14 ネットワーク構成要素



VLAN ビューのネットワーク構成要素の詳細について次の表に示します。

表 6-14 ネットワーク構成要素の詳細

ネットワーク構成要素	説明
ルート	複数の VLAN 管理ドメインをまとめる、ネットワーク構成ツリーの最上位の要素です。ネットワーク構成ツリー上に「ルート」と表示されます。表示する情報がまったくない場合、ツリーエリアには「ルート」だけ表示されます。
VLAN 管理ドメイン	JP1/Cm2/NC が管理している VLAN 管理ドメインです。任意の名称を設定できます。VLAN 管理ドメイン名は、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) で、スイッチの属するドメイン名として定義します。
VLAN	VLAN 管理ドメイン内に存在する VLAN です。任意の名称を設定できます。名称が定義されていないときは「VID=n」(n は VLAN-ID) が表示されます。
スイッチ	VLAN を構成するスイッチです。通常、一つのスイッチには複数の VLAN が構成されているため、同じスイッチが別の VLAN 配下に表示されることもあります。VLAN を構成しているスイッチでも、構成情報を取得できなかったスイッチは VLAN ビューには表示されません。構成情報のないスイッチは管理対象ビューだけに表示されます。

注

VLAN 管理ドメインが一つしかない場合は、デフォルトドメイン名を指定することをお勧めします。デフォルトドメインの名称は、JP1/Cm2/NC・Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) で変更できます。何も変更しない場合は、「デフォルトドメイン」がデフォルトドメイン名になります。

6. 画面 - 基本画面

JP1/Cm2/NC - View 起動直後、ツリーエリアには VLAN 管理ドメインが展開された状態で、ネットワーク構成ツリーが表示されます。

なお、ツリーエリアでは、一度に複数のネットワーク構成要素を選択することはできません。

また、ネットワーク構成要素の「スイッチ」について、JP1/Cm2/NC とスイッチとの接続状態を状態アイコンの色で識別しています。状態アイコンの色と状態の意味については、「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。

(4) リストエリア

リストエリアには、ネットワーク構成ツリーで選択した各要素の中身が一覧（リスト）で表示されます。選択した要素によって、表示される内容が異なります。ツリーエリアで選択した要素とリストエリアに表示される内容（VLAN ビュー）の対応を次の表に示します。

表 6-15 ツリーエリアで選択した要素とリストエリアに表示される内容の対応（VLAN ビュー）

ツリーエリアで選択した要素	リストエリアに表示される内容	
ルート	VLAN 管理ドメインリスト	ネットワーク上にどのような VLAN 管理ドメインがあるかが一覧で表示されます。
VLAN 管理ドメイン（ドメイン名）	VLAN リスト	該当する VLAN 管理ドメインの配下にある VLAN の一覧が表示されます。
VLAN（VLAN 名）	スイッチリスト	該当する VLAN を構成するスイッチの一覧が表示されます。
スイッチ（スイッチ名）	ポートリスト	該当する VLAN に設定されているスイッチ内のポートの一覧（該当する VLAN が設定されているポート）が表示されます。

以降に、リストエリアに表示される、それぞれのリストの表示イメージを示します。また、各リストの表示項目の詳細について説明します。

(a) VLAN 管理ドメインリスト

ネットワーク上にどのような VLAN 管理ドメインがあるかを示す一覧表です。

図 6-15 VLAN 管理ドメインリストの表示イメージ

ドメイン名
本社ドメイン
A支社ドメイン
X営業店ドメイン
Y営業店ドメイン

表 6-16 VLAN 管理ドメインリストの表示項目の説明

表示項目	内容
[ドメイン名]	該当するアダプターサーバのスイッチ定義ファイル(ncaswitch.conf)に定義したドメイン名が表示されます。デフォルトドメインは、JP1/Cm2/NC・Manager 動作条件定義ファイル(ncm.conf)で定義されています。

(b) VLAN リスト

該当する VLAN 管理ドメインの配下にどのような VLAN があるかを示す一覧表です。

図 6-16 VLAN リストの表示イメージ

VLAN-ID	VLAN名	タイプ	備考
1	総務部VLAN	ポート	
2	営業部VLAN	ポート	
3	経理部VLAN	ポート	
4	法務部VLAN	ポート	

6. 画面 - 基本画面

表 6-17 VLAN リストの表示項目の説明

表示項目	内容
[VLAN-ID]	VLAN-ID が表示されます。
[VLAN 名]	該当する VLAN-ID の VLAN 名が表示されます。名称が定義されていないとき、「Not defined」が表示されます。
[タイプ]	該当する VLAN-ID の VLAN の種類が表示されます。表示される種類は「ポート」です。
[備考]	該当する VLAN-ID の備考（コメント）が表示されます。

(c) スイッチリスト

該当する VLAN を構成するスイッチとスイッチの状態を示す一覧表です。

図 6-17 スイッチリストの表示イメージ

スイッチ名	アダプター名	状態	最終更新日時
BS1000-1	BS-Adaptor	正常	2005/02/28 13:34
GS3000-1	GS-Adaptor	正常	2005/02/28 13:32
GS4000-1	GS-Adaptor	正常	2005/02/28 13:32

表 6-18 スイッチリストの表示項目の説明

表示項目	内容
[スイッチ名]	該当するアダプターサーバのスイッチ定義ファイル（ncaswitch.conf）に定義したスイッチ名が表示されます。
[アダプター名]	該当するアダプターサーバの動作条件定義ファイル（nca.conf）に定義した、該当するスイッチを管理しているアダプターサーバ名が表示されます。

表示項目	内容
[状態]	<p>該当するスイッチとの接続状態が表示されます。スイッチリスト (VLAN ビュー) に表示される状態を次に示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「正常」 • 「構成情報の同期が必要です。」 • 「スイッチに接続できません。」 • 「アダプターが起動していません。」 <p>表示される状態の意味は、ツリーエリアに表示されるアイコンの意味と同じです。表示される状態の意味については、「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。</p>
[最終更新日時]	該当するスイッチの構成情報を DB に格納した日時が表示されます。

(d) ポートリスト

該当する VLAN に設定されているスイッチ内のポートの一覧表です。該当する VLAN が設定されているポートが表示されます。ポートリストは選択したスイッチによって表示内容が異なります。スイッチごとにポートリストの表示イメージおよび表示項目を説明します。

ポートリスト (AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40) AX2400S, X3600S, BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 を選択した場合のポートリストについて説明します。

図 6-18 ポートリストの表示イメージ (AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40)

ポート指定種別	インターフェースタイプ	NIF	ポート	モード	TPID
アクセスポート	Gigabit Ethernet	0	2	アクセス	
アクセスポート	Gigabit Ethernet	0	3	トランク	8100
トランクポート	Gigabit Ethernet	0	20	アクセス	
トランクポート	Gigabit Ethernet	0	21	アクセス	
トランクポート	TenGigabit Ethernet	0	26	アクセス	

6. 画面 - 基本画面

表 6-19 ポートリスト (AX2400S ・ AX3600S ・ BS2000 ・ BS320 ・ BS500 ・ BS500
1Gbx40) の表示項目の説明

表示項目	内容
[ポート指定種別]	該当する VLAN に所属するポートがどの種別で設定されているかが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • アクセスポート • トランクポート • ネイティブ指定トランクポート
[インターフェースタイプ]	インターフェースタイプが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • GigabitEthernet • TenGigabitEthernet
[NIF]	NIF 番号が表示されます。
[ポート]	該当する VLAN が設定されているポート番号が表示されます。
[モード]	ポートのモードの種別が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • アクセス アクセスモードに設定されていることを意味します。 • トランク トランクモードに設定されていることを意味します。 • プロトコル プロトコル VLAN モードに設定されていることを意味します。 • MAC MAC VLAN モードに設定されていることを意味します。 • トンネリング トンネリングモードに設定されていることを意味します。
[TPID]	ポートごとの TPID が 4 けたの 16 進数表記で表示されます。

ポートリスト (AX5400S ・ AX7800S ・ BS1000 ・ GS3000 ・ GS4000)
 AX5400S , AX7800S , BS1000 , GS3000 , および GS4000 を選択した場合のポート
 リストについて説明します。

図 6-19 ポートリストの表示イメージ (AX5400S ・ AX7800S ・ BS1000 ・ GS3000 ・ GS4000)

NIF	ポート	Tagged/Untagged
0	0	Untagged
0	1	Untagged
0	2	Untagged
0	11	Tagged
1	0	Untagged
1	1	Untagged
1	2	Untagged
1	11	Tagged

表 6-20 ポートリスト (AX5400S ・ AX7800S ・ BS1000 ・ GS3000 ・ GS4000) の表示項目の説明

表示項目	内容
[NIF]	NIF 番号が表示されます。
[ポート]	該当する VLAN が設定されているポート番号が表示されます。 ただし、デフォルト VLAN については、ユーザーが明示的に指定したポートだけ表示されます。ほかの VLAN から削除された結果、デフォルト VLAN に割り当てられたポートは表示されません。
[Tagged/Untagged]	該当する VLAN のポートの種類が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 「Tagged」 Tagged ポートに設定されていることを意味します。 • 「Untagged」 Untagged ポートに設定されていることを意味します。

ポートリスト (Cisco Catalyst)

Cisco Catalyst を選択した場合のポートリストについて説明します。

6. 画面 - 基本画面

図 6-20 ポートリストの表示イメージ (Cisco Catalyst)

ポート指定種別	インターフェースタイプ	スタック	スロット	ポート	モード	カプセル化フォーマット
アクセスポート	Gigabit Ethernet	1	0	2	アクセス	negotiate
アクセスポート	Gigabit Ethernet	1	0	3	アクセス	802.1Q
アクセスポート	Gigabit Ethernet	1	0	4	アクセス	negotiate
アクセスポート	Gigabit Ethernet	1	0	5	アクセス	negotiate
アクセスポート	Gigabit Ethernet	1	0	7	アクセス	negotiate
アクセスポート	Gigabit Ethernet	1	0	8	アクセス	negotiate
アクセスポート	Gigabit Ethernet	1	0	9	アクセス	negotiate
アクセスポート	Gigabit Ethernet	1	0	11	アクセス	negotiate
アクセスポート	Gigabit Ethernet	1	0	12	アクセス	negotiate
アクセスポート	Gigabit Ethernet	1	0	13	アクセス	negotiate
アクセスポート	Gigabit Ethernet	1	0	14	アクセス	negotiate
アクセスポート	Gigabit Ethernet	1	0	15	アクセス	negotiate
アクセスポート	Gigabit Ethernet	1	0	16	アクセス	negotiate
アクセスポート	Gigabit Ethernet	1	0	17	アクセス	negotiate
アクセスポート	Gigabit Ethernet	1	0	18	アクセス	negotiate
アクセスポート	Gigabit Ethernet	1	0	19	アクセス	negotiate

表 6-21 ポートリスト (Cisco Catalyst) の表示項目の説明

表示項目	内容
[ポート指定種別]	<p>該当する VLAN に所属するポートが、どの種別で設定されているかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクセスポート • トランクポート • ネイティブ指定トランクポート • ブルーニング適用トランクポート
[インターフェースタイプ]	<p>インターフェースタイプが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Fast Ethernet • Gigabit Ethernet • TenGigabit Ethernet
[スタック]	<p>スタック番号が表示されます。スタック番号がない場合は、何も表示されません。</p>
[スロット]	<p>スロット番号が表示されます。</p>
[ポート]	<p>該当する VLAN が設定されているポート番号が表示されます。</p>

表示項目	内容
[モード]	<p>ポートの VLAN メンバースhipモードが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • dynamic desirable 動的判断モードに設定されていることを意味します。対向のポートがトランク、desirable または auto のどれかに設定されている場合、モードがトランクになります。 • アクセス アクセスモードに設定されていることを意味します。 • トランク トランクモードに設定されていることを意味します。 • 802.1Q 802.1Q トンネルモードに設定されていることを意味します。 • dynamic auto 動的判断モードに設定されていることを意味します。対向のポートがトランクまたは desirable に設定されている場合、モードがトランクになります。 • プライベート VLAN ホスト プライベート VLAN ホストモードに設定されていることを意味します。 • プライベート VLAN 混合 プライベート VLAN 混合モードに設定されていることを意味します。
[カプセル化フォーマット]	<p>ポートのカプセル化フォーマットが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • negotiate DISL (Dynamic Inter-Switch Link) および DTP (Dynamic Trunking Protocol) ネゴシエーションがカプセル化フォーマットを解決できないときに、ISL が選択される形式に設定されていることを意味します。 • ISL ISL に設定されていることを意味します。 • 802.1Q 802.1Q に設定されていることを意味します。

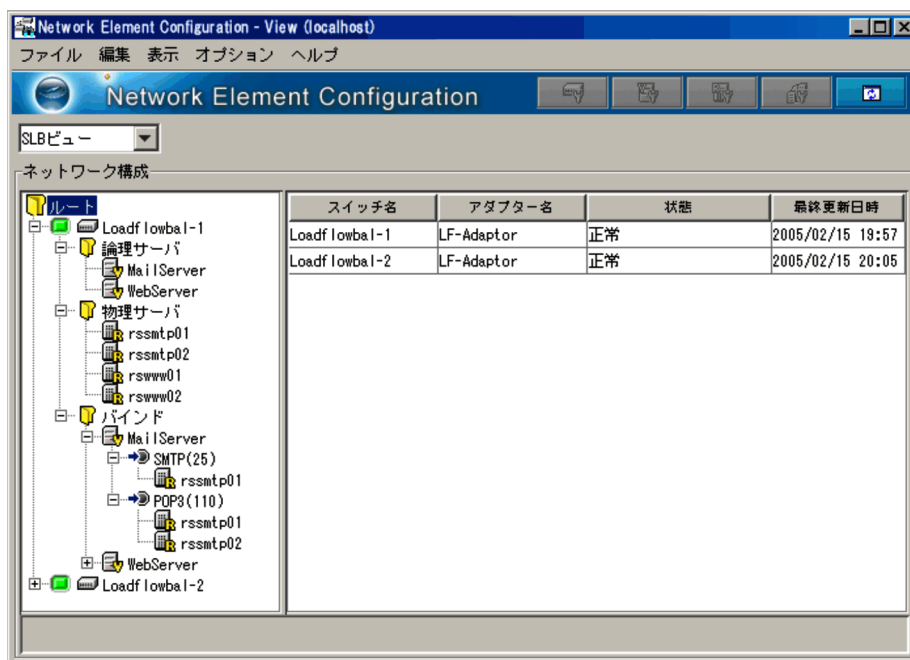
(5) ステータスバー

現在の JP1/Cm2/NC - View のステータスを示すメッセージが表示されます。スイッチに対して構成情報を設定しているときには「ネットワーク構成情報の設定処理中です。」が表示されます。設定処理が終了すると、「ネットワーク構成情報の設定が完了しました。」または「ネットワーク構成情報の設定が失敗しました。」が表示されます。

6.6 [Network Element Configuration - View] ウィンドウ (SLB ビュー)

SLB ビューは、設定している SLB の構成や状態を表示させたり、スイッチへ SLB の情報を設定したりするためのビューです。このビューを起点にして操作します。[Network Element Configuration - View] ウィンドウ (SLB ビュー) を次の図に示します。

図 6-21 [Network Element Configuration - View] ウィンドウ (SLB ビュー)



SLB ビュー表示時、ネットワーク構成ツリーでは「ルート」が選択されています。

SLB ビューには、構成情報がない（オフホワイトの）スイッチは表示されません。構成情報がないスイッチから構成情報を再取得する場合は、管理対象ビューから操作してください。

SLB ビューの構成要素について、マニュアルの参照先を次の表に示します。なお、SLB ビューのツリーエリアおよびリストエリアに表示される内容はスイッチによって異なります。

表 6-22 SLB ビューの構成要素についてのマニュアル参照先

SLB ビューの構成要素	参照先		
	BIG-IP	HA8000-ie/ Loadflowbal	STM
ツールバー		6.6.1 (1)	
ビュー選択メニュー		6.6.1 (2)	
ツリーエリア	6.6.1 (3)	6.6.1 (4)	6.6.1 (5)
リストエリア	6.6.1 (6)	6.6.1 (7)	6.6.1 (8)

6.6.1 SLB ビューの構成要素

SLB ビューを構成する要素について次に説明します。

(1) ツールバー

SLB ビューのツールバーには、SLB ビューでよく使うメニューコマンドの機能がボタンで表示されています。ツールバーのボタンを使うと、複数の操作をしないで直接機能を利用できます。SLB ビューのツールバーに表示されるボタンのアイコンと機能を次に説明します。



スイッチ構成情報の設定ボタン

[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスを表示します。ツリーエリアでスイッチを選択したときにボタンをクリックできます。



論理サーバ構成情報の設定ボタン

[論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスを表示します。ネットワーク構成ツリーで次の要素を選択したときにボタンをクリックできます。

- スイッチ
- 論理サーバツリーのルート
- 論理サーバツリーの論理サーバ



物理サーバ構成情報の設定ボタン

[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスを表示します。ネットワーク構成ツリーで次の要素を選択したときにボタンをクリックできます。

- スイッチ
- 物理サーバツリーのルート
- 物理サーバツリーの物理サーバ
- 物理サーバツリーのプール (BIG-IP の場合)
- 物理サーバツリーの会社 (STM の場合)



バインド構成情報の設定ボタン

6. 画面 - 基本画面

[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスを表示します。ネットワーク構成ツリーで次の要素を選択したときにボタンをクリックできます。

- スイッチ
- 論理サーバ (STM 以外の場合)
- 物理サーバ
- プール (BIG-IP の場合)
- 会社 (STM の場合)
- ゾーン (STM の場合)
- グループ (STM の場合)
- バインド状況ツリーのルート
- 論理サーバポート (STM 以外の場合)



最新の情報に更新ボタン

マネージャーサーバの DB から最新の情報を取得し、ツリーエリアのネットワーク構成ツリーを再構成します。

(2) ビュー選択メニュー

ビュー選択メニューは、SLB ビューから別のビューに表示を切り替えるためのプルダウンメニューです。プルダウンメニューから表示したいビュー名を選択すると、[Network Element Configuration - View] ウィンドウの表示が選択したビューに切り替わります。

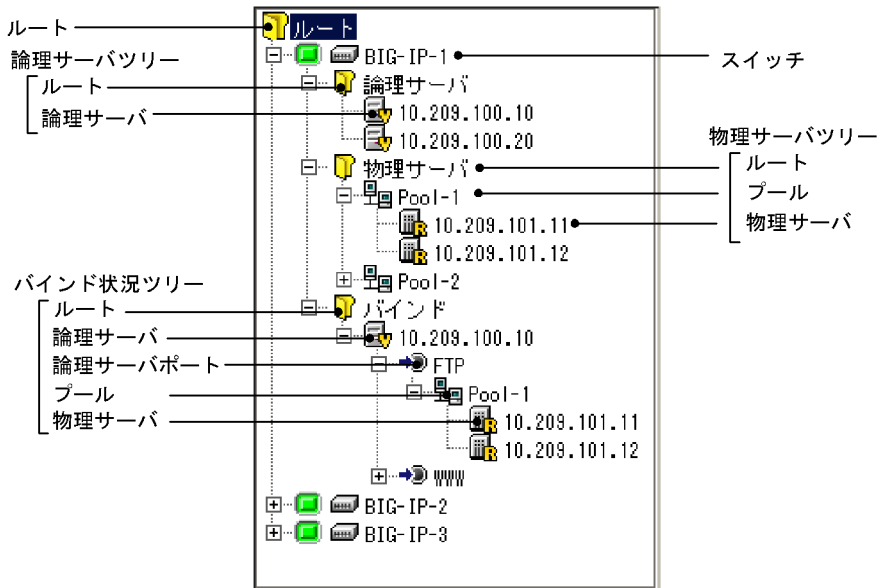
(3) ツリーエリア (BIG-IP)

SLB ビューのツリーエリアには、SLB サーバの構成や状態がネットワーク構成ツリーとして表示されます。SLB ビューのネットワーク構成ツリーを参照すると、次のような情報がわかります。

- スイッチにどのような論理サーバが設定されているのか。
- スイッチにどのような物理サーバが設定されているのか。
- それらの論理サーバと物理サーバがどのように関連づけられているのか (バインド状況)

SLB ビューのネットワーク構成ツリーを構成する要素を、次の図に示します。

図 6-22 ネットワーク構成要素 (BIG-IP)



ネットワーク構成要素の詳細について次の表に示します。

表 6-23 ネットワーク構成要素 (BIG-IP) の詳細

ネットワーク構成要素		説明
ルート		ネットワーク構成ツリーの最上位の要素です。ネットワーク構成ツリー上に「ルート」と表示されます。表示する情報がまったくない場合、ツリーエリアには「ルート」だけ表示されます。
スイッチ		SLB が設定されているスイッチです。 なお、SLB を構成するスイッチでも、構成情報を取得できなかったスイッチは SLB ビューに表示されません。構成情報のないスイッチは、管理対象ビューだけに表示されます。
論理サーバツリー	論理サーバツリーのルート	論理サーバツリーの最上位の要素です。「論理サーバツリー」とは、該当するスイッチに設定されている論理サーバを表示するサブツリーのことをいいます。論理サーバツリーのルートは、ネットワーク構成ツリー上に「論理サーバ」と表示されます。
	論理サーバ	該当するスイッチに設定されている論理サーバです。IP アドレスで表示されます。
物理サーバツリー	物理サーバツリーのルート	物理サーバツリーの最上位の要素です。「物理サーバツリー」とは、該当するスイッチに設定されている物理サーバを表示するサブツリーのことをいいます。物理サーバツリーのルートは、ネットワーク構成ツリー上に「物理サーバ」と表示されます。
	プール	該当するスイッチに設定されているプールです。
	物理サーバ	該当するプールに設定されている物理サーバです。IP アドレスで表示されます。

6. 画面 - 基本画面

ネットワーク構成要素		説明
バインド状況ツリー	バインド状況ツリーのルート	バインド状況ツリーの最上位の要素です。「バインド状況ツリー」とは、論理サーバと物理サーバのバインド状況を表示するサブツリーのことをいいます。バインド状況ツリーのルートは、ネットワーク構成ツリー上に「バインド」と表示されます。
	論理サーバ	物理サーバがバインドされている論理サーバです。
	論理サーバポート	該当する論理サーバに設定されている論理サーバポートです。
	プール	該当する論理サーバポートにバインドされているプールです。
	物理サーバ	該当する論理サーバにバインドされている物理サーバです。

注

名称が 256 文字以上の論理サーバポート、プールについては、表示されません。

JP1/Cm2/NC・View 起動直後、ツリーエリアにはスイッチが展開された状態で、ネットワーク構成ツリーが表示されます。

なお、ツリーエリアでは、一度に複数のネットワーク構成要素を選択することはできません。

また、ネットワーク構成要素のスイッチについて、JP1/Cm2/NC とスイッチとの接続状態を状態アイコンの色で識別しています。状態アイコンの色と状態の意味については、「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。

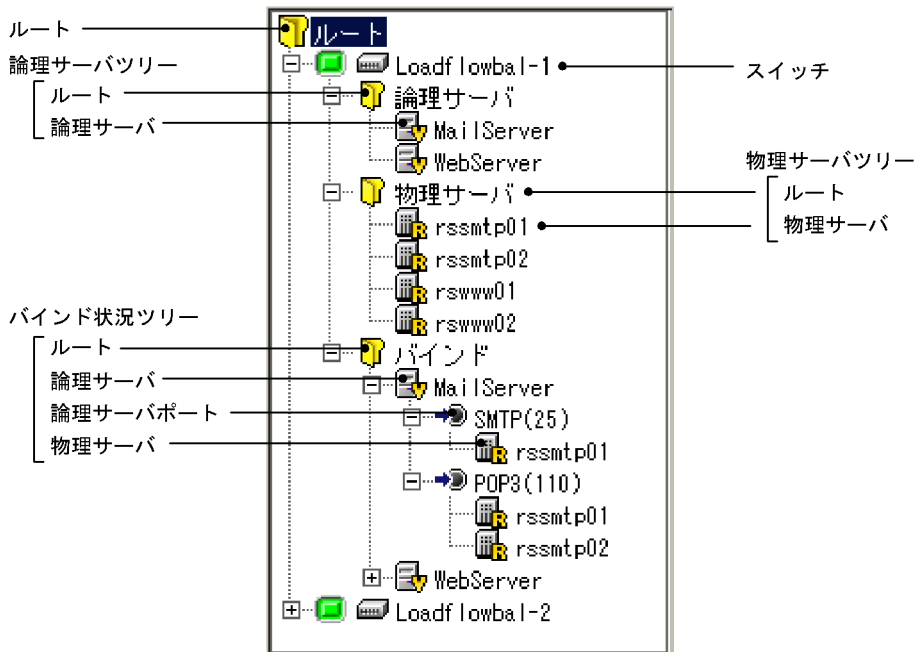
(4) ツリーエリア (HA8000-ie/Loadflowbal)

SLB ビューのツリーエリアには、SLB サーバの構成や状態がネットワーク構成ツリーとして表示されます。SLB ビューのネットワーク構成ツリーを参照すると、次のような情報がわかります。

- スイッチにどのような論理サーバが設定されているのか。
- スイッチにどのような物理サーバが設定されているのか。
- それらの論理サーバと物理サーバがどのように関連づけられているのか (バインド状況)。

SLB ビューのネットワーク構成ツリーを構成する要素を、次の図に示します。

図 6-23 ネットワーク構成要素 (HA8000-ie/Loadflowbal)



ネットワーク構成要素の詳細について次の表に示します。

表 6-24 ネットワーク構成要素 (HA8000-ie/Loadflowbal) の詳細

ネットワーク構成要素		説明
ルート		ネットワーク構成ツリーの最上位の要素です。ネットワーク構成ツリー上に「ルート」と表示されます。表示する情報がまったくない場合、ツリーエリアには「ルート」だけ表示されます。
スイッチ		SLBが設定されているスイッチです。 なお、SLBを構成するスイッチでも、構成情報を取得できなかったスイッチはSLBビューに表示されません。構成情報のないスイッチは、管理対象ビューだけに表示されます。
論理サーバツリー	論理サーバツリーのルート	論理サーバツリーの最上位の要素です。「論理サーバツリー」とは、該当するスイッチに設定されている論理サーバを表示するサブツリーのことをいいます。論理サーバツリーのルートは、ネットワーク構成ツリー上に「論理サーバ」と表示されます。
	論理サーバ	該当するスイッチに設定されている論理サーバです。
物理サーバツリー	物理サーバツリーのルート	物理サーバツリーの最上位の要素です。「物理サーバツリー」とは、該当するスイッチに設定されている物理サーバを表示するサブツリーのことをいいます。物理サーバツリーのルートは、ネットワーク構成ツリー上に「物理サーバ」と表示されます。
	物理サーバ	該当するスイッチに設定されている物理サーバです。

6. 画面 - 基本画面

ネットワーク構成要素		説明
バインド状況ツリー	バインド状況ツリーのルート	バインド状況ツリーの最上位の要素です。「バインド状況ツリー」とは、論理サーバと物理サーバのバインド状況を表示するサブツリーのことをいいます。バインド状況ツリーのルートは、ネットワーク構成ツリー上に「バインド」と表示されます。
	論理サーバ	物理サーバがバインドされている論理サーバです。
	論理サーバポート	該当する論理サーバに設定されている論理サーバポートです。
	物理サーバ	該当する論理サーバにバインドされている物理サーバです。

JP1/Cm2/NC - View 起動直後、ツリーエリアにはスイッチが展開された状態で、ネットワーク構成ツリーが表示されます。

なお、ツリーエリアでは、一度に複数のネットワーク構成要素を選択することはできません。

また、ネットワーク構成要素のスイッチについて、JP1/Cm2/NC とスイッチとの接続状態を状態アイコンの色で識別しています。状態アイコンの色と状態の意味については、「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。

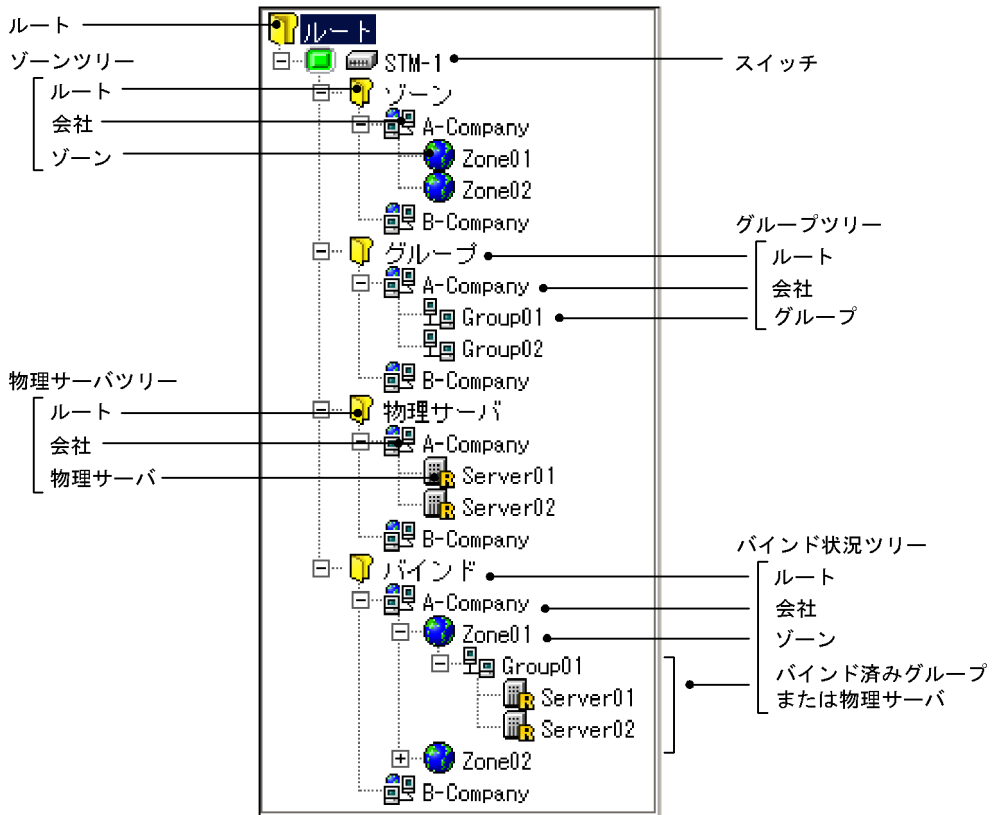
(5) ツリーエリア (STM)

SLB ビューのツリーエリアには、SLB サーバの構成や状態がネットワーク構成ツリーとして表示されます。SLB ビューのネットワーク構成ツリーを参照すると、次のような情報がわかります。

- スイッチにどのようなゾーンが設定されているのか。
- スイッチにどのようなグループが設定されているのか。
- スイッチにどのような物理サーバが設定されているのか。
- それらのグループおよび物理サーバが、ゾーンにどのように関連づけられているのか (バインド状況)。

SLB ビューのネットワーク構成ツリーを構成する要素を、次の図に示します。

図 6-24 ネットワーク構成要素 (STM)



ネットワーク構成要素の詳細について次の表に示します。

表 6-25 ネットワーク構成要素 (STM) の詳細

ネットワーク構成要素	説明	
ルート	ネットワーク構成ツリーの最上位の要素です。ネットワーク構成ツリー上に「ルート」と表示されます。表示する情報がまったくない場合、ツリーエリアには「ルート」だけ表示されます。	
スイッチ	SLB が設定されているスイッチです。 なお、SLB を構成するスイッチでも、構成情報を取得できなかったスイッチは SLB ビューに表示されません。構成情報のないスイッチは、管理対象ビューだけに表示されます。	
ゾーンツリー	ゾーンツリーのルート	ゾーンツリーの最上位の要素です。「ゾーンツリー」とは、該当するスイッチに設定されているゾーンを表示するサブツリーのことをいいます。ゾーンツリーのルートは、ネットワーク構成ツリー上に「ゾーン」と表示されます。
	会社	該当するスイッチに登録されている会社です。ゾーン、グループ、および物理サーバを管理している上位要素です。
	ゾーン	該当するスイッチに設定されているゾーンです。

6. 画面 - 基本画面

ネットワーク構成要素		説明
グループツリー	グループツリーのルート	グループツリーの最上位の要素です。「グループツリー」とは、該当するスイッチに設定されているグループを表示するサブツリーのことをいいます。グループツリーのルートは、ネットワーク構成ツリー上に「グループ」と表示されます。
	会社	該当するスイッチに登録されている会社です。ゾーン、グループ、および物理サーバを管理している上位要素です。
	グループ	該当するスイッチに設定されているグループです。
物理サーバツリー	物理サーバツリーのルート	物理サーバツリーの最上位の要素です。「物理サーバツリー」とは、該当するスイッチに設定されている物理サーバを表示するサブツリーのことをいいます。物理サーバツリーのルートは、ネットワーク構成ツリー上に「物理サーバ」と表示されます。
	会社	該当するスイッチに登録されている会社です。ゾーン、グループ、および物理サーバを管理している上位要素です。
	物理サーバ	該当するスイッチに設定されている物理サーバです。
バインド状況ツリー	バインド状況ツリーのルート	バインド状況ツリーの最上位の要素です。「バインド状況ツリー」とは、ゾーンのバインド状況を表示するサブツリーのことをいいます。バインド状況ツリーのルートは、ネットワーク構成ツリー上に「バインド」と表示されます。
	会社	該当するスイッチに登録されている会社です。ゾーン、グループ、および物理サーバを管理している上位要素です。
	ゾーン	該当する会社に設定されているゾーンのうち、バインドが設定されているゾーンです。
	グループ	該当するゾーンにバインドされているグループです。
	物理サーバ	該当するゾーンにバインドされている物理サーバです。

JP1/Cm2/NC・View 起動直後、ツリーエリアにはスイッチが展開された状態で、ネットワーク構成ツリーが表示されます。

なお、ツリーエリアでは、一度に複数のネットワーク構成要素を選択することはできません。

また、ネットワーク構成要素のスイッチについて、JP1/Cm2/NC とスイッチとの接続状態を状態アイコンの色で識別しています。状態アイコンの色と状態の意味については、「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。

(6) リストエリア (BIG-IP)

リストエリアには、ネットワーク構成ツリーで選択した各要素の中身が一覧 (リスト) で表示されます。選択した要素によって、表示される内容が異なります。ツリーエリアで選択した要素とリストエリアに表示される内容の対応を、次の表に示します。

表 6-26 ツリーエリアで選択した要素とリストエリアに表示される内容の対応 (BIG-IP)

ツリーエリアで選択した要素	リストエリアに表示される内容	
ルート	スイッチリスト	SLB が設定されているスイッチが一覧で表示されます。
スイッチ	サブツリーリスト	該当するスイッチの配下にあるサブツリーのルート名が一覧で表示されます。
<ul style="list-style-type: none"> 論理サーバツリーのルート バインド状況ツリーのルート 	論理サーバリスト	該当するスイッチに設定されている論理サーバが一覧で表示されます。
<ul style="list-style-type: none"> 論理サーバツリーの論理サーバ バインド状況ツリーの論理サーバ 	論理サーバポートリスト	該当する論理サーバに設定されているポートが一覧で表示されます。
<ul style="list-style-type: none"> 物理サーバツリーのルート バインド状況ツリーの論理サーバポート 	プールリスト	該当するスイッチに設定されているプールが一覧で表示されます。
<ul style="list-style-type: none"> 物理サーバツリーのプール名 バインド状況ツリーのプール名 	物理サーバリスト	該当するプールに設定されている物理サーバが一覧で表示されます。
<ul style="list-style-type: none"> 物理サーバツリーの物理サーバ バインド状況ツリーの物理サーバ 	物理サーバポートリスト	該当する物理サーバに設定されているポートが一覧で表示されます。

注

リストエリアには、バインドされているポートだけ表示されます。

以降に、リストエリアに表示される、それぞれのリストの表示イメージを示します。また、各リストの表示項目の詳細について説明します。

(a) スイッチリスト (BIG-IP)

SLB が設定されているスイッチとスイッチの状態を示す一覧表です。

図 6-25 スイッチリスト (BIG-IP) の表示イメージ

スイッチ名	アダプター名	状態	最終更新日時
BIG-IP-1	BI-Adaptor	正常	2005/08/26 13:57
BIG-IP-2	BI-Adaptor	正常	2005/08/26 13:57
BIG-IP-3	BI-Adaptor	正常	2005/08/26 14:01

6. 画面 - 基本画面

表 6-27 スイッチリスト (BIG-IP) の表示項目の説明

表示項目	内容
[スイッチ名]	該当するアダプターサーバのスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。
[アダプター名]	該当するアダプターサーバの動作条件定義ファイル (nea.conf) に定義した、該当するスイッチを管理しているアダプターサーバ名が表示されます。
[状態]	<p>該当するスイッチとの接続状態が表示されます。スイッチリスト (BIG-IP) に表示される状態を次に示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「正常」 ・「構成情報の同期が必要です。」 ・「スイッチに接続できません。」 ・「アダプターが起動していません。」 <p>表示される状態の意味は、ツリーエリアに表示されるアイコンの意味と同じです。表示される状態の意味については、「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。</p>
[最終更新日時]	該当するスイッチの構成情報を DB に格納した日時が表示されます。

(b) サブツリーリスト (BIG-IP)

ネットワーク構成ツリーのサブツリーのルート名を示す一覧表です。

図 6-26 サブツリーリスト (BIG-IP) の表示イメージ

サブツリー名
論理サーバ
物理サーバ
バインド

表 6-28 サブツリーリスト (BIG-IP) の表示項目の説明

表示項目	内容
[サブツリー名]	ネットワーク構成ツリーのサブツリーのルート名が表示されます。

(c) 論理サーバリスト (BIG-IP)

該当するスイッチに設定されている論理サーバの一覧表です。

図 6-27 論理サーバリスト (BIG-IP) の表示イメージ

論理サーバ	状態
10.209.100.10	Enable
10.209.100.20	Enable

表 6-29 論理サーバリスト (BIG-IP) の表示項目の説明

表示項目	内容
[論理サーバ]	論理サーバの IP アドレスが表示されます。IP アドレスは、IPv4 形式 (nnn.nnn.nnn.nnn) で表示されます。
[状態]	論理サーバの状態が表示されます。表示される状態は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • 「 Enable 」 該当する論理サーバは有効な状態です。 • 「 Disable 」 該当する論理サーバは無効な状態です。

(d) 論理サーバポートリスト (BIG-IP)

該当する論理サーバに設定されているポートの一覧表です。

6. 画面 - 基本画面

図 6-28 論理サーバポートリスト (BIG-IP) の表示イメージ

ポート名	ポート	状態	プール名	ロードバランシング方法
FTP	FTP(21)	Enable		
WWW	HTTP(80)	Enable	Pool-1	ラウンドロビン

表 6-30 論理サーバポートリスト (BIG-IP) の表示項目の説明

表示項目	内容
[ポート名]	該当する論理サーバに設定されているポート名が表示されます。 ¹
[ポート]	該当する論理サーバに設定されているポート番号が表示されます。設定されていない場合は、何も表示されません。
[状態]	論理サーバポートの状態が表示されます。設定されていない場合は、何も表示されません。 表示される状態は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • 「Enable」 該当するポートは有効な状態です。 • 「Disable」 該当するポートは無効な状態です。
[プール名]	該当する論理サーバポートに関連づけられているプール名が表示されます。 ² 設定されていない場合は、何も表示されません。

表示項目	内容
[ロードバランシング方法]	<p>該当するプールに設定されているロードバランシング方法が表示されます。設定されていない場合は、何も表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「ラウンドロビン」 プールに「rr (Round Robin)」が設定されています。 サーバリクエストが各物理サーバに順番に送信されます。 • 「比率」 プールに「ratio」が設定されています。 各物理サーバに指定した比率に従って、サーバリクエストが送信されます。 • 「比率メンバー」 プールに「member ratio」が設定されています。 • 「動的比率」 プールに「dynamic ratio」が設定されています。 各物理サーバから収集した情報を基に動的に比率を決定し、サーバリクエストが送信されます。 • 「最速」 プールに「fastest」が設定されています。 応答速度が最も速い物理サーバに、サーバリクエストが送信されます。 • 「最速メンバー」 プールに「fastest app resp」が設定されています。 • 「最少接続」 プールに「least conn」が設定されています。 接続数の最も少ない物理サーバにサーバリクエストが送信されます。 • 「最少接続メンバー」 プールに「member least conn」が設定されています。 • 「ウェイト」 論理サーバに「weighted」が設定されています。 各物理サーバに割り当てたパフォーマンスウェイトに従って、サーバリクエストが送信されます。 • 「観測」 プールに「observed」が設定されています。 各物理サーバの接続数と応答速度を監視し、BIG-IP 独自のアルゴリズムによって送信先を決定し、サーバリクエストが送信されます。 • 「観測メンバー」 プールに「member observed」が設定されています。 • 「予測」 プールに「predictive」が設定されています。 各物理サーバの接続数と応答速度を監視し、パフォーマンスウェイトを予測し、サーバリクエストが送信されます。 • 「予測メンバー」 プールに「member predictive」が設定されています。

注 1

JP1/Cm2/NC では 256 バイト以上の論理サーバポート名は扱いません。スイッチに 256 バイト以上の論理サーバポート名が設定されていた場合は、該当する論理サーバポートに関する情報は取得しません。

注 2

JP1/Cm2/NC では 256 バイト以上のプール名は扱いません。スイッチに 256 バイト以上のプール名が設定されていた場合は、該当するプールに関する情報は取得しません。また、プール名が 256 バイト以上のプールに論理サーバポートが関連づけられていた場合、該当する論理サーバポートに関する情報も取得しません。

6. 画面 - 基本画面

論理サーバポートリストは、選択したネットワーク構成要素によって表示内容が異なります。選択したネットワーク構成要素と論理サーバポートリストの内容の関係について、次の表に示します。

表 6-31 選択するネットワーク構成要素と論理サーバポートリストの表示内容

ネットワーク構成要素	論理サーバポートリスト
論理サーバツリーの論理サーバ	選択した論理サーバ下に設定されているすべてのポートが表示されます。
バインド状況ツリーの論理サーバ	選択した論理サーバ下に設定されているポートのうち、プールがバインドされているポートだけが表示されます。

(e) プールリスト (BIG-IP)

該当するスイッチに設定されているプールの一覧表です。

図 6-29 プールリスト (BIG-IP) の表示イメージ

プール名	ロードバランシング方法
Pool-1	ラウンドロビン
Pool-2	比率メンバー

バインド状況ツリーから論理サーバポートを選択した場合、対応するプールは一つのため、リストエリアにはプールが 1 行だけ表示されます。

表 6-32 プールリスト (BIG-IP) の表示項目の説明

表示項目	内容
[プール名]	該当するスイッチに設定されているプール名が表示されます。
[ロードバランシング方法]	該当するプールに設定されているロードバランシング方法が表示されます。設定されていない場合は、何も表示されません。詳細については、「表 6-30 論理サーバポートリスト (BIG-IP) の表示項目の説明」を参照してください。

(f) 物理サーバリスト (BIG-IP)

該当するスイッチに設定されている物理サーバの一覧です。

図 6-30 物理サーバリスト (BIG-IP) の表示イメージ

物理サーバ	
10.209.101.11	
10.209.101.12	

表 6-33 物理サーバリスト (BIG-IP) の表示項目の説明

表示項目	内容
[物理サーバ]	物理サーバの IP アドレスが表示されます。IP アドレスは、IPv4 形式 (nnn.nnn.nnn.nnn) で表示されます。

(g) 物理サーバポートリスト (BIG-IP)

該当する物理サーバに設定されているポートの一覧表です。

6. 画面 - 基本画面

図 6-31 物理サーバポートリスト (BIG-IP) の表示イメージ

ポート	ウェイト(比率)
FTP(21)	10
HTTP(80)	10

表 6-34 物理サーバポートリスト (BIG-IP) の表示項目の説明

表示項目	内容
[ポート]	該当する物理サーバに設定されているポート番号が表示されます。
[ウェイト(比率)]	ウェイト(比率)の値が表示されます。

物理サーバポートリストは、選択したネットワーク構成要素によって表示内容が異なります。選択したネットワーク構成要素と物理サーバポートリストの内容の関係について、次の表に示します。

表 6-35 選択するネットワーク構成要素と物理サーバポートリストの表示内容

ネットワーク構成要素	物理サーバポートリスト
物理サーバツリーの物理サーバ	選択した物理サーバ下に設定されているすべてのポートが表示されます。
バインド状況ツリーの物理サーバ	選択した物理サーバ下に設定されているポートのうち、バインドされているポートだけ表示されず。

(7) リストエリア (HA8000-ie/Loadflowbal)

リストエリアには、ネットワーク構成ツリーで選択した各要素の中身が一覧(リスト)で表示されます。選択した要素によって、表示される内容が異なります。ツリーエリアで選択した要素とリストエリアに表示される内容の対応を、次の表に示します。

表 6-36 ツリーエリアで選択した要素とリストエリアに表示される内容の対応
(HA8000-ie/Loadflowbal)

ツリーエリアで選択した要素	リストエリアに表示される内容	
ルート	スイッチリスト	SLB が設定されているスイッチが一覧で表示されます。
スイッチ	サブツリーリスト	該当するスイッチの配下にあるサブツリーのルート名が一覧で表示されます。
<ul style="list-style-type: none"> 論理サーバツリーのルート バインド状況ツリーのルート 	論理サーバリスト	該当するスイッチに設定されている論理サーバが一覧で表示されます。
<ul style="list-style-type: none"> 論理サーバツリーの論理サーバ バインド状況ツリーの論理サーバ 	論理サーバポートリスト	該当する論理サーバに設定されているポートが一覧で表示されます。
<ul style="list-style-type: none"> 物理サーバツリーのルート バインド状況ツリーの論理サーバポート 	物理サーバリスト	該当するスイッチに設定されている物理サーバが一覧で表示されます。
<ul style="list-style-type: none"> 物理サーバツリーの物理サーバ バインド状況ツリーの物理サーバ 	物理サーバポートリスト	該当する物理サーバに設定されているポートが一覧で表示されます。

注

リストエリアには、バインドされているポートだけ表示されます。

以降に、リストエリアに表示される、それぞれのリストの表示イメージを示します。また、各リストの表示項目の詳細について説明します。

(a) スイッチリスト (HA8000-ie/Loadflowbal)

SLB が設定されているスイッチとスイッチの状態を示す一覧表です。

図 6-32 スイッチリスト (HA8000-ie/Loadflowbal) の表示イメージ

スイッチ名	アダプター名	状態	最終更新日時
Loadflowbal-1	LF-Adaptor	正常	2005/02/28 16:53
Loadflowbal-2	LF-Adaptor	正常	2005/02/28 16:53
Loadflowbal-3	LF-Adaptor	正常	2005/02/28 16:53
Loadflowbal-4	LF-Adaptor	正常	2005/02/28 16:53

表 6-37 スイッチリスト (HA8000-ie/Loadflowbal) の表示項目の説明

表示項目	内容
[スイッチ名]	該当するアダプターサーバのスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。
[アダプター名]	該当するアダプターサーバの動作条件定義ファイル (nea.conf) に定義した、該当するスイッチを管理しているアダプターサーバ名が表示されます。
[状態]	<p>該当するスイッチとの接続状態が表示されます。スイッチリスト (HA8000-ie/Loadflowbal) に表示される状態を次に示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「正常」 ・「構成情報の同期が必要です。」 ・「スイッチに接続できません。」 ・「アダプターが起動していません。」 <p>表示される状態の意味は、ツリーエリアに表示されるアイコンの意味と同じです。表示される状態の意味については、「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。</p>
[最終更新日時]	該当するスイッチの構成情報を DB に格納した日時が表示されます。

(b) サブツリーリスト (HA8000-ie/Loadflowbal)

ネットワーク構成ツリーのサブツリーのルート名を示す一覧表です。

図 6-33 サブツリーリスト (HA8000-ie/Loadflowbal) の表示イメージ

サブツリー名
論理サーバ
物理サーバ
バインド

表 6-38 サブツリーリスト (HA8000-ie/Loadflowbal) の表示項目の説明

表示項目	内容
[サブツリー名]	ネットワーク構成ツリーのサブツリーのルート名が表示されます。

(c) 論理サーバリスト (HA8000-ie/Loadflowbal)

該当するスイッチに設定されている論理サーバの一覧表です。

図 6-34 論理サーバリスト (HA8000-ie/Loadflowbal) の表示イメージ

サーバ名	IPアドレス	ロードバランシング方法
MailServer	10.208.100.20	
WebServer	10.208.100.10	ラウンドロビン

表 6-39 論理サーバリスト (HA8000-ie/Loadflowbal) の表示項目の説明

表示項目	内容
[サーバ名]	論理サーバ名が表示されます。
[IP アドレス]	論理サーバの IP アドレスが表示されます。IP アドレスは、IPv4 形式 (nnn.nnn.nnn.nnn) で表示されます。
[ロードバランシング方法]	<p>論理サーバごとに設定されているロードバランシング方法が表示されます。設定されていない場合は、何も表示されません。表示項目と内容は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「最少接続」 論理サーバに「least-conn」が設定されています。 接続数の最も少ない物理サーバにサーバリクエストが送信されます。 • 「ラウンドロビン」 論理サーバに「round-robin」が設定されています。 サーバリクエストが各物理サーバに順番に送信されます。 • 「ウェイト」 論理サーバに「weighted」が設定されています。 各物理サーバに割り当てたパフォーマンスウェイトに従って、サーバリクエストが送信されます。 • 「応答時間」 論理サーバに「response-time」が設定されています。 応答速度が最も速い物理サーバにサーバリクエストが送信されます。 • 「最少セッション」 論理サーバに「least-sess」が設定されています。 現在のセッション数が最も少ない物理サーバにサーバリクエストが送信されます。

(d) 論理サーバポートリスト (HA8000-ie/Loadflowbal)

該当する論理サーバに設定されているポートの一覧表です。

6. 画面 - 基本画面

図 6-35 論理サーバポートリスト (HA8000-ie/Loadflowbal) の表示イメージ

ポート	状態
SMTP(25)	Enable
POP3(110)	Enable

表 6-40 論理サーバポートリスト (HA8000-ie/Loadflowbal) の表示項目の説明

表示項目	内容
[ポート]	該当する論理サーバに設定されているポート番号が表示されます。
[状態]	論理サーバポートの状態が表示されます。表示される状態は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • 「Enable」 該当するポートは有効な状態です。 • 「Disable」 該当するポートは無効な状態です。

論理サーバポートリストは、選択したネットワーク構成要素によって表示内容が異なります。選択したネットワーク構成要素と論理サーバポートリストの内容の関係について、次の表に示します。

表 6-41 選択するネットワーク構成要素と論理サーバポートリストの表示内容

ネットワーク構成要素	論理サーバポートリスト
論理サーバツリーの論理サーバ	選択したネットワーク構成要素下に設定されているすべてのポートが表示されます。
バインド状況ツリーの論理サーバ	選択したネットワーク構成要素下に設定されているポートのうち、バインドされているポートだけ表示されます。

(e) 物理サーバリスト (HA8000-ie/Loadflowbal)

該当するスイッチに設定されている物理サーバの一覧です。

図 6-36 物理サーバリスト (HA8000-ie/Loadflowbal) の表示イメージ

サーバ名	IPアドレス	ウェイト(最少接続)	ウェイト(応答時間)
rssmtp01	10.208.102.11	10	
rssmtp02	10.208.102.12	15	
rswww01	10.208.101.11		
rswww02	10.208.101.12		

表 6-42 物理サーバリスト (HA8000-ie/Loadflowbal) の表示項目の説明

表示項目	内容
[サーバ名]	物理サーバ名が表示されます。
[IPアドレス]	物理サーバのIPアドレスが表示されます。IPアドレスは、IPv4形式 (nnn.nnn.nnn.nnn) で表示されます。
[ウェイト(最少接続)]	「最少接続」のウェイト値が表示されます。
[ウェイト(応答時間)]	「応答時間」のウェイト値が表示されます。

(f) 物理サーバポートリスト (HA8000-ie/Loadflowbal)

該当する物理サーバに設定されているポートの一覧表です。

6. 画面 - 基本画面

図 6-37 物理サーバポートリスト (HA8000-ie/Loadflowbal) の表示イメージ

ポート	状態
HTTP(80)	Enable
8080	Enable

表 6-43 物理サーバポートリスト (HA8000-ie/Loadflowbal) の表示項目の説明

表示項目	内容
[ポート]	該当する物理サーバに設定されているポート番号が表示されます。
[状態]	物理サーバポートの状態が表示されます。表示される状態は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • 「Enable」 該当するポートは有効な状態です。 • 「Disable」 該当するポートは無効な状態です。

物理サーバポートリストは、選択したネットワーク構成要素によって表示内容が異なります。選択したネットワーク構成要素と物理サーバポートリストの内容の関係について、次の表に示します。

表 6-44 選択するネットワーク構成要素と物理サーバポートリストの表示内容

ネットワーク構成要素	物理サーバポートリスト
物理サーバツリーの物理サーバ	選択したネットワーク構成要素下に設定されているすべてのポートが表示されます。
バインド状況ツリーの物理サーバ	選択したネットワーク構成要素下に設定されているポートのうち、バインドされているポートだけ表示されます。

(8) リストエリア (STM)

リストエリアには、ネットワーク構成ツリーで選択した各要素の中身が一覧 (リスト) で表示されます。選択した要素によって、表示される内容が異なります。ツリーエリアで選択した要素とリストエリアに表示される内容の対応を、次の表に示します。

表 6-45 ツリーエリアで選択した要素とリストエリアに表示される内容の対応 (STM)

ツリーエリアで選択した要素	リストエリアに表示される内容	
ルート	スイッチリスト	SLB が設定されているスイッチが一覧で表示されます。
スイッチ	サブツリーリスト	該当するスイッチの配下にあるサブツリーのルート名が一覧で表示されます。
<ul style="list-style-type: none"> • ゾーンツリーのルート • グループツリーのルート • 物理サーバツリーのルート • バインド状況ツリーのルート 	会社リスト	該当するスイッチに登録されている会社が一覧で表示されます。
<ul style="list-style-type: none"> • ゾーンツリーの会社 • バインド状況ツリーの会社 	ゾーンリスト	該当するスイッチに設定されているゾーンが一覧で表示されます。
<ul style="list-style-type: none"> • ゾーンツリーのゾーン 	ゾーン情報リスト	該当するゾーンの設定情報が表示されます。
<ul style="list-style-type: none"> • グループツリーの会社 	グループリスト	該当するスイッチに設定されているグループが一覧で表示されます。
<ul style="list-style-type: none"> • グループツリーのグループ 	グループ情報リスト	該当するグループの設定情報が表示されます。
<ul style="list-style-type: none"> • 物理サーバツリーの会社 	物理サーバリスト	該当するスイッチに設定されている物理サーバが一覧で表示されます。
<ul style="list-style-type: none"> • 物理サーバツリーの物理サーバ • バインド状況ツリーの物理サーバ 	物理サーバ情報リスト	該当する物理サーバの設定情報が表示されます。
<ul style="list-style-type: none"> • バインド状況ツリーのゾーン • バインド状況ツリーのグループ 	バインドリスト	該当するゾーンまたはグループにバインドされているグループまたは物理サーバが一覧で表示されます。

注

バインド済みのゾーンだけがリストエリアに表示されます。

以降に、リストエリアに表示される、それぞれのリストの表示イメージを示します。また、各リストの表示項目の詳細について説明します。

(a) スイッチリスト (STM)

SLB が設定されているスイッチとスイッチの状態を示す一覧表です。

6. 画面 - 基本画面

図 6-38 スイッチリスト (STM) の表示イメージ

スイッチ名	アダプター名	状態	最終更新日時
STM-1	ST-Adaptor	正常	2005/11/11 18:59
STM-2	ST-Adaptor	正常	2005/11/11 18:59
STM-3	ST-Adaptor	正常	2005/11/11 18:59

表 6-46 スイッチリスト (STM) の表示項目の説明

表示項目	内容
[スイッチ名]	該当するアダプターサーバのスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。
[アダプター名]	該当するアダプターサーバの動作条件定義ファイル (nca.conf) に定義した、該当するスイッチを管理しているアダプターサーバ名が表示されます。
[状態]	<p>該当するスイッチとの接続状態が表示されます。スイッチリスト (STM) に表示される状態を次に示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「正常」 ・「構成情報の同期が必要です。」 ・「スイッチに接続できません。」 ・「アダプターが起動していません。」 <p>表示される状態の意味は、ツリーエリアに表示されるアイコンの意味と同じです。表示される状態の意味については、「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。</p>
[最終更新日時]	該当するスイッチの構成情報を DB に格納した日時が表示されます。

(b) サブツリーリスト (STM)

ネットワーク構成ツリーのサブツリーのルート名を示す一覧表です。

図 6-39 サブツリーリスト (STM) の表示イメージ

サブツリー名
ゾーン
グループ
物理サーバ
バインド

表 6-47 サブツリーリスト (STM) の表示項目の説明

表示項目	内容
[サブツリー名]	ネットワーク構成ツリーのサブツリーのルート名が表示されます。

(c) 会社リスト

該当するスイッチに登録されている会社の一覧表です。

図 6-40 会社リスト (STM) の表示イメージ

会社名
A-Company
B-Company

6. 画面 - 基本画面

表 6-48 会社リスト (STM) の表示項目の説明

表示項目	内容
[会社名]	会社名が表示されます。

(d) ゾーンリスト

該当するスイッチに設定されているゾーンの一覧です。

図 6-41 ゾーンリスト (STM) の表示イメージ

ゾーン名	Sticky	タイムアウト	Full Notice IP
Zone01	使用	180	10.208.104.100
Zone02	未使用		

表 6-49 ゾーンリスト (STM) の表示項目の説明

表示項目	内容
[ゾーン名]	ゾーン名が表示されます。
[Sticky]	該当するゾーンに、「Sticky」が使用されているかどうかが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 「使用」 Sticky が使用されています。 • 「未使用」 Sticky は使用されていません。
[タイムアウト]	[Sticky] に設定されているタイムアウト値が表示されます。設定されていない場合は何も表示されません。
[Full Notice IP]	該当するゾーンで、「Full Notice IP」に設定されている IP アドレスが表示されます。表示形式は、IPv4 形式 (nnn.nnn.nnn.nnn) です。

ゾーンリストは、選択したネットワーク構成要素によって表示内容が異なります。選択したネットワーク構成要素とゾーンリストの内容の関係について、次の表に示します。

表 6-50 選択するネットワーク構成要素とゾーンリストの表示内容

ネットワーク構成要素	論理サーバポートリスト
ゾーンツリーの会社	選択したネットワーク構成要素下に設定されているすべてのゾーンが表示されます。
バインド状況ツリーの会社	選択したネットワーク構成要素下に設定されているゾーンのうち、バインドが設定されているゾーンだけ表示されます。

(e) ゾーン情報リスト

該当するゾーンの設定情報です。

図 6-42 ゾーン情報リスト (STM) の表示イメージ

ゾーン情報	内容
ゾーン名	Zone01
Sticky	使用
タイムアウト	180
Full Notice IP	10.208.104.100
ロードバランシング方法(1)	Static
ロードバランシング方法(2)	Server Round Robin
ロードバランシング方法(3)	Cpu Used
ロードバランシング方法(4)	
ロードバランシング方法(5)	

表 6-51 ゾーン情報リスト (STM) の表示項目の説明

表示項目	内容
[ゾーン情報]	
ゾーン名	ゾーン名が表示されます。
Sticky	該当するゾーンに、「Sticky」が使用されているかどうかが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 「使用」 Sticky が使用されています。 「未使用」 Sticky は使用されていません。
タイムアウト	「Sticky」に設定されているタイムアウト値が表示されます。設定されていない場合は何も表示されません。
Full Notice IP	該当するゾーンで、「Full Notice IP」に設定されている IP アドレスが表示されます。表示形式は、IPv4 形式 (nnn.nnn.nnn.nnn) です。

6. 画面 - 基本画面

表示項目	内容
ロードバランシング方法 (1)	該当するゾーンに設定されているロードバランシング方法が表示されます。設定されていない場合は何も表示されません。
ロードバランシング方法 (2)	
ロードバランシング方法 (3)	
ロードバランシング方法 (4)	
ロードバランシング方法 (5)	

(f) グループリスト

該当するスイッチに設定されているグループの一覧です。

図 6-43 グループリスト (STM) の表示イメージ

グループ名	P/Sタイプ	グループタイプ
Group01	Primary	POP
Group02	Primary	VIP
Group03	Primary	General
Group04	Secondary	General

表 6-52 グループリスト (STM) の表示項目の説明

表示項目	内容
[グループ名]	グループ名が表示されます。
[P/S タイプ]	<p>該当するグループの動作モードが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「Primary」 プライマリーとして作動させます。 • 「Secondary」 セカンダリーとして作動させます。 <p>ロードバランシングは、Primary が設定されているグループへ優先的に実行されず。</p>

表示項目	内容
[グループタイプ]	<p>グループの種別が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「POP」 グループの種別は POP グループです。 「VIP」 グループの種別は VIP グループです。 「General」 グループの種別は General グループです。

(g) グループ情報リスト

該当するグループの設定情報です。

図 6-44 グループ情報リスト (STM) の表示イメージ

グループ情報	内容
グループ名	Group01
P/Sタイプ	Primary
グループタイプ	POP
POP名	POP1
論理IPアドレス	

表 6-53 グループ情報リスト (STM) の表示項目の説明

表示項目	内容	
[グループ情報]	グループ名	グループリストと同様の内容が表示されます。表示内容の詳細については、「6.6.1 (8)(f) グループリスト」を参照してください。
	P/Sタイプ	
	グループタイプ	
	POP名	該当するグループの種別が POP グループのとき、設定されている POP 名が表示されます。
論理 IP アドレス	該当するグループの種別が VIP グループのとき、設定されている論理 IP アドレスが表示されます。	

(h) 物理サーバリスト (STM)

該当するスイッチに設定されている物理サーバの一覧です。

6. 画面 - 基本画面

図 6-45 物理サーバリスト (STM) の表示イメージ

サーバ名	IPアドレス	P/Sタイプ
Server01	10.209.100.11	Primary
Server02	10.209.100.12	Primary
Server03	10.209.101.11	Secondary
Server04	10.209.101.12	Secondary

表 6-54 物理サーバリスト (STM) の表示項目の説明

表示項目	内容
[サーバ名]	物理サーバ名が表示されます。
[IP アドレス]	物理サーバの IP アドレスが表示されます。IP アドレスは、IPv4 形式 (nnn.nnn.nnn.nnn) で表示されます。
[P/S タイプ]	該当する物理サーバの動作モードを設定します。 <ul style="list-style-type: none">• 「Primary」 プライマリーサーバとして作動させます。• 「Secondary」 セカンダリーサーバとして作動させます。 セカンダリーサーバは、プライマリーサーバのバックアップサーバとして使用されません。

(i) 物理サーバ情報リスト

該当する物理サーバの設定情報です。

図 6-46 物理サーバ情報リスト (STM) の表示イメージ

物理サーバ情報	内容
物理サーバ名	Server01
IPアドレス	10.209.100.11
P/Sタイプ	Primary

表 6-55 物理サーバ情報リスト (STM) の表示項目の説明

表示項目		内容
[物理サーバ 情報]	物理サーバ 名	物理サーバリストと同様の内容が表示されます。表示内容の詳細については、「6.6.1(8)(h) 物理サーバリスト(STM)」を参照してください。
	IP アドレス	
	P/S タイプ	

(j) バインドリスト

該当するゾーンまたはグループにバインドされているグループまたは物理サーバの一覧表です。

6. 画面 - 基本画面

図 6-47 バインドリスト (STM) の表示イメージ

名称	種類
Group02	グループ
Server01	物理サーバ
Server02	物理サーバ

表 6-56 バインドリスト (STM) の表示項目の説明

表示項目	内容
[名称]	該当するゾーンまたはグループにバインドされているグループまたは物理サーバの名称が表示されます。
[種類]	該当する要素の種類が表示されます。 <ul style="list-style-type: none">• 「グループ」• 「物理サーバ」

(9) ステータスバー

現在の JP1/Cm2/NC - View のステータスを示すメッセージが表示されます。スイッチに対して構成情報を設定しているときには「ネットワーク構成情報の設定処理中です。」が表示されます。設定処理が終了すると、「ネットワーク構成情報の設定が完了しました。」または「ネットワーク構成情報の設定が失敗しました。」が表示されます。

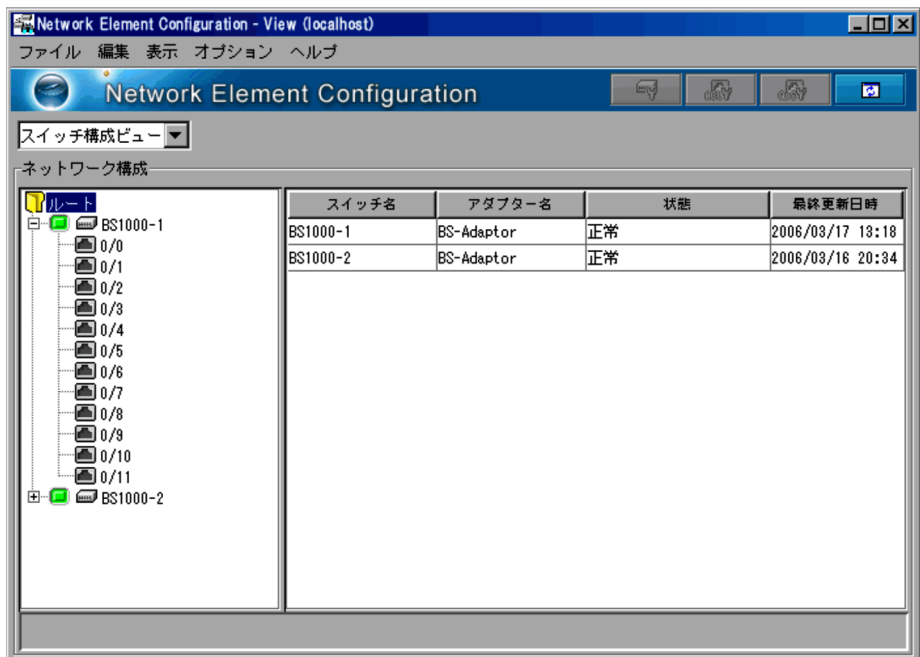
6.7 [Network Element Configuration - View] ウィンドウ (スイッチ構成ビュー)

スイッチ構成ビューは、スイッチの設定機能のうち、VLAN および SLB 以外の設定状況を表示したり、設定したりするためのビューです。このビューを起点にして操作します。このビューは、次の場合に使用します。

- AX2400S, AX3600S, BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 に対して、アクセス制御の設定状況を確認したり、設定したりする場合。
- BS1000 に対して、アクセス制御および QoS 制御の設定状況を確認したり、設定したりする場合。
- BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 に対して、アップリンクフェイルオーバーの設定状況を確認したり、設定したりする場合。

[Network Element Configuration - View] ウィンドウ (スイッチ構成ビュー) を次の図に示します。

図 6-48 [Network Element Configuration - View] ウィンドウ (スイッチ構成ビュー)



スイッチ構成ビュー表示時、ネットワーク構成ツリーでは「ルート」が選択されています。

スイッチ構成ビューには、構成情報がない（オフホワイトの）スイッチは表示されません。構成情報がないスイッチから構成情報を再取得する場合は、管理対象ビューから操

作してください。

スイッチ構成ビューの構成要素について、マニュアルの参照先を次の表に示します。

表 6-57 スイッチ構成ビューの構成要素についてのマニュアル参照先

スイッチ構成ビューの構成要素	参照先
ツールバー	6.7.1 (1)
ビュー選択メニュー	6.7.1 (2)
ツリーエリア	6.7.1 (3)
リストエリア	6.7.1 (4)

6.7.1 スイッチ構成ビューの構成要素

スイッチ構成ビューを構成する要素について次に説明します。

(1) ツールバー

スイッチ構成ビューのツールバーには、スイッチ構成ビューでよく使うメニューコマンドの機能がボタンで表示されています。ツールバーのボタンを使うと、複数の操作をしないで直接機能を利用できます。スイッチ構成ビューのツールバーに表示されるボタンのアイコンと機能を次に説明します。



スイッチ構成情報の設定ボタン

[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスを表示します。ツリーエリアでスイッチを選択したときにボタンをクリックできます。



アクセス制御情報の設定ボタン

[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスを表示します。ネットワーク構成ツリーで次の要素を選択したときにボタンをクリックできます。

- スイッチ
- ポート



QoS 制御情報の設定ボタン

[QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスを表示します。ネットワーク構成ツリーで次の要素を選択したときにボタンをクリックできます。

- スイッチ
- ポート



最新の情報に更新ボタン

マネージャーサーバの DB から最新の情報を取得し、ツリーエリアのネットワーク構成ツリーを再構成します。

(2) ビュー選択メニュー

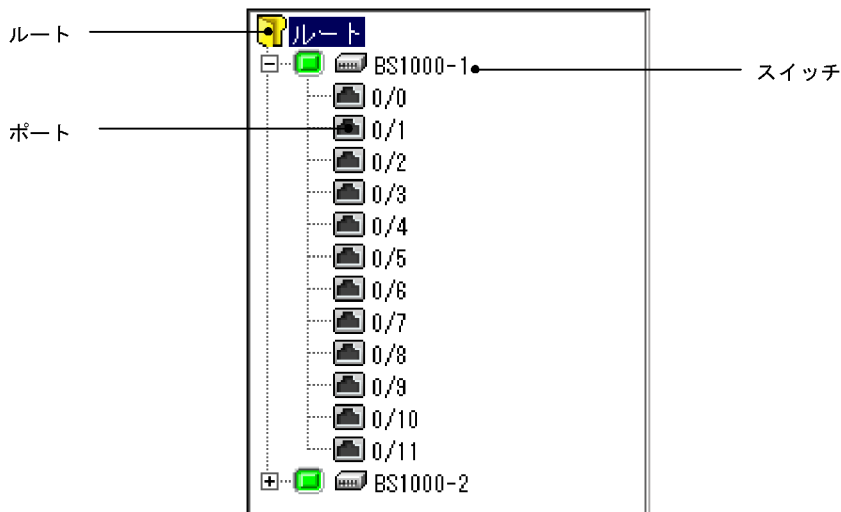
ビュー選択メニューは、スイッチ構成ビューから別のビューに表示を切り替えるためのプルダウンメニューです。プルダウンメニューから表示したいビュー名を選択すると、[Network Element Configuration - View] ウィンドウの表示が選択したビューに切り替わります。

(3) ツリーエリア

スイッチ構成ビューのツリーエリアには、JP1/Cm2/NC で VLAN および SLB 以外の設定ができるスイッチ、および該当するスイッチの実装済みポートがネットワーク構成ツリーとして表示されます。スイッチ構成ビューのネットワーク構成ツリーを参照すると、VLAN および SLB 以外の設定ができるスイッチがわかります。

スイッチ構成ビューのネットワーク構成ツリーを構成する要素を、次の図に示します。

図 6-49 ネットワーク構成要素



ネットワーク構成要素の詳細について次の表に示します。

表 6-58 ネットワーク構成要素の詳細

ネットワーク構成要素	説明
ルート	ネットワーク構成ツリーの最上位の要素です。ネットワーク構成ツリー上に「ルート」と表示されます。表示する情報がまったくない場合、ツリーエリアには「ルート」だけ表示されます。
スイッチ	JP1/Cm2/NC で VLAN および SLB 以外の設定ができるスイッチです。なお、該当するスイッチでも、構成情報を取得できなかったスイッチはスイッチ構成ビューに表示されません。構成情報のないスイッチは、管理対象ビューだけに表示されます。

6. 画面 - 基本画面

ネットワーク構成要素	説明
ポート	<p>該当するスイッチに実装されているポートです。ネットワーク構成ツリー上で、ポート名は次のように表示されます。 は半角スペースを表します。</p> <p>AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40の場合 インターフェースタイプ NIF 番号 / ポート番号 (例: GigabitEthernet 0/1)</p> <p>BS1000の場合 NIF 番号 / ポート番号 (例: 0/1)</p>

注

BS500 1Gbx40 の場合、スイッチ側でのポート名は下記の形式となりますが、スイッチ番号は 1 固定であり、かつスイッチの運用コマンドではスイッチ番号を使用しないため、JP1/Cm2/NC で表示するポート名称からはスイッチ番号を省略しています。

インターフェースタイプ スイッチ番号 / NIF 番号 / ポート番号

JP1/Cm2/NC・View 起動直後、ツリーエリアにはスイッチが展開された状態で、ネットワーク構成ツリーが表示されます。

なお、ツリーエリアでは、一度に複数のネットワーク構成要素を選択することはできません。

また、ネットワーク構成要素のスイッチについて、JP1/Cm2/NC とスイッチとの接続状態を状態アイコンの色で識別しています。状態アイコンの色と状態の意味については、「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。

(4) リストエリア

リストエリアには、ネットワーク構成ツリーで選択した各要素の中身が一覧（リスト）で表示されます。選択した要素によって、表示される内容が異なります。ツリーエリアで選択した要素とリストエリアに表示される内容の対応を、次の表に示します。

表 6-59 ツリーエリアで選択した要素とリストエリアに表示される内容の対応

ツリーエリアで選択した要素	リストエリアに表示される内容	
ルート	スイッチリスト	VLAN および SLB 以外を JP1/Cm2/NC で設定できるスイッチが一覧で表示されます。
スイッチ	ポートリスト	該当するスイッチに実装されているポートが一覧で表示されます。
ポート	構成リスト	該当するポートに設定されている、VLAN および SLB 以外の情報が表示されます。

以降に、リストエリアに表示される、それぞれのリストの表示イメージを示します。また、各リストの表示項目の詳細について説明します。

(a) スイッチリスト

VLAN および SLB 以外を JP1/Cm2/NC で設定できるスイッチとスイッチの状態を示す一覧表です。

図 6-50 スイッチリストの表示イメージ

スイッチ名	アダプター名	状態	最終更新日時
BS1000-1	BS-Adaptor	正常	2006/03/17 13:18
BS1000-2	BS-Adaptor	正常	2006/03/18 20:34

表 6-60 スイッチリストの表示項目の説明

表示項目	内容
[スイッチ名]	該当するアダプターサーバのスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。
[アダプター名]	該当するアダプターサーバの動作条件定義ファイル (nca.conf) に定義した、該当するスイッチを管理しているアダプターサーバ名が表示されます。
[状態]	<p>該当するスイッチとの接続状態が表示されます。スイッチリストに表示される状態を次に示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「正常」 ・「構成情報の同期が必要です。」 ・「スイッチに接続できません。」 ・「アダプターが起動していません。」 <p>表示される状態の意味は、ツリーエリアに表示されるアイコンの意味と同じです。表示される状態の意味については、「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。</p>
[最終更新日時]	該当するスイッチの構成情報を DB に格納した日時が表示されます。

(b) ポートリスト

該当するスイッチに実装されているポートの一覧表です。

6. 画面 - 基本画面

図 6-51 ポートリストの表示イメージ

ポート
0/0
0/1
0/2
0/3
0/4
0/5
0/6
0/7
0/8
0/9
0/10
0/11

表 6-61 ポートリストの表示項目の説明

表示項目	内容
[ポート]	該当するスイッチに実装されているポート名が表示されます。

(c) 構成リスト

該当するポートに設定されている，VLAN および SLB 以外の情報の一覧です。

図 6-52 構成リストの表示イメージ

項目	状態
アクセス制御	設定済
QoS制御	設定済

表 6-62 構成リストの表示項目の説明

表示項目	内容
[項目]	該当するポートに設定されている，VLAN および SLB 以外の情報が表示されます。
[状態]	<p>該当する情報について，設定の状態が次の二とおりで表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 設定済 AX2400S・AX3600S の場合，該当するポートにアクセス制御リスト（フィルター）が一つ以上適用されています。 BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gb\times40 の場合，該当するポートにアクセス制御リスト（フィルター），またはアップリンクフェイルオーバー情報が，一つ以上設定されています。 BS1000 の場合，該当するポートにアクセス制御情報，または QoS 制御情報が，一つ以上設定されています。 • 未設定 該当する情報は，設定されていません。

7

画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40)

この章では、AX2400S、AX3600S、BS2000、BS320、BS500、および BS500 1Gbx40 の VLAN の設定で使用する画面の表示項目、および定義項目について説明します。なお、各画面の表示内容および設定内容の詳細については、適宜 AX2400S、AX3600S、および BladeSymphony のソフトウェアマニュアルを参照してください。

7.1 [スイッチ情報] ダイアログボックス

7.2 [スイッチ一覧] ダイアログボックス

7.3 [VLAN 一覧] ダイアログボックス

7.4 [VLAN 定義の追加] ダイアログボックス

7.5 [VLAN 定義の変更] ダイアログボックス

7.6 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス

7.7 [ポートの設定] ダイアログボックス

7.8 [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックス

7.9 [スイッチの選択] ダイアログボックス

7. 画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40)

7.10 [ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックス

7.11 [ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックス

7.12 [設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報)

7.1 [スイッチ情報] ダイアログボックス

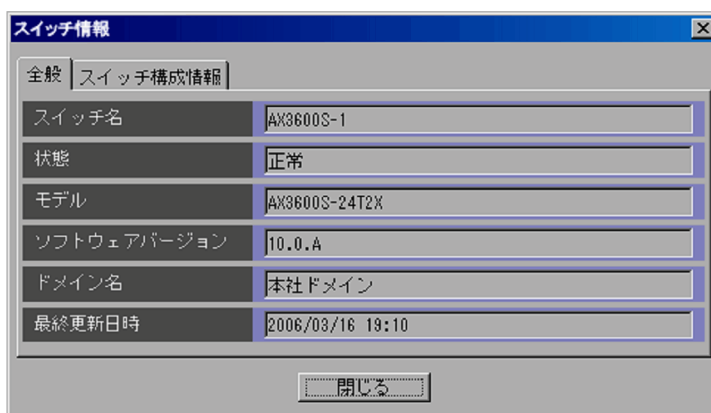
[スイッチ情報] ダイアログボックスは、スイッチの基本情報やスイッチ構成情報を確認するためのダイアログボックスです。

[スイッチ情報] ダイアログボックスには、[全般] ページと [スイッチ構成情報] ページがあります。[全般] ページには、スイッチ名や状態など、スイッチの基本情報が表示されます。[スイッチ構成情報] ページには、該当スイッチのスイッチ構成情報が表示されます。

7.1.1 [全般] ページ

[全般] ページを次の図に示します。

図 7-1 [全般] ページ



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[状態]

該当するスイッチとの接続状態が表示されます。表示される状態は、[Network Element Configuration - View] ウィンドウのツリーエリアに表示される状態アイコンの状態と同じです。詳細については、「6.3.1 (3) ツリーエリア」の「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。

[モデル]

該当するスイッチのモデルが表示されます。モデルが不明な場合は、「不明」と表示されます。モデルの情報を持たないスイッチの場合は、何も表示されません。

[ソフトウェアバージョン]

ルーティングソフトウェアのバージョンが表示されます。バージョンは、先頭から 11 文字までが表示されます。11 文字より長い場合、12 文字目以降は表示されません。

[ドメイン名]

該当するスイッチが所属している VLAN 管理ドメイン名が表示されます。ドメイン名は、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したドメイン名が表示されます (デフォルトドメインは、JP1/Cm2/NC・Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) で定義されています)。

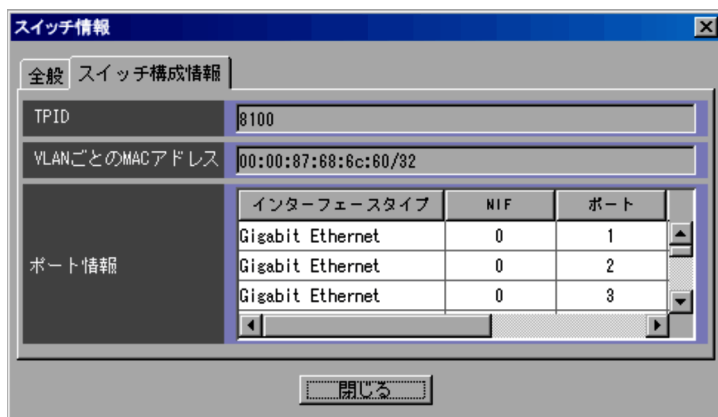
[最終更新日時]

該当するスイッチの構成情報を DB に格納した日時が表示されます。

7.1.2 [スイッチ構成情報] ページ

[スイッチ構成情報] ページを次の図に示します。

図 7-2 [スイッチ構成情報] ページ



表示項目について説明します。

[TPID]

該当するスイッチに設定されている VLAN-Tag の TPID の値が表示されます。設定していない場合は、何も表示されません。

[VLAN ごとの MAC アドレス]

該当するスイッチに設定されている VLAN ごとの MAC アドレスプレフィックスの値を、「nn:nn:nn:nn:nn/ マスク長」形式で表示します。設定していない場合は、何も表示されません。

AX2400S の場合は、この項目に何も表示されません。

[ポート情報]

該当するスイッチのポートの設定内容が表示されます。各表示項目の内容について

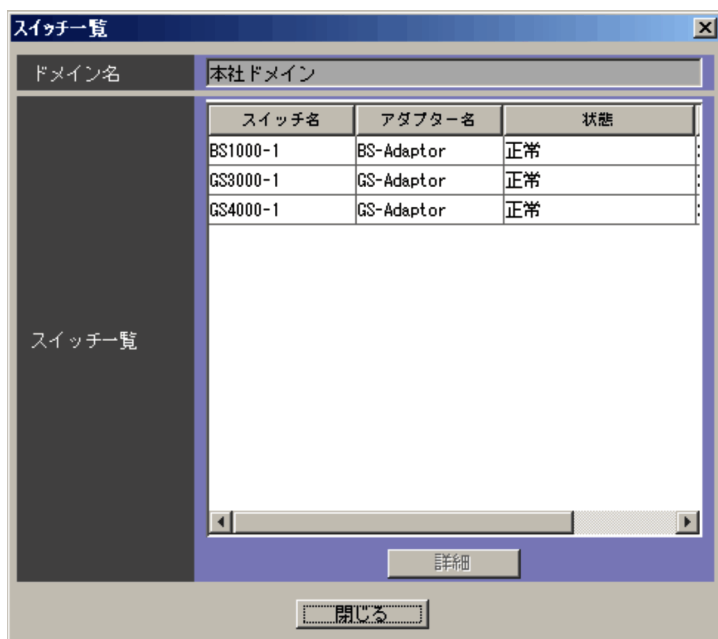
7. 画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40)

は、VLAN ビューの「ポートリスト」と同様です。「6.5.1(4)(d) ポートリスト」の「表 6-19 ポートリスト (AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40) の表示項目の説明」を参照してください。

7.2 [スイッチ一覧] ダイアログボックス

[スイッチ一覧] ダイアログボックスは、VLAN 管理ドメインの配下にどのようなスイッチがあるかを確認するためのダイアログボックスです。[スイッチ一覧] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 7-3 [スイッチ一覧] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[ドメイン名]

該当する VLAN 管理ドメインの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義した VLAN 管理ドメイン名が表示されます。デフォルトドメインは、JP1/Cm2/NC・Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) で定義されています。

[スイッチ一覧]

該当する VLAN 管理ドメインにどのようなスイッチがあるかを示す一覧が表示されます。表示内容については、VLAN ビューのリストエリアの「スイッチリスト」と同様です。詳細については、「6.5.1 (4)(c) スイッチリスト」の「表 6-18 スイッチリストの表示項目の説明」を参照してください。

なお、[スイッチ一覧] の任意の行を選択したあと、[詳細] ボタンをクリックするか、またはスイッチ名称をダブルクリックすると、[VLAN 一覧] ダイアログボックスが表示されます。

7.3 [VLAN 一覧] ダイアログボックス

[VLAN 一覧] ダイアログボックスは、あるスイッチにどの VLAN が割り当てられているかを確認するためのダイアログボックスです。

[VLAN 一覧] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 7-4 [VLAN 一覧] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[VLAN 一覧]

該当するスイッチに設定されている VLAN の一覧が表示されます。

[VLAN-ID]

VLAN-ID が表示されます。

[タイプ]

VLAN 種別が表示されます。表示される種別は「ポート」です。

[状態]

VLAN の状態が表示されます。表示される状態を次に示します。

• [Active]

すべてのフレームの送受信ができる状態です。

- [Suspend]

フレームの送受信がすべてできない状態です。

[VLAN 名]

該当する VLAN の VLAN 名が表示されます。

この VLAN 名は、スイッチに設定されている VLAN 名です。VLAN 定義情報で指定する VLAN 名とは関係ありません。

[IP アドレス]

VLAN インターフェースで使用する IP アドレスが表示されます。

IPv4 形式の場合は、「nnn.nnn.nnn.nnn/ マスク長」形式で表示されます。

IPv6 形式の場合は、「nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn/ プレフィックス長」形式で表示されます。省略形式では表示されません。IPv4 形式と IPv6 形式の両方が設定されている場合、「IPv4, IPv6」の順で、「,」(コンマ)で区切って表示されます。

[IPv6 アドレス使用有無]

VLAN インターフェースに IPv6 アドレスが使用されているかどうか「使用」または「未使用」で表示されます。

AX2400S の場合は、この項目に何も表示されません。

[MAC アドレス]

VLAN インターフェースで使用する MAC アドレスの種別が表示されます。次に示す種別が表示されます。

- [装置]

スイッチに割り当てられている MAC アドレスを使用します。

- [VLAN]

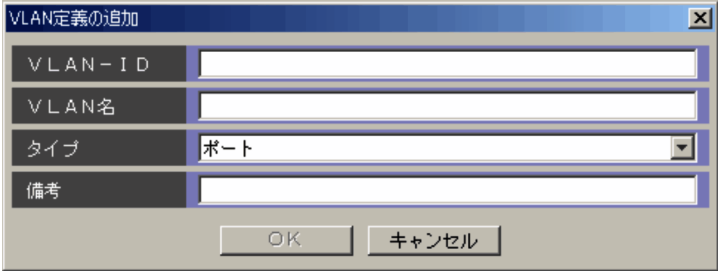
VLAN ごとに割り当てられている MAC アドレスを使用します。

AX2400S の場合は、この項目に何も表示されません。

7.4 [VLAN 定義の追加] ダイアログボックス

[VLAN 定義の追加] ダイアログボックスは、VLAN 定義情報を VLAN 管理ドメインに追加するためのダイアログボックスです。[VLAN 定義の追加] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 7-5 [VLAN 定義の追加] ダイアログボックス



VLAN定義の追加	
VLAN-ID	<input type="text"/>
VLAN名	<input type="text"/>
タイプ	ポート
備考	<input type="text"/>
OK キャンセル	

表示項目について説明します。

[VLAN-ID]

追加する VLAN の ID を指定します。指定できる値は、2 ~ 4095 の整数です。デフォルトは空白です。この VLAN-ID の上限値まで VLAN をネットワーク上に構築できます。ただし、同じ VLAN 管理ドメイン内にある VLAN 同士で重複した値は指定しないでください。

[VLAN 名]

ネットワーク構成ツリーに表示する VLAN の名称を、63 バイト以内の文字列で指定します。この項目には全角文字を指定できます。ここで指定する名称は、スイッチには設定されません。マネージャーサーバの DB に保存されます。

[タイプ]

追加する VLAN の種別を指定します。指定できる種別は、[ポート] です。

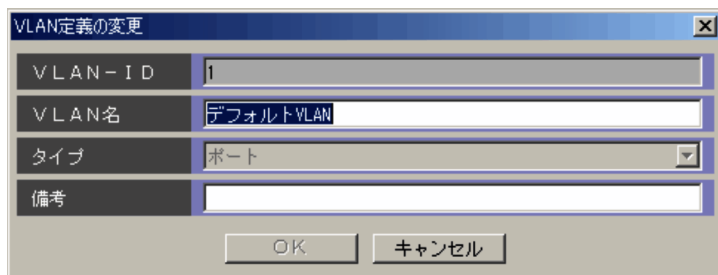
[備考]

コメントを 255 バイト以内の文字列で指定します。この項目には全角文字を指定できます。ここで指定する内容は、スイッチには設定されません。マネージャーサーバの DB に保存されます。この項目はオプションです。

7.5 [VLAN 定義の変更] ダイアログボックス

[VLAN 定義の変更] ダイアログボックスは、定義済みの VLAN 定義情報を変更するためのダイアログボックスです。[VLAN 定義の変更] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 7-6 [VLAN 定義の変更] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[VLAN-ID]

変更する VLAN の ID が表示されます。この項目は変更できません。

[VLAN 名]

ネットワーク構成ツリーに表示する VLAN の名称を、63 バイト以内の文字列で指定します。この項目には全角文字を指定できます。ここで指定する名称は、スイッチには設定されません。マネージャーサーバの DB に保存されます。

[タイプ]

変更する VLAN に定義されている VLAN の種別が表示されます。この項目は変更できません。

[備考]

コメントを 255 バイト以内の文字列で指定します。この項目には全角文字を指定できます。ここで指定する内容は、スイッチには設定されません。マネージャーサーバの DB に保存されます。この項目はオプションです。

7.6 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス

[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスは、スイッチへスイッチ構成情報を設定するためのダイアログボックスです。各設定項目の詳細については、スイッチのマニュアルを参照してください。[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 7-7 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[TPID]

該当するスイッチが付ける VLAN-Tag の TPID を指定します。指定できる値は、0000 ~ FFFF (4 けたの 16 進数) です。この項目はオプションです。この項目は `vlan-dot1q-ethertype` コマンドを使用して設定します。

[VLAN ごとの MAC アドレス]

VLAN 単位に使用する MAC アドレスのプレフィックスを指定します。VLAN ごとの MAC アドレスは、該当するスイッチがレイヤー 3 を中継 (該当するスイッチからの中継、または該当するスイッチあての中継を含む) する場合に使用します。MAC アドレスは、「nn:nn:nn:nn:nn:nn/ マスク長」形式で指定してください。MAC アドレスは、MAC アドレスとして形式が正しければ、マルチキャスト MAC アドレス (先頭バイトの最下位ビットが 1 のアドレス) 以外は、任意の値を指定できます。ただし、JP1/Cm2/NC では値の妥当性まではチェックしません。

7. 画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40)

「マスク長」は、8 ~ 34 の範囲で指定します。

この項目は、オプションです。また、AX2400S では指定できません。

この項目は `vlan-mac-prefix` コマンドを使用して設定します。

[ポート情報]

該当するスイッチのポートの設定内容が表示されます。各表示項目の内容については、VLAN ビューの「ポートリスト」と同様です。「6.5.1(4)(d) ポートリスト」の「表 6-19 ポートリスト (AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40) の表示項目の説明」を参照してください。

[ポートの設定] ボタン

[ポートの設定] ダイアログボックスを表示します。

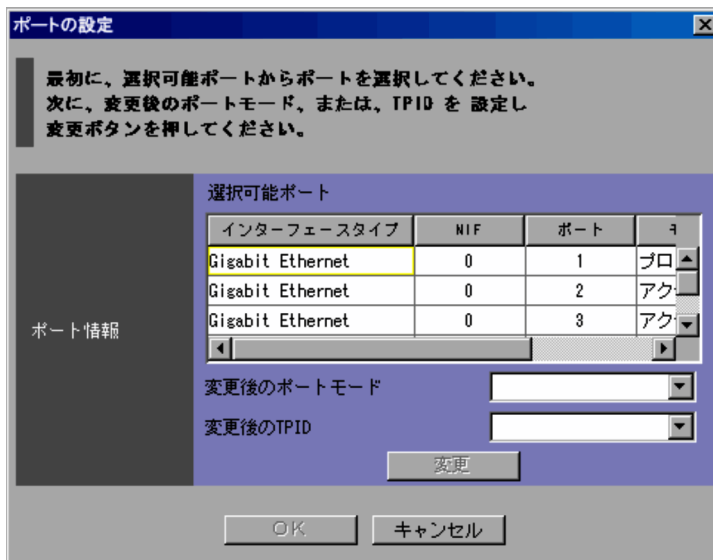
7.7 [ポートの設定] ダイアログボックス

[ポートの設定] ダイアログボックスは、次に示す内容をポートに設定するためのダイアログボックスです。

- ポートモード
- TPID

[ポートの設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 7-8 [ポートの設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[選択可能ポート]

選択できるポートの設定内容が表示されます。

設定を変更するポートをクリックで指定します。一度に複数のポートを選択できません。

[変更後のポートモード]

変更後のポートモードを指定します。プルダウンメニューにポートモードの一覧が表示され、指定できます。

デフォルトでは空白となり、何も表示されていません。プルダウンメニューから「(空白)」を指定した場合、変更前のポートモードのまま設定内容は変更されません。

- 「アクセス」
アクセスモードです。
- 「トランク」
トランクモードです。

7. 画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40)

- 「プロトコル」
プロトコル VLAN モードです。
- 「MAC」
MAC VLAN モードです。
- 「トンネリング」
トンネリングモードです。

この項目は switchport mode コマンドを使用して設定します。

[変更後の TPID]

変更後の TPID を指定します。指定できる値は、0000 ~ FFFF (4 けたの 16 進数) です。[選択可能ポート] で選択したポートの TPID の設定を削除したい場合は、プルダウンメニューから「削除」を選択します。デフォルトでは空白となり、何も表示されていません。プルダウンメニューから「(空白)」を指定した場合、変更前の TPID のまま設定内容は変更されません。この項目は switchport dot1q ethertype コマンドを使用して設定します。

[変更] ボタン

ポートモードおよび TPID を指定した内容に変更します。どちらか一方の内容を変更することもできます。

7.8 [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックス

[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスは、VLAN 構成情報を設定するためのダイアログボックスです。[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 7-9 [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックス

VLAN-ID	VLAN名	タイプ	備考
1	総務部VLAN	ポート	
2	営業部VLAN	ポート	
3	経理部VLAN	ポート	
4	法務部VLAN	ポート	

状態	スイッチ名
	BS1000-1
	GS3000-1
	GS4000-1

表示項目について説明します。

[ドメイン名]

該当する VLAN が所属している VLAN 管理ドメイン名が表示されます。ドメイン名は、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したドメイン名が表示されます。デフォルトドメインは、JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) で定義されています。

[VLAN 一覧]

VLAN 管理ドメイン内の定義済みの VLAN を一覧で表示します。

表示内容については、[Network Element Configuration - View] ウィンドウのリストエリアの「VLAN リスト」と同様です。詳細については、「6.5.1 (4)(b) VLAN リスト」の「表 6-17 VLAN リストの表示項目の説明」を参照してください。[VLAN 一覧] の任意の行を選択すると、選択した VLAN を構成しているス

スイッチが,[スイッチ一覧]に表示されます。

[VLAN 定義の追加] ボタン

VLAN 定義情報を VLAN 管理ドメインに追加するために使用します。[VLAN 定義の追加] ダイアログボックスが表示されます。VLAN の定義数が 4,094 個以下の場合にクリックできます。

[VLAN 定義の変更] ボタン

すでに定義している VLAN 定義情報を変更するために使用します。[VLAN 定義の変更] ダイアログボックスが表示されます。[VLAN 一覧] の任意の行を選択するとクリックできます。

[VLAN 定義の削除] ボタン

選択した VLAN の定義を VLAN 管理ドメインから削除します。ただし次の場合は削除できません。

- VLAN-ID が 1 (デフォルト VLAN) の場合

[VLAN 一覧] の任意の行を選択するとクリックできます。

VLAN 定義の削除後、削除された VLAN にアクセスポートとして設定されていたポートは、デフォルト VLAN (VLAN-ID : 1) のアクセスポートに変更されます。

[スイッチ一覧]

[VLAN 一覧] で選択した VLAN を構成するスイッチを一覧で表示します。スイッチの状態とスイッチ名の対応が表示されます。

[状態] には、スイッチとの接続状態がアイコンで表示されます。アイコンの色と状態については、「6.3.1 (3) ツリーエリア」の「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。「青」、「赤」、「黄」、「緑」の順番、または「緑」、「黄」、「赤」、「青」の順番でソートして表示できます。

[スイッチ名] には、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[スイッチの追加] ボタン

該当する VLAN に、VLAN を構成するスイッチを追加します。[スイッチの選択] ダイアログボックスが表示されます。

[スイッチの追加] ボタンは,[VLAN 一覧] の任意の行を選択するとクリックできます。

[スイッチの変更] ボタン

選択したスイッチの VLAN の構成情報を変更します。[ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックスが表示されます。

[スイッチの変更] ボタンは,[スイッチ一覧] の任意の行を選択するとクリックできます。

[スイッチの削除] ボタン

該当する VLAN から VLAN を構成しているスイッチを削除します。[スイッチ一覧] の任意の行を選択するとクリックできます。

スイッチの削除を確認するダイアログボックスが表示され、[OK] をクリックすると、[スイッチ一覧] から削除されます。

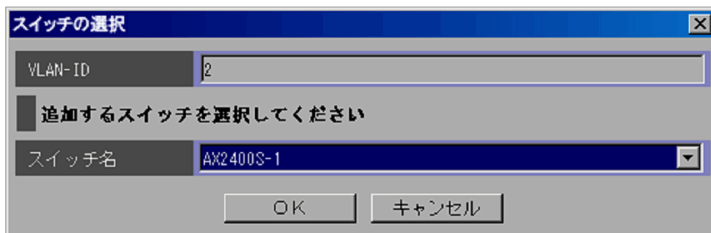
スイッチの削除後、削除したスイッチの、該当する VLAN にアクセスポートとして設定されていたポートは、デフォルト VLAN (VLAN-ID : 1) のアクセスポートに変更されます。

なお、該当する VLAN を構成するスイッチがすべて削除されても、VLAN 定義は削除されません。

7.9 [スイッチの選択] ダイアログボックス

[スイッチの選択] ダイアログボックスは、VLAN に追加するスイッチの種類を選択するためのダイアログボックスです。[スイッチの選択] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 7-10 [スイッチの選択] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[VLAN-ID]

スイッチを追加する VLAN の VLAN-ID が表示されます。

[スイッチ名]

追加するスイッチを選択します。該当する VLAN 管理ドメイン配下にあるすべてのスイッチが、プルダウンメニューに表示されます。

なお、JP1/Cm2/NC では、この項目で選択したスイッチが、該当する VLAN-ID の VLAN に追加できるかどうかはチェックしません。

スイッチによっては、設定できる VLAN-ID の範囲が異なります。設定できる VLAN-ID の最大値を確認し、適切なスイッチを選択してください。

7.10 [ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックス

[ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックスは、VLAN を構成するスイッチのポートに、ポート VLAN を設定するためのダイアログボックスです。VLAN 管理ドメインの配下にあるすべてのスイッチから、ポート VLAN を構成するスイッチを選択します。各設定項目の詳細については、スイッチのマニュアルを参照してください。[ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 7-11 [ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[VLAN-ID]

ポート VLAN を設定する VLAN の VLAN-ID が表示されます。

[スイッチ名]

[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックス、または [スイッチの選択] ダイアログボックスで選択したスイッチ名が表示されます。

[ポート指定種別]

該当する VLAN に所属するポートのポート種別を、プルダウンメニューから選択します。デフォルトでは「アクセスポート」が表示されます。

- アクセスポート

VLAN にアクセスポートとして所属しています。

- ネイティブ指定トランクポート

該当する VLAN にネイティブ指定のトランクポートとして所属しています。

- トランクポート

該当する VLAN にトランクポートとして所属しています。

[ポート情報]

[ポート一覧]

該当するスイッチに設定されているすべてのポートおよびポートの情報が表示されます。

所属ポートに追加したい場合は、ポートを選択し [追加 >>] ボタンをクリックします。一度に複数のポートを選択して追加できます。追加したポートは [所属ポート] に表示されます。

ただし、[ポート指定種別] で「アクセスポート」または「ネイティブ指定トランクポート」を指定したポートは、一つの VLAN にだけ所属できます。そのため、例えば、ある VLAN に「アクセスポート」として所属しているポートを別の VLAN にも「アクセスポート」として所属させることはできません。

なお、[所属ポート] にポートを追加しても、[ポート一覧] からは削除されません。[ポート一覧] には常にすべてのポートが表示されます。

[所属ポート] への追加は、switchport access vlan (アクセスポートの場合)、switchport trunk native vlan (ネイティブ指定トランクポートの場合)、または switchport trunk allowed vlan (トランクポートの場合) コマンドを使用して設定します。

[所属ポート]

[ポート指定種別] で指定した種別で所属しているポートとポートの情報が表示されます。

設定を解除したい場合は、ポートを選択し [<< 削除] ボタンをクリックします。一度に複数のポートを選択して設定を解除できます。選択したポートは [所属ポート] から削除されます。

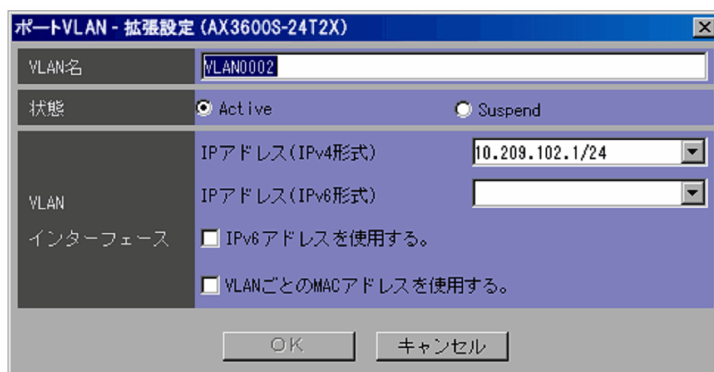
[拡張設定] ボタン

[ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックスを表示します。

7.11 [ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックス

[ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックスは、ポート VLAN の設定を拡張するためのダイアログボックスです。VLAN の状態を開放・閉塞したり、VLAN インターフェイスで使用する IP アドレスを指定したりします。各設定項目の詳細については、スイッチのマニュアルを参照してください。[ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 7-12 [ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[VLAN 名]

該当する VLAN の VLAN 名を指定します。この項目は VLAN の設定で必須項目です。この VLAN 名は、スイッチに設定されている VLAN 名です。VLAN 定義情報で指定する VLAN 名とは関係ありません。

VLAN 名は 1 ~ 32 文字の ASCII 文字で指定します。使用できる文字は英数字および特殊文字です。ただし、次に示す記号は使用できません。

- 「"」(引用符)
- 「{ }」(波括弧)
- 「'」(シングルクォーテーション)
- 「`」(逆シングルクォーテーション)
- 「;」(セミコロン)
- 「\$」(ドル記号)
- 「¥」(円記号)

VLAN 名はスイッチ内で重複してもかまいません。

新規に VLAN を作成する場合は、デフォルトで「VLAN**VLAN-ID**」が表示されます (例: VLAN-ID が 2 の場合、VLAN 名は VLAN0002)。指定を省略した場合は、デ

フォルトの「VLAN**VLAN-ID**」が設定されます。既存の VLAN の場合は、VLAN 名が表示されます。

デフォルト VLAN の VLAN 名は変更することもできます。

この項目は name コマンドを使用して設定します。

[状態]

該当する VLAN の状態を指定します。この項目は VLAN の設定で必須項目です。

VLAN のネットワーク構成を変更する場合、データが流れているままの状態では VLAN の構成を変更すると、そのほかの個所で通信ができなくなってしまうおそれがあります。そのため、構成の変更が完了するまで、データが流れるのを止めておくために、該当する VLAN の状態を閉塞します。指定できる種類を次に示します。

- [Active]

VLAN を開放し、すべてのフレームの送受信を開始します。

- [Suspend]

VLAN を閉塞し、すべてのフレームの送受信を停止します。

新規で VLAN を追加した場合は、デフォルトで「Active」が選択されています。

この項目は、state コマンドを使用して設定します。

[VLAN インターフェース]

[IP アドレス (IPv4 形式)]

VLAN インターフェースで使用する IPv4 形式の IP アドレスを指定します。

また、ほかの AX3600S, BS2000, BS320, BS500, または BS500 1Gbx40 の、同じ VLAN に設定されている IP アドレスをプルダウンメニューから選択することもできます。

IPv4 形式の場合、「nnn.nnn.nnn.nnn/ マスク長」形式で指定します。「マスク長」は、1 ~ 32 の範囲で指定します。

この項目は、AX2400S では指定できません。

この項目は、ip address コマンドを使用して設定します。

[IP アドレス (IPv6 形式)]

VLAN インターフェースで使用する IPv6 形式の IP アドレスを指定します。

また、ほかの AX3600S, BS2000, BS320, BS500, または BS500 1Gbx40 の、同じ VLAN に設定されている IP アドレスをプルダウンメニューから選択することもできます。

IPv6 形式の場合、「nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn/ プレフィックス長」形式で指定します。

「プレフィックス長」は、1 ~ 64 の範囲で指定します。省略形式では指定できません。

この項目は、AX2400S では指定できません。

この項目は、ipv6 address コマンドを使用して設定します。

[IPv6 アドレスを使用する。]

IPv6 アドレスを使用する場合、チェックボックスをチェックします。[IP アドレス (IPv6 形式)] に入力しても、このチェックボックスをチェックしないと、設定した IPv6 アドレスはスイッチ上で使用されません。

この項目は、AX2400S では指定できません。

この項目は、`ipv6 enable` コマンドを使用して設定します。

[VLAN ごとの MAC アドレスを使用する。]

VLAN ごとの MAC アドレスを使用する場合、チェックボックスをチェックします。この項目を指定する場合、[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスで [VLAN ごとの MAC アドレス] を指定しておく必要があります。

この項目は、AX2400S では指定できません。

この項目は、`vlan-mac` コマンドを使用して設定します。

7.12 [設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報)

[設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報) は、VLAN の構成情報を設定した結果を確認するためのダイアログボックスです。[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスでの設定が完了して、[OK] ボタンをクリックしたときに表示されます。ただし、設定内容すべてがスイッチに反映される前に、ネットワーク構成情報の設定が処理中であることを示すメッセージを閉じた場合は表示されません。[設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報) を次の図に示します。

図 7-13 [設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報)



VLAN-ID	スイッチ名	操作	結果	原因
2	BS1000-1	変更	成功	
2	Catalyst-1	追加	成功	
2	GS4000-1	変更	成功	
3	GS4000-1	削除	成功	

表示項目について説明します。

[VLAN-ID]

設定が完了した VLAN の VLAN-ID が表示されます。

[スイッチ名]

設定が完了した VLAN を構成するスイッチの名称が表示されます。スイッチ名は、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[操作]

該当するスイッチに対して実行した VLAN の操作が表示されます。次のどれかが表示されます。

- 「追加」
- 「変更」
- 「削除」: スイッチから VLAN を削除した場合に表示されます。

- 「データベースから削除されました」: VLAN 定義情報から VLAN 構成情報を削除した場合に表示されます。

[結果]

該当するスイッチに対して実行した操作の結果が表示されます。「成功」または「失敗」が表示されます。

[原因]

結果が失敗だった場合、JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージが表示されません。形式は次のとおりです。

「KDNV1nnnn-E メッセージ本文」

JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージの説明と対処方法については、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング」を参照してください。

8

画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000)

この章では、AX5400S、AX7800S、GS3000 および GS4000 の VLAN の設定で使用する画面の表示項目、および定義項目について説明します。なお、各画面の表示内容および設定内容の詳細については、適宜 AX5400S、AX7800S、GS3000 および GS4000 のソフトウェアマニュアルを参照してください。

-
- 8.1 [スイッチ情報] ダイアログボックス

 - 8.2 [スイッチ一覧] ダイアログボックス

 - 8.3 [VLAN 一覧] ダイアログボックス

 - 8.4 [VLAN 定義の追加] ダイアログボックス

 - 8.5 [VLAN 定義の変更] ダイアログボックス

 - 8.6 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス

 - 8.7 [ポートの選択] ダイアログボックス

 - 8.8 [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックス

 - 8.9 [スイッチの選択] ダイアログボックス

 - 8.10 [ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックス

 - 8.11 [ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックス

8. 画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000)

8.12 [設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報)

8.1 [スイッチ情報] ダイアログボックス

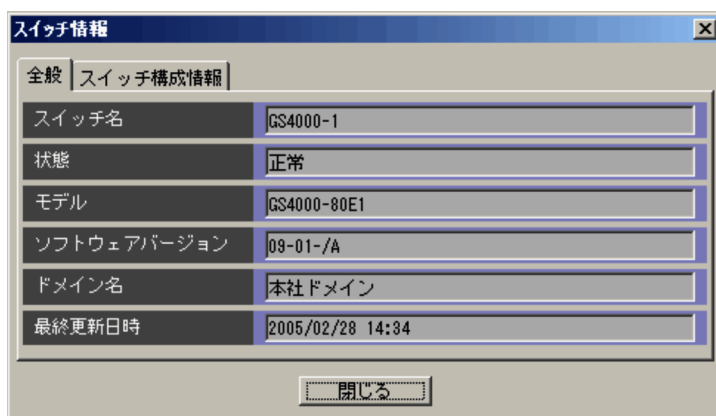
[スイッチ情報] ダイアログボックスは、スイッチの基本情報やスイッチ構成情報を確認するためのダイアログボックスです。

[スイッチ情報] ダイアログボックスには、[全般] ページと [スイッチ構成情報] ページがあります。[全般] ページには、スイッチ名や状態など、スイッチの基本情報が表示されます。[スイッチ構成情報] ページには、該当スイッチのスイッチ構成情報が表示されます。

8.1.1 [全般] ページ

[全般] ページを次の図に示します。

図 8-1 [全般] ページ



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[状態]

該当するスイッチとの接続状態が表示されます。表示される状態は、[Network Element Configuration - View] ウィンドウのツリーエリアに表示される状態アイコンの状態と同じです。詳細については、「6.3.1 (3) ツリーエリア」の「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。

[モデル]

該当するスイッチのモデルが表示されます。モデルが不明な場合は、「不明」と表示されます。モデルの情報を持たないスイッチの場合は、何も表示されません。

[ソフトウェアバージョン]

8. 画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000)

ルーティングソフトウェアのバージョンが表示されます。バージョンは、先頭から 11 文字までが表示されます。11 文字より長い場合、12 文字目以降は表示されません。

[ドメイン名]

該当するスイッチが所属している VLAN 管理ドメイン名が表示されます。ドメイン名は、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したドメイン名が表示されます (デフォルトドメインは、JP1/Cm2/NC・Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) で定義されています)。

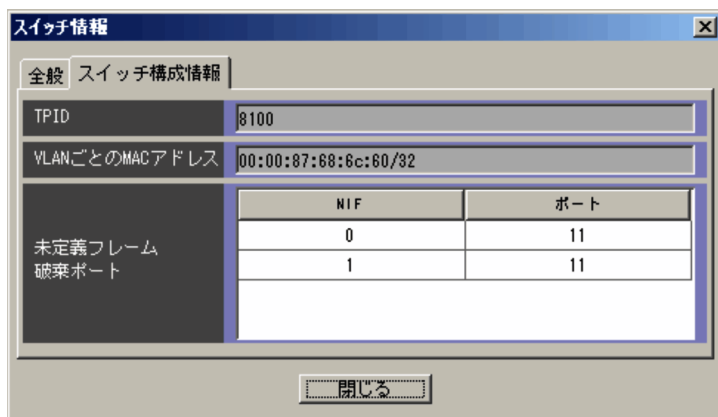
[最終更新日時]

該当するスイッチの構成情報を DB に格納した日時が表示されます。

8.1.2 [スイッチ構成情報] ページ

[スイッチ構成情報] ページを次の図に示します。

図 8-2 [スイッチ構成情報] ページ



表示項目について説明します。

[TPID]

該当するスイッチに設定されている VLAN-Tag の TPID の値が表示されます。設定していない場合は、何も表示されません。

[VLAN ごとの MAC アドレス]

該当するスイッチに設定されている VLAN ごとの MAC アドレスプレフィックスの値を、「nn:nn:nn:nn:nn:nn/ マスク長」形式で表示します。設定していない場合は、何も表示されません。

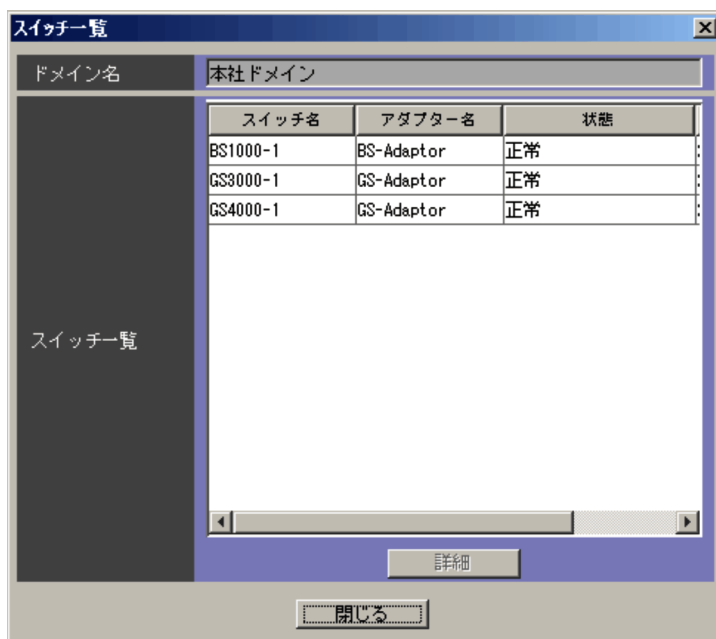
[未定義フレーム破棄ポート]

該当するスイッチに設定されている未定義フレーム破棄ポートが表示されます。設定していない場合は、何も表示されません。

8.2 [スイッチ一覧] ダイアログボックス

[スイッチ一覧] ダイアログボックスは、VLAN 管理ドメインの配下にどのようなスイッチがあるかを確認するためのダイアログボックスです。[スイッチ一覧] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 8-3 [スイッチ一覧] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[ドメイン名]

該当する VLAN 管理ドメインの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義した VLAN 管理ドメイン名が表示されます。デフォルトドメインは、JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) で定義されています。

[スイッチ一覧]

該当する VLAN 管理ドメインにどのようなスイッチがあるかを示す一覧が表示されます。表示内容については、VLAN ビューのリストエリアの「スイッチリスト」と同様です。詳細については、「6.5.1(4)(c) スイッチリスト」の「表 6-18 スイッチリストの表示項目の説明」を参照してください。

なお、[スイッチ一覧]の任意の行を選択したあと、[詳細] ボタンをクリックするか、またはスイッチ名称をダブルクリックすると、[VLAN 一覧] ダイアログボックスが表示されます。

8.3 [VLAN 一覧] ダイアログボックス

[VLAN 一覧] ダイアログボックスは、あるスイッチにどの VLAN が割り当てられているかを確認するためのダイアログボックスです。

[VLAN 一覧] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 8-4 [VLAN 一覧] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[VLAN 一覧]

該当するスイッチに設定されている VLAN の一覧が表示されます。

[VLAN-ID]

VLAN-ID が表示されます。

[タイプ]

VLAN 種別が表示されます。表示される種別は「ポート」です。

[状態]

VLAN の状態が表示されます。表示される状態を次に示します。

• [Enable]

すべてのフレームの送受信ができる状態です。

• [Disable]

フレームの送受信がすべてできない状態です。

[MAC アドレス]

使用する MAC アドレスの種別が表示されます。次に示す種別が表示されます。

- [装置]
スイッチに割り当てられている MAC アドレスを使用します。
- [VLAN]
VLAN ごとに割り当てられている MAC アドレスを使用します。

[VLAN 名]

該当する VLAN の VLAN 名が表示されます。

この VLAN 名は、スイッチに `router-interface` サブコマンドで設定する VLAN 名です。VLAN 定義情報で指定する VLAN 名とは関連はありません。

[IP アドレス]

IP アドレスが表示されます。IPv4 形式の場合は、「`nnn.nnn.nnn.nnn`」形式で表示されます。IPv6 形式の場合は、

「`nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn`」形式で表示されます。省略形式では表示されません。IPv4 形式と IPv6 形式の両方が設定されている場合、「IPv4,IPv6」の順で、「,」(コンマ)で区切って表示されます。

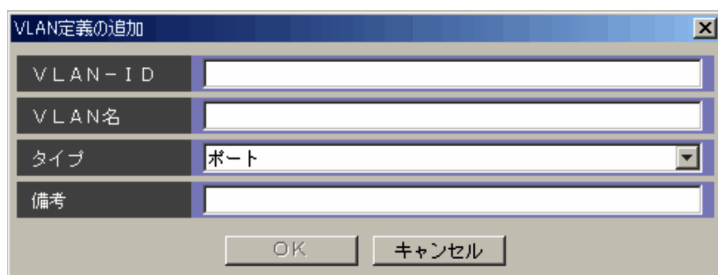
[説明]

VLAN のコメントが表示されます。

8.4 [VLAN 定義の追加] ダイアログボックス

[VLAN 定義の追加] ダイアログボックスは、VLAN 定義情報を VLAN 管理ドメインに追加するためのダイアログボックスです。[VLAN 定義の追加] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 8-5 [VLAN 定義の追加] ダイアログボックス



The image shows a dialog box titled "VLAN定義の追加" (Add VLAN Definition). It has a standard Windows-style title bar with a close button. The dialog contains four input fields: "VLAN-ID", "VLAN名", "タイプ" (with a dropdown menu showing "ポート"), and "備考". At the bottom, there are two buttons: "OK" and "キャンセル".

表示項目について説明します。

[VLAN-ID]

追加する VLAN の ID を指定します。指定できる値は、2 ~ 4095 の整数です。デフォルトは空白です。この VLAN-ID の上限値まで VLAN をネットワーク上に構築できます。ただし、同じ VLAN 管理ドメイン内にある VLAN 同士で重複した値は指定しないでください。

[VLAN 名]

ネットワーク構成ツリーに表示する VLAN の名称を、63 バイト以内の文字列で指定します。この項目には全角文字を指定できます。ここで指定する名称は、スイッチには設定されません。マネージャーサーバの DB に保存されます。

[タイプ]

追加する VLAN の種別を指定します。指定できる種別は、[ポート] です。

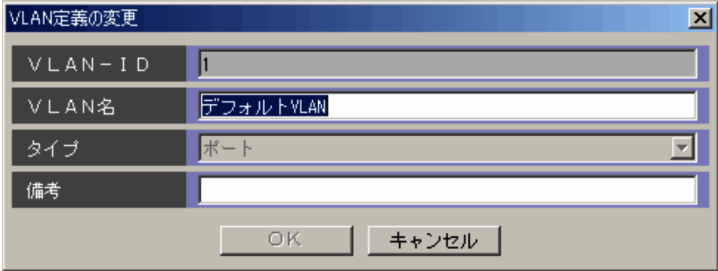
[備考]

コメントを 255 バイト以内の文字列で指定します。この項目には全角文字を指定できます。ここで指定する内容は、スイッチには設定されません。マネージャーサーバの DB に保存されます。この項目はオプションです。

8.5 [VLAN 定義の変更] ダイアログボックス

[VLAN 定義の変更] ダイアログボックスは、定義済みの VLAN 定義情報を変更するためのダイアログボックスです。[VLAN 定義の変更] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 8-6 [VLAN 定義の変更] ダイアログボックス



VLAN-ID	1
VLAN名	デフォルトVLAN
タイプ	ポート
備考	

表示項目について説明します。

[VLAN-ID]

変更する VLAN の ID が表示されます。この項目は変更できません。

[VLAN 名]

ネットワーク構成ツリーに表示する VLAN の名称を、63 バイト以内の文字列で指定します。この項目には全角文字を指定できます。ここで指定する名称は、スイッチには設定されません。マネージャーサーバの DB に保存されます。

[タイプ]

変更する VLAN に定義されている VLAN の種別が表示されます。この項目は変更できません。

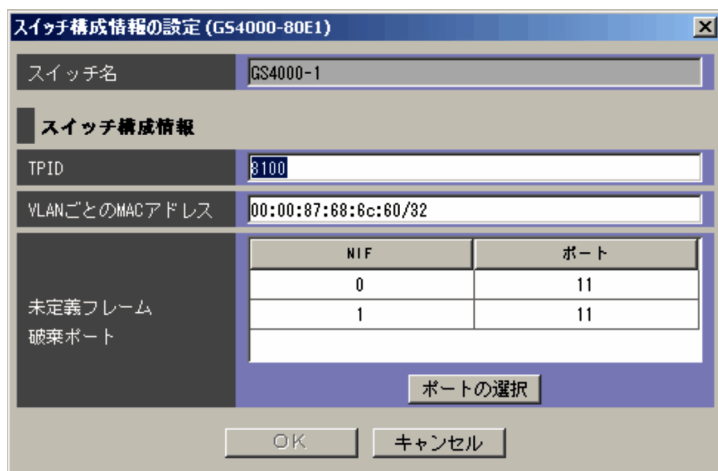
[備考]

コメントを 255 バイト以内の文字列で指定します。この項目には全角文字を指定できます。ここで指定する内容は、スイッチには設定されません。マネージャーサーバの DB に保存されます。この項目はオプションです。

8.6 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス

[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスは、スイッチ構成情報を設定するためのダイアログボックスです。各設定項目の詳細については、スイッチのマニュアルを参照してください。[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 8-7 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[TPID]

該当するスイッチが付ける VLAN-Tag の TPID を指定します。指定できる値は、0000 ~ FFFF (4けたの16進数) です。ただし、ネットワーク上に TPID の値が固定のスイッチがある場合は、そのスイッチが付ける TPID の値に準じます。この項目はオプションです。

この項目は、vlan-tpid コマンドを使用して設定します。ただし、次の条件は、JP1/Cm2/NC ではチェックしませんので、設定前に必ず確認してください。誤って設定すると、設定が失敗します。

- line 定義コマンドの tpid_9100 パラメーターは同時に利用できない。
- default 定義コマンドの ethernet_tpid_9100, gigabit_ethernet_tpid_9100, 10gigabit_ethernet_tpid_9100 パラメーターは同時に利用できない。

[VLAN ごとの MAC アドレス]

VLAN 単位に使用する MAC アドレスのプレフィックスを指定します。VLAN ごと

の MAC アドレスは、該当するスイッチがレイヤー 3 を中継（該当するスイッチからの中継、または該当するスイッチあての中継を含む）する場合に使用します。

MAC アドレスは、「nn:nn:nn:nn:nn:nn/ マスク長」形式で指定してください。

MAC アドレスは、MAC アドレスとして形式が正しければ、マルチキャスト MAC アドレス（先頭バイトの最下位ビットが 1 のアドレス）以外は、任意の値を指定できます。ただし、JP1/Cm2/NC では値の妥当性まではチェックしません。

「マスク長」は、8 ~ 34 の範囲で指定します。

この項目はオプションです。

この項目は、vlan-mac-prefix コマンドを使用して設定します。

[未定義フレーム破棄ポート]

未定義の VLAN-Tag を持つフレームを廃棄するポートを指定します。

[ポートの選択] ボタンをクリックすると、[ポートの選択] ダイアログボックスが表示されます。[ポートの選択] ダイアログボックスでポート番号を [選択可能ポート] から [選択済みポート] に移動し、[OK] ボタンをクリックすると、ダイアログボックスが閉じます。そのあと、未定義フレーム破棄ポートに設定したポートと NIF 番号が、[未定義フレーム破棄ポート] に一覧で表示されます。

指定したポートはデフォルト VLAN には自動的に加入しません。

この項目は、オプションです。

この項目は、vlan-drop-unknown コマンドを使用して設定します。ただし、次の条件は、JP1/Cm2/NC ではチェックしませんので、設定前に必ず確認してください。

誤って設定すると、設定が失敗します。

- Line 名称またはリンクアグリゲーション名称に対して IP アドレスを設定しているポートは指定できない。
- Tag-VLAN 連携機能を設定しているポートは指定できない。
- link-aggregation コマンドの aggregated-port に指定されているポートの場合、該当する aggregated-port すべてを同時に指定する必要がある。

[ポートの選択] ボタン

[ポートの選択] ダイアログボックスを表示します。

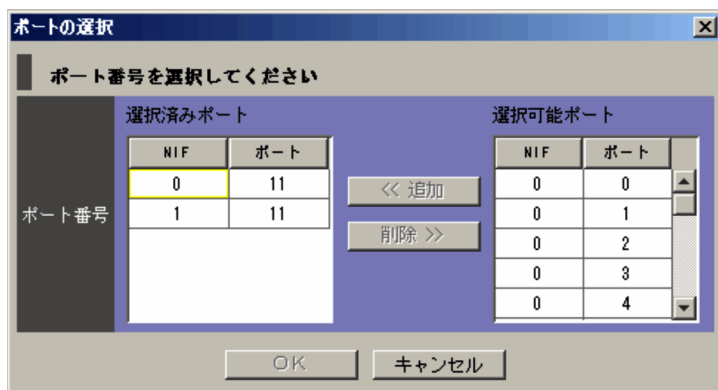
8.7 [ポートの選択] ダイアログボックス

[ポートの選択] ダイアログボックスは、次に示す内容をポートに設定するためのダイアログボックスです。

- 未定義フレーム破棄ポート

[ポートの選択] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 8-8 [ポートの選択] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[選択済みポート]

すでに設定したポートと、そのポートの NIF 番号を一覧で表示します。

[削除 >>] ボタンをクリックすると、選択したポートが [選択済みポート] から [選択可能ポート] に移動します。一度に複数のポートを選択して移動できます。

[選択可能ポート]

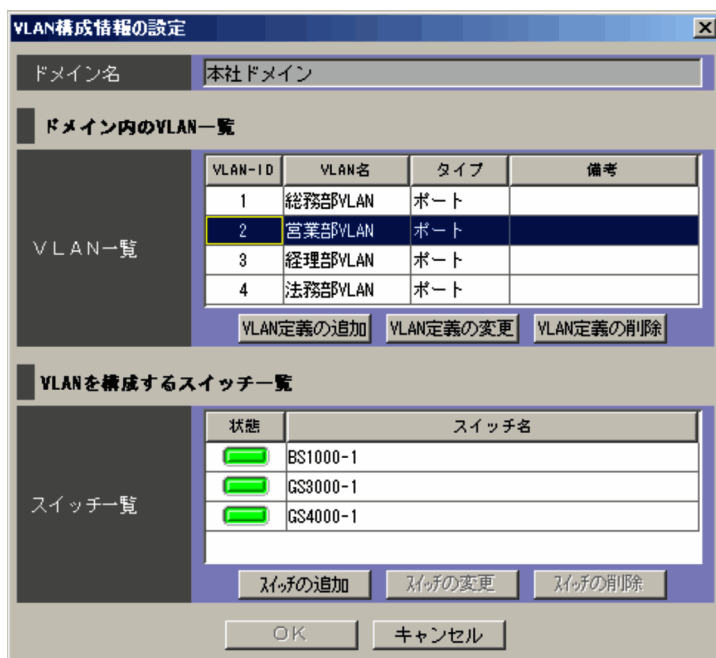
設定できるポートと、そのポートの NIF 番号を一覧で表示します。

[<< 追加] ボタンをクリックすると、選択したポートが [選択可能ポート] から [選択済みポート] に移動します。一度に複数のポートを選択して移動できます。

8.8 [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックス

[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスは、VLAN 構成情報を設定するためのダイアログボックスです。[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 8-9 [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[ドメイン名]

該当する VLAN が所属している VLAN 管理ドメイン名が表示されます。ドメイン名は、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したドメイン名が表示されます。デフォルトドメインは、JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) で定義されています。

[VLAN 一覧]

VLAN 管理ドメイン内の定義済みの VLAN を一覧で表示します。表示内容については、[Network Element Configuration - View] ウィンドウのリストエリアの「VLAN リスト」と同様です。詳細については、「6.5.1 (4)(b) VLAN リスト」の「表 6-17 VLAN リストの表示項目の説明」を参照してください。[VLAN 一覧] の任意の行を選択すると、選択した VLAN を構成しているス

スイッチが,[スイッチ一覧]に表示されます。

[VLAN 定義の追加] ボタン

VLAN 定義情報を VLAN 管理ドメインに追加するために使用します。[VLAN 定義の追加] ダイアログボックスが表示されます。VLAN の定義数が 4,094 個以下の場合にクリックできます。

[VLAN 定義の変更] ボタン

すでに定義している VLAN 定義情報を変更するために使用します。[VLAN 定義の変更] ダイアログボックスが表示されます。[VLAN 一覧]の任意の行を選択するとクリックできます。

[VLAN 定義の削除] ボタン

選択した VLAN の定義を VLAN 管理ドメインから削除します。ただし次の場合は削除できません。

- VLAN-ID が 1 (デフォルト VLAN) の場合

[VLAN 一覧]の任意の行を選択するとクリックできます。

VLAN 定義の削除後、該当する VLAN を設定しているスイッチ内のすべてのポートはデフォルト VLAN の Untagged ポートに変更されます。

[スイッチ一覧]

[VLAN 一覧]で選択した VLAN を構成するスイッチを一覧で表示します。スイッチの状態とスイッチ名の対応が表示されます。

[状態]には、スイッチとの接続状態がアイコンで表示されます。アイコンの色と状態については、「6.3.1 (3) ツリーエリア」の「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。「青」、「赤」、「黄」、「緑」の順番、または「緑」、「黄」、「赤」、「青」の順番でソートして表示できます。

[スイッチ名]には、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[スイッチの追加] ボタン

該当する VLAN に、VLAN を構成するスイッチを追加します。[スイッチの選択] ダイアログボックスが表示されます。

[スイッチの追加] ボタンは,[VLAN 一覧]の任意の行を選択するとクリックできます。

[スイッチの変更] ボタン

選択したスイッチの VLAN の構成情報を変更します。[ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックスが表示されます。

[スイッチの変更] ボタンは,[スイッチ一覧]の任意の行を選択するとクリックできます。

[スイッチの削除] ボタン

該当する VLAN から VLAN を構成しているスイッチを削除します。[スイッチ一覧]の任意の行を選択するとクリックできます。

スイッチの削除を確認するダイアログボックスが表示され,[OK]をクリック

8. 画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000)

すると,[スイッチ一覧]から削除されます。

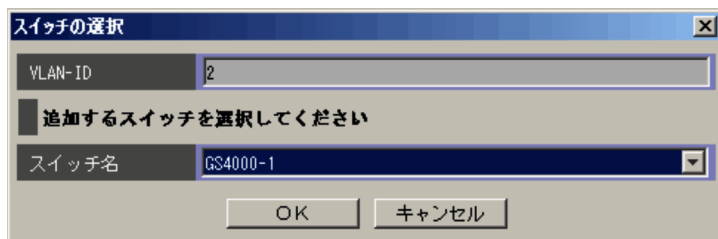
スイッチの削除後,削除したスイッチの,該当する VLAN に設定されていたポートはデフォルト VLAN の Untagged ポートに変更されます。

なお,該当する VLAN を構成するスイッチがすべて削除されても,VLAN 定義は削除されません。

8.9 [スイッチの選択] ダイアログボックス

[スイッチの選択] ダイアログボックスは、VLAN に追加するスイッチの種類を選択するためのダイアログボックスです。[スイッチの選択] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 8-10 [スイッチの選択] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[VLAN-ID]

スイッチを追加する VLAN の VLAN-ID が表示されます。

[スイッチ名]

追加するスイッチを選択します。該当する VLAN 管理ドメイン配下にあるすべてのスイッチが、プルダウンメニューに表示されます。

なお、JP1/Cm2/NC では、この項目で選択したスイッチが、該当する VLAN-ID の VLAN に追加できるかどうかはチェックしません。

スイッチによっては、設定できる VLAN-ID の範囲が異なります。設定できる VLAN-ID の最大値を確認し、適切なスイッチを選択してください。

8.10 [ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックス

[ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックスは、VLAN を構成するスイッチのポートに、ポート VLAN を設定するためのダイアログボックスです。VLAN 管理ドメインの配下にあるすべてのスイッチから、ポート VLAN を構成するスイッチを選択します。また、スイッチのポートを Tagged ポートにするか、Untagged ポートにするかを選択します。各設定項目の詳細については、スイッチのマニュアルを参照してください。[ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 8-11 [ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックス

ポートVLAN - 基本設定 (GS4000-80E1)

VLAN-ID: 2

スイッチ名: GS4000-1

VLAN構成情報

ポート一覧

NIF	ポート
0	0
0	1
0	2
0	3
0	4
0	5
0	6
0	7
0	8
0	9
0	10
0	11
1	0
1	1
1	2

追加 >>
<< 削除

Taggedポート

NIF	ポート
0	11
1	11

追加 >>
<< 削除

Untaggedポート

NIF	ポート
0	3
0	4
0	5
1	3
1	4
1	5

拡張設定 OK キャンセル

表示項目について説明します。

[VLAN-ID]

ポート VLAN を設定する VLAN の VLAN-ID が表示されます。

[スイッチ名]

[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックス、または [スイッチの選択] ダイアログボックスで選択したスイッチ名が表示されます。

[ポート情報]

[ポート一覧]

該当するスイッチに設定されているすべてのポートと、そのポートの NIF 番号が表示されます。

Tagged ポート、または Untagged ポートに追加したい場合は、ポートを選択し [追加 >>] ボタンをクリックします。一度に複数のポートを選択して追加できます。選択したポートは [Tagged ポート] または [Untagged ポート] に表示されます。

なお、[Tagged ポート] または [Untagged ポート] にポートを追加しても、[ポート一覧] からは削除されません。[ポート一覧] には常にすべてのポートが表示されます。

[Tagged ポート] に追加する場合は、vlan コマンドの tagged-port サブコマンドを使用し、[Untagged ポート] に追加する場合は、vlan コマンドの untagged-port サブコマンドを使用して設定します。

[Tagged ポート]

Tagged ポートに設定されているポートと、そのポートの NIF 番号が表示されます。

設定を解除したい場合は、ポートを選択し [<< 削除] ボタンをクリックします。一度に複数のポートを選択して設定を解除できます。選択したポートは [Tagged ポート] から削除されます。

[Untagged ポート]

Untagged ポートに設定されているポートと、そのポートの NIF 番号が表示されます。ただし、デフォルト VLAN に設定されているポート番号については、ユーザーが明示的に指定したポートだけ表示されます。ほかの VLAN から削除された結果、デフォルト VLAN に割り当てられたポートは表示されません。設定を解除したい場合は、ポートを選択し [<< 削除] ボタンをクリックします。一度に複数のポートを選択して設定を解除できます。選択したポートは [Untagged ポート] から削除されます。

なお、Untagged ポートに設定できるポートは、ほかのポート VLAN の Untagged ポートに指定されていないポートです。

注

次の条件は、JP1/Cm2/NC ではチェックしませんので、設定前に必ず確認してください。誤って設定すると、設定が失敗します。

- Line 名称またはリンクアグリゲーション名称に対して IP アドレスを設定しているポートは指定できない。
- Tag-VLAN 連携機能を設定しているポートは指定できない。
- link-aggregation コマンドの aggregated-port に指定されているポートの場合、該当する aggregated-port すべてを同時に指定する必要がある。

[拡張設定] ボタン

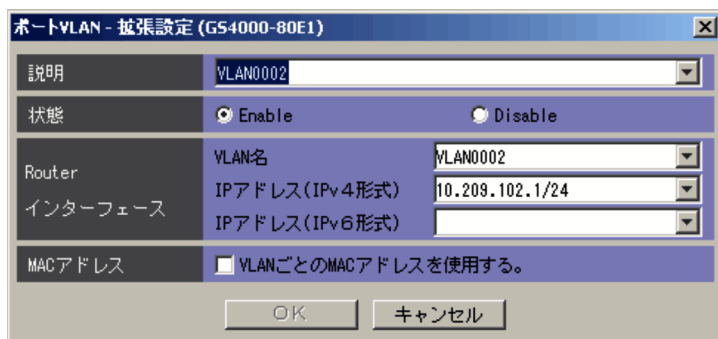
8. 画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000)

[ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックスを表示します。

8.11 [ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックス

[ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックスは、ポート VLAN の設定を拡張するためのダイアログボックスです。VLAN の状態を開放・閉塞したり、Router インターフェースで使用する VLAN 名および IP アドレスを指定したりします。各設定項目の詳細については、スイッチのマニュアルを参照してください。[ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 8-12 [ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[説明]

該当する VLAN の説明を 64 バイト以内の文字列で指定します。使用できる文字は、英数字と特殊文字です。ただし、次に示す記号は使用できません。

- 「"」(引用符)
- 「{ }」(波括弧)
- 「'」(シングルクォーテーション)
- 「`」(逆シングルクォーテーション)
- 「;」(セミコロン)
- 「\$」(ドル記号)

「¥」文字を指定する場合は、「¥¥」と指定してください。「¥」文字は、スイッチの仕様でエスケープ文字として扱われます。なお、64 文字目に「¥」文字を指定できません。

また、ほかの AX5400S, AX7800S, GS3000, または GS4000 の同じ VLAN に設定されている説明をプルダウンメニューから選択することもできます。

この項目はオプションです。

この項目は vlan コマンドの description サブコマンドを使用して設定します。なお、デフォルト VLAN の説明は変更できません。「Default VLAN」固定です。

[状態]

該当する VLAN の状態を指定します。VLAN のネットワーク構成を変更する場合、データが流れているままの状態では VLAN の構成を変更すると、そのほかの個所で通信ができなくなってしまうおそれがあります。そのため、構成の変更が完了するまで、データが流れるのを止めておくために、該当する VLAN の状態を閉塞します。指定できる種類を次に示します。

• [Enable]

VLAN を開放し、すべてのフレームの送受信を開始します。

• [Disable]

VLAN を閉塞し、すべてのフレームの送受信を停止します。

デフォルト値は「Enable」です。

この項目は vlan コマンドの {enable|disable} サブコマンドを使用して設定します。

[Router インターフェース]

[VLAN 名]

Router インターフェースで使用する VLAN 名を、14 バイト以内の文字列で指定します。ただし、先頭は必ず英字にしてください。使用できる文字は、次のとおりです。なお、予約語は指定できません。予約語については、スイッチのマニュアルを参照してください。

- 英数字
- 「-」(ハイフン)
- 「_」(アンダーバー)
- 「.」(ピリオド)

また、ほかの AX5400S、AX7800S、GS3000、または GS4000 の同じ VLAN に設定されている VLAN 名をプルダウンメニューから選択することもできます。

この項目はオプションです。

この項目は vlan コマンドの router-interface サブコマンドを使用して設定します。なお、デフォルト VLAN の名称は変更できません。Default VLAN 固定です。

[IP アドレス (IPv4 形式)]

IPv4 形式の IP アドレスを指定します。この項目を指定する場合、[VLAN 名] を指定しておく必要があります。

また、ほかの AX5400S、AX7800S、GS3000、または GS4000 の同じ VLAN に設定されている IP アドレスをプルダウンメニューから選択することもできます。

IPv4 形式の場合、「nnn.nnn.nnn.nnn/ マスク長」形式で指定します。「マスク長」は、1 ~ 32 の範囲で指定します。

この項目は ip コマンドを使用して設定します。

[IP アドレス (IPv6 形式)]

8. 画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000)

IPv6 形式の IP アドレスを指定します。この項目を指定する場合、[VLAN 名] を指定しておく必要があります。

また、ほかの AX5400S, AX7800S, GS3000, または GS4000 の同じ VLAN に設定されている IP アドレスをプルダウンメニューから選択することもできます。

IPv6 形式の場合、「nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn/プレフィックス長」形式で指定します。

「プレフィックス長」は、1 ~ 128 の範囲で指定します。省略形式では指定できません。

この項目は ip コマンドを使用して設定します。

[MAC アドレス]

VLAN ごとの MAC アドレスを使用する場合、チェックボックスをチェックします。

vlan コマンドの vlan-mac サブコマンドを使用して設定します。

この項目を指定する場合、[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスで [VLAN ごとの MAC アドレス] を指定しておく必要があります。

8.12 [設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報)

[設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報) は、VLAN の構成情報を設定した結果を確認するためのダイアログボックスです。[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスでの設定が完了して、[OK] ボタンをクリックしたときに表示されます。ただし、設定内容すべてがスイッチに反映される前に、ネットワーク構成情報の設定が処理中であることを示すメッセージを閉じた場合は表示されません。[設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報) を次の図に示します。

図 8-13 [設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報)



表示項目について説明します。

[VLAN-ID]

設定が完了した VLAN の VLAN-ID が表示されます。

[スイッチ名]

設定が完了した VLAN を構成するスイッチの名称が表示されます。スイッチ名は、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[操作]

該当するスイッチに対して実行した VLAN の操作が表示されます。次のどれかが表示されます。

- 「追加」
- 「変更」
- 「削除」: スイッチから VLAN を削除した場合に表示されます。

8. 画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000)

- 「データベースから削除されました」: VLAN 定義情報から VLAN 構成情報を削除した場合に表示されます。

[結果]

該当するスイッチに対して実行した操作の結果が表示されます。「成功」または「失敗」が表示されます。

[原因]

結果が失敗だった場合、JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージが表示されません。形式は次のとおりです。

「KDNV1nnnn-E メッセージ本文」

JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージの説明と対処方法については、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング」を参照してください。

9

画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (BS1000)

この章では、BS1000 の VLAN の設定で使用する画面の表示項目、および定義項目について説明します。なお、各画面の表示内容および設定内容の詳細については、適宜 BladeSymphony のソフトウェアマニュアルを参照してください。

9.1 [スイッチ情報] ダイアログボックス

9.2 [スイッチ一覧] ダイアログボックス

9.3 [VLAN 一覧] ダイアログボックス

9.4 [VLAN 定義の追加] ダイアログボックス

9.5 [VLAN 定義の変更] ダイアログボックス

9.6 [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックス

9.7 [スイッチの選択] ダイアログボックス

9.8 [ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックス

9.9 [ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックス

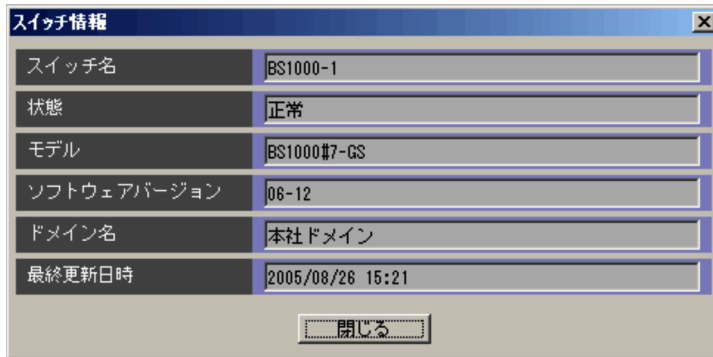
9.10 [設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報)

9.1 [スイッチ情報] ダイアログボックス

[スイッチ情報] ダイアログボックスは、スイッチの基本情報やスイッチ構成情報を確認するためのダイアログボックスです。

[スイッチ情報] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 9-1 [スイッチ情報] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[状態]

該当するスイッチとの接続状態が表示されます。表示される状態は、[Network Element Configuration - View] ウィンドウのツリーエリアに表示される状態アイコンの状態と同じです。詳細については、「6.3.1 (3) ツリーエリア」の「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。

[モデル]

該当するスイッチのモデルが表示されます。モデルが不明な場合は、「不明」と表示されます。モデルの情報を持たないスイッチの場合は、何も表示されません。

[ソフトウェアバージョン]

ルーティングソフトウェアのバージョンが表示されます。バージョンは、先頭から 11 文字までが表示されます。11 文字より長い場合、12 文字目以降は表示されません。

[ドメイン名]

該当するスイッチが所属している VLAN 管理ドメイン名が表示されます。ドメイン名は、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したドメイン名が表示されます (デフォルトドメインは、JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル

(ncm.conf) で定義されています。

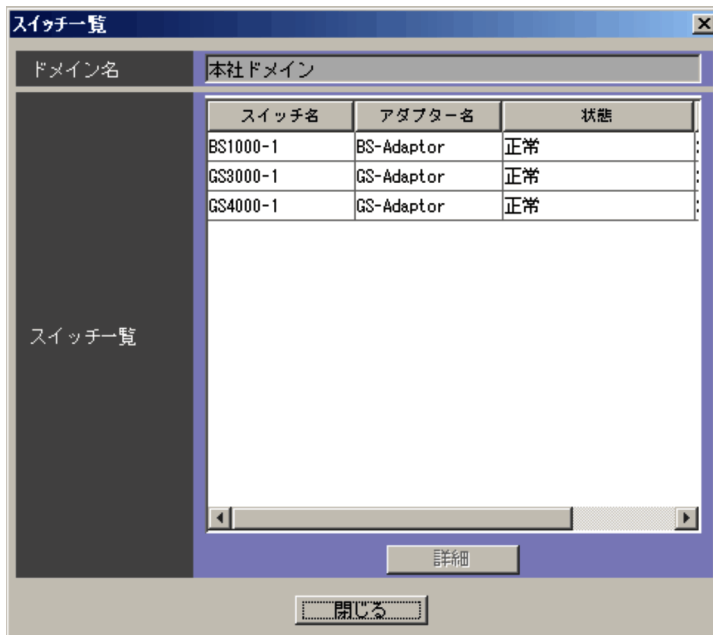
[最終更新日時]

該当するスイッチの構成情報を DB に格納した日時が表示されます。

9.2 [スイッチ一覧] ダイアログボックス

[スイッチ一覧] ダイアログボックスは、VLAN 管理ドメインの配下にどのようなスイッチがあるかを確認するためのダイアログボックスです。[スイッチ一覧] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 9-2 [スイッチ一覧] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[ドメイン名]

該当する VLAN 管理ドメインの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義した VLAN 管理ドメイン名が表示されます。デフォルトドメインは、JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) で定義されています。

[スイッチ一覧]

該当する VLAN 管理ドメインにどのようなスイッチがあるかを示す一覧が表示されます。表示内容については、VLAN ビューのリストエリアの「スイッチリスト」と同様です。詳細については、「6.5.1 (4)(c) スイッチリスト」の「表 6-18 スイッチリストの表示項目の説明」を参照してください。

なお、[スイッチ一覧] の任意の行を選択したあと、[詳細] ボタンをクリックするか、またはスイッチ名称をダブルクリックすると、[VLAN 一覧] ダイアログボックスが表示されます。

9.3 [VLAN 一覧] ダイアログボックス

[VLAN 一覧] ダイアログボックスは、あるスイッチにどの VLAN が割り当てられているかを確認するためのダイアログボックスです。

[VLAN 一覧] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 9-3 [VLAN 一覧] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[VLAN 一覧]

該当するスイッチに設定されている VLAN の一覧が表示されます。

[VLAN-ID]

VLAN-ID が表示されます。

[タイプ]

VLAN 種別が表示されます。表示される種別は「ポート」です。

[状態]

VLAN の状態が表示されます。表示される状態を次に示します。

- [Enable]
すべてのフレームの送受信ができる状態です。
- [Disable]

9. 画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (BS1000)

フレームの送受信がすべてできない状態です。

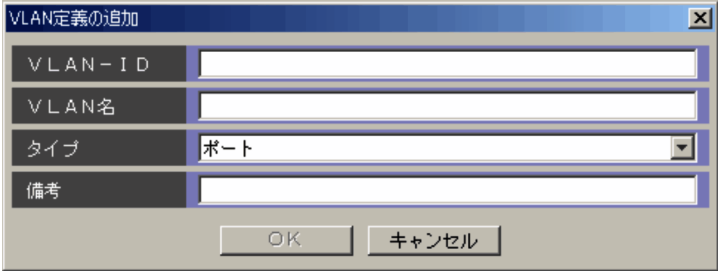
[説明]

VLAN のコメントが表示されます。

9.4 [VLAN 定義の追加] ダイアログボックス

[VLAN 定義の追加] ダイアログボックスは、VLAN 定義情報を VLAN 管理ドメインに追加するためのダイアログボックスです。[VLAN 定義の追加] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 9-4 [VLAN 定義の追加] ダイアログボックス



項目	値
VLAN-ID	
VLAN名	
タイプ	ポート
備考	

表示項目について説明します。

[VLAN-ID]

追加する VLAN の ID を指定します。指定できる値は、2 ~ 4095 の整数です。デフォルトは空白です。この VLAN-ID の上限値まで VLAN をネットワーク上に構築できます。ただし、同じ VLAN 管理ドメイン内にある VLAN 同士で重複した値は指定しないでください。

[VLAN 名]

ネットワーク構成ツリーに表示する VLAN の名称を、63 バイト以内の文字列で指定します。この項目には全角文字を指定できます。ここで指定する名称は、スイッチには設定されません。マネージャーサーバの DB に保存されます。

[タイプ]

追加する VLAN の種別を指定します。指定できる種別は、[ポート] です。

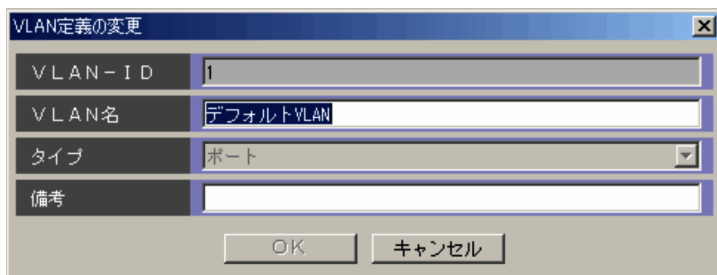
[備考]

コメントを 255 バイト以内の文字列で指定します。この項目には全角文字を指定できます。ここで指定する内容は、スイッチには設定されません。マネージャーサーバの DB に保存されます。この項目はオプションです。

9.5 [VLAN 定義の変更] ダイアログボックス

[VLAN 定義の変更] ダイアログボックスは、定義済みの VLAN 定義情報を変更するためのダイアログボックスです。[VLAN 定義の変更] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 9-5 [VLAN 定義の変更] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[VLAN-ID]

変更する VLAN の ID が表示されます。この項目は変更できません。

[VLAN 名]

ネットワーク構成ツリーに表示する VLAN の名称を、63 バイト以内の文字列で指定します。この項目には全角文字を指定できます。ここで指定する名称は、スイッチには設定されません。マネージャーサーバの DB に保存されます。

[タイプ]

変更する VLAN に定義されている VLAN の種別が表示されます。この項目は変更できません。

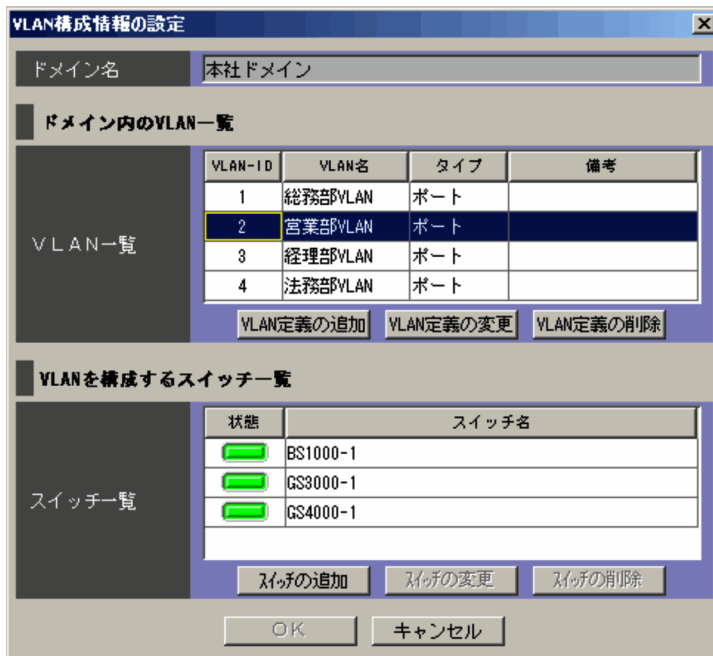
[備考]

コメントを 255 バイト以内の文字列で指定します。この項目には全角文字を指定できます。ここで指定する内容は、スイッチには設定されません。マネージャーサーバの DB に保存されます。この項目はオプションです。

9.6 [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックス

[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスは、VLAN 構成情報を設定するためのダイアログボックスです。[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 9-6 [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[ドメイン名]

該当する VLAN が所属している VLAN 管理ドメイン名が表示されます。ドメイン名は、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したドメイン名が表示されます。デフォルトドメインは、JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) で定義されています。

[VLAN 一覧]

VLAN 管理ドメイン内の定義済みの VLAN を一覧で表示します。

表示内容については、[Network Element Configuration - View] ウィンドウのリストエリアの「VLAN リスト」と同様です。詳細については、「6.5.1 (4)(b) VLAN リスト」の「表 6-17 VLAN リストの表示項目の説明」を参照してください。[VLAN 一覧] の任意の行を選択すると、選択した VLAN を構成しているス

9. 画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (BS1000)

スイッチが,[スイッチ一覧]に表示されます。

[VLAN 定義の追加] ボタン

VLAN 定義情報を VLAN 管理ドメインに追加するために使用します。[VLAN 定義の追加]ダイアログボックスが表示されます。VLAN の定義数が 4,094 個以下の場合にクリックできます。

[VLAN 定義の変更] ボタン

すでに定義している VLAN 定義情報を変更するために使用します。[VLAN 定義の変更]ダイアログボックスが表示されます。[VLAN 一覧]の任意の行を選択するとクリックできます。

[VLAN 定義の削除] ボタン

選択した VLAN の定義を VLAN 管理ドメインから削除します。ただし次の場合は削除できません。

- VLAN-ID が 1 (デフォルト VLAN) の場合

[VLAN 一覧]の任意の行を選択するとクリックできます。

VLAN 定義の削除後、該当する VLAN を設定しているスイッチ内のすべてのポートはデフォルト VLAN の Untagged ポートに変更されます。

[スイッチ一覧]

[VLAN 一覧]で選択した VLAN を構成するスイッチを一覧で表示します。スイッチの状態とスイッチ名の対応が表示されます。

[状態]には、スイッチとの接続状態がアイコンで表示されます。アイコンの色と状態については、「6.3.1 (3) ツリーエリア」の「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。「青」、「赤」、「黄」、「緑」の順番、または「緑」、「黄」、「赤」、「青」の順番でソートして表示できます。

[スイッチ名]には、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[スイッチの追加] ボタン

該当する VLAN に、VLAN を構成するスイッチを追加します。[スイッチの選択]ダイアログボックスが表示されます。

[スイッチの追加]ボタンは,[VLAN 一覧]の任意の行を選択するとクリックできます。

[スイッチの変更] ボタン

選択したスイッチの VLAN の構成情報を変更します。[ポート VLAN - 基本設定]ダイアログボックスが表示されます。

[スイッチの変更]ボタンは,[スイッチ一覧]の任意の行を選択するとクリックできます。

[スイッチの削除] ボタン

該当する VLAN から VLAN を構成しているスイッチを削除します。[スイッチ一覧]の任意の行を選択するとクリックできます。

スイッチの削除を確認するダイアログボックスが表示され,[OK]をクリック

すると、[スイッチ一覧] から削除されます。

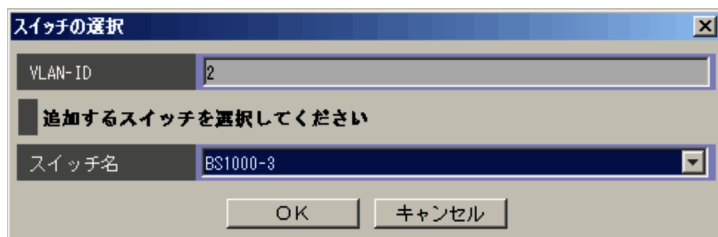
スイッチの削除後、削除したスイッチの、該当する VLAN に設定されていたポートはデフォルト VLAN の Untagged ポートに変更されます。

なお、該当する VLAN を構成するスイッチがすべて削除されても、VLAN 定義は削除されません。

9.7 [スイッチの選択] ダイアログボックス

[スイッチの選択] ダイアログボックスは、VLAN に追加するスイッチの種類を選択するためのダイアログボックスです。[スイッチの選択] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 9-7 [スイッチの選択] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[VLAN-ID]

スイッチを追加する VLAN の VLAN-ID が表示されます。

[スイッチ名]

追加するスイッチを選択します。該当する VLAN 管理ドメイン配下にあるすべてのスイッチが、プルダウンメニューに表示されます。

なお、JP1/Cm2/NC では、この項目で選択したスイッチが、該当する VLAN-ID の VLAN に追加できるかどうかはチェックしません。

スイッチによっては、設定できる VLAN-ID の範囲が異なります。設定できる VLAN-ID の最大値を確認し、適切なスイッチを選択してください。

また、BS1000 の場合、スイッチのソフトウェアバージョンによって、追加できる VLAN 数が異なります。設定できる VLAN 数を確認し、追加できる範囲内で VLAN を追加してください。

9.8 [ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックス

[ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックスは、VLAN を構成するスイッチのポートに、ポート VLAN を設定するためのダイアログボックスです。VLAN 管理ドメインの配下にあるすべてのスイッチから、ポート VLAN を構成するスイッチを選択します。また、スイッチのポートを Tagged ポートにするか、Untagged ポートにするかを選択します。各設定項目の詳細については、スイッチのマニュアルを参照してください。[ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 9-8 [ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックス

ポートVLAN - 基本設定 (BS1000#7-G5)

VLAN-ID: 2

スイッチ名: BS1000-1

VLAN構成情報

ポート一覧

NIF	ポート
0	0
0	1
0	2
0	3
0	4
0	5
0	6
0	7
0	8
0	9
0	10
0	11

追加 >> << 削除

Taggedポート

NIF	ポート
0	11

追加 >> << 削除

Untaggedポート

NIF	ポート
0	0
0	1
0	2
0	3

追加 >> << 削除

拡張設定 OK キャンセル

表示項目について説明します。

[VLAN-ID]

ポート VLAN を設定する VLAN の VLAN-ID が表示されます。

[スイッチ名]

[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックス、または [スイッチの選択] ダイアログボックスで選択したスイッチ名が表示されます。

[ポート情報]

[ポート一覧]

該当するスイッチに設定されているすべてのポートと、そのポートの NIF 番号が表示されます。

Tagged ポート、または Untagged ポートに追加したい場合は、ポートを選択し [追加 >>] ボタンをクリックします。一度に複数のポートを選択して追加できます。追加したポートは [Tagged ポート] または [Untagged ポート] に表示されます。

なお、[Tagged ポート] または [Untagged ポート] にポートを追加しても、[ポート一覧] からは削除されません。[ポート一覧] には常にすべてのポートが表示されます。

[Tagged ポート] に追加する場合は、vlan コマンドの tagged-port サブコマンドを使用し、[Untagged ポート] に追加する場合は、vlan コマンドの untagged-port サブコマンドを使用して設定します。

[Tagged ポート]

Tagged ポートに設定されているポートと、そのポートの NIF 番号が表示されます。

設定を解除したい場合は、ポートを選択し [<< 削除] ボタンをクリックします。一度に複数のポートを選択して設定を解除できます。選択したポートは [Tagged ポート] から削除されます。

なお、link-aggregation コマンドの aggregated-port に指定されているポートの場合、該当する aggregated-port すべてを同時に指定する必要があります。この条件は、JP1/Cm2/NC ではチェックしませんので、設定前に必ず確認してください。誤って設定すると、設定が失敗します。

[Untagged ポート]

Untagged ポートに設定されているポートと、そのポートの NIF 番号が表示されます。ただし、デフォルト VLAN に設定されているポート番号については、ユーザーが明示的に指定したポートだけ表示されます。ほかの VLAN から削除された結果、デフォルト VLAN に割り当てられたポートは表示されません。設定を解除したい場合は、ポートを選択し [<< 削除] ボタンをクリックします。一度に複数のポートを選択して設定を解除できます。選択したポートは [Untagged ポート] から削除されます。

なお、Untagged ポートに設定できるポートは、ほかのポート VLAN の Untagged ポートに指定されていないポートです。

また、link-aggregation コマンドの aggregated-port に指定されているポートの場合、該当する aggregated-port すべてを同時に指定する必要があります。この条件は、JP1/Cm2/NC ではチェックしませんので、設定前に必ず確認してください。誤って設定すると、設定が失敗します。

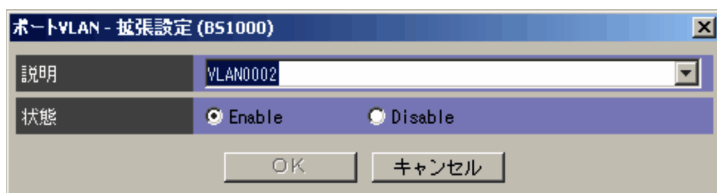
[拡張設定] ボタン

[ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックスを表示します。

9.9 [ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックス

[ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックスは、ポート VLAN の設定を拡張するためのダイアログボックスです。VLAN の説明を設定したり、VLAN の状態を開放・閉塞したりします。各設定項目の詳細については、スイッチのマニュアルを参照してください。[ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 9-9 [ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[説明]

該当する VLAN の説明を 64 バイト以内の文字列で指定します。使用できる文字は、英数字と特殊文字です。ただし、次に示す記号は使用できません。

- 「"」(引用符)
- 「{ }」(波括弧)
- 「'」(シングルクォーテーション)
- 「`」(逆シングルクォーテーション)
- 「;」(セミコロン)
- 「\$」(ドル記号)

また、ほかの BS1000 の同じ VLAN に設定されている説明をプルダウンメニューから選択することもできます。

この項目はオプションです。

この項目は、vlan コマンドの description サブコマンドを使用して設定します。なお、デフォルト VLAN の説明は変更できません。「Default VLAN」固定です。

[状態]

該当する VLAN の状態を指定します。VLAN のネットワーク構成を変更する場合、データが流れているままの状態では VLAN の構成を変更すると、そのほかの個所で通信ができなくなってしまうおそれがあります。そのため、構成の変更が完了するまで、データが流れるのを止めておくために、該当する VLAN の状態を閉塞します。指定できる種類を次に示します。

- [Enable]

VLAN を開放し、すべてのフレームの送受信を開始します。

- [Disable]

VLAN を閉塞し、すべてのフレームの送受信を停止します。

デフォルト値は「Enable」です。

この項目は vlan コマンドの {enable | disable} サブコマンドを使用して設定します。

9.10 [設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報)

[設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報) は、VLAN の構成情報を設定した結果を確認するためのダイアログボックスです。[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスでの設定が完了して、[OK] ボタンをクリックしたときに表示されます。ただし、設定内容すべてがスイッチに反映される前に、ネットワーク構成情報の設定が処理中であることを示すメッセージを閉じた場合は表示されません。[設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報) を次の図に示します。

図 9-10 [設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報)

VLAN-ID	スイッチ名	操作	結果	原因
2	BS1000-1	変更	成功	
2	Catalyst-1	追加	成功	
2	GS4000-1	変更	成功	
3	GS4000-1	削除	成功	

表示項目について説明します。

[VLAN-ID]

設定が完了した VLAN の VLAN-ID が表示されます。

[スイッチ名]

設定が完了した VLAN を構成するスイッチの名称が表示されます。スイッチ名は、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[操作]

該当するスイッチに対して実行した VLAN の操作が表示されます。次のどれかが表示されます。

- 「追加」
- 「変更」
- 「削除」: スイッチから VLAN を削除した場合に表示されます。

- 「データベースから削除されました」: VLAN 定義情報から VLAN 構成情報を削除した場合に表示されます。

[結果]

該当するスイッチに対して実行した操作の結果が表示されます。「成功」または「失敗」が表示されます。

[原因]

結果が失敗だった場合、JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージが表示されません。形式は次のとおりです。

「KDNV1nnnn-E メッセージ本文」

JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージの説明と対処方法については、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング」を参照してください。

10 画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (Cisco Catalyst)

この章では、Cisco Catalyst の VLAN の設定で使用する画面の表示項目、および定義項目について説明します。なお、各画面の表示内容および設定内容の詳細については、適宜 Cisco Catalyst のソフトウェアマニュアルを参照してください。

10.1 [スイッチ情報] ダイアログボックス

10.2 [スイッチ一覧] ダイアログボックス

10.3 [VLAN 一覧] ダイアログボックス

10.4 [VLAN 定義の追加] ダイアログボックス

10.5 [VLAN 定義の変更] ダイアログボックス

10.6 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス

10.7 [ポートの設定] ダイアログボックス

10.8 [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックス

10.9 [スイッチの選択] ダイアログボックス

10.10 [ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックス

10.11 [ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックス

10.12 [設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報)

10.1 [スイッチ情報] ダイアログボックス

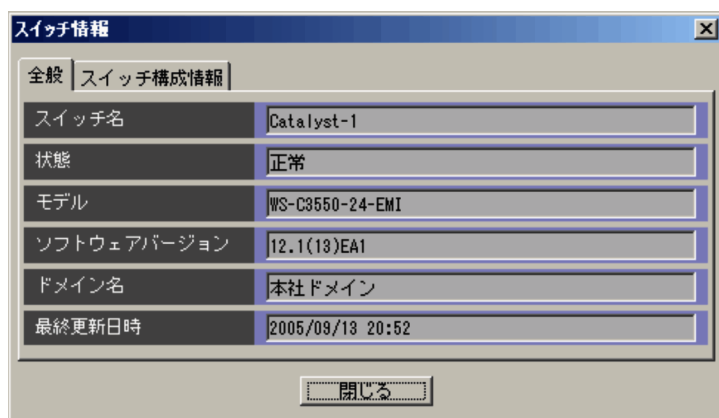
[スイッチ情報] ダイアログボックスは、スイッチの基本情報やスイッチ構成情報を確認するためのダイアログボックスです。

[スイッチ情報] ダイアログボックスには、[全般] ページと [スイッチ構成情報] ページがあります。[全般] ページには、スイッチ名や状態など、スイッチの基本情報が表示されます。[スイッチ構成情報] ページには、該当スイッチのスイッチ構成情報が表示されます。

10.1.1 [全般] ページ

[全般] ページを次の図に示します。

図 10-1 [全般] ページ



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[状態]

該当するスイッチとの接続状態が表示されます。表示される状態は、[Network Element Configuration - View] ウィンドウのツリーエリアに表示される状態アイコンの状態と同じです。詳細については、「6.3.1 (3) ツリーエリア」の「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。

[モデル]

該当するスイッチのモデルが表示されます。モデルが不明な場合は、「不明」と表示されます。モデルの情報を持たないスイッチの場合は、何も表示されません。

[ソフトウェアバージョン]

ルーティングソフトウェアのバージョンが表示されます。バージョンは、先頭から 11 文字までが表示されます。11 文字より長い場合、12 文字目以降は表示されません。

[ドメイン名]

該当するスイッチが所属している VLAN 管理ドメイン名が表示されます。ドメイン名は、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したドメイン名が表示されず (デフォルトドメインは、JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) で定義されています)。

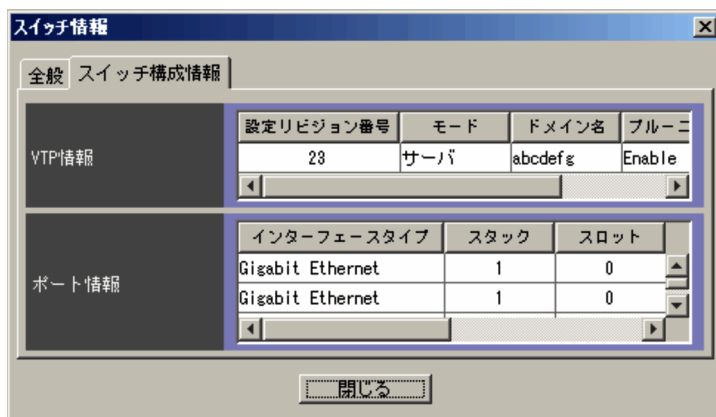
[最終更新日時]

該当するスイッチの構成情報を DB に格納した日時が表示されます。

10.1.2 [スイッチ構成情報] ページ

[スイッチ構成情報] ページを次の図に示します。

図 10-2 [スイッチ構成情報] ページ



表示項目について説明します。

[VTP 情報]

[設定リビジョン番号]

該当するスイッチの VTP 設定リビジョン番号が表示されます。

[モード]

該当するスイッチの VTP モードが表示されます。

- サーバ
- クライアント
- トランスペアレント

[ドメイン名]

該当するスイッチが属する VTP ドメイン名が表示されます。

10. 画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (Cisco Catalyst)

[プルーニング]

該当するスイッチの VTP プルーニングの状況が表示されます。

- [Enable]

VTP プルーニングが有効な状態です。

- [Disable]

VTP プルーニングが無効な状態です。

[バージョン 2]

該当するスイッチで VTP バージョン 2 の使用状況が表示されます。

- [Enable]

VTP バージョン 2 を使用しています。

- [Disable]

VTP バージョン 2 は使用していません。VTP バージョン 1 を使用しています。

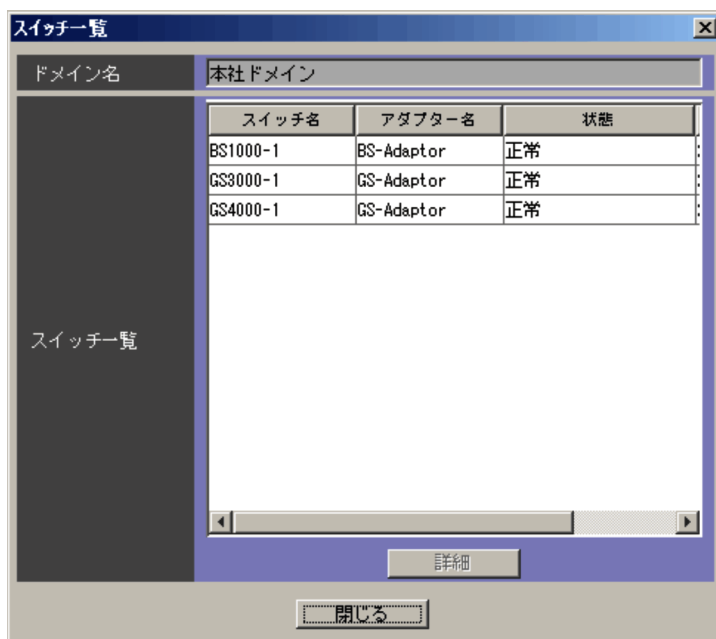
[ポート情報]

該当するスイッチのポートの設定内容が表示されます。各表示項目の内容については、VLAN ビューの「ポートリスト」と同様です。「6.5.1(4)(d) ポートリスト」の「表 6-21 ポートリスト (Cisco Catalyst) の表示項目の説明」を参照してください。

10.2 [スイッチ一覧] ダイアログボックス

[スイッチ一覧] ダイアログボックスは、VLAN 管理ドメインの配下にどのようなスイッチがあるかを確認するためのダイアログボックスです。[スイッチ一覧] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 10-3 [スイッチ一覧] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[ドメイン名]

該当する VLAN 管理ドメインの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義した VLAN 管理ドメイン名が表示されます。デフォルトドメインは、JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) で定義されています。

[スイッチ一覧]

該当する VLAN 管理ドメインにどのようなスイッチがあるかを示す一覧が表示されます。表示内容については、VLAN ビューのリストエリアの「スイッチリスト」と同様です。詳細については、「6.5.1(4)(c) スイッチリスト」の「表 6-18 スイッチリストの表示項目の説明」を参照してください。

なお、[スイッチ一覧]の任意の行を選択したあと、[詳細] ボタンをクリックするか、またはスイッチ名称をダブルクリックすると、[VLAN 一覧] ダイアログボックスが表示されます。

10.3 [VLAN 一覧] ダイアログボックス

[VLAN 一覧] ダイアログボックスは、あるスイッチにどの VLAN が割り当てられているかを確認するためのダイアログボックスです。

[VLAN 一覧] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 10-4 [VLAN 一覧] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[VLAN 一覧]

該当するスイッチに設定されている VLAN の一覧が表示されます。

[VLAN-ID]

VLAN-ID が表示されます。

[タイプ]

VLAN 種別が表示されます。表示される種別は「ポート」です。

[状態]

VLAN の状態が表示されます。表示される状態を次に示します。

- [Active]
すべてのフレームの送受信ができる状態です。
- [Suspend]

フレームの送受信がすべてできない状態です。

[VLAN メディアタイプ]

VLAN メディアタイプが表示されます。

- ETHERNET
- FDDI
- FDDI-NET
- Token Ring
- Token Ring NET
- Token Ring TrCRF
- Token Ring TrBRF

[VLAN 名]

該当する VLAN の VLAN 名が表示されます。

この VLAN 名は、スイッチに設定されている VLAN 名です。VLAN 定義情報で指定する VLAN 名とは関係ありません。

[SAID]

SAID (Security Association Identifier) が表示されます。

[SVI]

SVI の使用状況が「使用」または「未使用」で表示されます。

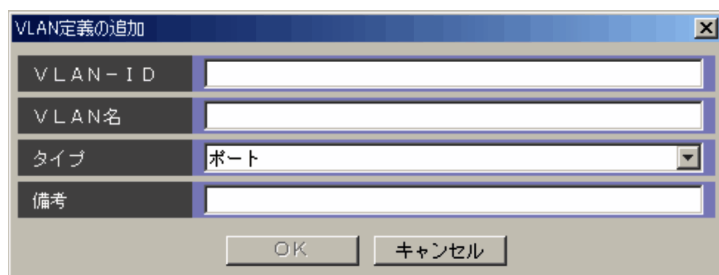
[IP アドレス]

IP アドレスが表示されます。IP アドレスは、IPv4 形式 (nnn.nnn.nnn.nnn) で表示されます。

10.4 [VLAN 定義の追加] ダイアログボックス

[VLAN 定義の追加] ダイアログボックスは、VLAN 定義情報を VLAN 管理ドメインに追加するためのダイアログボックスです。[VLAN 定義の追加] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 10-5 [VLAN 定義の追加] ダイアログボックス



項目	値
VLAN-ID	
VLAN名	
タイプ	ポート
備考	

表示項目について説明します。

[VLAN-ID]

追加する VLAN の ID を指定します。指定できる値は、2 ~ 4095 の整数です。デフォルトは空白です。この VLAN-ID の上限値まで VLAN をネットワーク上に構築できます。ただし、同じ VLAN 管理ドメイン内にある VLAN 同士で重複した値は指定しないでください。

[VLAN 名]

ネットワーク構成ツリーに表示する VLAN の名称を、63 バイト以内の文字列で指定します。この項目には全角文字を指定できます。ここで指定する名称は、スイッチには設定されません。マネージャーサーバの DB に保存されます。

[タイプ]

追加する VLAN の種別を指定します。指定できる種別は、[ポート] です。

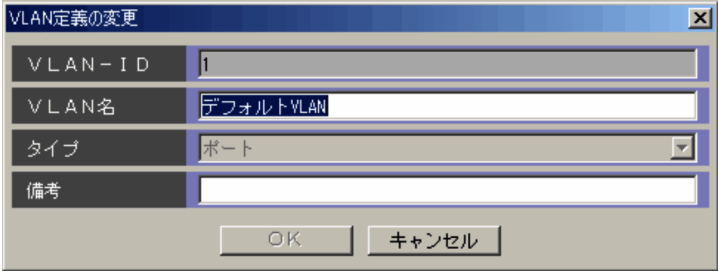
[備考]

コメントを 255 バイト以内の文字列で指定します。この項目には全角文字を指定できます。ここで指定する内容は、スイッチには設定されません。マネージャーサーバの DB に保存されます。この項目はオプションです。

10.5 [VLAN 定義の変更] ダイアログボックス

[VLAN 定義の変更] ダイアログボックスは、定義済みの VLAN 定義情報を変更するためのダイアログボックスです。[VLAN 定義の変更] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 10-6 [VLAN 定義の変更] ダイアログボックス



項目	値
VLAN-ID	1
VLAN名	デフォルトVLAN
タイプ	ポート
備考	

表示項目について説明します。

[VLAN-ID]

変更する VLAN の ID が表示されます。この項目は変更できません。

[VLAN 名]

ネットワーク構成ツリーに表示する VLAN の名称を、63 バイト以内の文字列で指定します。この項目には全角文字を指定できます。ここで指定する名称は、スイッチには設定されません。マネージャーサーバの DB に保存されます。

[タイプ]

変更する VLAN に定義されている VLAN の種別が表示されます。この項目は変更できません。

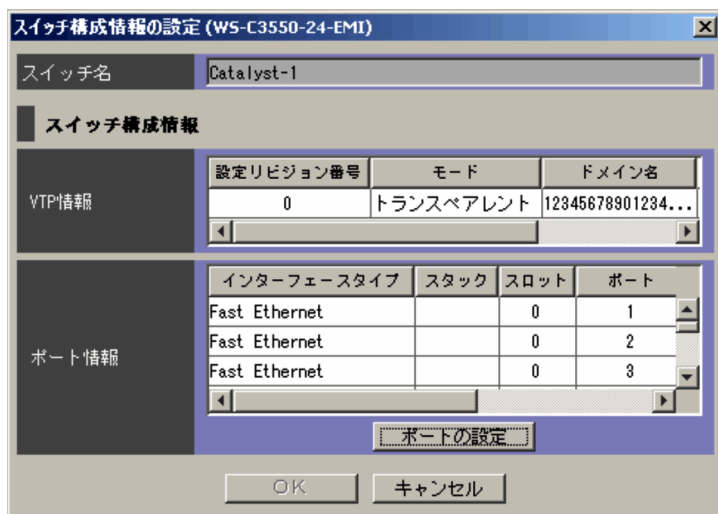
[備考]

コメントを 255 バイト以内の文字列で指定します。この項目には全角文字を指定できます。ここで指定する内容は、スイッチには設定されません。マネージャーサーバの DB に保存されます。この項目はオプションです。

10.6 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス

[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスは、スイッチ構成情報を設定するためのダイアログボックスです。各表示項目の詳細については、スイッチのマニュアルを参照してください。[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 10-7 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[VTP 情報]

該当するスイッチの設定内容が表示されます。表示される内容は、[スイッチ情報] ダイアログボックスの [スイッチ構成情報] ページと同様です。詳細については、「10.1.2 [スイッチ構成情報] ページ」を参照してください。

[ポート情報]

該当するスイッチのポートの設定内容が表示されます。各表示項目の内容については、VLAN ビューの「ポートリスト」と同様です。「6.5.1(4)(d) ポートリスト」の「表 6-21 ポートリスト (Cisco Catalyst) の表示項目の説明」を参照してください。

なお、JP1/Cm2/NC ではレイヤー 2 モードのポートだけが対象です。

[ポートの設定] ボタン

VLAN メンバーシップモード、およびカプセル化フォーマットの設定を変更す

10. 画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (Cisco Catalyst)

るために使用します。[ポートの設定] ダイアログボックスが表示されます。

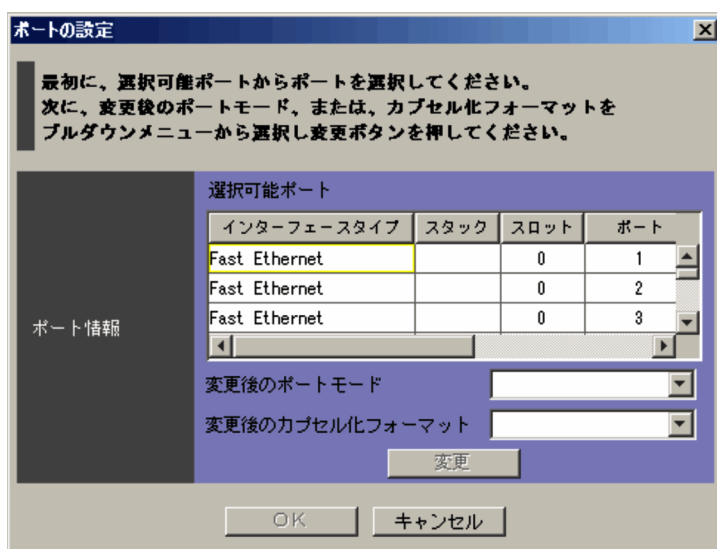
10.7 [ポートの設定] ダイアログボックス

[ポートの設定] ダイアログボックスは、次に示す内容をポートに設定するためのダイアログボックスです。

- ポートモード
- カプセル化フォーマット

[ポートの設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 10-8 [ポートの設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[選択可能ポート]

選択できるポートの設定内容が表示されます。

設定を変更するポートをクリックで指定します。一度に複数のポートを選択できません。

[変更後のポートモード]

変更後のポートモード (VLAN メンバーシップモード) を指定します。プルダウンメニューにポートモードの一覧が表示され、指定できます。

デフォルトでは空白となり、何も表示されません。プルダウンメニューから「(空白)」を指定した場合、変更前のポートモードのまま設定内容は変更されません。

- dynamic desirable

動的判断モードです。対向のポートがトランク、desirable または auto のどれかに設定されている場合、モードがトランクになります。

- アクセス

アクセスモードです。

- トランク
トランクモードです。
なお、[変更後のカプセル化フォーマット] の「negotiate」と組み合わせて設定することはできません。
- 802.1Q
802.1Q トンネルモードです。Cisco Catalyst3750 の場合は、表示されません。
- dynamic auto
動的判断モードです。対向のポートがトランクまたは desirable に設定されている場合、モードがトランクになります。
- プライベート VLAN ホスト
プライベート VLAN ホストモードです。Cisco Catalyst3550 の場合は、表示されません。
- プライベート VLAN 混合
プライベート VLAN 混合モードです。Cisco Catalyst3550 の場合は、表示されません。

この項目は config-if モードの switchport mode コマンドを使用して設定します。

[変更後のカプセル化フォーマット]

変更後のカプセル化フォーマットを指定します。プルダウンメニューにカプセル化フォーマットの一覧が表示され、指定できます。

デフォルトでは空白となり何も表示されません。プルダウンメニューから「(空白)」を指定した場合、変更前のカプセル化フォーマットのまま設定内容は変更されません。

- negotiate
DISL (Dynamic Inter-Switch Link) および DTP (Dynamic Trunking Protocol) ネゴシエーションがカプセル化フォーマットを解決できないときに、ISL が選択される形式です。
なお、[変更後のポートモード] の「トランク」と組み合わせて設定することはできません。
- ISL
スイッチ間リンクヘッダーを使用してカプセル化する形式です。
- 802.1Q
IEEE802.1Q 形式です。

この項目は config-if モードの switch trunk encapsulation コマンドを使用して設定します。

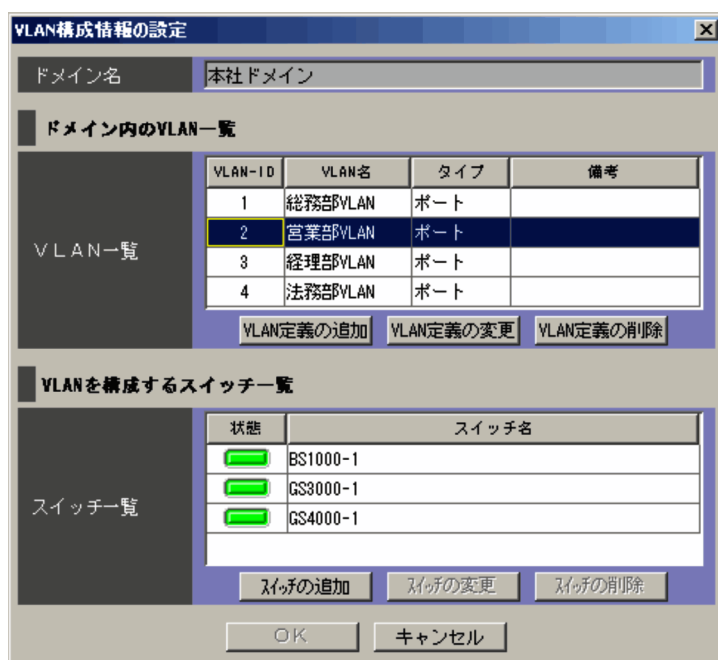
[変更] ボタン

ポートモードおよびカプセル化フォーマットを指定した内容に変更します。どちらか一方の内容を変更することもできます。

10.8 [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックス

[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスは、VLAN 構成情報を設定するためのダイアログボックスです。[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 10-9 [VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[ドメイン名]

該当する VLAN が所属している VLAN 管理ドメイン名が表示されます。ドメイン名は、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したドメイン名が表示されます。デフォルトドメインは、JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) で定義されています。

[VLAN 一覧]

VLAN 管理ドメイン内の定義済みの VLAN を一覧で表示します。

表示内容については、[Network Element Configuration - View] ウィンドウのリストエリアの「VLAN リスト」と同様です。詳細については、「6.5.1(4)(b) VLAN リスト」の「表 6-17 VLAN リストの表示項目の説明」を参照してください。[VLAN 一覧] の任意の行を選択すると、選択した VLAN を構成しているス

スイッチが、[スイッチ一覧] に表示されます。

[VLAN 定義の追加] ボタン

VLAN 定義情報を VLAN 管理ドメインに追加するために使用します。[VLAN 定義の追加] ダイアログボックスが表示されます。VLAN の定義数が 4,094 個以下の場合にクリックできます。

[VLAN 定義の変更] ボタン

すでに定義している VLAN 定義情報を変更するために使用します。[VLAN 定義の変更] ダイアログボックスが表示されます。[VLAN 一覧] の任意の行を選択するとクリックできます。

[VLAN 定義の削除] ボタン

選択した VLAN の定義を VLAN 管理ドメインから削除します。ただし次の場合は削除できません。

- VLAN-ID が 1 (デフォルト VLAN) の場合
- VLAN-ID が 1002 ~ 1005 で、VLAN を構成するスイッチに Cisco Catalyst がある場合
- VLAN を構成するスイッチに、VTP モードがクライアントの Cisco Catalyst がある場合

[VLAN 一覧] の任意の行を選択するとクリックできます。

VLAN 定義の削除後、削除された VLAN にアクセスポートまたはネイティブ指定トランクポートとして設定されていたポートは、デフォルト VLAN (VLAN-ID : 1) のアクセスポートまたはネイティブ指定トランクポートに変更されます。

[スイッチ一覧]

[VLAN 一覧] で選択した VLAN を構成するスイッチを一覧で表示します。スイッチの状態とスイッチ名の対応が表示されます。

[状態] には、スイッチとの接続状態がアイコンで表示されます。アイコンの色と状態については、「6.3.1 (3) ツリーエリア」の「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。「青」、「赤」、「黄」、「緑」の順番、または「緑」、「黄」、「赤」、「青」の順番でソートして表示できます。

[スイッチ名] には、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[スイッチの追加] ボタン

該当する VLAN に、VLAN を構成するスイッチを追加します。[スイッチの選択] ダイアログボックスが表示されます。

[スイッチの追加] ボタンは、[VLAN 一覧] の任意の行を選択するとクリックできます。ただし、選択するスイッチが Cisco Catalyst の場合は、スイッチを追加するための条件があります。条件を次の表に示します。

表 10-1 スイッチを追加するための条件 (Cisco Catalyst の場合)

条件	VLAN-ID		
	1, 1002 ~ 1005	2 ~ 1001	1006 ~ 4094 (拡張範囲 VLAN)
VTP モードがサーバ	x		x
VTP モードがクライアント		x	x
VTP モードがトランスベアレント			

(凡例)

- : スイッチを追加できる。
- x : スイッチを追加できない。

! 注意事項

JP1/Cm2/NC では、Cisco Catalyst で内部的に使用されている VLAN (Internal VLAN) を扱いません。Internal VLAN は、拡張範囲 VLAN (VLAN-ID:1006 ~ 4094) の下部の ID (1006 寄り) を使用します。このため拡張範囲 VLAN に Cisco Catalyst を追加する場合は、上部の ID (4094 寄り) を使用し、Internal VLAN で設定済みの ID と重複しないようにしてください。

[スイッチの変更] ボタン

選択したスイッチの VLAN の構成情報を変更します。[ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックスが表示されます。

[スイッチの変更] ボタンは、[スイッチ一覧] の任意の行を選択するとクリックできます。ただし、選択したスイッチが Cisco Catalyst の場合は、スイッチを変更するための条件があります。条件を次の表に示します。

表 10-2 スイッチを変更するための条件 (Cisco Catalyst の場合)

条件	VLAN-ID		
	1, 1002 ~ 1005	2 ~ 1001	1006 ~ 4094 (拡張範囲 VLAN)
VTP モードがサーバ			x
VTP モードがクライアント			x
VTP モードがトランスベアレント			

(凡例)

- : スイッチを変更できる。
- x : スイッチを変更できない。

[スイッチの削除] ボタン

該当する VLAN から VLAN を構成しているスイッチを削除します。[スイッチ一覧] の任意の行を選択するとクリックできます。ただし、選択したスイッチが Cisco Catalyst の場合は、スイッチを削除するための条件があります。条件を次の表に示します。

表 10-3 スイッチを削除するための条件 (Cisco Catalyst の場合)

条件	VLAN-ID		
	1, 1002 ~ 1005	2 ~ 1001	1006 ~ 4094 (拡張範囲 VLAN)
VTP モードがサーバ	×		×
VTP モードがクライアント		×	×
VTP モードがトランスベアレント			

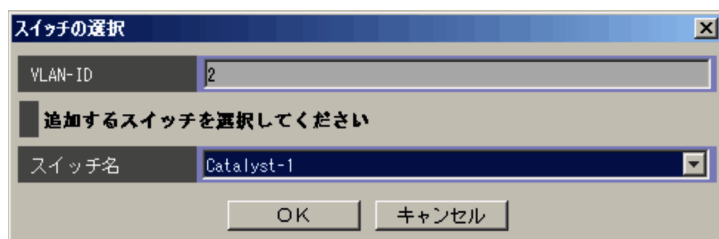
(凡例)

- : スイッチを削除できる。
 - × : スイッチを削除できない。
- スイッチの削除を確認するダイアログボックスが表示され、[OK] をクリックすると、[スイッチ一覧] から削除されます。
- スイッチの削除後、削除したスイッチの、該当する VLAN にアクセスポートまたはネイティブ指定トランクポートとして設定されていたポートは、デフォルト VLAN (VLAN-ID : 1) のアクセスポートまたはネイティブ指定トランクポートに変更されます。
- なお、該当する VLAN を構成するスイッチがすべて削除されても、VLAN 定義は削除されません。

10.9 [スイッチの選択] ダイアログボックス

[スイッチの選択] ダイアログボックスは、VLAN に追加するスイッチの種類を選択するためのダイアログボックスです。[スイッチの選択] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 10-10 [スイッチの選択] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[VLAN-ID]

スイッチを追加する VLAN の VLAN-ID が表示されます。

[スイッチ名]

追加するスイッチを選択します。該当する VLAN 管理ドメイン配下にあるすべてのスイッチが、プルダウンメニューに表示されます。Cisco Catalyst の場合、一つのスイッチに追加できる VLAN の最大数は 1,005 個です。そのため、すでに 1,005 個の VLAN を持つ Cisco Catalyst のスイッチは表示されません。

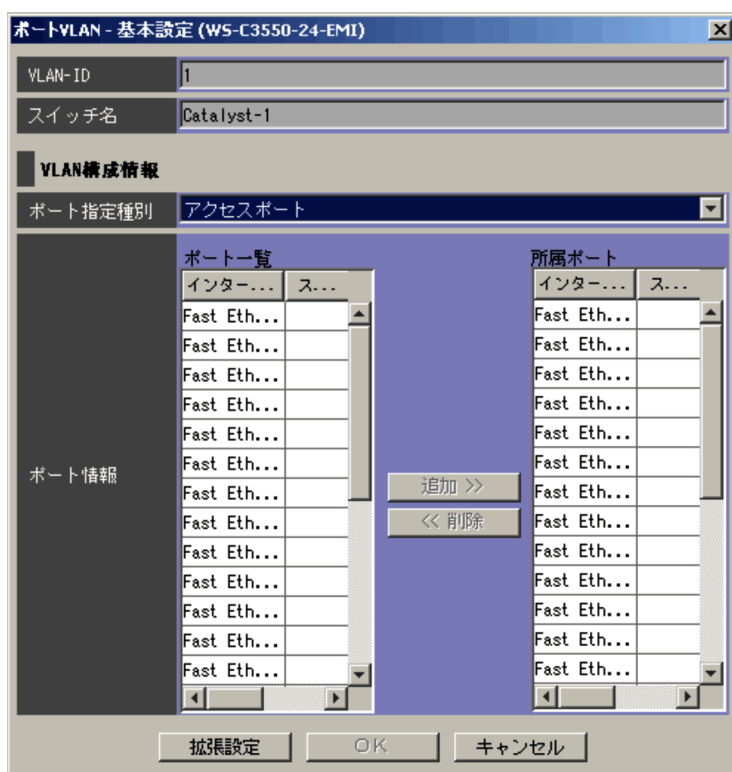
なお、JP1/Cm2/NC では、この項目で選択したスイッチが、該当する VLAN-ID の VLAN に追加できるかどうかはチェックしません。

スイッチによっては、設定できる VLAN-ID の範囲が異なります。設定できる VLAN-ID の最大値を確認し、適切なスイッチを選択してください。

10.10 [ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックス

[ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックスは、VLAN を構成するスイッチのポートに、ポート VLAN を設定するためのダイアログボックスです。VLAN 管理ドメインの配下にあるすべてのスイッチから、ポート VLAN を構成するスイッチを選択します。また、スイッチのポート種別および所属ポートを選択します。各設定項目の詳細については、スイッチのマニュアルを参照してください。[ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 10-11 [ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[VLAN-ID]

ポート VLAN を設定する VLAN の VLAN-ID が表示されます。

[スイッチ名]

[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックス、または [スイッチの選択] ダイアログボックスで選択したスイッチ名が表示されます。

[ポート指定種別]

該当する VLAN に所属するポートのポート種別を指定します。プルダウンメニューにポート種別の一覧が表示され、ポート種別を指定できます。デフォルトでは「アクセスポート」が表示されます。

- アクセスポート

VLAN にアクセスポートとして所属しています。

- ネイティブ指定トランクポート

該当する VLAN にネイティブ指定のトランクポートとして所属しています。

- トランクポート

該当する VLAN にトランクポートとして所属しています。

- プルーニング適用トランクポート

該当する VLAN のプルーニングを適用するトランクポートとして所属していません。VLAN-ID が 1, 1002 ~ 1005, または拡張範囲 VLAN (VLAN-ID : 1006 ~ 4094) の場合は、「プルーニング適用トランクポート」は表示されません。

指定したポート種別に応じて「所属ポート」のリストの表示が切り替わります。

[ポート情報]

[ポート一覧]

該当するスイッチに設定されているレイヤー 2 モードのポートとポートの情報 (インターフェースタイプ, スタック, スロット, ポート) がすべて表示されます。

所属ポートに追加したい場合は、ポートを選択し [追加 >>] ボタンをクリックします。一度に複数のポートを選択して追加できます。追加したポートは [所属ポート] に表示されます。

なお, [所属ポート] にポートを追加しても, [ポート一覧] からは削除されません。[ポート一覧] には常にすべてのポートが表示されます。

[所属ポート] に追加する場合は, config-if モードの switchport trunk (トランクポートの場合) または switchport access vlan (アクセスポートの場合) コマンドを使用して設定します。

[所属ポート]

所属ポートに設定されているポートとポートの情報 (インターフェースタイプ, スタック, スロット, ポート) が表示されます。

設定を解除したい場合は、ポートを選択し [<< 削除] ボタンをクリックします。一度に複数のポートを選択して設定を解除できます。選択したポートは [所属ポート] から削除されます。[ポート指定種別] で「アクセスポート」または「ネイティブ指定トランクポート」が指定されていた場合、削除されたポートはデフォルト VLAN (VLAN-ID : 1) に変更されます。

注

[所属ポート] へ追加したポートの設定が有効になるかどうかは、設定したポートの VLAN メンバーシップモードやカプセル化フォーマットによって異なります。JP1/Cm2/NC では設定が有効かどうかをチェックしませんので、設定前に

必ず確認してください。

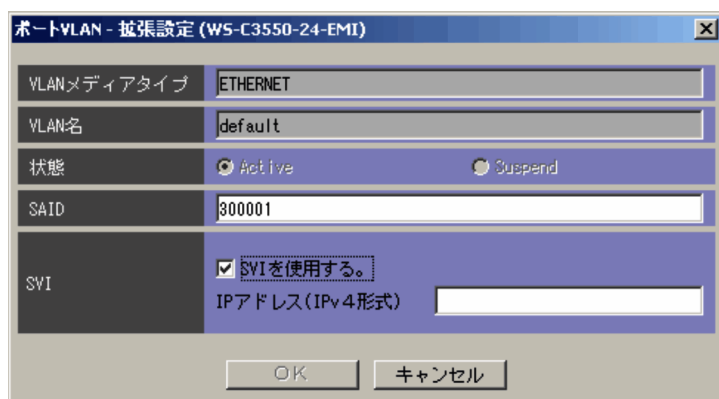
[拡張設定] ボタン

[ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックスを表示します。

10.11 [ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックス

[ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックスは、ポート VLAN の設定を拡張するためのダイアログボックスです。VLAN の状態を開放・閉塞したり SAID を指定したりします。各設定項目の詳細については、スイッチのマニュアルを参照してください。[ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 10-12 [ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[VLAN メディアタイプ]

該当する VLAN の VLAN メディアタイプが表示されます。新規に VLAN を作成する場合は、「ETHERNET」が表示されます。なお、JP1/Cm2/NC を使用して新規に作成できる VLAN の VLAN メディアタイプはイーサネットだけです。

[VLAN 名]

該当する VLAN の VLAN 名を指定します。この VLAN 名は、スイッチに設定されている VLAN 名です。VLAN 定義情報で指定する VLAN 名とは関係ありません。VLAN 名は 1 ~ 32 文字の ASCII 文字で指定します。ただし、「" (引用符)」は使用できません。VLAN 名はスイッチ内で重複しないように指定してください。また、この項目は VLAN の設定で必須項目です。新規に VLAN を作成する場合は、デフォルトで「VLAN**VLAN-ID**」が表示されます（例：VLAN-ID が 2 の場合、VLAN 名は VLAN0002）。指定を省略した場合は、デフォルトの「VLAN**VLAN-ID**」が設定されます。既存の VLAN の場合は、VLAN 名が表示されます。

なお、次の場合は VLAN 名の変更はできません。

- VLAN-ID が 1、または 1002 ~ 1005 のとき
次の VLAN 名が表示されます。
 - VLAN-ID が 1 の場合：default

- ・ VLAN-ID が 1002 の場合 : fddi-default
 - ・ VLAN-ID が 1003 の場合 : trcrf-default (token-ring-default)
 - ・ VLAN-ID が 1004 の場合 : fddinet-default
 - ・ VLAN-ID が 1005 の場合 : trbrf-default (trnet-default)
- 注 VTP のバージョン 2 が Disable の場合
- ・ VTP モードがクライアントのとき

この項目は config-vlan モードの name コマンドを使用して設定します。

[状態]

該当する VLAN の状態を指定します。VLAN のネットワーク構成を変更する場合、データが流れているままの状態では VLAN の構成を変更すると、そのほかの個所で通信ができなくなってしまうおそれがあります。そのため、構成の変更が完了するまで、データが流れるのを止めておくために、該当する VLAN の状態を閉塞します。指定できる種類を次に示します。

- ・ Active
VLAN を開放し、すべてのフレームの送受信を開始します。
- ・ Suspend
VLAN を閉塞し、すべてのフレームの送受信を停止します。

この項目は VLAN の設定で必須項目です。新規に VLAN を作成する場合、デフォルト値は「Active」です。

なお、次の場合は状態の変更はできません。

- ・ VLAN-ID が 1, または 1002 ~ 1005 のとき
- ・ VTP モードがクライアントのとき
- ・ VTP モードがトランスペアレントで、拡張範囲 VLAN (VLAN-ID : 1006 ~ 4094) のとき

この項目は config-vlan モードの state コマンドを使用して設定します。

[SAID]

該当する VLAN の SAID を 1 ~ 4294967294 の範囲の整数で指定します。SAID はスイッチ内で重複しないように指定してください。また、この項目は VLAN の設定で必須項目です。

新規に VLAN を作成する場合は、デフォルトで「100000+VLAN-ID」が表示されます (例 : VLAN-ID が 2 の場合、SAID は 100002)。新規に VLAN を作成する場合に指定を省略したときは、デフォルトの「100000+VLAN-ID」が設定されます。既存の VLAN の場合は、該当する VLAN に設定されている SAID が表示されます。

なお、次の場合は SAID の変更はできません。

- ・ VTP モードがクライアントのとき
- ・ VTP モードがトランスペアレントで、拡張範囲 VLAN (VLAN-ID : 1006 ~ 4094) のとき

10. 画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (Cisco Catalyst)

この項目は config-vlan モードの said コマンドを使用して設定します。

[SVI]

[SVI を使用する。]

SVI を使用する場合、チェックボックスをチェックします。[IP アドレス (IPv4 形式)] を指定する場合は、必ずチェックします。

この項目は config モードの interface vlan コマンドを使用して設定します。

[IP アドレス (IPv4 形式)]

SVI に IPv4 形式の IP アドレスを設定します。「nnn.nnn.nnn.nnn/ マスク長」形式で指定します。「マスク長」は、1 ~ 32 の範囲で指定します。この項目はオプションです。

また、この項目は config-if モードの ip address コマンドを使用して設定します。

10.12 [設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報)

[設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報) は、VLAN の構成情報を設定した結果を確認するためのダイアログボックスです。[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボックスでの設定が完了して、[OK] ボタンをクリックしたときに表示されます。ただし、設定内容すべてがスイッチに反映される前に、ネットワーク構成情報の設定が処理中であることを示すメッセージを閉じた場合は表示されません。[設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報) を次の図に示します。

図 10-13 [設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報)



表示項目について説明します。

[VLAN-ID]

設定が完了した VLAN の VLAN-ID が表示されます。

[スイッチ名]

設定が完了した VLAN を構成するスイッチの名称が表示されます。スイッチ名は、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[操作]

該当するスイッチに対して実行した VLAN の操作が表示されます。次のどれかが表示されます。

- 「追加」
- 「変更」
- 「削除」: スイッチから VLAN を削除した場合に表示されます。

10. 画面 - VLAN ビューのダイアログボックス (Cisco Catalyst)

- 「データベースから削除されました」: VLAN 定義情報から VLAN 構成情報を削除した場合に表示されます。

[結果]

該当するスイッチに対して実行した操作の結果が表示されます。「成功」または「失敗」が表示されます。

[原因]

結果が失敗だった場合、JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージが表示されません。形式は次のとおりです。

「KDNV1nnnn-E メッセージ本文」

JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージの説明と対処方法については、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング」を参照してください。

11 画面 - SLB ビューのダイアログボックス (BIG-IP)

この章では、BIG-IP の SLB の設定で使用する画面の表示項目、および定義項目について説明します。なお、各画面の表示内容および設定内容の詳細については、適宜 BIG-IP のソフトウェアマニュアルを参照してください。

11.1 [スイッチ情報] ダイアログボックス

11.2 [論理サーバ情報] ダイアログボックス

11.3 [物理サーバ情報] ダイアログボックス

11.4 [論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス

11.5 [論理サーバの設定] ダイアログボックス

11.6 [論理サーバポートの設定] ダイアログボックス

11.7 [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス

11.8 [プールの設定] ダイアログボックス

11.9 [物理サーバの設定] ダイアログボックス

11.10 [物理サーバポートの設定] ダイアログボックス

11.11 [バインド構成情報の設定] ダイアログボックス

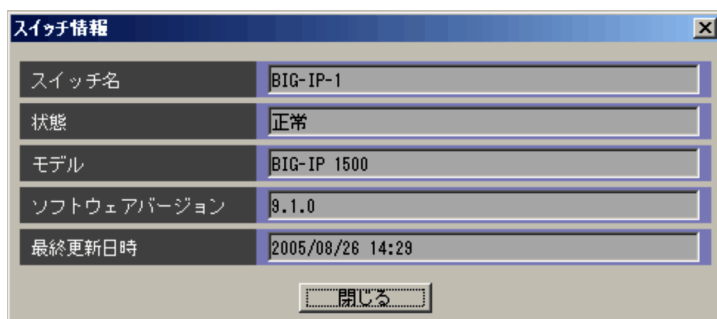
11.12 [バインドの設定] ダイアログボックス

11.13 [設定結果] ダイアログボックス

11.1 [スイッチ情報] ダイアログボックス

[スイッチ情報] ダイアログボックスは、スイッチの基本情報を確認するためのダイアログボックスです。[スイッチ情報] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 11-1 [スイッチ情報] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[状態]

該当するスイッチとの接続状態が表示されます。表示される状態は、SLB ビューのツリーエリアに表示される状態アイコンの状態と同じです。詳細については、「6.3.1 (3) ツリーエリア」の「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。

[モデル]

該当するスイッチのモデルが表示されます。スイッチから直接取得した情報が表示されます。

[ソフトウェアバージョン]

ルーティングソフトウェアのバージョンが表示されます。バージョンは、先頭から 11 文字までが表示されます。11 文字より長い場合、12 文字目以降は表示されません。

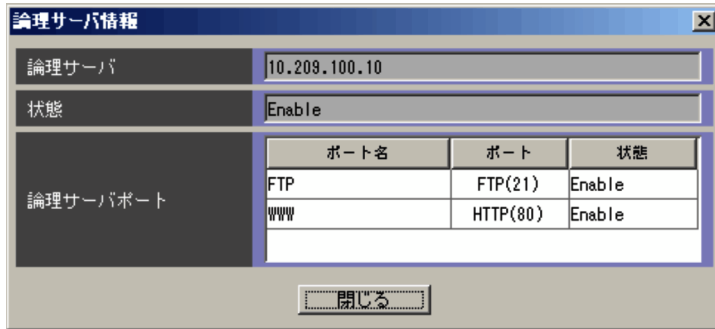
[最終更新日時]

該当するスイッチの構成情報を DB に格納した日時が表示されます。

11.2 [論理サーバ情報] ダイアログボックス

[論理サーバ情報] ダイアログボックスは、該当する論理サーバの基本情報を確認するためのダイアログボックスです。[論理サーバ情報] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 11-2 [論理サーバ情報] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[論理サーバ]

該当する論理サーバの IP アドレスが表示されます。表示形式は、IPv4 形式 (nnn.nnn.nnn.nnn) です。

[状態]

該当する論理サーバの状態が表示されます。表示内容は次のとおりです。

- 「 Enable 」
論理サーバが有効な状態です。
- 「 Disable 」
論理サーバが無効な状態です。

[論理サーバポート]

該当する論理サーバに設定されている論理サーバポートの内容が表示されます。表示される内容は、SLB ビューの「論理サーバポートリスト」と同様です。詳細については、「6.6.1 (6)(d) 論理サーバポートリスト (BIG-IP)」の「表 6-30 論理サーバポートリスト (BIG-IP) の表示項目の説明」を参照してください。

11.3 [物理サーバ情報] ダイアログボックス

[物理サーバ情報] ダイアログボックスは、該当する物理サーバの基本情報を確認するためのダイアログボックスです。[物理サーバ情報] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 11-3 [物理サーバ情報] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[物理サーバ]

該当する物理サーバの IP アドレスが表示されます。表示形式は、IPv4 形式 (nnn.nnn.nnn.nnn) です。

[物理サーバポート]

[ポート]

該当する物理サーバに設定されているポート番号が表示されます。

[ウェイト (比率)]

該当する物理サーバポートに設定されているウェイト値 (比率) が表示されます。

[状態]

該当する物理サーバポートの状態が表示されます。表示内容は次のとおりです。

- 「Enable」

トラフィックを受け付けられる状態です。

- 「Disable」

既存のセッションに属するトラフィックだけを新規に受け付けます。それ以外は受け付けません。既存の接続については、接続を完了するまで状態を維持します。

11.4 [論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス

[論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスは、SLB を構成しているスイッチへ論理サーバの構成情報を設定するためのダイアログボックスです。[論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 11-4 [論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[論理サーバ一覧]

定義済みの論理サーバをリストに一覧表示します。表示内容は、SLB ビューのリストエリアに表示する「論理サーバリスト」と同様です。詳細については、「6.6.1 (6) (c) 論理サーバリスト (BIG-IP)」の「表 6-29 論理サーバリスト (BIG-IP) の表示項目の説明」を参照してください。

この項目から、[論理サーバの設定] ダイアログボックスを表示して論理サーバを追加または変更したり、論理サーバを削除したりします。[論理サーバの設定] ダイアログについては、「11.5 [論理サーバの設定] ダイアログボックス」を参照してください。

[追加] ボタン

論理サーバをスイッチに追加するために使用します。[論理サーバの設定] ダイ

11. 画面 - SLB ビューのダイアログボックス (BIG-IP)

アログボックスを表示します。

[変更] ボタン

論理サーバの設定を変更するために使用します。[論理サーバの設定] ダイアログボックスを表示します。[論理サーバー一覧] で任意の 1 行を選択するとクリックできます。

[削除] ボタン

論理サーバをスイッチから削除するために使用します。[論理サーバー一覧] で任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

11.5 [論理サーバの設定] ダイアログボックス

[論理サーバの設定] ダイアログボックスは、SLB を構成しているスイッチへ論理サーバを追加したり、論理サーバの設定を変更したりするためのダイアログボックスです。[論理サーバの設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 11-5 [論理サーバの設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[論理サーバ]

該当する論理サーバの IP アドレスを IPv4 形式 (nnn.nnn.nnn.nnn) で指定します。この項目は [論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [論理サーバ一覧] で [変更] ボタンをクリックした場合は編集できません。

[状態]

該当する論理サーバの状態を設定します。論理サーバに設定されたすべての論理サーバポートに対して設定されます。

- 「Enable」
該当する論理サーバを有効にします。
- 「Disable」
該当する論理サーバを無効にします。

この項目はオプションです。デフォルト値は、「Enable」です。

[論理サーバポート]

定義済みの論理サーバポートをリストに一覧表示します。表示内容は、SLB ビューのリストエリアに表示する「論理サーバポートリスト」と同様です。詳細については、「6.6.1 (6)(d) 論理サーバポートリスト (BIG-IP)」の「表 6-30 論理サーバポートリスト (BIG-IP) の表示項目の説明」を参照してください。

[追加] ボタン

論理サーバポートを論理サーバに追加するために使用します。[論理サーバポー

11. 画面 - SLB ビューのダイアログボックス (BIG-IP)

トの設定] ダイアログボックスを表示します。

[変更] ボタン

論理サーバポートの設定を変更するために使用します。[論理サーバポートの設定] ダイアログボックスを表示します。[論理サーバポート] で任意の 1 行を選択するとクリックできます。

[削除] ボタン

論理サーバポートを論理サーバから削除するために使用します。[論理サーバポート] で任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。なお、プールと関連づけられた状態の論理サーバポートを削除することはできません。

削除後の論理サーバポート数が 0 になる場合は、削除を確認するダイアログボックスが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると、[論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスから該当する論理サーバが削除されます。

11.6 [論理サーバポートの設定] ダイアログボックス

[論理サーバポートの設定] ダイアログボックスは、論理サーバに論理サーバポートを追加したり、論理サーバポートの設定を変更したりするためのダイアログボックスです。
[論理サーバポートの設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 11-6 [論理サーバポートの設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[ポート名]

論理サーバポート名を 1 ~ 255 バイト以内で指定します。先頭は必ず英字にしてください。また、スイッチ内で同じ名前は指定できません。使用できる文字は、次のとおりです。

- 英数字
- 「-」(ハイフン)
- 「_」(アンダーバー)
- 「.」(ピリオド)

この項目は [論理サーバの設定] ダイアログボックスの [論理サーバポート] で [変更] ボタンをクリックした場合は編集できません。

! 注意事項

JP1/Cm2/NC では 256 バイト以上の論理サーバポート名は扱いません。スイッチに 256 バイト以上の論理サーバポート名が設定されていた場合、該当する論理サーバポートの情報は取得しませんので、ご注意ください。

[ポート]

論理サーバに定義する TCP/UDP ポート番号を指定します。指定できる値は、0 ~ 65535 の整数です。プルダウンメニューに予約ポートが「サービス名 (ポート番号)」の形式で表示され、ポートを指定できます。なお、プールと関連づけられた状態のポートを変更することはできません。

[状態]

該当するポートの状態を次の二つから選択します。

11. 画面 - SLB ビューのダイアログボックス (BIG-IP)

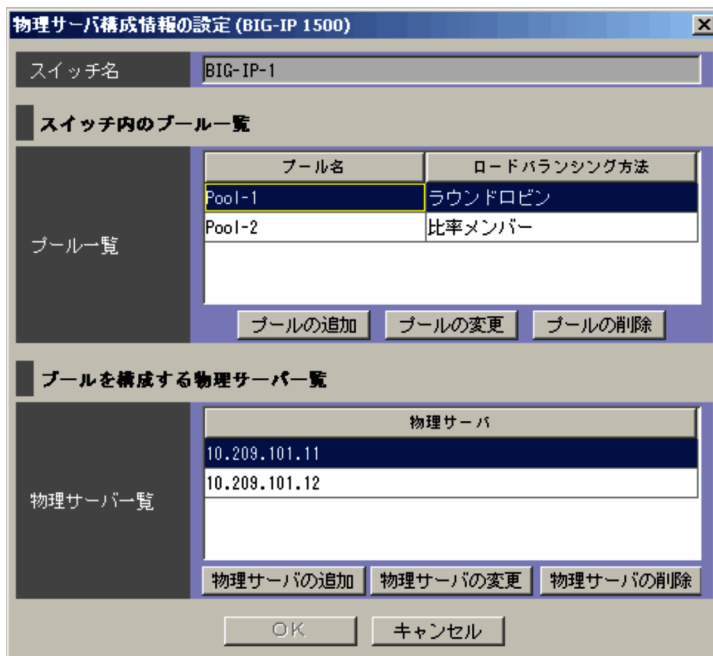
- 「Enable」
該当するポートを有効にします。
- 「Disable」
該当するポートを無効にします。

この項目は、オプションです。デフォルト値は「Enable」です。

11.7 [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス

[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスは、SLB を構成しているスイッチへ物理サーバを設定するためのダイアログボックスです。各設定項目の詳細については、スイッチのマニュアルを参照してください。[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 11-7 [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[プール一覧]

定義済みのプールがリストに一覧表示されます。表示内容は SLB ビューのリストエリアに表示する「プールリスト」と同様です。詳細については、「6.6.1 (6) (e) プールリスト (BIG-IP)」の「表 6-32 プールリスト (BIG-IP) の表示項目の説明」を参照してください。

[プールの追加] ボタン

プールをスイッチに追加するために使用します。[プールの設定] ダイアログボックスを表示します。

11. 画面 - SLB ビューのダイアログボックス (BIG-IP)

[プールの変更] ボタン

プールの設定を変更するために使用します。[プールの設定] ダイアログボックスを表示します。[プール一覧] で任意の 1 行を選択するとクリックできます。

[プールの削除] ボタン

プールをスイッチから削除するために使用します。[プール一覧] で任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

[物理サーバー一覧]

定義済みの物理サーバーがリストに一覧表示されます。表示内容は、SLB ビューのリストエリアに表示する「物理サーバーリスト」と同様です。詳細については、「6.6.1 (6)(f) 物理サーバーリスト (BIG-IP)」の「表 6-33 物理サーバーリスト (BIG-IP) の表示項目の説明」を参照してください。

[物理サーバーの追加] ボタン

物理サーバーをスイッチに追加するために使用します。[物理サーバーの設定] ダイアログボックスを表示します。

[物理サーバーの変更] ボタン

物理サーバーの設定を変更するために使用します。[物理サーバーの設定] ダイアログボックスを表示します。[物理サーバー一覧] で任意の 1 行を選択するとクリックできます。

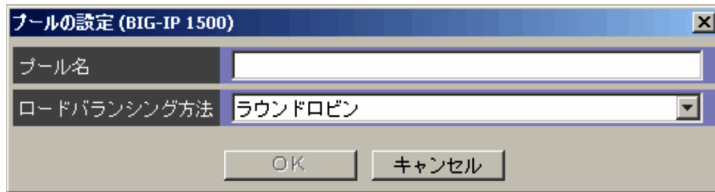
[物理サーバーの削除] ボタン

物理サーバーをスイッチから削除するために使用します。[物理サーバー一覧] で任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

11.8 [プールの設定] ダイアログボックス

[プールの設定] ダイアログボックスは、SLB を構成しているスイッチヘプールを追加したり、プールの設定を変更したりするためのダイアログボックスです。各設定項目の詳細については、スイッチのマニュアルを参照してください。[プールの設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 11-8 [プールの設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[プール名]

プール名を 1 ~ 255 バイト以内で指定します。また、先頭は必ず英字にしてください。また、スイッチ内で同じ名前前は指定できません。使用できる文字は、次のとおりです。

- 英数字
- 「-」(ハイフン)
- 「_」(アンダーバー)
- 「.」(ピリオド)

この項目は [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [プール一覧] で [プールの変更] ボタンをクリックした場合は編集できません。

! 注意事項

JP1/Cm2/NC では 256 バイト以上のプール名は扱いません。スイッチに 256 バイト以上のプール名が設定されていた場合、該当するプールに関する情報は取得しません。また、プール名が 256 バイト以上のプールと論理サーバポートが関連づけられていた場合、該当する論理サーバポートに関する情報も取得しないので、ご注意ください。

[ロードバランシング方法]

該当するプールのロードバランシング方法を指定します。プルダウンメニューにロードバランシング方法の一覧が表示され、指定できます。デフォルトでは「ラウンドロビン」が表示されます。

- ラウンドロビン

プールに「rr (Round Robin)」を設定します。サーバリクエストが各物理サーバに順番に送信されます。
- 比率

11. 画面 - SLB ビューのダイアログボックス (BIG-IP)

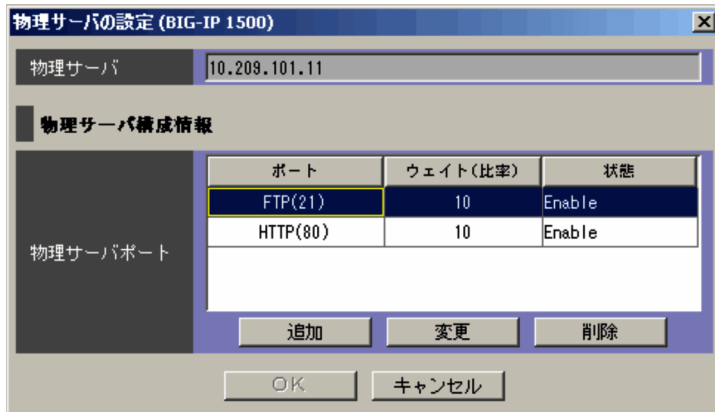
プールに「ratio」を設定します。各物理サーバに指定した比率に従って、サーバリクエストが送信されます。

- 比率メンバー
プールに「member ratio」を設定します。
- 動的比率
プールに「dynamic ratio」を設定します。各物理サーバから収集した情報を基に動的に比率を決定し、サーバリクエストが送信されます。
- 最速
プールに「fastest」を設定します。応答速度が最も速い物理サーバに、サーバリクエストが送信されます。
- 最速メンバー
プールに「fastest app resp」を設定します。
- 最少接続
プールに「least conn」を設定します。接続数の最も少ない物理サーバにサーバリクエストが送信されます。
- 最少接続メンバー
プールに「member least conn」を設定します。
- 観測
プールに「observed」を設定します。各物理サーバの接続数と応答速度を監視し、BIG-IP 独自のアルゴリズムによって送信先を決定し、サーバリクエストが送信されます。
- 観測メンバー
プールに「member observed」を設定します。
- 予測
プールに「predictive」を設定します。各物理サーバの接続数と応答速度を監視してパフォーマンスウェイトを予測し、サーバリクエストが送信されます。
- 予測メンバー
プールに「member predictive」を設定します。

11.9 [物理サーバの設定] ダイアログボックス

[物理サーバの設定] ダイアログボックスは、SLB を構成しているスイッチへ物理サーバを追加したり、物理サーバの設定を変更したりするためのダイアログボックスです。[物理サーバの設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 11-9 [物理サーバの設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[物理サーバ]

該当する物理サーバの IP アドレスを IPv4 形式 (nnn.nnn.nnn.nnn) で指定します。この項目は [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [物理サーバ一覧] で [物理サーバの追加] ボタンをクリックした場合に必ず指定します。また、[物理サーバの変更] ボタンをクリックした場合は編集できません。

[物理サーバポート]

該当する物理サーバに定義されている物理サーバポートの一覧が表示されます。

[ポート] および [ウェイト(比率)]

SLB ビューのリストエリアの「物理サーバポートリスト」と同様です。詳細については、「6.6.1 (6)(g) 物理サーバポートリスト (BIG-IP)」の「表 6-34 物理サーバポートリスト (BIG-IP) の表示項目の説明」を参照してください。

[状態]

物理サーバポートの状態が表示されます。

- 「Enable」
該当するポートは有効な状態です。
- 「Disable」
該当するポートは無効な状態です。

[追加] ボタン

11. 画面 - SLB ビューのダイアログボックス (BIG-IP)

物理サーバポートを物理サーバに追加するために使用します。[物理サーバポートの設定] ダイアログボックスを表示します。

[変更] ボタン

物理サーバポートの設定を変更するために使用します。[物理サーバポートの設定] ダイアログボックスを表示します。[物理サーバポート] で任意の 1 行を選択するとクリックできます。

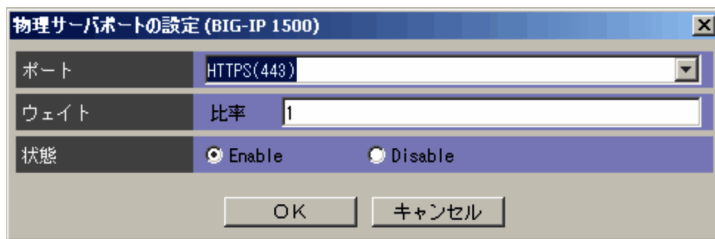
[削除] ボタン

物理サーバポートを物理サーバから削除するために使用します。[物理サーバポート] で任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

11.10 [物理サーバポートの設定] ダイアログボックス

[物理サーバポートの設定] ダイアログボックスは、物理サーバに物理サーバポートを追加したり、物理サーバポートの設定を変更したりするためのダイアログボックスです。各設定項目の詳細については、スイッチのマニュアルを参照してください。[物理サーバポートの設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 11-10 [物理サーバポートの設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[ポート]

物理サーバに定義する TCP/UDP ポート番号を指定します。指定できる値は、0 ~ 65535 の整数です。プルダウンメニューから予約ポート一覧を表示し、指定できます。

この項目は [物理サーバの設定] ダイアログボックスの [物理サーバポート] で [変更] ボタンをクリックした場合は編集できません。

[ウェイト]

該当する物理サーバポートに定義する比率のウェイト値を指定します。指定できる値は、1 ~ 65535 の整数です。

この項目は、オプションです。設定を省略した場合は、1 が設定されます。

[状態]

該当するポートの状態を次の二つから選択します。

- 「Enable」

該当するポートでトラフィックを受け付けます。

- 「Disable」

該当するポートで、既存のセッションに属するトラフィックだけを新規に受け付けます。それ以外は受け付けません。既存の接続については、接続を完了するまで状態を維持します。

この項目は、オプションです。デフォルト値は「Enable」です。

11.11 [バインド構成情報の設定] ダイアログボックス

[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスは、論理サーバと物理サーバをバインドするためのダイアログボックスです。[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 11-11 [バインド構成情報の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[論理サーバー一覧]

スイッチに定義されている論理サーバのうち、バインド済みの論理サーバの内容が表示されます。[論理サーバ] には論理サーバの IP アドレスが IPv4 形式 (nnn.nnn.nnn.nnn) で表示されます。

[追加] ボタン

バインドの設定を追加するために使用します。[バインドの設定] ダイアログボックスを表示します。

[変更] ボタン

バインドの設定を変更するために使用します。[バインドの設定] ダイアログボックスを表示します。[論理サーバー一覧] で任意の 1 行を選択するとクリックできます。

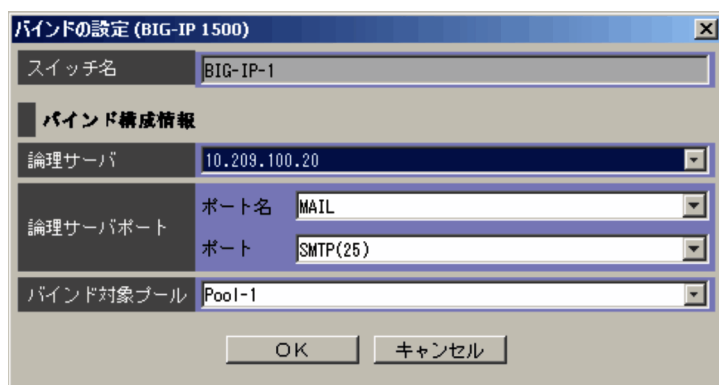
[削除] ボタン

バインドの設定を削除するために使用します。[論理サーバー一覧] で任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

11.12 [バインドの設定] ダイアログボックス

[バインドの設定] ダイアログボックスは、バインドの設定を追加、変更するためのダイアログボックスです。各設定項目の詳細については、スイッチのマニュアルを参照してください。[バインドの設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 11-12 [バインドの設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[論理サーバ]

プールをバインドする論理サーバを選択します。該当するスイッチに定義されている論理サーバをプルダウンメニューから選択できます。プルダウンメニューには論理サーバの IP アドレスが表示されます。

この項目は、[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスの [論理サーバー一覧] で [変更] をクリックした場合は設定できません。

[論理サーバポート]

プールをバインドする論理サーバポートを指定します。[ポート名] または [ポート] のどちらかを指定すると、もう一方の欄に対応するポート名またはポート番号が自動的に表示されます。

[ポート名]

プールをバインドする論理サーバポートのポート名を選択します。該当する論理サーバに定義されている論理サーバポートをプルダウンメニューから選択できます。プルダウンメニューには論理サーバに設定されているポート名が表示されます。

この項目は、[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスの [論理サーバー一覧] で [変更] をクリックした場合は設定できません。

[ポート]

プールをバインドする論理サーバポートのポート番号を選択します。該当する論理サーバに定義されている論理サーバポートをプルダウンメニューから選択できます。プルダウンメニューには論理サーバに設定されているポート番号が表示されます。

この項目は、[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスの [論理サーバ一覧] で [変更] をクリックした場合は設定できません。

[バインド対象プール]

論理サーバポートにバインドするプール名を選択します。該当するスイッチに定義されているプールをプルダウンメニューから選択できます。プールは複数の論理サーバポートとバインドできるため、すでにほかの論理サーバポートにバインドされているプールも指定できます。

11.13 [設定結果] ダイアログボックス

[設定結果] ダイアログボックスは、設定内容の結果を確認するためのダイアログボックスです。次の情報を設定した場合に表示されます。

- 論理サーバ構成情報
- 物理サーバ構成情報
- バインド構成情報

11.13.1 [設定結果] ダイアログボックス (論理サーバ構成情報)

[設定結果] ダイアログボックス (論理サーバ構成情報) は、論理サーバ構成情報を設定した結果を確認するためのダイアログボックスです。[論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスでの設定が完了して、[OK] ボタンをクリックしたときに表示されます。ただし、設定内容すべてがスイッチに反映される前に、ネットワーク構成情報の設定が処理中であることを示すメッセージを閉じた場合は表示されません。[設定結果] ダイアログボックス (論理サーバ構成情報) を次の図に示します。

図 11-13 [設定結果] ダイアログボックス (論理サーバ構成情報)



表示項目について説明します。

[論理サーバ名]

設定が完了した論理サーバの名称が表示されます。

[操作]

該当する論理サーバに対して実行した操作が、「追加」、「変更」、または「削除」で表示されます。

[結果]

該当する論理サーバに対して実行した操作の結果が表示されます。「成功」または「失敗」が表示されます。

[原因]

結果が失敗だった場合、JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージが表示されません。形式は次のとおりです。

「KDNV1nnnn-E メッセージ本文」

JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージの説明と対処方法については、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング」を参照してください。

11.13.2 [設定結果] ダイアログボックス (物理サーバ構成情報)

[設定結果] ダイアログボックス (物理サーバ構成情報) は、物理サーバ構成情報を設定した結果を確認するためのダイアログボックスです。[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスでの設定が完了して、[OK] ボタンをクリックしたときに表示されます。ただし、設定内容すべてがスイッチに反映される前に、ネットワーク構成情報の設定が処理中であることを示すメッセージを閉じた場合は表示されません。[設定結果] ダイアログボックス (物理サーバ構成情報) を次の図に示します。

図 11-14 [設定結果] ダイアログボックス (物理サーバ構成情報)



表示項目について説明します。

[プール名]

設定が完了したプール名が表示されます。

11. 画面 - SLB ビューのダイアログボックス (BIG-IP)

[物理サーバ]

設定が完了した物理サーバの IP アドレスが IPv4 形式 (nnn.nnn.nnn.nnn) で表示されます。

なお、プールに関する情報だけを変更した場合は、何も表示されません。またプールを削除した場合は、削除したプールを構成していたすべての物理サーバが表示されます。

[操作]

該当するプールに対して実行した操作を、「追加」、「変更」、または「削除」で表示します。

[結果]

該当するプールに対して実行した操作の結果が表示されます。「成功」または「失敗」が表示されます。

[原因]

結果が失敗だった場合、JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージが表示されます。形式は次のとおりです。

「KDNV1nnnn-E メッセージ本文」

JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージの説明と対処方法については、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング」を参照してください。

11.13.3 [設定結果] ダイアログボックス (バインド構成情報)

[設定結果] ダイアログボックス (バインド構成情報) は、バインド構成情報を設定した結果を確認するためのダイアログボックスです。[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスでの設定が完了して、[OK] ボタンをクリックしたときに表示されます。ただし、設定内容すべてがスイッチに反映される前に、ネットワーク構成情報の設定が処理中であることを示すメッセージを閉じた場合は表示されません。[設定結果] ダイアログボックス (バインド構成情報) を次の図に示します。

図 11-15 [設定結果] ダイアログボックス (バインド構成情報)

論理サーバ名	論理サーバポート	操作	結果	原因
FTPServer	FTP(21)	追加	成功	
MailServer	POP3(110)	変更	成功	
WebServer	HTTP(80)	削除	成功	

表示項目について説明します。

[論理サーバ名]

設定が完了した論理サーバの名称が表示されます。

[論理サーバポート]

設定が完了した論理サーバポートが表示されます。

[操作]

該当する物理サーバに対して実行した操作を、「追加」、「変更」、または「削除」で表示します。

[結果]

該当する物理サーバに対して実行した操作の結果が表示されます。「成功」または「失敗」が表示されます。

[原因]

結果が失敗だった場合、JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージが表示されます。形式は次のとおりです。

「KDNV1nnnn-E メッセージ本文」

JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージの説明と対処方法については、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング」を参照してください。

12

画面 - SLB ビューのダイアログボックス (HA8000-ie/Loadflowbal)

この章では、HA8000-ie/Loadflowbal の SLB の設定で使用する画面の表示項目、および定義項目について説明します。なお、各画面の表示内容および設定内容の詳細については、適宜 HA8000-ie/Loadflowbal のソフトウェアマニュアルを参照してください。

12.1 [スイッチ情報] ダイアログボックス

12.2 [論理サーバ情報] ダイアログボックス

12.3 [物理サーバ情報] ダイアログボックス

12.4 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス

12.5 [ポートプロファイルの設定] ダイアログボックス

12.6 [論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス

12.7 [論理サーバの設定] ダイアログボックス

12.8 [論理サーバポートの設定] ダイアログボックス

12.9 [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス

12.10 [物理サーバの設定] ダイアログボックス

12.11 [物理サーバポートの設定] ダイアログボックス

12.12 [バインド構成情報の設定] ダイアログボックス

12.13 [バインドの設定] ダイアログボックス

12.14 [設定結果] ダイアログボックス

12.1 [スイッチ情報] ダイアログボックス

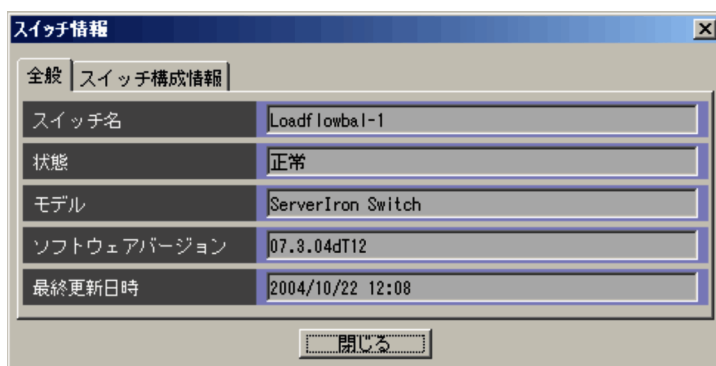
[スイッチ情報] ダイアログボックスは、スイッチの基本情報やスイッチ構成情報を確認するためのダイアログボックスです。

[スイッチ情報] ダイアログボックスには、[全般] ページと [スイッチ構成情報] ページがあります。[全般] ページには、スイッチ名や状態など、スイッチの基本情報が表示されます。[スイッチ構成情報] ページには、該当スイッチのスイッチ構成情報が表示されます。

12.1.1 [全般] ページ

[全般] ページを次の図に示します。

図 12-1 [全般] ページ



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[状態]

該当するスイッチとの接続状態が表示されます。表示される状態は、SLB ビューのツリーエリアに表示される状態アイコンの状態と同じです。詳細については、「6.3.1 (3) ツリーエリア」の「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。

[モデル]

該当するスイッチのモデルが表示されます。スイッチから直接取得した情報が表示されます。

[ソフトウェアバージョン]

ルーティングソフトウェアのバージョンが表示されます。バージョンは、先頭から

11 文字までが表示されます。11 文字より長い場合、12 文字目以降は表示されません。

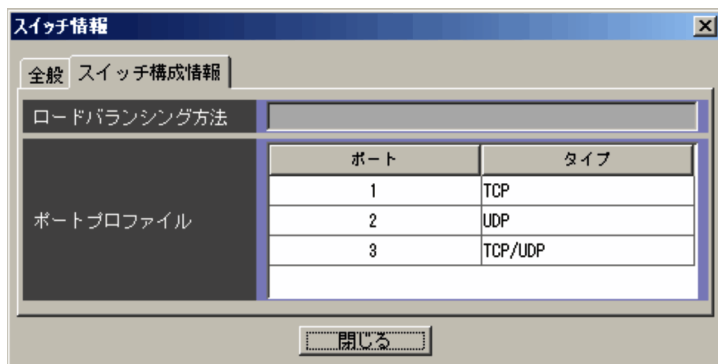
[最終更新日時]

該当するスイッチの構成情報を DB に格納した日時が表示されます。

12.1.2 [スイッチ構成情報] ページ

[スイッチ構成情報] ページを次の図に示します。

図 12-2 [スイッチ構成情報] ページ



表示項目について説明します。

[ロードバランシング方法]

該当するスイッチに設定されているロードバランシング方法が表示されます。設定していない場合は、何も表示されません。

表示される設定値は次のとおりです。

- 「最少接続」
論理サーバに「least-conn」が設定されています。
接続数の最も少ない物理サーバにサーバリクエストが送信されます。
- 「ラウンドロビン」
論理サーバに「round-robin」が設定されています。
サーバリクエストが各物理サーバに順番に送信されます。
- 「ウェイト」
論理サーバに「weighted」が設定されています。
各物理サーバに割り当てたパフォーマンスウェイトに従って、サーバリクエストが送信されます。
- 「応答時間」
論理サーバに「response-time」が設定されています。
応答速度が最も速い物理サーバにサーバリクエストが送信されます。
- 「最少セッション」
論理サーバに「least-sess」が設定されています。
現在のセッション数が最も少ない物理サーバにサーバリクエストが送信されます。

[ポートプロファイル]

該当するスイッチに設定されている TCP/UDP ポートが表示されます。

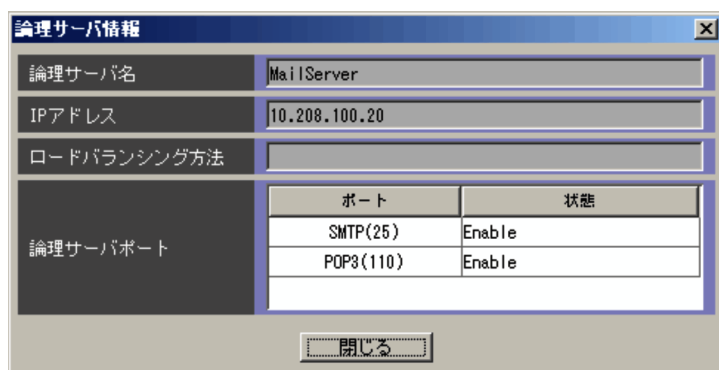
[ポート] には、TCP/UDP ポートが設定されているポート番号が表示されます。

[タイプ] には、該当するポートのタイプが「TCP」、「UDP」、または「TCP/UDP」で表示されます。

12.2 [論理サーバ情報] ダイアログボックス

[論理サーバ情報] ダイアログボックスは、該当する論理サーバの基本情報を確認するためのダイアログボックスです。[論理サーバ情報] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 12-3 [論理サーバ情報] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[論理サーバ名]

該当する論理サーバの名称が表示されます。

[IP アドレス]

該当する論理サーバの IP アドレスが表示されます。表示形式は、IPv4 形式 (nnn.nnn.nnn.nnn) です。

[ロードバランシング方法]

該当する論理サーバに設定されているロードバランシング方法が表示されます。表示される内容は、SLB ビューの「論理サーバリスト」と同様です。詳細については、「6.6.1 (7)(c) 論理サーバリスト (HA8000-ie/Loadflowbal)」の「表 6-39 論理サーバリスト (HA8000-ie/Loadflowbal) の表示項目の説明」を参照してください。

[論理サーバポート]

該当する論理サーバに設定されているポートの、ポート番号および状態が表示されます。

[ポート]

該当する論理サーバに設定されているポート番号が表示されます。

[状態]

該当する論理サーバポートの状態が表示されます。表示内容は次のとおりです。

- 「Enable」

ポートが有効な状態です。

- 「Disable」

ポートが無効な状態です。

12.3 [物理サーバ情報] ダイアログボックス

[物理サーバ情報] ダイアログボックスは、該当する物理サーバの基本情報を確認するためのダイアログボックスです。[物理サーバ情報] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 12-4 [物理サーバ情報] ダイアログボックス

物理サーバ情報		
物理サーバ名	rssltp01	
IPアドレス	10.208.102.11	
ウェイト	最少接続	10
	応答時間	
物理サーバポート	ポート	状態
	SMTP(25)	Enable
	POP3(110)	Enable
閉じる		

表示項目について説明します。

[物理サーバ名]

該当する物理サーバの名称が表示されます。

[IP アドレス]

該当する物理サーバの IP アドレスが表示されます。表示形式は、IPv4 形式 (nnn.nnn.nnn.nnn) です。

[ウェイト]

ほかの物理サーバに対する、該当する物理サーバのウェイトが表示されます。

[最少接続]

サーバ上の接続数について、ほかの物理サーバに対する該当する物理サーバのウェイトが表示されます。

[応答時間]

サーバ上に送信されたクライアント要求へのサーバの応答時間について、ほかの物理サーバに対する該当する物理サーバのウェイトが表示されます。

[物理サーバポート]

該当する物理サーバに設定されているポートの、ポート番号および状態が表示されます。

[ポート]

該当する物理サーバに設定されているポート番号が表示されます。

[状態]

該当する物理サーバポートの状態が表示されます。表示内容は次のとおりです。

- 「Enable」
ポートが有効な状態です。
- 「Disable」
ポートが無効な状態です。

12.4 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス

[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスは、スイッチヘスイッチ構成情報を設定するためのダイアログボックスです。各設定項目の詳細については、スイッチのマニュアルを参照してください。[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 12-5 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[ロードバランシング方法]

ロードバランシングの方法を選択します。[論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスで、論理サーバごとにロードバランシング方法を設定しない場合、[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスで設定したロードバランシング方法が適用されます。

この項目はオプションです。選択できるタイプを次に示します。

- 「最少接続」
論理サーバに「least-conn」が設定されています。
接続数の最も少ない物理サーバにサーバリクエストが送信されます。
- 「ラウンドロビン」
論理サーバに「round-robin」が設定されています。
サーバリクエストが各物理サーバに順番に送信されます。
- 「ウェイト」
論理サーバに「weighted」が設定されています。
各物理サーバに割り当てたパフォーマンスウェイトに従って、サーバリクエスト

が送信されます。

- 「応答時間」
論理サーバに「response-time」が設定されています。
応答速度が最も速い物理サーバにサーバリクエストが送信されます。
 - 「最少セッション」
論理サーバに「least-sess」が設定されています。
現在のセッション数が最も少ない物理サーバにサーバリクエストが送信されます。
- この項目は、server predictor コマンドを使用して設定します。

[ポートプロファイル]

論理サーバポート、および物理サーバポートで使用するポートを定義します。この項目はオプションです。ポートの定義を追加、変更するためには、[ポートプロファイルの設定] ダイアログボックスを表示します。[ポートプロファイルの設定] ダイアログについては、「12.5 [ポートプロファイルの設定] ダイアログボックス」を参照してください。

[ポートプロファイル] のリストには、定義済みのポートだけ表示されます。表示される内容は、「ポート」および「タイプ」です。

[追加] ボタン

ポートの定義を追加するために使用します。[ポートプロファイルの設定] ダイアログボックスを表示します。
すでに定義されているポートの数が 65,534 個以下のときクリックできます。

[変更] ボタン

定義済みのポートのタイプを変更するために使用します。[ポートプロファイルの設定] ダイアログボックスを表示します。[ポートプロファイル] の任意の 1 行を選択するとクリックできます。

[削除] ボタン

定義済みのポートを削除するために使用します。[ポートプロファイル] の任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

12.5 [ポートプロファイルの設定] ダイアログボックス

[ポートプロファイルの設定] ダイアログボックスは、SLB を構成しているスイッチに論理サーバポート、および物理サーバポートで使用するポートを追加、または設定するためのダイアログボックスです。[ポートプロファイルの設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 12-6 [ポートプロファイルの設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[ポート]

TCP/UDP ポート番号を指定します。指定できる値は、1 ~ 65535 です。この項目は、[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスの [ポートプロファイル] で [変更] ボタンをクリックした場合は編集できません。
この項目は、server port コマンドを使用して設定します。

[タイプ]

該当するポートのタイプを選択します。この項目はオプションです。選択できるタイプは次のとおりです。

- 「TCP」
- 「UDP」
- 「TCP/UDP」

「TCP/UDP」は、該当するポート番号が TCP と UDP の両方のタイプを持つ場合に選択します。デフォルトの表示は「TCP」です。

この項目は、server port コマンドの tcp | udp サブコマンドを使用して設定します。

12.6 [論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス

[論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスは、SLB を構成しているスイッチへ論理サーバの構成情報を設定するためのダイアログボックスです。[論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 12-7 [論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[論理サーバ一覧]

定義済みの論理サーバがリストに一覧表示されます。表示内容は、SLB ビューのリストエリアに表示する「論理サーバリスト」と同様です。詳細については、「6.6.1 (7)(c) 論理サーバリスト (HA8000-ie/Loadflowbal)」の「表 6-39 論理サーバリスト (HA8000-ie/Loadflowbal) の表示項目の説明」を参照してください。

この項目から、[論理サーバの設定] ダイアログボックスを表示して論理サーバを追加または変更したり、論理サーバを削除したりします。[論理サーバの設定] ダイアログについては、「12.7 [論理サーバの設定] ダイアログボックス」を参照してください。

[追加] ボタン

論理サーバをスイッチに追加するために使用します。[論理サーバの設定] ダイ

12. 画面 - SLB ビューのダイアログボックス (HA8000-ie/Loadflowbal)

アログボックスを表示します。

[変更] ボタン

論理サーバの設定を変更するために使用します。[論理サーバの設定] ダイアログボックスを表示します。[論理サーバー一覧] で任意の 1 行を選択するとクリックできます。

[削除] ボタン

論理サーバをスイッチから削除するために使用します。[論理サーバー一覧] で任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

12.7 [論理サーバの設定] ダイアログボックス

[論理サーバの設定] ダイアログボックスは、SLB を構成しているスイッチへ論理サーバを追加したり、論理サーバの設定を変更したりするためのダイアログボックスです。各設定項目の詳細については、スイッチのマニュアルを参照してください。[論理サーバの設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 12-8 [論理サーバの設定] ダイアログボックス

論理サーバ名	
論理サーバ名	MailServer
IP アドレス	
IP アドレス	10.208.100.20
論理サーバ構成情報	
ロードバランシング方法	[選択]
論理サーバポート	
ポート	状態
SMTP(25)	Enable
POP3(110)	Enable
<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="変更"/> <input type="button" value="削除"/>	
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

表示項目について説明します。

[論理サーバ名]

論理サーバ名を 32 文字以内の英数字で指定します。この項目は [論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [論理サーバ一覧] で [変更] ボタンをクリックした場合は編集できません。

この項目は、server virtual-name コマンドを使用して設定します。

[IP アドレス]

該当する論理サーバの IP アドレスを IPv4 形式 (nnn.nnn.nnn.nnn) で指定します。この項目は [論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [論理サーバ一覧] で [追加] ボタンをクリックした場合に必ず指定します。また、[変更] ボタンをクリックした場合は編集できません。

この項目は、server virtual-name コマンドを使用して設定します。

[ロードバランシング方法]

該当する論理サーバのロードバランシングの方法を選択します。この項目はオプションです。

この項目は、論理サーバに個別にロードバランシング方法を設定する場合に使用します。この項目で設定したロードバランシング方法は、[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスで設定したロードバランシング方法より優先されます。

選択できるタイプは次のとおりです。

- 空欄

ロードバランシング方法が設定されていない、デフォルトの状態です。[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスで設定したロードバランシング方法がデフォルトとして適用されます。

なお、一度でもロードバランシング方法のどれかを設定した場合、デフォルトの状態に戻すことはできません。

- 「最少接続」

論理サーバに「least-conn」を設定します。

接続数の最も少ない物理サーバにサーバリクエストが送信されます。

- 「ラウンドロビン」

論理サーバに「round-robin」を設定します。

サーバリクエストが各物理サーバに順番に送信されます。

- 「ウェイト」

論理サーバに「weighted」を設定します。

各物理サーバに割り当てたパフォーマンスウェイトに従って、サーバリクエストが送信されます。

- 「応答時間」

論理サーバに「response-time」を設定します。

応答速度が最も速い物理サーバにサーバリクエストが送信されます。

- 「最少セッション」

論理サーバに「least-sess」を設定します。

現在のセッション数が最も少ない物理サーバにサーバリクエストが送信されます。

この項目は、server virtual-name コマンドの predictor サブコマンドを使用して設定します。

[論理サーバポート]

該当する論理サーバに定義されている論理サーバポートの一覧が表示されます。表示内容は、SLB ビューのリストエリアの「論理サーバポートリスト」と同様です。論理サーバポートリストについては、「6.6.1 (7)(d) 論理サーバポートリスト (HA8000-ie/Loadflowbal)」の「表 6-40 論理サーバポートリスト (HA8000-ie/Loadflowbal) の表示項目の説明」を参照してください。

[追加] ボタン

論理サーバポートを論理サーバに追加するために使用します。[論理サーバポートの設定] ダイアログボックスを表示します。

論理サーバポートを追加するとき、デフォルトで 65535 が必ず設定されます。この 65535 ポートは削除できません。

[変更] ボタン

論理サーバポートの設定を変更するために使用します。[論理サーバポートの設定] ダイアログボックスを表示します。[論理サーバポート] で任意の 1 行を選択するとクリックできます。

[削除] ボタン

論理サーバポートを論理サーバから削除するために使用します。[論理サーバポート] で任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

12.8 [論理サーバポートの設定] ダイアログボックス

[論理サーバポートの設定] ダイアログボックスは、論理サーバに論理サーバポートを追加したり、論理サーバポートの設定を変更したりするためのダイアログボックスです。

[論理サーバポートの設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 12-9 [論理サーバポートの設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[ポート]

論理サーバに定義する TCP/UDP ポート番号を指定します。指定できる値は、1 ~ 65535 の整数です。プルダウンメニューに予約ポートの一覧が表示され、ポートを指定できます。

この項目は [論理サーバの設定] ダイアログボックスの [論理サーバポート] で [変更] ボタンをクリックした場合は編集できません。

この項目は、server virtual-name コマンドの port ポート番号 サブコマンドで設定します。

[状態]

該当するポートの状態を次の二つから選択します。

- 「Enable」
該当するポートを有効にします。
- 「Disable」
該当するポートを無効にします。

デフォルト値は「Enable」です。

この項目は、server virtual-name コマンドの port ポート番号 disable サブコマンドで設定します。

12.9 [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス

[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスは、SLB を構成しているスイッチへ物理サーバを設定するためのダイアログボックスです。[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 12-10 [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[物理サーバ一覧]

定義済みの物理サーバがリストに一覧表示されます。表示内容は、SLB ビューのリストエリアに表示する「物理サーバリスト」と同様です。詳細については、「6.6.1 (7)(e) 物理サーバリスト (HA8000-ie/Loadflowbal)」の「表 6-42 物理サーバリスト (HA8000-ie/Loadflowbal) の表示項目の説明」を参照してください。

[追加] ボタン

物理サーバをスイッチに追加するために使用します。[物理サーバの設定] ダイアログボックスを表示します。

[変更] ボタン

物理サーバの設定を変更するために使用します。[物理サーバの設定] ダイアログボックスを表示します。[物理サーバ一覧] で任意の 1 行を選択するとクリッ

12. 画面 - SLB ビューのダイアログボックス (HA8000-ie/Loadflowbal)

クできます。

[削除] ボタン

物理サーバをスイッチから削除するために使用します。[物理サーバ一覧] で任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

12.10 [物理サーバの設定] ダイアログボックス

[物理サーバの設定] ダイアログボックスは、SLB を構成しているスイッチへ物理サーバを追加したり、物理サーバの設定を変更したりするためのダイアログボックスです。各設定項目の詳細については、スイッチのマニュアルを参照してください。[物理サーバの設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 12-11 [物理サーバの設定] ダイアログボックス

物理サーバ構成情報							
ウェイト	最少接続: 10 応答時間:						
物理サーバポート	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ポート</th> <th>状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SMTP(25)</td> <td>Enable</td> </tr> <tr> <td>POP3(110)</td> <td>Enable</td> </tr> </tbody> </table>	ポート	状態	SMTP(25)	Enable	POP3(110)	Enable
	ポート	状態					
SMTP(25)	Enable						
POP3(110)	Enable						

表示項目について説明します。

[物理サーバ名]

物理サーバ名を 32 文字以内の英数字で指定します。この項目は [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [物理サーバ一覧] で [変更] ボタンをクリックした場合は編集できません。

この項目は、server real-name コマンドを使用して設定します。

[IP アドレス]

該当する物理サーバの IP アドレスを IPv4 形式 (nnn.nnn.nnn.nnn) で指定します。この項目は [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [物理サーバ一覧] で [追加] ボタンをクリックした場合に必ず指定します。また、[変更] ボタンをクリックした場合は編集できません。

この項目は、server real-name コマンドを使用して設定します。

[ウェイト]

[最少接続]

論理サーバのロードバランシング方法に「最少接続」を設定したときに設定し

12. 画面 - SLB ビューのダイアログボックス (HA8000-ie/Loadflowbal)

ます。この項目はオプションです。

サーバ上の接続数に関して、ほかの物理サーバに対する該当する物理サーバのウェイトを指定します。指定できる値は、0 ~ 65000 の整数です。

server real-name コマンドの weight サブコマンドを使用して設定します。

[応答時間]

論理サーバのロードバランシング方法に「応答時間」を設定したときに設定します。この項目はオプションです。

サーバに送信されたクライアント要求に対するサーバの応答時間に関して、ほかの物理サーバに対する該当する物理サーバのウェイトを指定します。指定できる値は、0 ~ 65000 の整数です。

server real-name コマンドの weight サブコマンドを使用して設定します。

[物理サーバポート]

該当する物理サーバに定義されている物理サーバポートの一覧が表示されます。表示内容は、SLB ビューのリストエリアの「物理サーバポートリスト」と同様です。詳細については、「6.6.1 (7)(f) 物理サーバポートリスト (HA8000-ie/Loadflowbal)」の「表 6-43 物理サーバポートリスト (HA8000-ie/Loadflowbal) の表示項目の説明」を参照してください。

[追加] ボタン

物理サーバポートを物理サーバに追加するために使用します。[物理サーバポートの設定] ダイアログボックスを表示します。

物理サーバポートを追加するとき、デフォルトで 65535 が必ず設定されます。この 65535 ポートは削除できません。

[変更] ボタン

物理サーバポートの設定を変更するために使用します。[物理サーバポートの設定] ダイアログボックスを表示します。[物理サーバポート] で任意の 1 行を選択するとクリックできます。

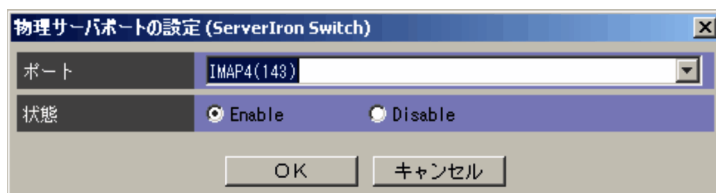
[削除] ボタン

物理サーバポートを物理サーバから削除するために使用します。[物理サーバポート] で任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

12.11 [物理サーバポートの設定] ダイアログボックス

[物理サーバポートの設定] ダイアログボックスは、物理サーバに物理サーバポートを追加したり、物理サーバポートの設定を変更したりするためのダイアログボックスです。
[物理サーバポートの設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 12-12 [物理サーバポートの設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[ポート]

物理サーバに定義する TCP/UDP ポート番号を指定します。指定できる値は、1 ~ 65535 の整数です。プルダウンメニューから予約ポート一覧を表示し、指定できません。

この項目は [物理サーバの設定] ダイアログボックスの [物理サーバポート] で [変更] ボタンをクリックした場合は編集できません。

この項目は、server real-name コマンドの port ポート番号 サブコマンドを使用して設定します。

[状態]

該当するポートの状態を次の二つから選択します。

- 「Enable」
該当するポートを有効にします。
- 「Disable」
該当するポートを無効にします。

デフォルト値は「Enable」です。

この項目は、server real-name コマンドの port ポート番号 enable | disable サブコマンドを使用して設定します。

12.12 [バインド構成情報の設定] ダイアログボックス

[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスは、論理サーバと物理サーバをバインドするためのダイアログボックスです。[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 12-13 [バインド構成情報の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[論理サーバー一覧]

スイッチに定義されている論理サーバのうち、バインド済みの論理サーバを一覧表示します。

[追加] ボタン

バインドの設定を追加するために使用します。[バインドの設定] ダイアログボックスを表示します。

[変更] ボタン

バインドの設定を変更するために使用します。[バインドの設定] ダイアログボックスを表示します。[論理サーバー一覧] で任意の 1 行を選択するとクリックできます。

[削除] ボタン

バインドの設定を削除するために使用します。[論理サーバー一覧] で任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

12.13 [バインドの設定] ダイアログボックス

[バインドの設定] ダイアログボックスは、バインドの設定を追加、変更するためのダイアログボックスです。[バインドの設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 12-14 [バインドの設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[論理サーバ名]

物理サーバをバインドする論理サーバを選択します。該当するスイッチに定義されている論理サーバをプルダウンメニューから選択できます。

この項目は、[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスの [論理サーバ一覧] で [変更] をクリックした場合は設定できません。

[論理サーバポート]

物理サーバをバインドする論理サーバポートを選択します。該当する論理サーバに定義されている論理サーバポートをプルダウンメニューから選択できます。

この項目は、[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスの [論理サーバ一覧] で [変更] をクリックした場合は設定できません。

[物理サーバ一覧]

[バインド可能物理サーバ]

該当するスイッチに定義されていて、バインドを設定できる物理サーバを一覧表示します。

[バインド可能物理サーバ] で選択した物理サーバを、バインド済み物理サーバ

に追加したい場合は、ポートを選択し [追加 >>] ボタンをクリックします。一度に複数の物理サーバを選択して追加できます。選択した物理サーバは [バインド済み物理サーバ] に追加され、[バインド可能物理サーバリスト] から削除されます。

[バインド済み物理サーバ]

該当する論理サーバとそのポートにバインドされている物理サーバを一覧表示します。[バインド済み物理サーバ] で選択した物理サーバを、バインド済み物理サーバポートから削除したい場合は、ポートを選択し [<< 削除] ボタンをクリックします。一度に複数の物理サーバを選択して削除できます。選択した物理サーバは [バインド済み物理サーバ] から削除され、[バインド可能物理サーバリスト] に追加されます。

この項目は、server virtual-name コマンドの bind サブコマンドを使用して設定します。

12.14 [設定結果] ダイアログボックス

[設定結果] ダイアログボックスは、設定内容の結果を確認するためのダイアログボックスです。次の情報を設定した場合に表示されます。

- 論理サーバ構成情報
- 物理サーバ構成情報
- バインド構成情報

12.14.1 [設定結果] ダイアログボックス (論理サーバ構成情報)

[設定結果] ダイアログボックス (論理サーバ構成情報) は、論理サーバ構成情報を設定した結果を確認するためのダイアログボックスです。[論理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスでの設定が完了して、[OK] ボタンをクリックしたときに表示されます。ただし、設定内容すべてがスイッチに反映される前に、ネットワーク構成情報の設定が処理中であることを示すメッセージを閉じた場合は表示されません。[設定結果] ダイアログボックス (論理サーバ構成情報) を次の図に示します。

図 12-15 [設定結果] ダイアログボックス (論理サーバ構成情報)



表示項目について説明します。

[論理サーバ名]

設定が完了した論理サーバの名称が表示されます。

[操作]

該当する論理サーバに対して実行した操作が、「追加」、「変更」、または「削除」で表示されます。

[結果]

該当する論理サーバに対して実行した操作の結果が表示されます。「成功」または「失敗」が表示されます。

[原因]

結果が失敗だった場合、JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージが表示されません。形式は次のとおりです。

「KDNV1nnnn-E メッセージ本文」

JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージの説明と対処方法については、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング」を参照してください。

12.14.2 [設定結果] ダイアログボックス (物理サーバ構成情報)

[設定結果] ダイアログボックス (物理サーバ構成情報) は、物理サーバ構成情報を設定した結果を確認するためのダイアログボックスです。[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスでの設定が完了して、[OK] ボタンをクリックしたときに表示されます。ただし、設定内容すべてがスイッチに反映される前に、ネットワーク構成情報の設定が処理中であることを示すメッセージを閉じた場合は表示されません。[設定結果] ダイアログボックス (物理サーバ構成情報) を次の図に示します。

図 12-16 [設定結果] ダイアログボックス (物理サーバ構成情報)



表示項目について説明します。

[物理サーバ名]

設定が完了した物理サーバの名称が表示されます。

12. 画面 - SLB ビューのダイアログボックス (HA8000-ie/Loadflowbal)

[操作]

該当する物理サーバに対して実行した操作が、「追加」、「変更」、または「削除」で表示されます。

[結果]

該当する物理サーバに対して実行した操作の結果が表示されます。「成功」または「失敗」が表示されます。

[原因]

結果が失敗だった場合、JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージが表示されます。形式は次のとおりです。

「KDNV1nnnn-E メッセージ本文」

JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージの説明と対処方法については、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング」を参照してください。

12.14.3 [設定結果] ダイアログボックス (バインド構成情報)

[設定結果] ダイアログボックス (バインド構成情報) は、バインド構成情報を設定した結果を確認するためのダイアログボックスです。[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスでの設定が完了して、[OK] ボタンをクリックしたときに表示されます。ただし、設定内容すべてがスイッチに反映される前に、ネットワーク構成情報の設定が処理中であることを示すメッセージを閉じた場合は表示されません。[設定結果] ダイアログボックス (バインド構成情報) を次の図に示します。

図 12-17 [設定結果] ダイアログボックス (バインド構成情報)



表示項目について説明します。

[論理サーバ名]

設定が完了した論理サーバの名称が表示されます。

[論理サーバポート]

設定が完了した論理サーバポートが表示されます。

[操作]

該当する物理サーバに対して実行した操作が、「追加」、「変更」、または「削除」で表示されます。

[結果]

該当する物理サーバに対して実行した操作の結果が表示されます。「成功」または「失敗」が表示されます。

[原因]

結果が失敗だった場合、JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージが表示されます。形式は次のとおりです。

「KDNV1nnnn-E メッセージ本文」

JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージの説明と対処方法については、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング」を参照してください。

13

画面 - SLB ビューのダイアログボックス (STM)

この章では、STM の SLB の設定で使用する画面の表示項目、および定義項目について説明します。なお、各画面の表示内容および設定内容の詳細については、適宜 STM のソフトウェアマニュアルを参照してください。

13.1 [ゾーン情報] ダイアログボックス

13.2 [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス

13.3 [物理サーバの設定] ダイアログボックス

13.4 [バインド構成情報の設定] ダイアログボックス

13.5 [ゾーンの選択] ダイアログボックス

13.6 [バインドの設定] ダイアログボックス

13.7 [グループの選択] ダイアログボックス

13.8 [物理サーバの選択] ダイアログボックス

13.9 [設定結果] ダイアログボックス

13.1 [ゾーン情報] ダイアログボックス

[ゾーン情報] ダイアログボックスは、該当するゾーンの基本情報を確認するためのダイアログボックスです。

[ゾーン情報] ダイアログボックスには、[全般] ページと [ポリシー] ページがあります。[全般] ページには、ゾーン名や設定されているロードバランシング方法など、ゾーンの概要が表示されます。[ポリシー] ページには、ゾーンに設定されているポリシーの情報が表示されます。

13.1.1 [全般] ページ

[全般] ページを次の図に示します。

図 13-1 [全般] ページ



表示項目について説明します。

[ゾーン名]

ゾーン名が表示されます。

[Sticky]

該当するゾーンに、「Sticky」が使用されているかどうかが表示されます。

- 「使用」
Sticky が使用されています。
- 「未使用」
Sticky は使用されていません。

また、タイムアウト値が設定されている場合、タイムアウト値も表示されます。

[Full Notice IP]

該当するゾーンで、「Full Notice IP」に設定されている IP アドレスが表示されます。表示形式は、IPv4 形式 (nnn.nnn.nnn.nnn) です。

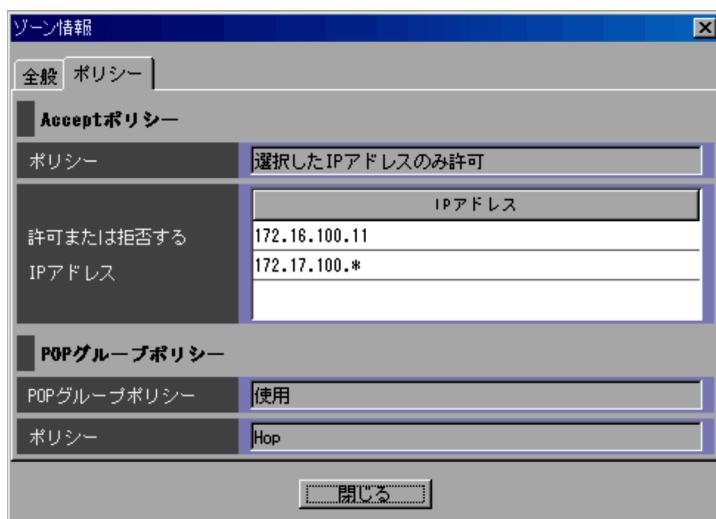
[ロードバランシング方法]

該当するゾーンに設定されているロードバランシング方法が表示されます。設定されていない場合は何も表示されません。

13.1.2 [ポリシー] ページ

[ポリシー] ページを次の図に示します。

図 13-2 [ポリシー] ページ



表示項目について説明します。

[ポリシー] (「Accept ポリシー」内)

ユーザーからのドメイン参照要求に対するアクセス制御方式が表示されます。表示されるアクセス制御方法を次に示します。

- 「すべて許可」
該当するゾーンに「Accept All」が設定されています。
- 「選択した IP アドレスのみ許可」
該当するゾーンに「Accept Selected IP」が設定されています。
- 「選択した IP アドレスのみ拒否」
該当するゾーンに「Deny Selected IP」が設定されています。

[許可または拒否する IP アドレス]

[ポリシー] が「選択した IP アドレスのみ許可」または「選択した IP アドレスのみ拒否」のとき、ドメイン参照要求を許可または拒否する IP アドレスが表示されま

13. 画面 - SLB ビューのダイアログボックス (STM)

す。表示形式は、IPv4 形式 (nnn.nnn.nnn.nnn) です。
設定されていない場合は、何も表示されません。

[POP グループポリシー]

該当するゾーンで、POP グループポリシーが使用されているかどうかが表示されま
す。

- 「使用」

POP グループポリシーが使用されています。

- 「未使用」

POP グループポリシーは使用されていません。

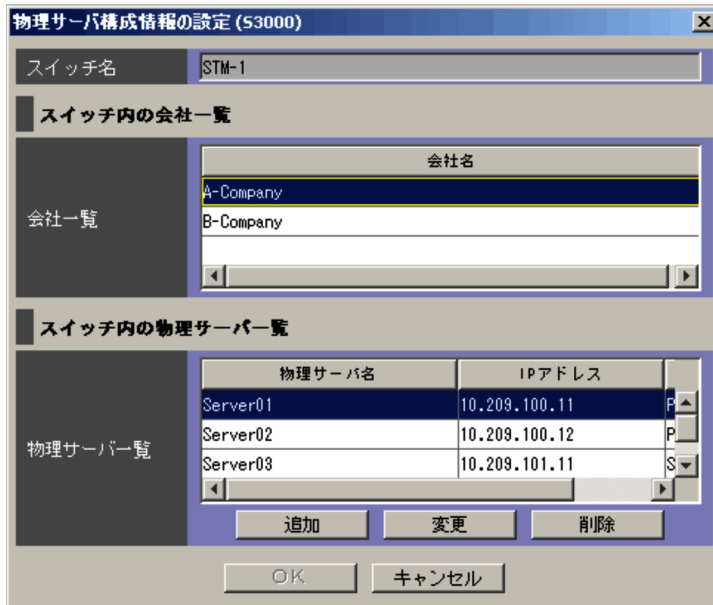
[ポリシー](「POP グループポリシー」内)

使用されている POP グループポリシーが表示されます。

13.2 [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス

[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスは、SLB を構成しているスイッチへ物理サーバを設定するためのダイアログボックスです。[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 13-3 [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[会社一覧]

スイッチに登録されている会社がリストに一覧表示されます。[会社一覧] の任意の行を選択すると、選択した会社を設定されている物理サーバが、[物理サーバ一覧] に表示されます。

[物理サーバ一覧]

定義済みの物理サーバがリストに一覧表示されます。表示内容は、SLB ビューのリストエリアに表示する「物理サーバリスト」と同様です。詳細については、「6.6.1 (8)(h) 物理サーバリスト (STM)」の「表 6-54 物理サーバリスト (STM) の表示項目の説明」を参照してください。

[追加] ボタン

13. 画面 - SLB ビューのダイアログボックス (STM)

物理サーバをスイッチに追加するために使用します。[物理サーバの設定] ダイアログボックスを表示します。

[変更] ボタン

物理サーバの設定を変更するために使用します。[物理サーバの設定] ダイアログボックスを表示します。[物理サーバー一覧] で任意の 1 行を選択するとクリックできます。

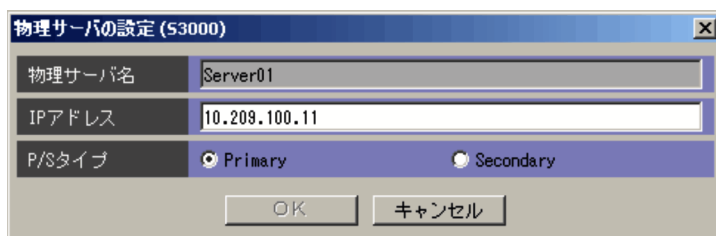
[削除] ボタン

物理サーバをスイッチから削除するために使用します。[物理サーバー一覧] で任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

13.3 [物理サーバの設定] ダイアログボックス

[物理サーバの設定] ダイアログボックスは、SLB を構成しているスイッチへ物理サーバを追加したり、物理サーバの設定を変更したりするためのダイアログボックスです。[物理サーバの設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 13-4 [物理サーバの設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[物理サーバ名]

物理サーバ名を 15 バイト以内の英数字および「-」(半角のハイフン)、「_」(半角のアンダースコア)、「.」(半角のピリオド)で指定します。この項目は [物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスの [物理サーバ一覧] で [変更] ボタンをクリックした場合は編集できません。

なお、STM に設定されている会社名と同じ名称は指定しないでください。

[IP アドレス]

該当する物理サーバの IP アドレスを IPv4 形式 (nnn.nnn.nnn.nnn) で指定します。この項目は必ず指定してください。

IP アドレスは、STM 内でユニークである必要があります。JP1/Cm2/NC では、会社内でユニークな値かどうかだけチェックし、会社をわたるチェックはしません。したがって、ほかの会社内に同じ IP アドレスの物理サーバがないか確認してから設定してください。

[P/S タイプ]

該当する物理サーバをプライマリーサーバまたはセカンダリーサーバのどちらで動作させるかを設定します。セカンダリーサーバは、プライマリーサーバのバックアップサーバとして使用されます。

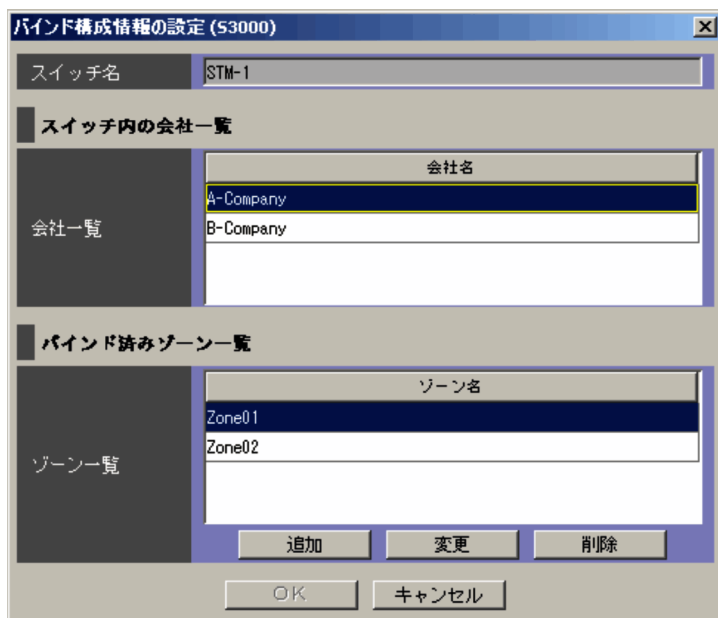
- 「Primary」
プライマリーサーバとして作動させます。
- 「Secondary」
セカンダリーサーバとして作動させます。

デフォルト値は「Primary」です。

13.4 [バインド構成情報の設定] ダイアログボックス

[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスは、スイッチにバインド構成情報を定義するためのダイアログボックスです。[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 13-5 [バインド構成情報の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[会社一覧]

スイッチに登録されている会社がリストに一覧表示されます。[会社一覧] の任意の行を選択すると、選択した会社に設定されているゾーンのうち、バインド済みのゾーンが、[ゾーン一覧] に表示されます。

[ゾーン一覧]

該当する会社を設定されているゾーンのうち、バインド済みのゾーンを一覧表示します。

[追加] ボタン

バインドの設定を追加するために使用します。[ゾーンを選択] ダイアログボックスを表示します。

[変更] ボタン

バインドの設定を変更するために使用します。[バインドの設定] ダイアログボックスを表示します。[ゾーン一覧] で任意の 1 行を選択するとクリックできます。

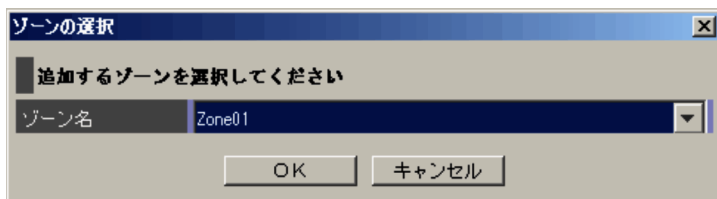
[削除] ボタン

バインドの設定を削除するために使用します。[ゾーン一覧] で任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

13.5 [ゾーンを選択] ダイアログボックス

[ゾーンを選択] ダイアログボックスは、バインドを定義するゾーンを選択するためのダイアログボックスです。[バインドの設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 13-6 [ゾーンを選択] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[ゾーン名]

バインドを定義するゾーンを選択します。該当する会社に設定されているゾーンをプルダウンメニューから選択できます。

13.6 [バインドの設定] ダイアログボックス

[バインドの設定] ダイアログボックスは、該当するゾーンにバインドの設定を追加、変更するためのダイアログボックスです。[バインドの設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 13-7 [バインドの設定] ダイアログボックス



[バインドの設定] ダイアログボックスには、上位の会社をルートにして、該当するゾーンのバインド状況がツリー状に表示されます。ツリーは、ゾーンまで展開されて表示されます。

会社以外の要素を右クリックすると、ショートカットメニューが表示されます。ショートカットメニューについて説明します。

[追加]

ゾーンまたはグループの配下に、グループまたは物理サーバを追加する場合に選択します。

[グループ]

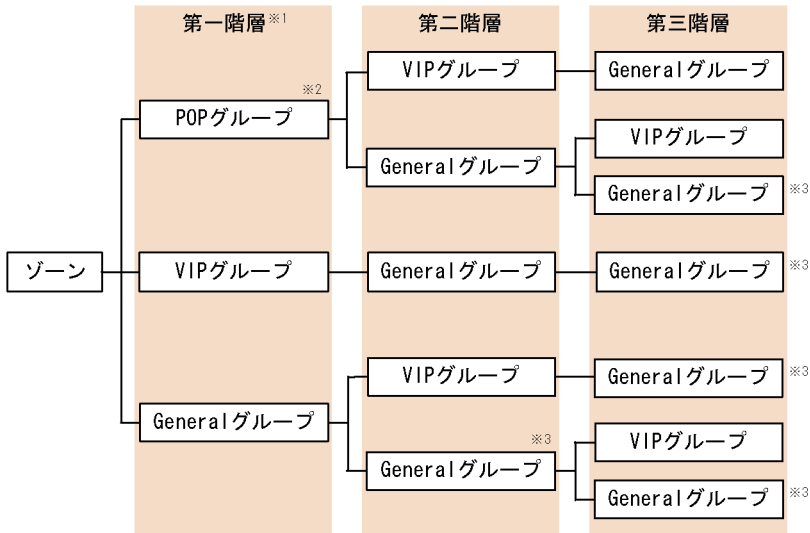
該当する要素の配下にグループを追加する場合に選択します。[グループの選択] ダイアログボックスを表示します。ただし、追加できるグループがまったくない場合、[追加] - [グループ] を選択するとエラーになります。追加できるグループは次の三つです。グループは、ゾーン配下に 3 階層まで追加できます。

- POP グループ
- VIP グループ
- General グループ

13. 画面 - SLB ビューのダイアログボックス (STM)

なお、グループの追加には制限があります。追加できるグループのパターンを次の図に示します。ここではゾーン配下の階層を、順に第一階層、第二階層、第三階層、第三階層と呼びます。

図 13-8 ゾーン配下に追加できるグループのパターン



(凡例)



- 注※1 第一階層にグループを複数設定する場合、次の制限があります。
- ・すでにPOPグループが設定されているとき、追加できるグループはPOPグループだけです。
 - ・すでにVIPグループまたはGeneralグループが設定されているとき、追加できるグループはVIPグループまたはGeneralグループだけです。

注※2 第一階層にすでに物理サーバが設定されている場合は設定できません。

注※3 上位に設定されているGeneralグループと同じGeneralグループは設定できません。

[物理サーバ]

該当する要素の配下に物理サーバを追加する場合に選択します。[物理サーバの選択] ダイアログボックスを表示します。

ただし、第一階層にすでに POP グループが追加されている場合、第一階層には物理サーバを追加できません。

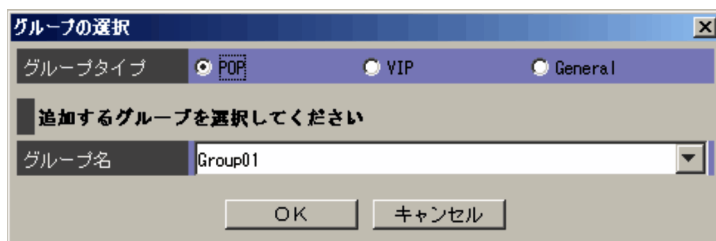
[削除]

ツリーに表示されているグループまたは物理サーバを削除する場合に選択します。

13.7 [グループの選択] ダイアログボックス

[グループの選択] ダイアログボックスは、該当するゾーンまたはグループの下にグループを追加するためのダイアログボックスです。[グループの選択] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 13-9 [グループの選択] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[グループタイプ]

追加するグループのタイプを次の三つから選択します。

- 「POP」
POP グループを追加します。
- 「VIP」
VIP グループを追加します。
- 「General」
General グループを追加します。

上位要素によって、追加できるグループは異なります。追加できないグループは選択できません。追加できるグループについては、「図 13-8 ゾーン配下に追加できるグループのパターン」を参照してください。

また、追加できるグループでも、該当するグループが STM に設定されていない場合は選択できません。

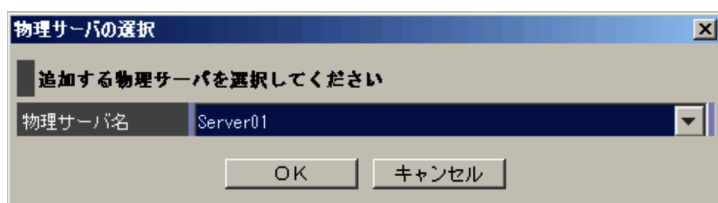
[グループ名]

追加するグループを選択します。グループはプルダウンメニューから選択できます。プルダウンメニューには、グループタイプで選択したタイプに対応するグループのうち、追加できるグループ名が表示されます。

13.8 [物理サーバの選択] ダイアログボックス

[物理サーバの選択] ダイアログボックスは、該当するゾーンまたはグループの下に物理サーバを追加するためのダイアログボックスです。[物理サーバの選択] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 13-10 [物理サーバの選択] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[物理サーバ名]

追加する物理サーバを選択します。物理サーバはプルダウンメニューから選択できます。

13.9 [設定結果] ダイアログボックス

[設定結果] ダイアログボックスは、設定内容の結果を確認するためのダイアログボックスです。次の情報を設定した場合に表示されます。

- 物理サーバ構成情報
- バインド構成情報

13.9.1 [設定結果] ダイアログボックス (物理サーバ構成情報)

[設定結果] ダイアログボックス (物理サーバ構成情報) は、物理サーバ構成情報を設定した結果を確認するためのダイアログボックスです。[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログボックスでの設定が完了して、[OK] ボタンをクリックしたときに表示されます。ただし、設定内容すべてがスイッチに反映される前に、ネットワーク構成情報の設定が処理中であることを示すメッセージを閉じた場合は表示されません。[設定結果] ダイアログボックス (物理サーバ構成情報) を次の図に示します。

図 13-11 [設定結果] ダイアログボックス (物理サーバ構成情報)



表示項目について説明します。

[会社名]

設定が完了した物理サーバを管理する会社の名称が表示されます。

[物理サーバ]

設定が完了した物理サーバの名称が表示されます。

[操作]

13. 画面 - SLB ビューのダイアログボックス (STM)

該当する物理サーバに対して実行した操作が、「追加」、「変更」、または「削除」で表示されます。

[結果]

該当する物理サーバに対して実行した操作の結果が表示されます。「成功」または「失敗」が表示されます。

[原因]

結果が失敗だった場合、JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージが表示されます。形式は次のとおりです。

「KDNV1nnnn-E メッセージ本文」

JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージの説明と対処方法については、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング」を参照してください。

13.9.2 [設定結果] ダイアログボックス (バインド構成情報)

[設定結果] ダイアログボックス (バインド構成情報) は、バインド構成情報を設定した結果を確認するためのダイアログボックスです。[バインド構成情報の設定] ダイアログボックスでの設定が完了して、[OK] ボタンをクリックしたときに表示されます。ただし、設定内容すべてがスイッチに反映される前に、ネットワーク構成情報の設定が処理中であることを示すメッセージを閉じた場合は表示されません。[設定結果] ダイアログボックス (バインド構成情報) を次の図に示します。

図 13-12 [設定結果] ダイアログボックス (バインド構成情報)



表示項目について説明します。

[会社名]

設定が完了したゾーンを管理する会社の名称が表示されます。

[ゾーン名]

設定が完了したゾーンの名称が表示されます。

[操作]

該当するゾーンに対して実行した操作が、「追加」、「変更」、または「削除」で表示されます。

[結果]

該当するゾーンに対して実行した操作の結果が表示されます。「成功」または「失敗」が表示されます。

[原因]

結果が失敗だった場合、JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージが表示されます。形式は次のとおりです。

「KDNV1nnnn-E メッセージ本文」

JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージの説明と対処方法については、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング」を参照してください。

14

画面 - スイッチ構成ビュー のダイアログボックス (AX2400S ・ AX3600S ・ BS2000 ・ BS320 ・ BS500 ・ BS500 1Gbx40)

この章では、AX2400S、AX3600S、BS2000、BS320、BS500、および BS500 1Gbx40 のアクセス制御の設定で使用する画面の表示項目、および定義項目について説明します。また、BS2000、BS320、BS500、および BS500 1Gbx40 のアップリンクフェイルオーバーの設定で使用する画面の表示項目、および定義項目についても説明します。なお、各画面の表示内容および設定内容の詳細については、適宜 AX2400S、AX3600S、および BladeSymphony のソフトウェアマニュアルを参照してください。

14.1 [スイッチ情報] ダイアログボックス

14.2 [アクセス制御リスト情報] ダイアログボックス

14.3 [MAC フィルター情報] ダイアログボックス

14.4 [IPv4 アドレスフィルター情報] ダイアログボックス

14.5 [IPv4 パケットフィルター情報] ダイアログボックス

14.6 [IPv6 フィルター情報] ダイアログボックス

14.7 [アクセス制御情報] ダイアログボックス

-
- 14.8 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス (AX2400S ・ AX3600S の場合)
-
- 14.9 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス (BS2000 ・ BS320 ・ BS500 ・ BS500 1Gbx40 の場合)
-
- 14.10 [アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックス
-
- 14.11 [MAC フィルターの設定] ダイアログボックス
-
- 14.12 [MAC フィルター条件の設定] ダイアログボックス
-
- 14.13 [IPv4 アドレスフィルターの設定] ダイアログボックス
-
- 14.14 [IPv4 アドレスフィルター条件の設定] ダイアログボックス
-
- 14.15 [IPv4 パケットフィルターの設定] ダイアログボックス
-
- 14.16 [IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックス
(AX2400S ・ AX3600S の場合)
-
- 14.17 [IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックス
(BS2000 ・ BS320 ・ BS500 ・ BS500 1Gbx40 の場合)
-
- 14.18 [IPv6 フィルターの設定] ダイアログボックス
-
- 14.19 [IPv6 フィルター条件の設定] ダイアログボックス
-
- 14.20 [アクセス制御情報の設定] ダイアログボックス
-
- 14.21 [設定結果] ダイアログボックス
-

14.1 [スイッチ情報] ダイアログボックス

[スイッチ情報] ダイアログボックスは、スイッチの基本情報やスイッチ構成情報を確認するためのダイアログボックスです。

AX2400S および AX3600S の [スイッチ情報] ダイアログボックスには、[全般] ページと [スイッチ構成情報] ページがあります。

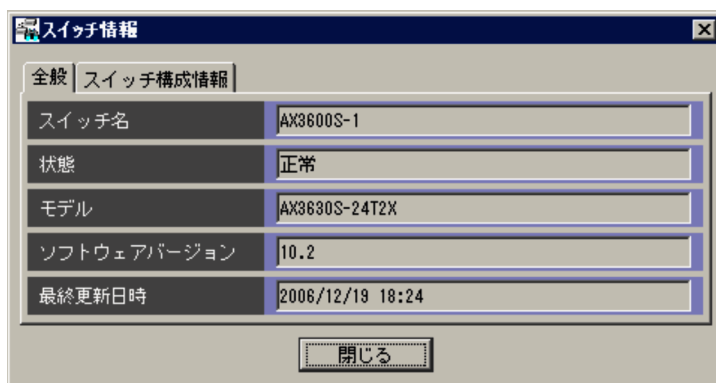
BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 の [スイッチ情報] ダイアログボックスには、[全般] ページ, [フロー検出モード] ページと [アップリンクフェイルオーバー] ページがあります。

[全般] ページには、スイッチ名や状態など、スイッチの基本情報が表示されます。[スイッチ構成情報] ページおよび [フロー検出モード] ページには、該当スイッチのスイッチ構成情報が表示されます。[アップリンクフェイルオーバー] ページには、該当スイッチのアップリンクフェイルオーバーの設定情報が表示されます。

14.1.1 [全般] ページ

[全般] ページは、AX2400S, AX3600S, BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 で表示されます。AX2400S および AX3600S の場合の [全般] ページを次の図に示します。

図 14-1 [全般] ページ (AX2400S・AX3600S の場合)



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義した、該当するスイッチの名称が表示されます。

[状態]

該当するスイッチとの接続状態が表示されます。表示される状態は、スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示される状態アイコンの状態と同じです。詳細について

は、「6.3.1 (3) ツリーエリア」の「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。

[モデル]

該当するスイッチのモデルが表示されます。スイッチから直接取得した情報が表示されます。

[ソフトウェアバージョン]

ルーティングソフトウェアのバージョンが表示されます。バージョンは、先頭から11文字までが表示されます。11文字より長い場合、12文字目以降は表示されません。

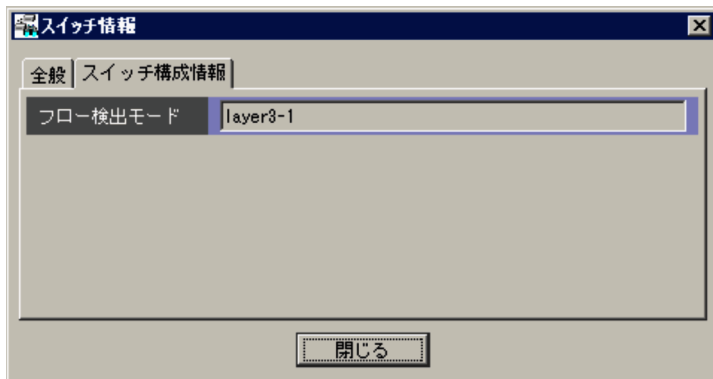
[最終更新日時]

該当するスイッチの構成情報をDBに格納した日時が表示されます。

14.1.2 [スイッチ構成情報] ページ (AX2400S・AX3600Sの場合)

[スイッチ構成情報] ページを次の図に示します。

図 14-2 [スイッチ構成情報] ページ



表示項目について説明します。

[フロー検出モード]

スイッチに設定されているフロー検出モードが表示されます。該当するスイッチに応じて、次のどれかが表示されます。

AX2400S の場合

- 「layer2-1」
- 「layer2-2」
- 「layer2-3」
- 「layer2-4」

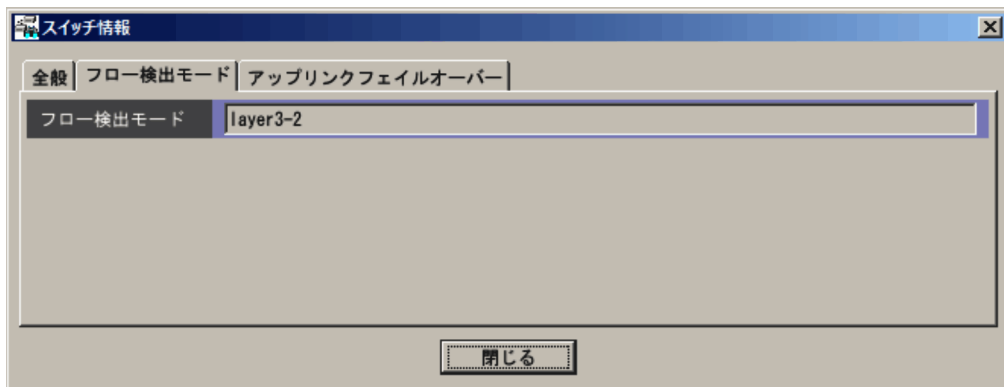
AX3600S の場合

- 「layer3-1」
- 「layer3-2」
- 「layer3-3」
- 「layer3-4」

14.1.3 [フロー検出モード] ページ (BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 の場合)

[フロー検出モード] ページを次の図に示します。

図 14-3 [フロー検出モード] ページ



表示項目について説明します。

[フロー検出モード]

スイッチに設定されているフロー検出モードが表示されます。
該当するスイッチに応じて、次のどれかが表示されます。

BS2000 または BS320 の場合

- 「layer3-1」
- 「layer3-2」
- 「layer3-3」
- 「layer3-4」

BS500 の場合

- 「layer3-1」
- 「layer3-2」
- 「layer3-3」
- 「layer3-4」
- 「layer3-5」

BS500 1Gbx40 の場合

- 「layer3-1」

- 「layer3-2」
- 「layer3-5」
- 「layer3-dhcp-1」

14.1.4 [アップリンクフェイルオーバー] ページ (BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 の場合)

[アップリンクフェイルオーバー] ページを次の図に示します。

図 14-4 [アップリンクフェイルオーバー] ページ



表示項目について説明します。

[拡張機能]

該当するスイッチに設定されているアップリンクフェイルオーバーの拡張機能の種類が表示されます。「拡張機能を使用しない」、「部分ポート単位制御」、「ポート単位制御」のどれかが表示されます。

[インターフェースタイプ]

ポートのインターフェースタイプが表示されます。

[NIF]

NIF 番号が表示されます。

[ポート]

ポート番号が表示されます。

[uplink-failover]

ポートに設定されている外部装置接続用ポートの設定内容が表示されます。すべてのサーバ接続ポートを閉塞させる設定をしている場合、「使用する」と表示されます。または、外部装置接続用ポートのアップリンクフェイルオーバーグループ番号が表示されます。

[uplink-failover-group]

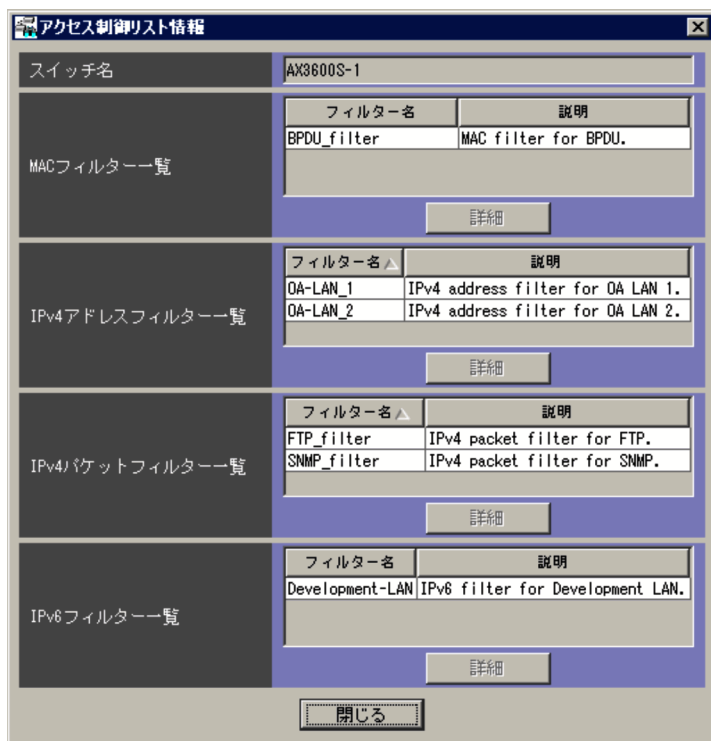
14. 画面 - スイッチ構成ビューのダイアログボックス (AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40)

ポートに設定されているサーバ接続ポートのアップリンクフェイルオーバーグループ番号が表示されます。

14.2 [アクセス制御リスト情報] ダイアログボックス

[アクセス制御リスト情報] ダイアログボックスは、スイッチに設定されているアクセス制御リストの内容を確認するためのダイアログボックスです。[アクセス制御リスト情報] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 14-5 [アクセス制御リスト情報] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[MAC フィルター一覧]

該当するスイッチに設定されている MAC フィルターのフィルター名と説明が一覧で表示されます。

なお,[MAC フィルター一覧]の任意の行を選択したあと,[詳細] ボタンをクリックすると,[MAC フィルター情報] ダイアログボックスが表示されます。

[IPv4 アドレスフィルター一覧]

該当するスイッチに設定されている IPv4 アドレスフィルターのフィルター名と説明が一覧で表示されます。

なお、[IPv4 アドレスフィルター一覧] の任意の行を選択したあと、[詳細] ボタンをクリックすると、[IPv4 アドレスフィルター情報] ダイアログボックスが表示されます。

[IPv4 パケットフィルター一覧]

該当するスイッチに設定されている IPv4 パケットフィルターのフィルター名と説明が一覧で表示されます。

なお、[IPv4 パケットフィルター一覧] の任意の行を選択したあと、[詳細] ボタンをクリックすると、[IPv4 パケットフィルター情報] ダイアログボックスが表示されます。

[IPv6 フィルター一覧]

該当するスイッチに設定されている IPv6 フィルターのフィルター名と説明が一覧で表示されます。

なお、[IPv6 フィルター一覧] の任意の行を選択したあと、[詳細] ボタンをクリックすると、[IPv6 フィルター情報] ダイアログボックスが表示されます。

14.3 [MAC フィルター情報] ダイアログボックス

[MAC フィルター情報] ダイアログボックスは、アクセス制御リスト情報に設定されている、MAC フィルターの設定内容を確認するためのダイアログボックスです。[MAC フィルター情報] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 14-6 [MAC フィルター情報] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[フィルター名]

該当する MAC フィルターのフィルター名が表示されます。

[説明]

該当する MAC フィルターの補足説明が表示されます。

[フィルター条件]

該当する MAC フィルターに設定されているフィルター条件の一覧が表示されます。

[優先番号]

フィルター条件の優先番号が表示されます。

[動作]

フィルター条件に一致した場合の動作が表示されます。

• 「転送」

フィルター条件に一致したパケットを転送します。

• 「廃棄」

フィルター条件に一致したパケットを廃棄します。

[送信元 MAC]

フィルター条件に指定している送信元 MAC アドレスが表示されます。ワイルドカードマスクも指定している場合は、「MAC アドレス/ワイルドカードマスク」の形で表示されます。また、すべての MAC アドレスを条件にしている場合は、「any」と表示されます。

[あて先 MAC]

フィルター条件に指定しているあて先 MAC アドレスが表示されます。ワイルドカードマスクも指定している場合は、「MAC アドレス / ワイルドカードマスク」の形で表示されます。また、すべての MAC アドレスを条件にしている場合は、「any」と表示されます。

[イーサネットタイプ番号]

フィルター条件に指定しているイーサネットタイプ番号が表示されます。フィルター条件として指定していない場合は、この項目に何も表示されません。

[VLAN-ID]

フィルター条件に指定している VLAN-ID が表示されます。フィルター条件として指定していない場合は、この項目に何も表示されません。

[ユーザー優先度]

フィルター条件に指定しているユーザー優先度が表示されます。フィルター条件として指定していない場合は、この項目に何も表示されません。

14.4 [IPv4 アドレスフィルター情報] ダイアログボックス

[IPv4 アドレスフィルター情報] ダイアログボックスは、アクセス制御リスト情報に設定されている、IPv4 アドレスフィルターの設定内容を確認するためのダイアログボックスです。[IPv4 アドレスフィルター情報] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 14-7 [IPv4 アドレスフィルター情報] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[フィルター名]

該当する IPv4 アドレスフィルターのフィルター名が表示されます。

[説明]

該当する IPv4 アドレスフィルターの補足説明が表示されます。

[フィルター条件]

該当する IPv4 アドレスフィルターに設定されているフィルター条件の一覧が表示されます。

[優先番号]

フィルター条件の優先番号が表示されます。

[動作]

フィルター条件に一致した場合の動作が表示されます。

• 「転送」

フィルター条件に一致したパケットを転送します。

• 「廃棄」

フィルター条件に一致したパケットを廃棄します。

[送信元 IP]

フィルター条件に指定している送信元 IP アドレスが表示されます。ワイルドカードマスクも指定している場合は、「IP アドレス/ワイルドカードマスク」の形で表示されます。また、すべての IP アドレスを条件にしている場合は、

14. 画面 - スイッチ構成ビューのダイアログボックス (AX2400S ・ AX3600S ・ BS2000 ・ BS320 ・ BS500 ・ BS500 1Gbx40)

「any」と表示されています。

14.5 [IPv4 パケットフィルター情報] ダイアログボックス

[IPv4 パケットフィルター情報] ダイアログボックスは、アクセス制御リスト情報に設定されている、IPv4 パケットフィルターの設定内容を確認するためのダイアログボックスです。[IPv4 パケットフィルター情報] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 14-8 [IPv4 パケットフィルター情報] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[フィルター名]

該当する IPv4 パケットフィルターのフィルター名が表示されます。

[説明]

該当する IPv4 パケットフィルターの補足説明が表示されます。

[フィルター条件]

該当する IPv4 パケットフィルターに設定されているフィルター条件の一覧が表示されます。

[優先番号]

フィルター条件の優先番号が表示されます。

[動作]

フィルター条件に一致した場合の動作が表示されます。

- 「転送」
フィルター条件に一致したパケットを転送します。
- 「廃棄」
フィルター条件に一致したパケットを廃棄します。

[上位プロトコル]

フィルター条件に指定している上位プロトコルの番号が表示されます。

[送信元 IP]

フィルター条件に指定している送信元 IP アドレスが表示されます。ワイルド

カードマスクも指定している場合は、「IP アドレス/ワイルドカードマスク」の形式で表示されます。また、すべての IP アドレスを条件にしている場合は、「any」と表示されています。

[送信元ポート]

フィルター条件に指定している送信元ポート (TCP ポート番号または UDP ポート番号) が表示されます。BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 の場合で送信元ポートを範囲指定しているときは、「開始ポート番号 - 終了ポート番号」の形式で表示されます。フィルター条件として指定していない場合は、この項目に何も表示されません。

[あて先 IP]

フィルター条件に指定しているあて先 IP アドレスが表示されます。ワイルドカードマスクも指定している場合は、「IP アドレス/ワイルドカードマスク」の形で表示されます。また、すべての IP アドレスを条件にしている場合は、「any」と表示されています。

[あて先ポート]

フィルター条件に指定しているあて先ポート (TCP ポート番号または UDP ポート番号) が表示されます。BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 の場合であて先ポートを範囲指定しているときは、「開始ポート番号 - 終了ポート番号」の形式で表示されます。フィルター条件として指定していない場合は、この項目に何も表示されません。

[TCP フラグ]

上位プロトコルが「tcp(6)」の場合、フィルター条件に指定している TCP フラグが表示されます。複数ある場合は、コンマで区切られて表示されます。フィルター条件として指定していない場合は、この項目に何も表示されません。

[ToS]

フィルター条件に指定している ToS が表示されます。フィルター条件として指定していない場合は、この項目に何も表示されません。

[Precedence]

フィルター条件に指定している Precedence が表示されます。フィルター条件として指定していない場合は、この項目に何も表示されません。

[DSCP]

フィルター条件に指定している DSCP が表示されます。フィルター条件として指定していない場合は、この項目に何も表示されません。

[VLAN-ID]

フィルター条件に指定している VLAN-ID が表示されます。フィルター条件として指定していない場合は、この項目に何も表示されません。

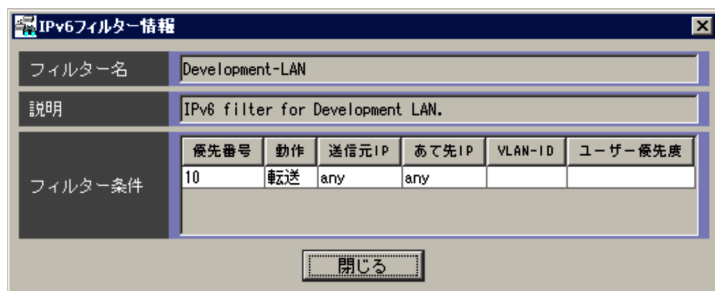
[ユーザー優先度]

フィルター条件に指定しているユーザー優先度が表示されます。フィルター条件として指定していない場合は、この項目に何も表示されません。

14.6 [IPv6 フィルター情報] ダイアログボックス

[IPv6 フィルター情報] ダイアログボックスは、アクセス制御リスト情報に設定されている、IPv6 フィルターの設定内容を確認するためのダイアログボックスです。[IPv6 フィルター情報] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 14-9 [IPv6 フィルター情報] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[フィルター名]

該当する IPv6 フィルターのフィルター名が表示されます。

[説明]

該当する IPv6 フィルターの補足説明が表示されます。

[フィルター条件]

該当する IPv6 フィルターに設定されているフィルター条件の一覧が表示されます。

[優先番号]

フィルター条件の優先番号が表示されます。

[動作]

フィルター条件に一致した場合の動作が表示されます。

- 「転送」
フィルター条件に一致したパケットを転送します。
- 「廃棄」
フィルター条件に一致したパケットを廃棄します。

[送信元 IP]

フィルター条件に指定している送信元 IP アドレスが表示されます。ワイルドカードマスクも指定している場合は、「IP アドレス / ワイルドカードマスク」の形で表示されます。また、すべての IP アドレスを条件にしている場合は、「any」と表示されています。

[あて先 IP]

14. 画面 - スイッチ構成ビューのダイアログボックス (AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40)

フィルター条件に指定しているあて先 IP アドレスが表示されます。ワイルドカードマスクも指定している場合は、「IP アドレス/ワイルドカードマスク」の形で表示されます。また、すべての IP アドレスを条件にしている場合は、「any」と表示されています。

[VLAN-ID]

フィルター条件に指定している VLAN-ID が表示されます。フィルター条件として指定していない場合は、この項目に何も表示されません。

[ユーザー優先度]

フィルター条件に指定しているユーザー優先度が表示されます。フィルター条件として指定していない場合は、この項目に何も表示されません。

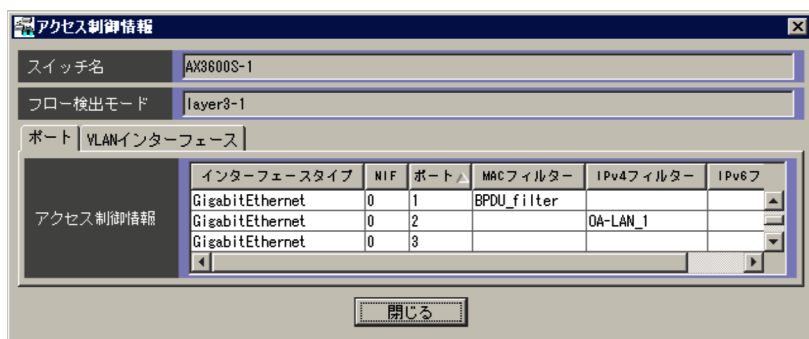
14.7 [アクセス制御情報] ダイアログボックス

[アクセス制御情報] ダイアログボックスは、スイッチに設定されているアクセス制御の状態を確認するためのダイアログボックスです。

[アクセス制御情報] ダイアログボックスには、[ポート] ページと [VLAN インターフェース] ページがあります。[ポート] ページには、ポートに関するアクセス制御の適用状態が表示されます。[VLAN インターフェース] ページには、VLAN インターフェースに関するアクセス制御の適用状態が表示されます。

[アクセス制御情報] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 14-10 [アクセス制御情報] ダイアログボックス



各ページに共通する表示項目について説明します。

[スイッチ名]

スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義した、該当するスイッチの名称が表示されます。

[フロー検出モード]

スイッチに設定されているフロー検出モードが表示されます。該当するスイッチに応じて、次のどれかが表示されます。

AX2400S の場合

- 「layer2-1」
- 「layer2-2」
- 「layer2-3」
- 「layer2-4」

AX3600S, BS2000, および BS320 の場合

- 「layer3-1」
- 「layer3-2」
- 「layer3-3」
- 「layer3-4」

BS500 の場合

- 「layer3-1」
- 「layer3-2」
- 「layer3-3」
- 「layer3-4」
- 「layer3-5」

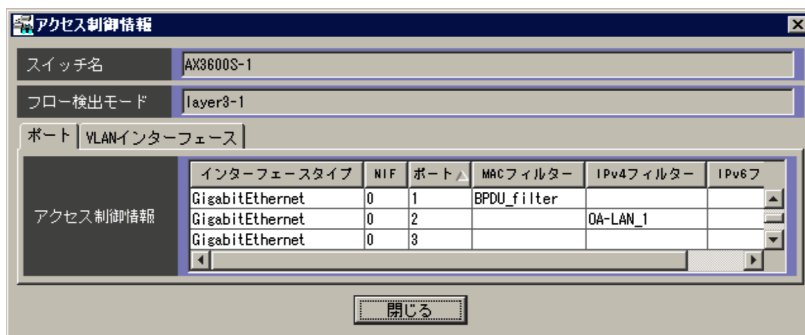
BS500 1Gbx40 の場合

- 「layer3-1」
- 「layer3-2」
- 「layer3-5」
- 「layer3-dhcp-1」

14.7.1 [ポート] ページ

[ポート] ページを次の図に示します。

図 14-11 [アクセス制御情報] ダイアログボックス ([ポート] ページ)



[ポート] ページ部分の表示項目について説明します。

[アクセス制御情報]

該当するスイッチのすべての物理ポート、および物理ポートに適用されているフィルターが一覧で表示されます。

[インターフェースタイプ]

ポートのインターフェースタイプが表示されます。

[NIF]

ポートの NIF 番号が表示されます。

[ポート]

ポートのポート番号が表示されます。

[MAC フィルター]

ポートに適用されている MAC フィルターのフィルター名が表示されます。

[IPv4 フィルター]

ポートに適用されている IPv4 アドレスフィルターまたは IPv4 パケットフィルターのフィルター名が表示されます。

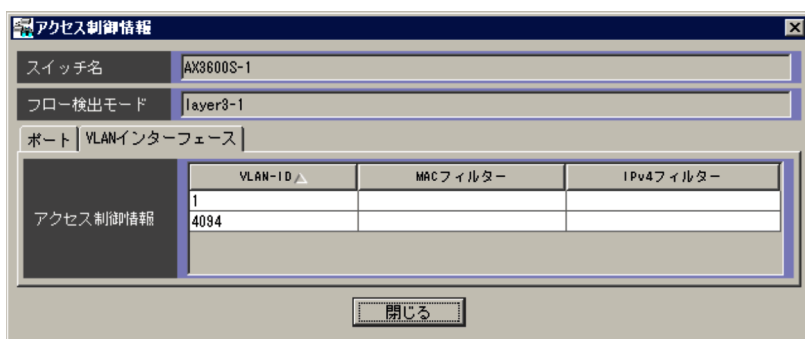
[IPv6 フィルター]

ポートに適用されている IPv6 フィルターのフィルター名が表示されます。

14.7.2 [VLAN インターフェース] ページ

[VLAN インターフェース] ページを次の図に示します。

図 14-12 [アクセス制御情報] ダイアログボックス ([VLAN インターフェース] ページ)



[VLAN インターフェース] ページ部分の表示項目について説明します。

[アクセス制御情報]

該当するスイッチのすべての VLAN インターフェース、および VLAN インターフェースに適用されているフィルターが一覧で表示されます。

[VLAN-ID]

VLAN インターフェースの VLAN-ID が表示されます。

[MAC フィルター]

VLAN インターフェースに適用されている MAC フィルターのフィルター名が表示されます。

[IPv4 フィルター]

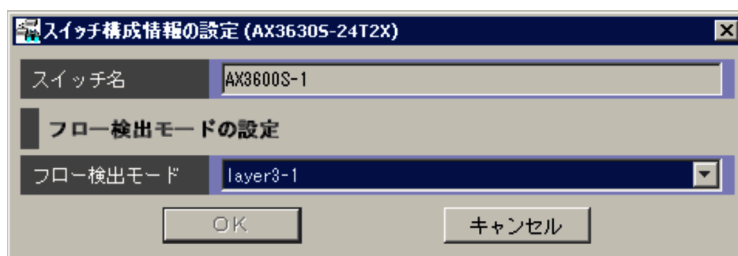
VLAN インターフェースに適用されている IPv4 アドレスフィルターまたは IPv4 パケットフィルターのフィルター名が表示されます。

14.8 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス (AX2400S・AX3600S の場合)

[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスは、スイッチへスイッチ構成情報を設定するためのダイアログボックスです。

[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 14-13 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス (AX2400S・AX3600S の場合)



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[フロー検出モード]

該当するスイッチのフロー検出モードをプルダウンメニューから選択します。スイッチによって選択できるフロー検出モードが異なります。

AX2400S の場合

- ・「layer2-1」
- ・「layer2-2」
- ・「layer2-3」
- ・「layer2-4」

AX3600S の場合

- ・「layer3-1」
- ・「layer3-2」
- ・「layer3-3」
- ・「layer3-4」

また、フロー検出モードによって、アクセス制御情報の設定でインターフェースに適用できるフィルターが異なります。フロー制御の運用に合わせて、モードを選択してください。各フロー検出モードで適用できるフィルターを次の表に示します。

表 14-1 インターフェースに適用できるフィルター (AX2400S の場合)

フロー検出モード	MAC フィルター		IPv4 フィルター		IPv6 フィルター	
	ポート	VLAN インターフェース	ポート	VLAN インターフェース	ポート	VLAN インターフェース
layer2-1			-	-	-	-
layer2-2	-	-			-	-
layer2-3	-	-		-		-
layer2-4	-	-		-		-

(凡例)

- : インターフェースに適用できる。
- : インターフェースに適用できない。

注

IPv4 フィルターは、IPv4 アドレスフィルターおよび IPv4 パケットフィルターです。

表 14-2 インターフェースに適用できるフィルター (AX3600S の場合)

フロー検出モード	MAC フィルター		IPv4 フィルター		IPv6 フィルター	
	ポート	VLAN インターフェース	ポート	VLAN インターフェース	ポート	VLAN インターフェース
layer3-1					-	-
layer3-2	-	-		-	-	-
layer3-3	-	-		-		-
layer3-4	-	-		-		-

(凡例)

- : インターフェースに適用できる。
- : インターフェースに適用できない。

注

IPv4 フィルターは、IPv4 アドレスフィルターおよび IPv4 パケットフィルターです。

フロー検出モードの詳細については、各スイッチのマニュアルを参照してください。
デフォルト値は、実際にスイッチに設定されているモードになります。

14.9 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス (BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 の場合)

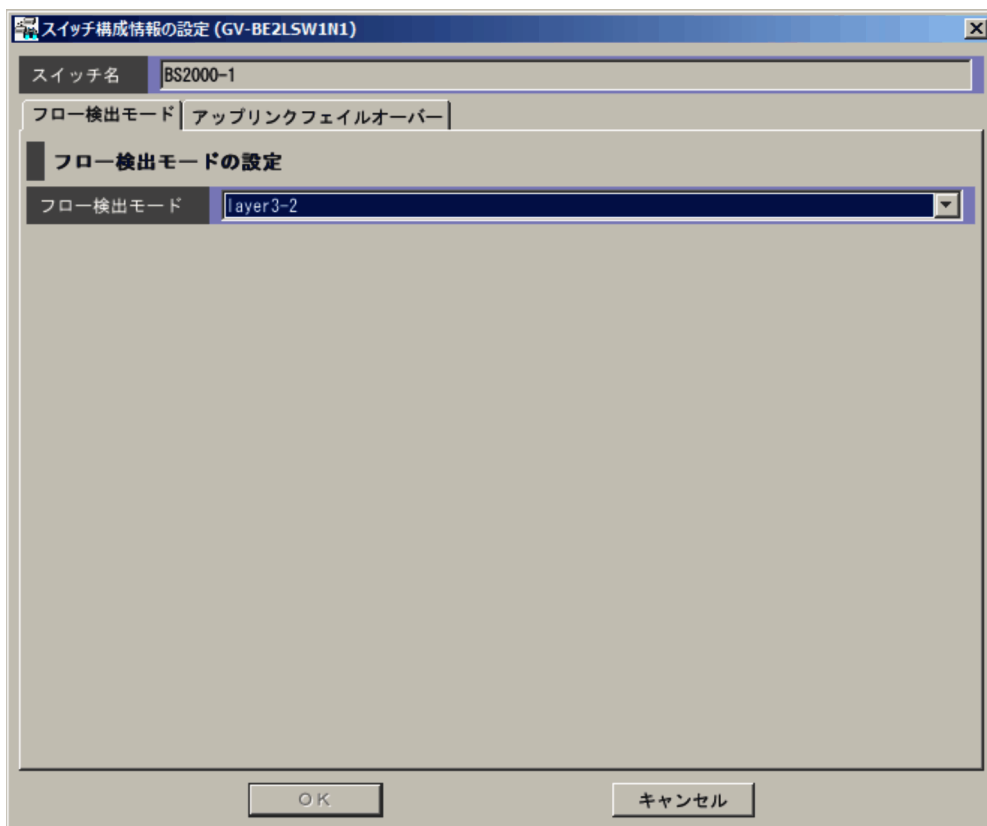
[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスは、スイッチ構成情報を設定したり、アップリンクフェイルオーバーを設定したりするダイアログボックスです。

[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスには [フロー検出モード] ページと [アップリンクフェイルオーバー] ページがあります。[フロー検出モード] ページでは、該当スイッチのスイッチ構成情報を設定します。[アップリンクフェイルオーバー] ページでは、該当スイッチのアップリンクフェイルオーバーの設定情報を設定します。

14.9.1 [フロー検出モード] ページ

[フロー検出モード] ページを次の図に示します。

図 14-14 [フロー検出モード] ページ



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[フロー検出モード]

該当するスイッチのフロー検出モードをプルダウンメニューから選択します。

BS2000 または BS320 の場合

- 「layer3-1」
- 「layer3-2」
- 「layer3-3」
- 「layer3-4」

BS500 の場合

- 「layer3-1」
- 「layer3-2」
- 「layer3-3」
- 「layer3-4」
- 「layer3-5」

BS500 1Gbx40 の場合

- 「layer3-1」
- 「layer3-2」
- 「layer3-5」
- 「layer3-dhcp-1」

また、フロー検出モードによって、アクセス制御情報の設定でインターフェースに適用できるフィルターが異なります。フロー制御の運用に合わせて、モードを選択してください。各フロー検出モードで適用できるフィルターを以降の表に示します。

表 14-3 インターフェースに適用できるフィルター (BS2000・BS320 の場合)

フロー検出モード	MAC フィルター		IPv4 フィルター		IPv6 フィルター	
	ポート	VLAN インターフェース	ポート	VLAN インターフェース	ポート	VLAN インターフェース
layer3-1					-	-
layer3-2	-	-		-	-	-
layer3-3	-	-		-		-
layer3-4	-	-		-		-

表 14-4 インターフェースに適用できるフィルター (BS500 の場合)

フロー検出モード	MAC フィルター		IPv4 フィルター		IPv6 フィルター	
	ポート	VLAN インターフェース	ポート	VLAN インターフェース	ポート	VLAN インターフェース
layer3-1					-	-
layer3-2	-	-			-	-
layer3-3	-	-				-
layer3-4	-	-				-
layer3-5	-	-				-

表 14-5 インターフェースに適用できるフィルター (BS500 1Gbx40 の場合)

フロー検出モード	MAC フィルター		IPv4 フィルター		IPv6 フィルター	
	ポート	VLAN インターフェース	ポート	VLAN インターフェース	ポート	VLAN インターフェース
layer3-1					-	-
layer3-2	-	-			-	-
layer3-5	-	-				-
layer3-dhcp-1	-	-			-	-

(凡例)

- : インターフェースに適用できる。
- : インターフェースに適用できない。

注

IPv4 フィルターは、IPv4 アドレスフィルターおよび IPv4 パケットフィルターです。

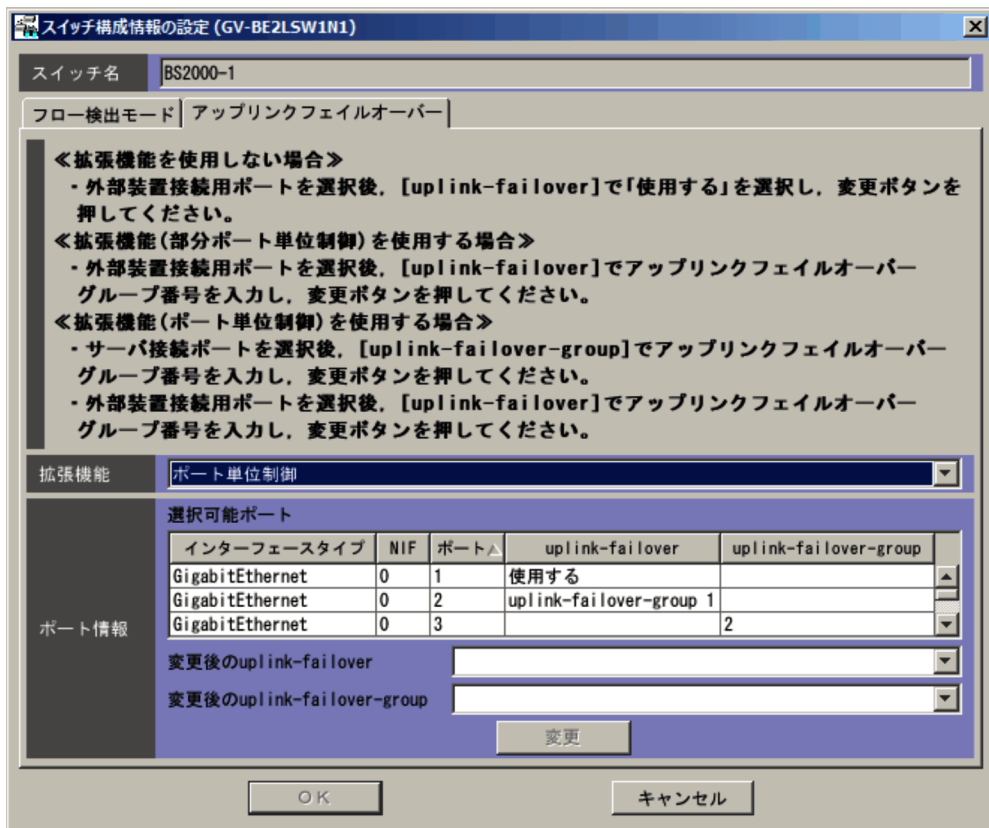
フロー検出モードの詳細については、各スイッチのマニュアルを参照してください。

デフォルト値は、実際にスイッチに設定されているモードになります。

14.9.2 [アップリンクフェイルオーバー] ページ

[アップリンクフェイルオーバー] ページを次の図に示します。

図 14-15 [アップリンクフェイルオーバー] ページ



表示項目について説明します。

[拡張機能]

該当するスイッチに設定するアップリンクフェイルオーバーの拡張機能の種類をプルダウンメニューから選択します。

- ・ 拡張機能を使用しない
- ・ 部分ポート単位制御
- ・ ポート単位制御

[インターフェースタイプ]

ポートのインターフェースタイプが表示されます。

[NIF]

NIF 番号が表示されます。

[ポート]

ポート番号が表示されます。

[uplink-fai lover]

ポートに設定されている外部装置接続用ポートの設定内容が表示されます。すべて

のサーバ接続ポートを閉塞させる設定をしている場合、「使用する」と表示されま
す。または、外部装置接続用ポートのアップリンクフェイルオーバーグループ番号
が表示されます。

[uplink-failover-group]

ポートに設定されているサーバ接続ポートのアップリンクフェイルオーバーグル
ープ番号が表示されます。

[変更後の uplink-failover]

[選択可能ポート] で選択しているポートに外部装置接続用ポートの情報を設定しま
す。アップリンクフェイルオーバーグループを指定する場合は、アップリンクフェ
イルオーバーグループ番号を指定します。すべてのサーバ接続ポートを閉塞させる
場合は、プルダウンメニューから「使用する」を選択します。設定を削除する場
合は、プルダウンメニューから「適用を削除する」を選択します。

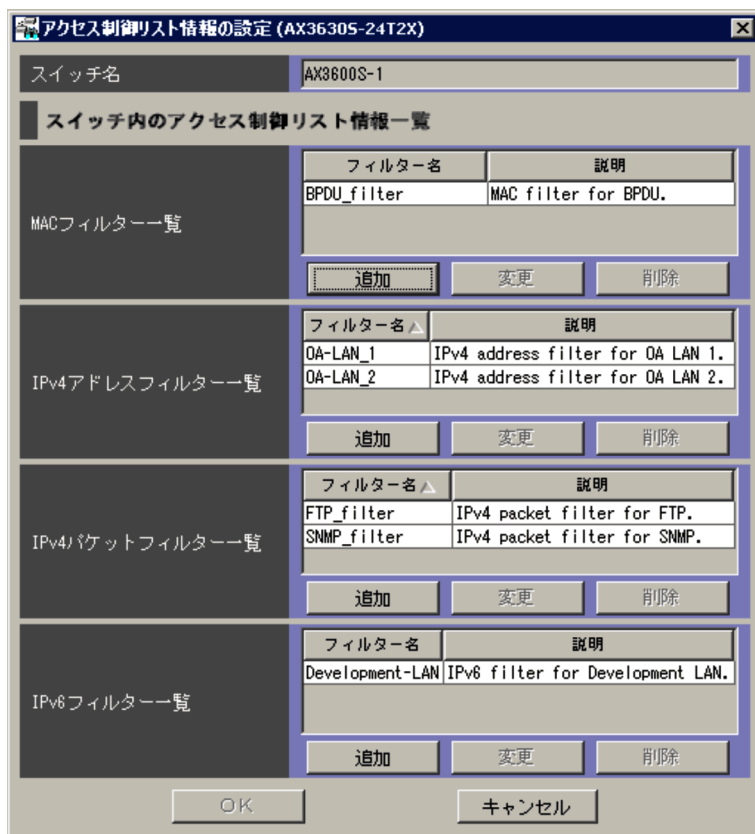
[変更後の uplink-failover-group]

[選択可能ポート] で選択しているポートにサーバ接続ポートの情報を設定しま
す。アップリンクフェイルオーバーグループを指定する場合は、アップリンクフェ
イルオーバーグループ番号を指定します。設定を削除する場合は、プルダウンメ
ニューから「適用を削除する」を選択します。

14.10 [アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックス

[アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスは、スイッチへアクセス制御リスト情報を設定するためのダイアログボックスです。[アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 14-16 [アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[MAC フィルター一覧]

該当するスイッチに設定されている MAC フィルターのフィルター名と説明が一覧で表示されます。

[追加] ボタン

スイッチに MAC フィルターを追加するために使用します。[MAC フィルターの設定] ダイアログボックスを表示します。

スイッチに設定されている MAC フィルター、IPv4 アドレスフィルター、IPv4 パケットフィルターおよび IPv6 フィルターの合計数がすでに 1,024 個の場合は、エラーになって追加できません。

[変更] ボタン

MAC フィルターの設定内容を変更するために使用します。[MAC フィルターの設定] ダイアログボックスを表示します。[MAC フィルター一覧] で、任意の 1 行を選択するとクリックできます。

[削除] ボタン

スイッチから MAC フィルターを削除するために使用します。[MAC フィルター一覧] で任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

インターフェースに適用されていて、かつスイッチに実在しているフィルターは削除できません。

[IPv4 アドレスフィルター一覧]

該当するスイッチに設定されている IPv4 アドレスフィルターのフィルター名と説明が一覧で表示されます。

[追加] ボタン

スイッチに IPv4 アドレスフィルターを追加するために使用します。[IPv4 アドレスフィルターの設定] ダイアログボックスを表示します。

スイッチに設定されている MAC フィルター、IPv4 アドレスフィルター、IPv4 パケットフィルターおよび IPv6 フィルターの合計数がすでに 1,024 個の場合は、エラーになって追加できません。

[変更] ボタン

IPv4 アドレスフィルターの設定内容を変更するために使用します。[IPv4 アドレスフィルターの設定] ダイアログボックスを表示します。[IPv4 アドレスフィルター一覧] で、任意の 1 行を選択するとクリックできます。

[削除] ボタン

スイッチから IPv4 アドレスフィルターを削除するために使用します。[IPv4 アドレスフィルター一覧] で任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

インターフェースに適用されていて、かつスイッチに実在しているフィルターは削除できません。

[IPv4 パケットフィルター一覧]

該当するスイッチに設定されている IPv4 パケットフィルターのフィルター名と説明が一覧で表示されます。

[追加] ボタン

スイッチに IPv4 パケットフィルターを追加するために使用します。[IPv4 パ

ケットフィルターの設定] ダイアログボックスを表示します。

スイッチに設定されているフィルターの数 MAC フィルター, IPv4 アドレスフィルター, IPv4 パケットフィルターおよび IPv6 フィルターの合計数がすでに 1,024 個の場合は, エラーになって追加できません。

[変更] ボタン

IPv4 パケットフィルターの設定内容を変更するために使用します。[IPv4 パケットフィルターの設定] ダイアログボックスを表示します。[IPv4 パケットフィルター一覧] で, 任意の 1 行を選択するとクリックできます。

[削除] ボタン

スイッチから IPv4 パケットフィルターを削除するために使用します。[IPv4 パケットフィルター一覧] で任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

インターフェースに適用されていて, かつスイッチに実在しているフィルターは削除できません。

[IPv6 フィルター一覧]

該当するスイッチに設定されている IPv6 フィルターのフィルター名と説明が一覧で表示されます。

[追加] ボタン

スイッチに IPv6 フィルターを追加するために使用します。[IPv6 フィルターの設定] ダイアログボックスを表示します。

スイッチに設定されている MAC フィルター, IPv4 アドレスフィルター, IPv4 パケットフィルターおよび IPv6 フィルターの合計数がすでに 1,024 個の場合は, エラーになって追加できません。

[変更] ボタン

IPv6 フィルターの設定内容を変更するために使用します。[IPv6 フィルターの設定] ダイアログボックスを表示します。[IPv6 フィルター一覧] で, 任意の 1 行を選択するとクリックできます。

[削除] ボタン

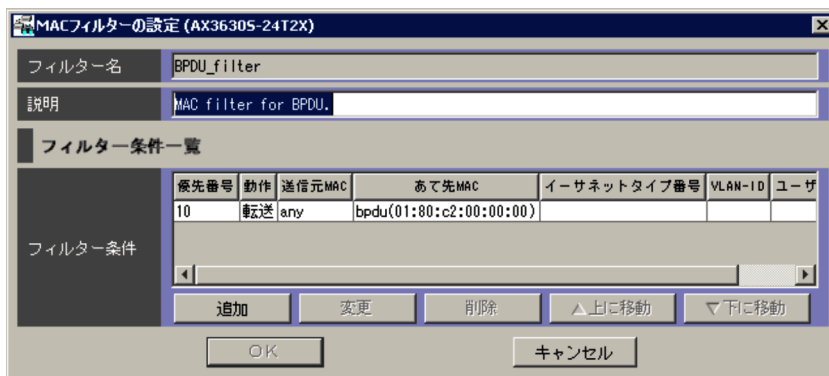
スイッチから IPv6 フィルターを削除するために使用します。[IPv6 フィルター一覧] で任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できません。

インターフェースに適用されていて, かつスイッチに実在しているフィルターは削除できません。

14.11 [MAC フィルターの設定] ダイアログボックス

[MAC フィルターの設定] ダイアログボックスは、スイッチのインターフェースに適用できる MAC フィルターを設定するためのダイアログボックスです。[MAC フィルターの設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 14-17 [MAC フィルターの設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[フィルター名]

該当する MAC フィルターのフィルター名を 31 文字以内の文字列で指定します。先頭は必ず英字にしてください。また、スイッチ内で同じフィルター名は指定できません。使用できる文字は、次のとおりです。

- 英数字
- 「-」(ハイフン)
- 「_」(アンダーバー)
- 「.」(ピリオド)

[アクセス制御リスト情報] ダイアログボックスの [MAC フィルター一覧] で、[追加] ボタンをクリックした場合に必ず指定します。また、[変更] ボタンをクリックした場合は編集できません。

[説明]

該当する MAC フィルターの説明を 64 文字以内の文字列で指定します。使用できる文字は、英数字と特殊文字です。ただし、次に示す記号は使用できません。

- 「"」(引用符)
- 「{ }」(波括弧)
- 「'」(シングルクォーテーション)
- 「`」(逆シングルクォーテーション)
- 「;」(セミコロン)

- 「\$」(ドル記号)
- 「¥」(円記号)

[フィルター条件]を設定しない場合は、指定する必要があります。

[フィルター条件]

該当するフィルターに設定されている MAC フィルター条件の一覧が表示されます。また、フィルター条件の追加、変更、削除および優先順位を変更できます。

一覧に表示される項目は [優先番号]、[動作]、[送信元 MAC]、[あて先 MAC]、[イーサネットタイプ番号]、[VLAN-ID] および [ユーザー優先度] です。[優先番号]の昇順にソートして表示されます。各項目の表示内容は、[MAC フィルター情報]ダイアログボックスと同じです。詳細については、「14.3 [MAC フィルター情報]ダイアログボックス」を参照してください。なお、[フィルター条件]は、カラムごとにソートできません。

[説明]を設定しない場合は、指定する必要があります。

[追加] ボタン

フィルター条件を追加するために使用します。[MAC フィルター条件の設定]ダイアログボックスを表示します。

スイッチに設定されているすべての MAC フィルターのフィルター条件の総数がすでに 1,024 件の場合は、エラーになって追加できません。

[変更] ボタン

フィルター条件の設定内容を変更するために使用します。[MAC フィルター条件の設定]ダイアログボックスを表示します。[フィルター条件]で、任意の 1 行を選択するとクリックできます。

[削除] ボタン

フィルター条件を削除するために使用します。[フィルター条件]で任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

[上に移動] ボタン

選択したフィルター条件を上位にあるフィルター条件の一つ上に移動するために使用します。このとき、設定されている優先番号が入れ替わります。例えば、優先番号 1 と優先番号 3 のフィルター条件が並んでいて、優先番号 3 のフィルター条件を選択した状態で [上に移動] ボタンをクリックした場合、上に移動したフィルター条件の優先番号が 3 から 1 に変更され、下に移動したフィルター条件の優先番号が 1 から 3 に変更されます。

[下に移動] ボタン

選択したフィルター条件を下位にあるフィルター条件の一つ下に移動するために使用します。このとき、設定されている優先番号が入れ替わります。例えば、優先番号 3 と優先番号 5 のフィルター条件が並んでいて、優先番号 3 のフィルター条件を選択した状態で [下に移動] ボタンをクリックした場合、下に移動したフィルター条件の優先番号が 3 から 5 に変更され、上に移動したフィルター条件の優先番号が 5 から 3 に変更されます。

14. 画面 - スイッチ構成ビューのダイアログボックス (AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40)

[アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスの [変更] ボタンをクリックして表示された場合, [フィルター名] 以外を設定していない状態で [OK] ボタンをクリックすると, フィルターを削除するための確認ダイアログボックスが表示されます。確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックするとフィルターは削除されます。ただし, インターフェイスに適用されていて, かつスイッチに実在しているフィルターは削除されません。

14.12 [MAC フィルター条件の設定] ダイアログボックス

[MAC フィルター条件の設定] ダイアログボックスは、スイッチに設定するフィルターの MAC フィルター条件を設定するためのダイアログボックスです。[MAC フィルター条件の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 14-18 [MAC フィルター条件の設定] ダイアログボックス

優先番号	10	
動作	<input checked="" type="radio"/> 転送 <input type="radio"/> 廃棄	
送信元MAC	MACアドレス	any
	MACワイルドカードマスク	
宛先MAC	MACアドレス	bpu(01:80:c2:00:00:00)
	MACワイルドカードマスク	
イーサネットタイプ番号		
VLAN-ID		
ユーザー優先度		

表示項目について説明します。

[優先番号]

該当する MAC フィルター条件の優先番号を 1 ~ 4294967294 の整数で指定します。デフォルト値は、既存のフィルター条件に設定されている優先番号の最大値 +10 の値になります。フィルター条件が一つもない場合は 10 になります。設定されている優先番号の最大値 +10 が設定できる値を超える場合は、デフォルト値が設定されないため、指定する必要があります。同じフィルターのフィルター条件で、すでに設定されている優先番号は指定できません。

[動作]

フィルター条件に一致したときの動作を指定します。

- 「転送」
フィルター条件に一致したパケットを転送します。
- 「廃棄」
フィルター条件に一致したパケットを廃棄します。

デフォルト値は「転送」です。

[送信元 MAC]

フィルター条件に送信元 MAC アドレスを指定します。

[MAC アドレス]

送信元 MAC アドレスを、「nn:nn:nn:nn:nn:nn」形式で指定します。使用できる文字は、数字、a ~ f, A ~ F, および「:」(コロン)です。また、すべての MAC アドレスを指定したい場合は、プルダウンメニューから「any」を選択できます。

[MAC ワイルドカードマスク]

送信元 MAC アドレスを複数指定したいときに、[MAC アドレス] と合わせて「nn:nn:nn:nn:nn:nn」形式で、00:00:00:00:00:01 ~ ff:ff:ff:ff:ff:fe の範囲で指定します。[MAC アドレス] が「any」の場合は指定できません。使用できる文字は、数字、a ~ f, A ~ F, および「:」(コロン)です。

ワイルドカードマスクは、任意にしたいビットに 1 を指定します。例えば、[MAC アドレス] を「aa:aa:aa:aa:aa:aa」,[MAC ワイルドカードマスク] を「00:00:00:00:ff:ff」と指定した場合は、aa:aa:aa:aa:00:00 ~ aa:aa:aa:aa:ff:ff の範囲が有効になります。ワイルドカードマスクを設定しない場合は、[MAC アドレス] に設定したアドレスだけが有効になります。

[あて先 MAC]

フィルター条件にあて先 MAC アドレスを指定します。

[MAC アドレス]

あて先 MAC アドレスを、「nn:nn:nn:nn:nn:nn」形式で指定します。使用できる文字は、数字、a ~ f, A ~ F, および「:」(コロン)です。プルダウンメニューから予約語を選択することもできます。すべての MAC アドレスを指定したい場合は、プルダウンメニューから「any」を選択します。プルダウンメニューから選択できる項目は次のとおりです。

- 「any」
- 「bpdu(01:80:c2:00:00:00)」
- 「cdp(01:00:0c:cc:cc:cc)」
- 「lacp/slow-protocol(01:80:c2:00:00:02)」
- 「lldp(01:00:87:58:13:10)」
- 「oadp(01:00:4c:79:fd:1b)」
- 「pvst-plus-bpdu(01:00:0c:cc:cc:cd)」

[MAC ワイルドカードマスク]

あて先 MAC アドレスを複数指定したいときに、[MAC アドレス] と合わせて「nn:nn:nn:nn:nn:nn」形式で、00:00:00:00:00:01 ~ ff:ff:ff:ff:ff:fe の範囲で指定します。[MAC アドレス] がプルダウンメニューから選択されている場合は指定できません。使用できる文字は、数字、a ~ f, A ~ F, および「:」(コロン)です。

ワイルドカードマスクは、任意にしたいビットに 1 を指定します。例えば、[MAC アドレス] を「aa:aa:aa:aa:aa:aa」,[MAC ワイルドカードマスク] を「00:00:00:00:ff:ff」と指定した場合は、aa:aa:aa:aa:00:00 ~ aa:aa:aa:aa:ff:ff の

範囲が有効になります。ワイルドカードマスクを設定しない場合は、[MAC アドレス] に設定したアドレスだけが有効になります。

注意

予約語の値は、[MAC ワイルドカードマスク] が指定されていない場合にだけ、その予約語に対応します。例えば、[MAC アドレス] が「01:80:c2:00:00:00」で [MAC ワイルドカードマスク] が指定無しの場合は、「bpdu(01:80:c2:00:00:00)」になります。しかし、[MAC アドレス] が「01:80:c2:00:00:00」で [MAC ワイルドカードマスク] が「00:00:00:00:ff:ff」の場合は、[MAC アドレス] が「bpdu(01:80:c2:00:00:00)」で [MAC ワイルドカードマスク] が「00:00:00:00:ff:ff」にはならないことにご注意ください。

[イーサネットタイプ番号]

MAC フィルター条件としてイーサネットタイプ番号を、0000 ~ ffff の 4 けたの 16 進数で指定します。使用できる文字は、数字、a ~ f、A ~ F です。プルダウンメニューから選択することもできます。プルダウンメニューから選択できる項目は次のとおりです。

- 「gsrp」
- 「xns(0600)」
- 「ipv4(0800)」
- 「arp(0806)」
- 「appletalk(809b)」
- 「ipx(8137)」
- 「ipv6(86dd)」
- 「eapol(888e)」

この項目は省略できます。

[VLAN-ID]

該当する MAC フィルター条件の VLAN-ID を 1 ~ 4094 の整数で指定します。実際の VLAN の存在有無は関係なく指定できます。この項目は省略できます。

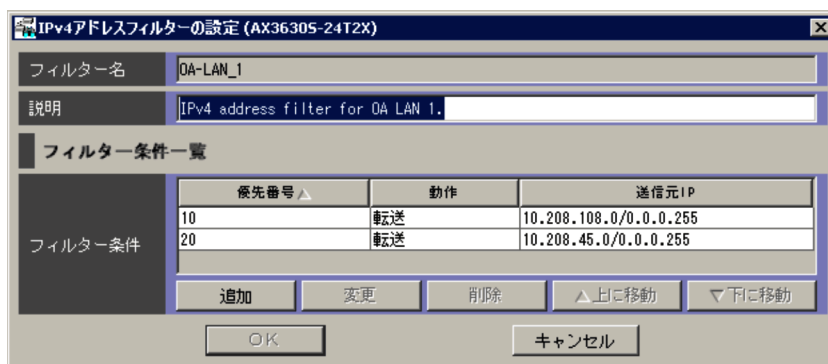
[ユーザー優先度]

MAC フィルター条件としてユーザー優先度を 0 ~ 7 の整数で指定します。値が大きいほど優先度が高くなります。この項目は省略できます。

14.13 [IPv4 アドレスフィルターの設定] ダイアログボックス

[IPv4 アドレスフィルターの設定] ダイアログボックスは、スイッチのインターフェースに適用できる IPv4 アドレスフィルターを設定するためのダイアログボックスです。
[IPv4 アドレスフィルターの設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 14-19 [IPv4 アドレスフィルターの設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[フィルター名]

該当する IPv4 アドレスフィルターのフィルター名を入力します。入力できる値は、1 ~ 99, 1300 ~ 1999 の整数、または 31 文字以内の文字列です。文字列の先頭は必ず英字にしてください。また、スイッチ内で同じフィルター名は指定できません。使用できる文字は、次のとおりです。

- 英数字
- 「-」(ハイフン)
- 「_」(アンダーバー)
- 「.」(ピリオド)

[アクセス制御リスト情報] ダイアログボックスの [IPv4 アドレスフィルター一覧] で、[追加] ボタンをクリックした場合に必ず指定します。また、[変更] ボタンをクリックした場合は編集できません。

[説明]

該当する IPv4 アドレスフィルターの説明を 64 文字以内の文字列で指定します。使用できる文字は、英数字と特殊文字です。ただし、次に示す記号は使用できません。

- 「"」(引用符)
- 「{ }」(波括弧)
- 「'」(シングルクォーテーション)
- 「`」(逆シングルクォーテーション)

- 「;」(セミコロン)
- 「\$」(ドル記号)
- 「¥」(円記号)

[フィルター条件]を設定しない場合は、指定する必要があります。

[フィルター条件]

該当するフィルターに設定されている IPv4 アドレスフィルター条件の一覧が表示されます。また、フィルター条件の追加、変更、削除および優先順位を変更できます。一覧に表示される項目は [優先番号]、[動作] および [送信元 IP] です。[優先番号] の昇順にソートして表示されます。各項目の表示内容は、[IPv4 アドレスフィルター情報] ダイアログボックスと同じです。詳細については、「14.4 [IPv4 アドレスフィルター情報] ダイアログボックス」を参照してください。なお、[フィルター条件] は、カラムごとにソートできません。

[説明]を設定しない場合は、指定する必要があります。

[追加] ボタン

フィルター条件を追加するために使用します。[IPv4 アドレスフィルター条件の設定] ダイアログボックスを表示します。

スイッチに設定されているすべての IPv4 アドレスフィルターのフィルター条件の総数がすでに 1,024 件の場合は、エラーになって追加できません。

[変更] ボタン

選択しているフィルター条件の設定内容を変更するために使用します。[IPv4 アドレスフィルター条件の設定] ダイアログボックスを表示します。[フィルター条件] で、任意の 1 行を選択するとクリックできます。

[削除] ボタン

フィルター条件を削除するために使用します。[フィルター条件] で任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

[上に移動] ボタン

選択したフィルター条件を上位にあるフィルター条件の一つ上に移動するために使用します。このとき、設定されている優先番号が入れ替わります。例えば、優先番号 1 と優先番号 3 のフィルター条件が並んでいて、優先番号 3 のフィルター条件を選択した状態で [上に移動] ボタンをクリックした場合、上に移動したフィルター条件の優先番号が 3 から 1 に変更され、下に移動したフィルター条件の優先番号が 1 から 3 に変更されます。

[下に移動] ボタン

選択したフィルター条件を下位にあるフィルター条件の一つ下に移動するために使用します。このとき、設定されている優先番号が入れ替わります。例えば、優先番号 3 と優先番号 5 のフィルター条件が並んでいて、優先番号 3 のフィルター条件を選択した状態で [下に移動] ボタンをクリックした場合、下に移動したフィルター条件の優先番号が 3 から 5 に変更され、上に移動したフィルター条件の優先番号が 5 から 3 に変更されます。

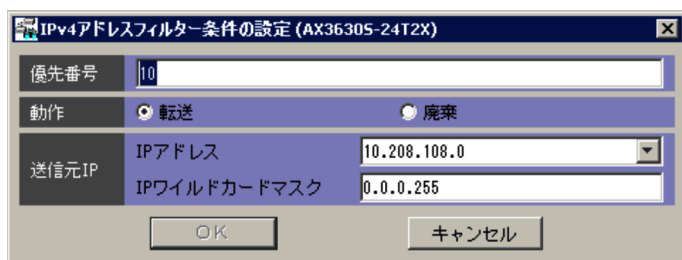
14. 画面 - スイッチ構成ビューのダイアログボックス (AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40)

[アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスの [変更] ボタンをクリックして表示された場合, [フィルター名] 以外を設定していない状態で [OK] ボタンをクリックすると, フィルターを削除するための確認ダイアログボックスが表示されます。確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックするとフィルターは削除されます。ただし, インターフェイスに適用されていて, かつスイッチに実在しているフィルターは削除されません。

14.14 [IPv4 アドレスフィルター条件の設定] ダイアログボックス

[IPv4 アドレスフィルター条件の設定] ダイアログボックスは、スイッチに設定するフィルターの IPv4 アドレスフィルター条件を設定するためのダイアログボックスです。
[IPv4 アドレスフィルター条件の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 14-20 [IPv4 アドレスフィルター条件の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[優先番号]

該当する IPv4 アドレスフィルター条件の優先番号を 1 ~ 4294967294 の整数で指定します。デフォルト値は、既存のフィルター条件に設定されている優先番号の最大値 +10 の値になります。フィルター条件が一つもない場合は 10 になります。設定されている優先番号の最大値 +10 が設定できる値を超える場合は、デフォルト値が設定されないため、指定する必要があります。
同じフィルターのフィルター条件で、すでに設定されている優先番号は指定できません。

[動作]

フィルター条件に一致したときの動作を指定します。

- 「転送」
フィルター条件に一致したパケットを転送します。
- 「廃棄」
フィルター条件に一致したパケットを廃棄します。

デフォルト値は「転送」です。

[送信元 IP]

フィルター条件に送信元 IP アドレスを指定します。

[IP アドレス]

送信元 IP アドレスを、「nnn.nnn.nnn.nnn」形式で、0.0.0.0 ~ 255.255.255.255 の範囲で指定します。使用できる文字は、数字と「.」(ピリオド)です。また、すべての IP アドレスを指定したい場合は、プルダウンメ

ニューから「any」を選択できます。

[IP ワイルドカードマスク]

送信元 IP アドレスを複数指定したいときに、[IP アドレス] と合わせて「nnn.nnn.nnn.nnn」形式で、0.0.0.1 ~ 255.255.255.254 の範囲で指定します。使用できる文字は、数字と「.」(ピリオド)です。[IP アドレス] が「any」の場合は指定できません。

ワイルドカードマスクは、任意にしたいビットに 1 を指定します。例えば、[IP アドレス] を「10.20.100.200」、[IP ワイルドカードマスク] を「0.0.255.255」と指定した場合は、10.20.0.0 ~ 10.20.255.255 の範囲が有効になります。ワイルドカードマスクを設定しない場合は、[IP アドレス] に設定したアドレスだけが有効になります。

14.15 [IPv4 パケットフィルターの設定] ダイアログボックス

[IPv4 パケットフィルターの設定] ダイアログボックスは、スイッチのインターフェースに適用できる IPv4 パケットフィルターを設定するためのダイアログボックスです。

[IPv4 パケットフィルターの設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 14-21 [IPv4 パケットフィルターの設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[フィルター名]

該当する IPv4 パケットフィルターのフィルター名を入力します。入力できる値は、100 ~ 199, 2000 ~ 2699 の整数、または 31 文字以内の文字列です。文字列の先頭は必ず英字にしてください。また、スイッチ内で同じフィルター名は指定できません。使用できる文字は、次のとおりです。

- 英数字
- 「-」(ハイフン)
- 「_」(アンダーバー)
- 「.」(ピリオド)

[アクセス制御リスト情報] ダイアログボックスの [IPv4 パケットフィルター一覧] で、[追加] ボタンをクリックした場合に必ず指定します。また、[変更] ボタンをクリックした場合は編集できません。

[説明]

該当する IPv4 パケットフィルターの説明を 64 文字以内の文字列で指定します。使用できる文字は、英数字と特殊文字です。ただし、次に示す記号は使用できません。

- 「"」(引用符)
- 「{ }」(波括弧)
- 「'」(シングルクォーテーション)
- 「\」(逆シングルクォーテーション)

- 「;」(セミコロン)
- 「\$」(ドル記号)
- 「¥」(円記号)

[フィルター条件]を設定しない場合は、指定する必要があります。

[フィルター条件]

該当するフィルターに設定されている IPv4 パケットフィルター条件の一覧が表示されます。また、フィルター条件の追加、変更、削除および優先順位を変更できます。一覧に表示される項目は [優先番号]、[動作]、[上位プロトコル]、[送信元 IP]、[送信元ポート]、[あて先 IP]、[あて先ポート]、[TCP フラグ]、[ToS]、[Precedence]、[DSCP]、[VLAN-ID] および [ユーザー優先度] です。[優先番号] の昇順にソートして表示されます。各項目の表示内容は、[IPv4 パケットフィルター情報] ダイアログボックスと同じです。詳細については、「14.5 [IPv4 パケットフィルター情報] ダイアログボックス」を参照してください。なお、[フィルター条件] は、カラムごとにソートできません。

[説明]を設定しない場合は、指定する必要があります。

[追加] ボタン

フィルター条件を追加するために使用します。[IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックスを表示します。

スイッチに設定されているすべての IPv4 パケットフィルターのフィルター条件の総数がすでに 1,024 件の場合は、エラーになって追加できません。

[変更] ボタン

選択しているフィルター条件の設定内容を変更するために使用します。[IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックスを表示します。[フィルター条件] で、任意の 1 行を選択するとクリックできます。

[削除] ボタン

フィルター条件を削除するために使用します。[フィルター条件] で任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

[上に移動] ボタン

選択したフィルター条件を上位にあるフィルター条件の一つ上に移動するために使用します。このとき、設定されている優先番号が入れ替わります。例えば、優先番号 1 と優先番号 3 のフィルター条件が並んでいて、優先番号 3 のフィルター条件を選択した状態で [上に移動] ボタンをクリックした場合、上に移動したフィルター条件の優先番号が 3 から 1 に変更され、下に移動したフィルター条件の優先番号が 1 から 3 に変更されます。

[下に移動] ボタン

選択したフィルター条件を下位にあるフィルター条件の一つ下に移動するために使用します。このとき、設定されている優先番号が入れ替わります。例えば、優先番号 3 と優先番号 5 のフィルター条件が並んでいて、優先番号 3 のフィルター条件を選択した状態で [下に移動] ボタンをクリックした場合、下に移動

したフィルター条件の優先番号が 3 から 5 に変更され、上に移動したフィルター条件の優先番号が 5 から 3 に変更されます。

[アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスの [変更] ボタンをクリックして表示された場合、[フィルター名] 以外を設定していない状態で [OK] ボタンをクリックすると、フィルターを削除するための確認ダイアログボックスが表示されます。確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックするとフィルターは削除されます。ただし、インターフェースに適用されていて、かつスイッチに実在しているフィルターは削除されません。

14.16 [IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックス (AX2400S ・ AX3600S の場合)

[IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックスは、スイッチに設定するフィルターの IPv4 パケットフィルター条件を設定するためのダイアログボックスです。AX2400S および AX3600S の場合の [IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 14-22 [IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックス (AX2400S および AX3600S の場合)

The screenshot shows a dialog box titled "IPv4パケットフィルター条件の設定 (AX3630S-24T2X)". The fields are as follows:

優先番号	10	
動作	<input checked="" type="radio"/> 転送 <input type="radio"/> 廃棄	
上位プロトコル	tcp(6)	
送信元IP	IPアドレス	any
	IPワイルドカードマスク	
送信元ポート	TCPポート番号	
	UDPポート番号	
あて先IP	IPアドレス	any
	IPワイルドカードマスク	
あて先ポート	TCPポート番号	ftp(21)
	UDPポート番号	
TCPフラグ	<input type="checkbox"/> ack <input type="checkbox"/> fin <input type="checkbox"/> psh <input type="checkbox"/> rst <input type="checkbox"/> syn <input type="checkbox"/> urg	
ToS		
Precedence		
DSCP		
VLAN-ID		
ユーザー優先度		

Buttons: OK, キャンセル

表示項目について説明します。

[優先番号]

該当する IPv4 パケットフィルター条件の優先番号を 1 ~ 4294967294 の整数で指定します。デフォルト値は、既存のフィルター条件に設定されている優先番号の最大値 +10 の値になります。フィルター条件が一つもない場合は 10 になります。設定

されている優先番号の最大値 +10 が設定できる値を超える場合は、デフォルト値が設定されないため、指定する必要があります。
同じフィルターのフィルター条件で、すでに設定されている優先番号は指定できません。

[動作]

フィルター条件に一致したときの動作を指定します。

- 「転送」
フィルター条件に一致したパケットを転送します。
- 「廃棄」
フィルター条件に一致したパケットを廃棄します。

デフォルト値は「転送」です。

[上位プロトコル]

該当する IPv4 パケットフィルター条件の上位プロトコルを 0 ~ 255 の整数で指定します。または、プルダウンメニューから選択することもできます。プルダウンメニューから選択できる項目は次のとおりです。

- 「ip」
- 「icmp(1)」
- 「igmp(2)」
- 「ipinip(4)」
- 「tcp(6)」
- 「udp(17)」
- 「tunnel(41)」
- 「gre(47)」
- 「esp(50)」
- 「ah(51)」
- 「ospf(89)」
- 「pim(103)」
- 「pcp(108)」
- 「vrrp(112)」
- 「sctp(132)」

この項目は必ず指定してください。

[送信元 IP]

フィルター条件に送信元 IP アドレスを指定します。

[IP アドレス]

送信元 IP アドレスを、「nnn.nnn.nnn.nnn」形式で、0.0.0.0 ~ 255.255.255.255 の範囲で指定します。使用できる文字は、数字と「.」(ピリオド)です。また、すべての IP アドレスを指定したい場合は、プルダウンメニューから「any」を選択できます。

[IP ワイルドカードマスク]

送信元 IP アドレスを複数指定したいときに、[IP アドレス] と合わせて「nnn.nnn.nnn.nnn」形式で、0.0.0.1 ~ 255.255.255.254 の範囲で指定します。使用できる文字は、数字と「.」(ピリオド)です。[IP アドレス] が「any」の場合は指定できません。

ワイルドカードマスクは、任意にしたいビットに 1 を指定します。例えば、[IP アドレス] を「10.20.100.200」、[IP ワイルドカードマスク] を「0.0.255.255」と指定した場合は、10.20.0.0 ~ 10.20.255.255 の範囲が有効になります。ワイルドカードマスクを設定しない場合は、[IP アドレス] に設定したアドレスだけが有効になります。

[送信元ポート]

IPv4 パケットフィルター条件の送信元ポートを設定します。

[TCP ポート番号]

[上位プロトコル] が「tcp(6)」のときに TCP ポート番号を 0 ~ 65535 の整数で指定します。または、プルダウンメニューから選択することもできます。プルダウンメニューから選択できる項目は次のとおりです。

- 「echo(7)」
- 「discard(9)」
- 「daytime(13)」
- 「chargen(19)」
- 「ftp-data(20)」
- 「ftp(21)」
- 「ssh(22)」
- 「telnet(23)」
- 「smtp(25)」
- 「time(37)」
- 「whois(43)」
- 「tacacs+(49)」
- 「domain(53)」
- 「tacacs-ds(65)」
- 「gopher(70)」
- 「finger(79)」
- 「http(80)」
- 「hostname(101)」
- 「pop2(109)」
- 「pop3(110)」
- 「sunrpc(111)」
- 「ident(113)」
- 「nntp(119)」

- 「bgp(179)」
- 「irc(194)」
- 「imap3(220)」
- 「ldap(389)」
- 「https(443)」
- 「smtps(465)」
- 「exec(512)」
- 「login(513)」
- 「shell(514)」
- 「lpd(515)」
- 「talk(517)」
- 「uucp(540)」
- 「klogin(543)」
- 「kshell(544)」
- 「pop3s(995)」
- 「raw(9100)」

[UDP ポート番号]

[上位プロトコル] が 「udp(17)」 のときに UDP ポート番号を 0 ~ 65535 の整数で指定します。または、プルダウンメニューから選択することもできます。プルダウンメニューから選択できる項目は次のとおりです。

- 「echo(7)」
- 「discard(9)」
- 「time(37)」
- 「nameserver(42)」
- 「tacacs+(49)」
- 「domain(53)」
- 「tacacs-ds(65)」
- 「bootps(67)」
- 「bootpc(68)」
- 「tftp(69)」
- 「sunrpc(111)」
- 「ntp(123)」
- 「snmp(161)」
- 「snmptrap(162)」
- 「xdmcp(177)」
- 「mobile-ip(434)」
- 「isakmp(500)」
- 「biff(512)」
- 「who(513)」
- 「syslog(514)」

- 「talk(517)」
- 「rip(520)」
- 「radius(1812)」
- 「radius-acct(1813)」

[あて先 IP]

フィルター条件にあて先 IP アドレスを指定します。

[IP アドレス]

あて先 IP アドレスを、「nnn.nnn.nnn.nnn」形式で、0.0.0.0 ~ 255.255.255.255 の範囲で指定します。使用できる文字は、数字と「.」(ピリオド)です。また、すべての IP アドレスを指定したい場合は、プルダウンメニューから「any」を選択できます。

[IP ワイルドカードマスク]

あて先 IP アドレスを複数指定したいときに、[IP アドレス] と合わせて「nnn.nnn.nnn.nnn」形式で、0.0.0.1 ~ 255.255.255.254 の範囲で指定します。[IP アドレス] が「any」の場合は指定できません。使用できる文字は、数字と「.」(ピリオド)です。ワイルドカードマスクは、任意にしたいビットに 1 を指定します。例えば、[IP アドレス] を「10.20.100.200」、[IP ワイルドカードマスク] を「0.0.255.255」と指定した場合は、10.20.0.0 ~ 10.20.255.255 の範囲が有効になります。ワイルドカードマスクを設定しない場合は、[IP アドレス] に設定したアドレスだけが有効になります。

[あて先ポート]

IPv4 パケットフィルター条件のあて先ポートを設定します。

[TCP ポート番号]

[上位プロトコル] が「tcp(6)」のときに TCP ポート番号を 0 ~ 65535 の整数で指定します。または、プルダウンメニューから選択することもできます。プルダウンメニューから選択できる項目は、[送信元ポート] の [TCP ポート番号] と同じです。

[UDP ポート番号]

[上位プロトコル] が「udp(17)」のときに UDP ポート番号を 0 ~ 65535 の整数で指定します。または、プルダウンメニューから選択することもできます。プルダウンメニューから選択できる項目は、[送信元ポート] の [UDP ポート番号] と同じです。

[TCP フラグ]

[上位プロトコル] が「tcp(6)」のときに、該当する IPv4 パケットフィルター条件の TCP フラグをチェックボックスで選択します。指定したい項目のチェックボックスを複数チェックできます。選択できる項目は次のとおりです。

- 「ack」

14. 画面 - スイッチ構成ビューのダイアログボックス (AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40)

- 「fin」
- 「psh」
- 「rst」
- 「syn」
- 「urg」

この項目は省略できます。

[ToS]

該当するフィルター条件の ToS を 0 ~ 15 の整数で指定します。または、プルダウンメニューから選択することもできます。[DSCP] を設定する場合は指定できません。プルダウンメニューから選択できる項目は次のとおりです。

- 「normal(0)」
- 「min-monetary-cost(1)」
- 「max-reliability(2)」
- 「max-throughput(4)」
- 「min-delay(8)」

この項目は省略できます。

[Precedence]

該当するフィルター条件の Precedence をプルダウンメニューから選択します。[DSCP] を設定する場合は指定できません。プルダウンメニューから選択できる項目は次のとおりです。

- (空行)
- 「routine(0)」
- 「priority(1)」
- 「immediate(2)」
- 「flash(3)」
- 「flash-override(4)」
- 「critical(5)」
- 「internet(6)」
- 「network(7)」

この項目は省略できます。

[DSCP]

該当する IPv4 パケットフィルター条件の DSCP を 0 ~ 63 の整数で指定します。または、プルダウンメニューから選択することもできます。プルダウンメニューから選択できる項目は次のとおりです。

- 「default(0)」
- 「cs1(8)」
- 「af11(10)」
- 「af12(12)」

- 「af13(14)」
- 「cs2(16)」
- 「af21(18)」
- 「af22(20)」
- 「af23(22)」
- 「cs3(24)」
- 「af31(26)」
- 「af32(28)」
- 「af33(30)」
- 「cs4(32)」
- 「af41(34)」
- 「af42(36)」
- 「af43(38)」
- 「cs5(40)」
- 「ef(46)」
- 「cs6(48)」
- 「cs7(56)」

この項目は省略できます。[DSCP] を設定する場合は、[ToS] および [Precedence] は指定できません。

[VLAN-ID]

該当する IPv4 パケットフィルター条件の VLAN-ID を 1 ~ 4096 の整数で指定します。実際の VLAN の存在有無は関係なく指定できます。この項目は省略できます。

[ユーザー優先度]

IPv4 パケットフィルター条件としてユーザー優先度を 0 ~ 7 の整数で指定します。値が大きいかほど優先度が高くなります。この項目は省略できます。

14.17 [IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックス (BS2000・BS320・ BS500・BS500 1Gbx40 の場合)

[IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックスは、スイッチに設定するフィルターの IPv4 パケットフィルター条件を設定するためのダイアログボックスです。BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 の場合の [IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 14-23 [IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックス (BS2000 , BS320 , BS500 , および BS500 1Gbx40 の場合)

The screenshot shows a dialog box titled "IPv4パケットフィルター条件の設定 (BS320 GG-BE9LSWM2)". The fields are as follows:

- 優先番号: 10
- 動作: 転送, 廃棄
- 上位プロトコル: tcp(6)
- 送信元IP: IPアドレス: any, IPワイルドカードマスク: (empty)
- 送信元ポート: TCPポート番号: 範囲指定, UDPポート番号: 範囲指定
- あて先IP: IPアドレス: any, IPワイルドカードマスク: (empty)
- あて先ポート: TCPポート番号: 範囲指定: ftp(21) - ssh(22), UDPポート番号: 範囲指定
- TCPフラグ: ack, fin, psh, rst, syn, urg
- ToS: (empty)
- Precedence: (empty)
- DSCP: (empty)
- VLAN-ID: (empty)
- ユーザー優先度: (empty)

Buttons: OK, キャンセル

表示項目について説明します。

[優先番号]

該当する IPv4 パケットフィルター条件の優先番号を 1 ~ 4294967294 の整数で指定します。デフォルト値は、既存のフィルター条件に設定されている優先番号の最大値 +10 の値になります。フィルター条件が一つもない場合は 10 になります。設定されている優先番号の最大値 +10 が設定できる値を超える場合は、デフォルト値が

設定されないため、指定する必要があります。

同じフィルターのフィルター条件で、すでに設定されている優先番号は指定できません。

[動作]

フィルター条件に一致したときの動作を指定します。

- 「転送」

フィルター条件に一致したパケットを転送します。

- 「廃棄」

フィルター条件に一致したパケットを廃棄します。

デフォルト値は「転送」です。

[上位プロトコル]

該当する IPv4 パケットフィルター条件の上位プロトコルを 0 ~ 255 の整数で指定します。または、プルダウンメニューから選択することもできます。プルダウンメニューから選択できる項目は次のとおりです。

- 「ip」
- 「icmp(1)」
- 「igmp(2)」
- 「ipinip(4)」
- 「tcp(6)」
- 「udp(17)」
- 「tunnel(41)」
- 「gre(47)」
- 「esp(50)」
- 「ah(51)」
- 「ospf(89)」
- 「pim(103)」
- 「pcp(108)」
- 「vrrp(112)」
- 「sctp(132)」

この項目は必ず指定してください。

[送信元 IP]

フィルター条件に送信元 IP アドレスを指定します。

[IP アドレス]

送信元 IP アドレスを、「nnn.nnn.nnn.nnn」形式で、0.0.0.0 ~ 255.255.255.255 の範囲で指定します。使用できる文字は、数字と「.」(ピリオド)です。また、すべての IP アドレスを指定したい場合は、プルダウンメニューから「any」を選択できます。

[IP ワイルドカードマスク]

送信元 IP アドレスを複数指定したいときに、[IP アドレス] と合わせて「nnn.nnn.nnn.nnn」形式で、0.0.0.1 ~ 255.255.255.254 の範囲で指定します。使用できる文字は、数字と「.」(ピリオド)です。[IP アドレス] が「any」の場合は指定できません。

ワイルドカードマスクは、任意にしたいビットに 1 を指定します。例えば、[IP アドレス] を「10.20.100.200」、[IP ワイルドカードマスク] を「0.0.255.255」と指定した場合は、10.20.0.0 ~ 10.20.255.255 の範囲が有効になります。ワイルドカードマスクを設定しない場合は、[IP アドレス] に設定したアドレスだけが有効になります。

[送信元ポート]

IPv4 パケットフィルター条件の送信元ポートを設定します。

[TCP ポート番号]

[上位プロトコル] が「tcp(6)」のときに TCP ポート番号を指定します。

• [範囲指定]

TCP ポート番号の範囲を指定する場合に選択します。[範囲指定] を選択した場合、[・] 左側の TCP ポート番号が開始 TCP ポート番号、[・] 右側の TCP ポート番号が終了 TCP ポート番号となります。

• [・] 左側の TCP ポート番号

TCP ポート番号または範囲指定の開始 TCP ポート番号を入力します。または、プルダウンメニューから選択することもできます。

入力できる値およびプルダウンメニューから選択できる項目は、AX2400S・AX3600S の場合の TCP ポート番号と同じです。詳細については、「14.16 [IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックス (AX2400S・AX3600S の場合)」を参照してください。

• [・] 右側の TCP ポート番号

範囲指定の終了 TCP ポート番号を入力します。または、プルダウンメニューから選択することもできます。

入力できる値およびプルダウンメニューから選択できる項目は、AX2400S・AX3600S の場合の TCP ポート番号と同じです。詳細については、「14.16 [IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックス (AX2400S・AX3600S の場合)」を参照してください。

[UDP ポート番号]

[上位プロトコル] が「udp(17)」のときに UDP ポート番号を指定します。

• [範囲指定]

UDP ポート番号の範囲を指定する場合に選択します。[範囲指定] を選択した場合、[・] 左側の UDP ポート番号が開始 UDP ポート番号、[・] 右側の UDP ポート番号が終了 UDP ポート番号となります。

• [・] 左側の UDP ポート番号

UDP ポート番号または範囲指定の開始 UDP ポート番号を入力します。また

は、プルダウンメニューから選択することもできます。

入力できる値およびプルダウンメニューから選択できる項目は、AX2400S・AX3600S の場合の UDP ポート番号と同じです。詳細については、「14.16 [IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックス (AX2400S・AX3600S の場合)」を参照してください。

• [-] 右側の UDP ポート番号

範囲指定の終了 UDP ポート番号を入力します。または、プルダウンメニューから選択することもできます。

入力できる値およびプルダウンメニューから選択できる項目は、AX2400S・AX3600S の場合の UDP ポート番号と同じです。詳細については、「14.16 [IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックス (AX2400S・AX3600S の場合)」を参照してください。

[あて先 IP]

フィルター条件にあて先 IP アドレスを指定します。

[IP アドレス]

あて先 IP アドレスを、「nnn.nnn.nnn.nnn」形式で、0.0.0.0 ~ 255.255.255.255 の範囲で指定します。使用できる文字は、数字と「.」(ピリオド)です。また、すべての IP アドレスを指定したい場合は、プルダウンメニューから「any」を選択できます。

[IP ワイルドカードマスク]

あて先 IP アドレスを複数指定したいときに、[IP アドレス] と合わせて「nnn.nnn.nnn.nnn」形式で、0.0.0.1 ~ 255.255.255.254 の範囲で指定します。[IP アドレス] が「any」の場合は指定できません。使用できる文字は、数字と「.」(ピリオド)です。

ワイルドカードマスクは、任意にしたいビットに 1 を指定します。例えば、[IP アドレス] を「10.20.100.200」、[IP ワイルドカードマスク] を「0.0.255.255」と指定した場合は、10.20.0.0 ~ 10.20.255.255 の範囲が有効になります。ワイルドカードマスクを設定しない場合は、[IP アドレス] に設定したアドレスだけが有効になります。

[あて先ポート]

IPv4 パケットフィルター条件のあて先ポートを設定します。

[TCP ポート番号]

[上位プロトコル] が「tcp(6)」のときに TCP ポート番号を 0 ~ 65535 の整数で指定します。または、プルダウンメニューから選択することもできます。プルダウンメニューから選択できる項目は、[送信元ポート] の [TCP ポート番号] と同じです。

[UDP ポート番号]

[上位プロトコル] が「udp(17)」のときに UDP ポート番号を 0 ~ 65535 の整

数で指定します。または、プルダウンメニューから選択することもできます。
プルダウンメニューから選択できる項目は、[送信元ポート] の [UDP ポート番号] と同じです。

[TCP フラグ]

[上位プロトコル] が 「 tcp(6) 」 のときに、該当する IPv4 パケットフィルター条件の TCP フラグをチェックボックスで選択します。指定したい項目のチェックボックスを複数チェックできます。選択できる項目は次のとおりです。

- 「 ack 」
- 「 fin 」
- 「 psh 」
- 「 rst 」
- 「 syn 」
- 「 urg 」

この項目は省略できます。

[ToS]

該当するフィルター条件の ToS を 0 ~ 15 の整数で指定します。または、プルダウンメニューから選択することもできます。[DSCP] を設定する場合は指定できません。プルダウンメニューから選択できる項目は次のとおりです。

- 「 normal(0) 」
- 「 min-monetary-cost(1) 」
- 「 max-reliability(2) 」
- 「 max-throughput(4) 」
- 「 min-delay(8) 」

この項目は省略できます。

[Precedence]

該当するフィルター条件の Precedence をプルダウンメニューから選択します。
[DSCP] を設定する場合は指定できません。プルダウンメニューから選択できる項目は次のとおりです。

- (空行)
- 「 routine(0) 」
- 「 priority(1) 」
- 「 immediate(2) 」
- 「 flash(3) 」
- 「 flash-override(4) 」
- 「 critical(5) 」
- 「 internet(6) 」
- 「 network(7) 」

この項目は省略できます。

[DSCP]

該当する IPv4 パケットフィルター条件の DSCP を 0 ~ 63 の整数で指定します。または、プルダウンメニューから選択することもできます。プルダウンメニューから選択できる項目は次のとおりです。

- 「default(0)」
- 「cs1(8)」
- 「af11(10)」
- 「af12(12)」
- 「af13(14)」
- 「cs2(16)」
- 「af21(18)」
- 「af22(20)」
- 「af23(22)」
- 「cs3(24)」
- 「af31(26)」
- 「af32(28)」
- 「af33(30)」
- 「cs4(32)」
- 「af41(34)」
- 「af42(36)」
- 「af43(38)」
- 「cs5(40)」
- 「ef(46)」
- 「cs6(48)」
- 「cs7(56)」

この項目は省略できます。[DSCP] を設定する場合は、[ToS] および [Precedence] は指定できません。

[VLAN-ID]

該当する IPv4 パケットフィルター条件の VLAN-ID を 1 ~ 4096 の整数で指定します。実際の VLAN の存在有無は関係なく指定できます。この項目は省略できます。

[ユーザー優先度]

IPv4 パケットフィルター条件としてユーザー優先度を 0 ~ 7 の整数で指定します。値が大きいかほど優先度が高くなります。この項目は省略できます。

14.18 [IPv6 フィルターの設定] ダイアログボックス

[IPv6 フィルターの設定] ダイアログボックスは、スイッチのインターフェースに適用できる IPv6 フィルターを設定するためのダイアログボックスです。[IPv6 フィルターの設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 14-24 [IPv6 フィルターの設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[フィルター名]

該当する IPv6 フィルターのフィルター名を 31 文字以内の文字列で指定します。先頭は必ず英字にしてください。また、スイッチ内で同じフィルター名は指定できません。使用できる文字は、次のとおりです。

- 英数字
- 「-」(ハイフン)
- 「_」(アンダーバー)
- 「.」(ピリオド)

[アクセス制御リスト情報] ダイアログボックスの [IPv6 フィルター一覧] で、[追加] ボタンをクリックした場合に必ず指定します。また、[変更] ボタンをクリックした場合は編集できません。

[説明]

該当する IPv6 フィルターの説明を 64 文字以内の文字列で指定します。使用できる文字は、英数字と特殊文字です。ただし、次に示す記号は使用できません。

- 「"」(引用符)
- 「{ }」(波括弧)
- 「'」(シングルクォーテーション)
- 「`」(逆シングルクォーテーション)
- 「;」(セミコロン)

- 「\$」(ドル記号)
- 「¥」(円記号)

[フィルター条件] を設定しない場合は、指定する必要があります。

[フィルター条件]

該当するフィルターに設定されている IPv6 フィルター条件の一覧が表示されます。また、フィルター条件の追加、変更、削除および優先順位を変更できます。一覧に表示される項目は [優先番号]、[動作]、[送信元 IP]、[アテ先 IP]、[VLAN-ID] および [ユーザー優先度] です。[優先番号] の昇順にソートして表示されます。各項目の表示内容は、[IPv6 フィルター情報] ダイアログボックスと同じです。詳細については、「14.6 [IPv6 フィルター情報] ダイアログボックス」を参照してください。なお、[フィルター条件] は、カラムごとにソートできません。[説明] を設定しない場合は、指定する必要があります。

[追加] ボタン

フィルター条件を追加するために使用します。[IPv6 フィルター条件の設定] ダイアログボックスを表示します。

スイッチに設定されているすべての IPv6 フィルターのフィルター条件の総数がすでに 1,024 件の場合は、エラーになって追加できません。

[変更] ボタン

フィルター条件の設定内容を変更するために使用します。[IPv6 フィルター条件の設定] ダイアログボックスを表示します。[フィルター条件] で、任意の 1 行を選択するとクリックできます。

[削除] ボタン

フィルター条件を削除するために使用します。[フィルター条件] で任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

[上に移動] ボタン

選択したフィルター条件を上位にあるフィルター条件の一つ上に移動するために使用します。このとき、設定されている優先番号が入れ替わります。例えば、優先番号 1 と優先番号 3 のフィルター条件が並んでいて、優先番号 3 のフィルター条件を選択した状態で [上に移動] ボタンをクリックした場合、上に移動したフィルター条件の優先番号が 3 から 1 に変更され、下に移動したフィルター条件の優先番号が 1 から 3 に変更されます。

[下に移動] ボタン

選択したフィルター条件を下位にあるフィルター条件の一つ下に移動するために使用します。このとき、設定されている優先番号が入れ替わります。例えば、優先番号 3 と優先番号 5 のフィルター条件が並んでいて、優先番号 3 のフィルター条件を選択した状態で [下に移動] ボタンをクリックした場合、下に移動したフィルター条件の優先番号が 3 から 5 に変更され、上に移動したフィルター条件の優先番号が 5 から 3 に変更されます。

[アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスの [変更] ボタンをクリックして

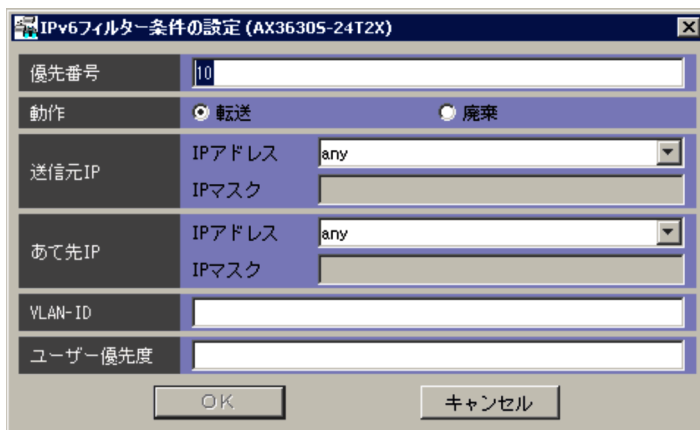
14. 画面 - スイッチ構成ビューのダイアログボックス (AX2400S ・ AX3600S ・ BS2000 ・ BS320 ・ BS500 ・ BS500 1Gbx40)

表示された場合 , [フィルター名] 以外を設定していない状態で [OK] ボタンをクリックすると , フィルターを削除するための確認ダイアログボックスが表示されます。確認ダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックするとフィルターは削除されます。ただし , インターフェイスに適用されていて , かつスイッチに実在しているフィルターは削除されません。

14.19 [IPv6 フィルター条件の設定] ダイアログボックス

[IPv6 フィルター条件の設定] ダイアログボックスは、スイッチに設定するフィルターの IPv6 フィルター条件を設定するためのダイアログボックスです。[IPv6 フィルター条件の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 14-25 [IPv6 フィルター条件の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[優先番号]

該当する IPv6 フィルター条件の優先番号を 1 ~ 4294967294 の整数で指定します。デフォルト値は、既存のフィルター条件に設定されている優先番号の最大値 +10 の値になります。フィルター条件が一つもない場合は 10 になります。設定されている優先番号の最大値 +10 が設定できる値を超える場合は、デフォルト値が設定されないため、指定する必要があります。同じフィルターのフィルター条件で、すでに設定されている優先番号は指定できません。

[動作]

フィルター条件に一致したときの動作を指定します。

- 「転送」
フィルター条件に一致したパケットを転送します。
- 「廃棄」
フィルター条件に一致したパケットを廃棄します。

デフォルト値は「転送」です。

[送信元 IP]

フィルター条件に送信元 IP アドレスを指定します。

[IP アドレス]

送信元 IP アドレスを、「nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn」形式で指定します。使用できる文字は、数字、a ~ f, A ~ F, および「:」(コロン)です。また、すべての IP アドレスを指定したい場合は、プルダウンメニューから「any」を選択できます。

[IP マスク]

送信元 IP アドレスを複数指定したいときに、[IP アドレス] と合わせて指定します。1 ~ 127 の整数で指定します。[IP アドレス] が「any」の場合は指定できません。設定しない場合は、[IP アドレス] に設定したアドレスだけが有効になります。

[あて先 IP]

フィルター条件にあて先 IP アドレスを指定します。

[IP アドレス]

あて先 IP アドレスを、「nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn」形式で指定します。使用できる文字は、数字、a ~ f, A ~ F, および「:」(コロン)です。また、すべての IP アドレスを指定したい場合は、プルダウンメニューから「any」を選択できます。

[IP マスク]

あて先 IP アドレスを複数指定したいときに、[IP アドレス] と合わせて指定します。1 ~ 127 の整数で指定します。[IP アドレス] が「any」の場合は指定できません。設定しない場合は、[IP アドレス] に設定したアドレスだけが有効になります。

[VLAN-ID]

該当する IPv6 フィルター条件の VLAN-ID を 1 ~ 4094 の整数で指定します。実際の VLAN の存在有無は関係なく指定できます。この項目は省略できます。

[ユーザー優先度]

IPv6 フィルター条件としてユーザー優先度を 0 ~ 7 の整数で指定します。値が大きいほど優先度が高くなります。この項目は省略できます。

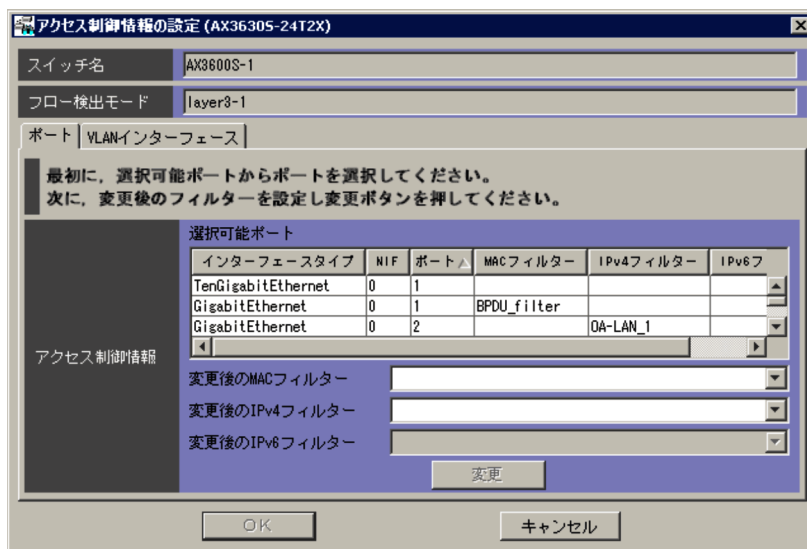
14.20 [アクセス制御情報の設定] ダイアログボックス

[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスは、スイッチへアクセス制御情報を設定するためのダイアログボックスです。

[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスには、[ポート] ページと [VLAN インターフェース] ページがあります。[ポート] ページには、ポートに関するアクセス制御の適用状態が表示されます。[VLAN インターフェース] ページには、VLAN インターフェースに関するアクセス制御の適用状態が表示されます。

[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 14-26 [アクセス制御情報の設定] ダイアログボックス



各ページに共通する表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[フロー検出モード]

スイッチに設定されているフロー検出モードが表示されます。該当するスイッチに応じて、次のどれかが表示されます。

スイッチが AX2400S の場合

- 「layer2-1」
- 「layer2-2」
- 「layer2-3」

- 「layer2-4」

AX3600S, BS2000, および BS320 の場合

- 「layer3-1」
- 「layer3-2」
- 「layer3-3」
- 「layer3-4」

BS500 の場合

- 「layer3-1」
- 「layer3-2」
- 「layer3-3」
- 「layer3-4」
- 「layer3-5」

BS500 1Gbx40 の場合

- 「layer3-1」
- 「layer3-2」
- 「layer3-5」
- 「layer3-dhcp-1」

14.20.1 [ポート] ページ

[ポート] ページを次の図に示します。

図 14-27 [アクセス制御情報の設定] ダイアログボックス ([ポート] ページ)



[ポート] ページ部分の表示項目について説明します。

[選択可能ポート]

該当するスイッチのすべての物理ポート、および物理ポートに適用されているフィルターが一覧で表示されます。フィルターを変更したいポートを選択します。ポートは複数選択できます。

一覧に表示される項目は [インターフェスタイプ], [NIF], [ポート], [MAC フィルター], [IPv4 フィルター] および [IPv6 フィルター] です。各項目の表示内容は, [アクセス制御情報] ダイアログボックスと同じです。詳細については, 「14.7 [アクセス制御情報] ダイアログボックス」を参照してください。

[変更後の MAC フィルター]

[選択可能ポート] で選択している物理ポートに適用する MAC フィルターを 31 文字以内の文字列で指定します。使用できる文字は, 英数字, 「-」(ハイフン), 「_」(アンダーバー) および 「.」(ピリオド) です。文字列の先頭は必ず英字を指定してください。

また, プルダウンメニューから選択することもできます。プルダウンメニューから選択できる項目は次のとおりです。

- 「フィルターの適用を削除する。」
- スイッチ構成情報で設定しているのすべての MAC フィルターのフィルター名

なお, フロー検出モードの設定によっては, MAC フィルターをインターフェースに適用できないことがあります。

[変更後の IPv4 フィルター]

[選択可能ポート] で選択している物理ポートに適用する IPv4 アドレスフィルターまたは IPv4 パケットフィルターを設定します。使用できる値は 1 ~ 199, 1300 ~ 2699 の整数, または英数字, 「-」(ハイフン), 「_」(アンダーバー) および 「.」(ピリオド) を使用した 31 文字以内の文字列です。文字列の先頭は必ず英字を指定してください。

また, プルダウンメニューから選択することもできます。プルダウンメニューから選択できる項目は次のとおりです。

- 「フィルターの適用を削除する。」
- スイッチ構成情報で設定しているすべての IPv4 アドレスフィルターのフィルター名, または番号
- スイッチ構成情報で設定しているすべての IPv4 パケットフィルターのフィルター名, または番号

なお, フロー検出モードの設定によっては, IPv4 アドレスフィルターおよび IPv4 パケットフィルターをインターフェースに適用できないことがあります。

[変更後の IPv6 フィルター]

[選択可能ポート] で選択している物理ポートに適用する IPv6 フィルターを 31 文字以内の文字列で指定します。使用できる文字は, 英数字, 「-」(ハイフン), 「_」(アンダーバー) および 「.」(ピリオド) です。文字列の先頭は必ず英字を指定してください。

また、プルダウンメニューから選択することもできます。プルダウンメニューから選択できる項目は次のとおりです。

- 「フィルターの適用を削除する。」
- スイッチ構成情報で設定しているすべての IPv6 フィルターのフィルター名

なお、フロー検出モードの設定によっては、IPv6 フィルターをインターフェースに適用できないことがあります。

[変更] ボタン

[選択可能ポート] で選択したポートに対して、変更後のフィルターに設定した内容に更新します。変更後のフィルターの設定項目に値が入力されていない場合は、設定を変更しません。「フィルターを適用しない」が選択されている場合は、設定が削除され空白になります。

14.20.2 [VLAN インターフェース] ページ

[VLAN インターフェース] ページを次の図に示します。

図 14-28 [アクセス制御情報の設定] ダイアログボックス ([VLAN インターフェース] ページ)



[VLAN インターフェース] ページ部分の表示項目について説明します。

[選択可能 VLAN]

該当するスイッチのすべての VLAN インターフェース、および VLAN インターフェースに適用されているフィルターが一覧で表示されます。フィルターを変更したい VLAN インターフェースを選択します。VLAN インターフェースは複数選択できます。

一覧に表示される項目は [VLAN-ID], [MAC フィルター] および [IPv4 フィルター] です。各項目の表示内容は, [アクセス制御情報] ダイアログボックスと同じです。詳細については, 「14.7 [アクセス制御情報] ダイアログボックス」を参照してください。

[変更後の MAC フィルター]

[選択可能 VLAN] で選択している VLAN インターフェースに適用する MAC フィルターを 31 文字以内の文字列で指定します。使用できる文字は, 英数字, 「-」(ハイフン), 「_」(アンダーバー) および 「.」(ピリオド) です。文字列の先頭は必ず英字を指定してください。

また, プルダウンメニューから選択することもできます。プルダウンメニューから選択できる項目は次のとおりです。

- 「フィルターの適用を削除する。」
- スイッチ構成情報で設定しているのすべての MAC フィルターのフィルター名

フロー検出モードの設定によって, MAC フィルターをインターフェースに適用できない場合は, 指定できません。

[変更後の IPv4 フィルター]

[選択可能 VLAN] で選択している物理ポートに適用する IPv4 アドレスフィルターまたは IPv4 パケットフィルターを設定します。使用できる値は 1 ~ 199, 1300 ~ 2699 の整数, または, 英数字, 「-」(ハイフン), 「_」(アンダーバー) および 「.」(ピリオド) を使用した 31 文字以内の文字列です。文字列の先頭は必ず英字を指定してください。

また, プルダウンメニューから選択することもできます。プルダウンメニューから選択できる項目は次のとおりです。

- 「フィルターの適用を削除する。」
- スイッチ構成情報で設定しているすべての IPv4 アドレスフィルターのフィルター名, または番号
- スイッチ構成情報で設定しているすべての IPv4 パケットフィルターのフィルター名, または番号

フロー検出モードの設定によって, IPv4 アドレスフィルターおよび IPv4 パケットフィルターをインターフェースに適用できない場合は, 指定できません。

[変更] ボタン

[選択可能 VLAN] で選択した VLAN インターフェースに対して, 変更後のフィルターに設定した内容に更新します。変更後のフィルターの設定項目に値が入力されていない場合は, 既存の設定を変更しません。「フィルターの適用を削除する。」が選択されている場合は, 既存の設定が削除され空白になります。

14.21 [設定結果] ダイアログボックス

[設定結果] ダイアログボックスは、設定内容の結果を確認するためのダイアログボックスです。次の情報を設定した場合に表示されます。

- アクセス制御リスト情報
- アクセス制御情報

14.21.1 [設定結果] ダイアログボックス (アクセス制御リスト情報)

[設定結果] ダイアログボックス (アクセス制御リスト情報) は、アクセス制御リスト情報の設定結果を確認するためのダイアログボックスです。[アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックスでの設定が完了して、[OK] ボタンをクリックしたときに表示されます。ただし、設定内容すべてがスイッチに反映される前に、ネットワーク構成情報の設定が処理中であることを示すメッセージを閉じた場合は表示されません。[設定結果] ダイアログボックス (アクセス制御リスト情報) を次の図に示します。

図 14-29 [設定結果] ダイアログボックス (アクセス制御リスト情報)



フィルター種別	フィルター名	操作	結果	原因
IPv4パケット	FTP_filter	変更	成功	
IPv6	Development-LAN	削除	成功	
IPv4アドレス	OA-LAN_3	追加	成功	
MAC	CDP_filter	追加	成功	

開じる

表示項目について説明します。

[フィルター種別]

アクセス制御リスト情報を設定したフィルターの種別が表示されます。

- 「MAC」
MAC フィルターを表します。
- 「IPv4 アドレス」
IPv4 アドレスフィルターを表します。
- 「IPv4 パケット」
IPv4 パケットフィルターを表します。
- 「IPv6」
IPv6 フィルターを表します。

[フィルター名]

アクセス制御リスト情報を設定したフィルターのフィルター名が表示されます。

[操作]

該当するフィルターに対して実行した操作が、「追加」、「変更」、または「削除」で表示されます。

[結果]

該当するフィルターに対して実行した操作の結果が表示されます。「成功」または「失敗」が表示されます。

[原因]

結果が失敗だった場合、JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージが表示されます。形式は次のとおりです。

「KDNV1nnnn-E メッセージ本文」

JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージの説明と対処方法については、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング」を参照してください。

14.21.2 [設定結果] ダイアログボックス (アクセス制御情報)

[設定結果] ダイアログボックス (アクセス制御情報) は、アクセス制御情報を設定した結果を確認するためのダイアログボックスです。[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスでの設定が完了して、[OK] ボタンをクリックしたときに表示されます。ただし、設定内容すべてがスイッチに反映される前に、ネットワーク構成情報の設定が処理中であることを示すメッセージを閉じた場合は表示されません。[設定結果] ダイアログボックス (アクセス制御情報) を次の図に示します。

図 14-30 [設定結果] ダイアログボックス (アクセス制御情報)



表示項目について説明します。

[インターフェース]

アクセス制御情報を設定したインターフェースが表示されます。表示形式は次のとおりです。 は半角のスペースを表します。

- 物理ポートの場合
「インターフェースタイプ NIF 番号 / ポート番号」

(例 : GigabitEthernet 0/1)

BS500 1Gbx40 の場合、スイッチ側でのポート名は下記の形式となりますが、スイッチ番号は 1 固定であり、かつスイッチの運用コマンドではスイッチ番号を使

用しないため、JP1/Cm2/NC で表示するポート名称からはスイッチ番号を省略しています。

インターフェースタイプ スイッチ番号 /NIF 番号 / ポート番号

- VLAN インターフェースの場合

「VLAN ID」

(例 : VLAN 2)

[操作]

該当するインターフェースに対して実行した操作として、「変更」と表示されます。

[結果]

該当するインターフェースに対して実行した操作の結果が表示されます。「成功」または「失敗」が表示されます。

[原因]

結果が「失敗」だった場合、JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージが表示されます。形式は次のとおりです。

「KDNV1nnnn-E メッセージ本文」

JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージの説明と対処方法については、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング」を参照してください。

15

画面 - スイッチ構成ビュー のダイアログボックス (BS1000)

この章では、BS1000 のアクセス制御および QoS 制御の設定で使用する画面の表示項目、および定義項目について説明します。なお、各画面の表示内容および設定内容の詳細については、適宜 BladeSymphony のソフトウェアマニュアルを参照してください。

-
- 15.1 [スイッチ情報] ダイアログボックス

 - 15.2 [アクセス制御情報] ダイアログボックス

 - 15.3 [QoS 制御情報] ダイアログボックス

 - 15.4 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス

 - 15.5 [アクセス制御情報の設定] ダイアログボックス

 - 15.6 [アクセス制御の設定] ダイアログボックス

 - 15.7 [フィルター条件の設定 - 基本設定] ダイアログボックス

 - 15.8 [フィルター条件の設定 - 拡張設定] ダイアログボックス

 - 15.9 [QoS 制御情報の設定] ダイアログボックス

 - 15.10 [QoS 制御の設定] ダイアログボックス

 - 15.11 [優先条件の設定] ダイアログボックス

 - 15.12 [設定結果] ダイアログボックス
-

15.1 [スイッチ情報] ダイアログボックス

[スイッチ情報] ダイアログボックスは、スイッチの基本情報やスイッチ構成情報を確認するためのダイアログボックスです。

[スイッチ情報] ダイアログボックスには、[全般] ページと [スイッチ構成情報] ページがあります。[全般] ページには、スイッチ名や状態など、スイッチの基本情報が表示されます。[スイッチ構成情報] ページには、該当スイッチのスイッチ構成情報が表示されます。

15.1.1 [全般] ページ

[全般] ページを次の図に示します。

図 15-1 [全般] ページ



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義した、該当するスイッチの名称が表示されます。

[状態]

該当するスイッチとの接続状態が表示されます。表示される状態は、スイッチ構成ビューのツリーエリアに表示される状態アイコンの状態と同じです。詳細については、「6.3.1 (3) ツリーエリア」の「表 6-4 状態アイコンの色と状態の意味」を参照してください。

[モデル]

該当するスイッチのモデルが表示されます。スイッチから直接取得した情報が表示されます。

[ソフトウェアバージョン]

ルーティングソフトウェアのバージョンが表示されます。バージョンは、先頭から

11 文字までが表示されます。11 文字より長い場合、12 文字目以降は表示されません。

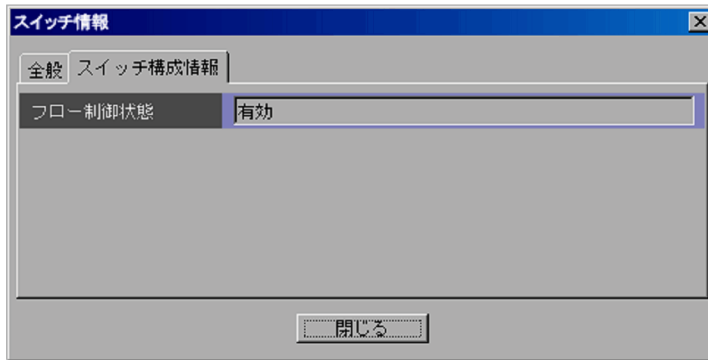
[最終更新日時]

該当するスイッチの構成情報を DB に格納した日時が表示されます。

15.1.2 [スイッチ構成情報] ページ

[スイッチ構成情報] ページを次の図に示します。

図 15-2 [スイッチ構成情報] ページ



表示項目について説明します。

[フロー制御状態]

該当するスイッチに設定されているフロー制御状態を表示します。BS1000 に設定されているアクセス制御および QoS 制御の有効 / 無効を意味します。

- 「有効」
BS1000 に設定されているアクセス制御および QoS 制御が有効な状態です。
- 「無効」
BS1000 に設定されているアクセス制御および QoS 制御が無効な状態です。

15.2 [アクセス制御情報] ダイアログボックス

[アクセス制御情報] ダイアログボックスは、スイッチに設定されているアクセス制御の状態を確認するためのダイアログボックスです。[アクセス制御情報] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 15-3 [アクセス制御情報] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[ポート]

該当するポートの NIF 番号とポート番号が表示されます。

[状態]

該当するポートの、アクセス制御情報の設定に対する状態が表示されます。

- 「Enable」
アクセス制御情報の設定が有効になっています。
- 「Disable」
アクセス制御情報の設定が無効になっています。

[アクセス制御情報]

アクセス制御情報の設定内容が表示されます。

[優先番号]

アクセス制御情報の優先番号が昇順にソートされて表示されます。

[フィルター条件]

フィルター条件に設定しているプロトコルが表示されます。

- 「MAC」
フィルター条件に MAC アドレスを使用しています。

- 「MAC+IP」
フィルター条件に MAC アドレスと IP アドレスの両方を使用しています。
- 「IP」
フィルター条件に IP アドレスを使用しています。
- 「IP(TCP)」
フィルター条件に IP アドレスを使用し、かつ上位プロトコルに TCP を使用しています。
- 「IP(UDP)」
フィルター条件に IP アドレスを使用し、かつ上位プロトコルに UDP を使用しています。
- 「IP(ICMP)」
フィルター条件に IP アドレスを使用し、かつ上位プロトコルに ICMP を使用しています。
- 「IP(IGMP)」
フィルター条件に IP アドレスを使用し、かつ上位プロトコルに IGMP を使用しています。
- 「IP(プロトコル番号 / マスク)」
フィルター条件に IP アドレスを使用し、かつ上位プロトコルに、TCP、UDP、ICMP、および IGMP 以外のプロトコル番号を使用しています。

[動作]

フィルター条件に一致した場合の動作が表示されます。

- 「転送」
フィルター条件に一致したパケットを転送します。
- 「廃棄」
フィルター条件に一致したパケットを廃棄します。

[送信元 MAC]

フィルター条件に MAC アドレスを使用している場合、指定している送信元 MAC アドレスが表示されます。マスクも指定しているときは、「MAC アドレス / マスク」の形で表示されます。

[あて先 MAC]

フィルター条件に MAC アドレスを使用している場合、指定しているあて先 MAC アドレスが表示されます。マスクも指定しているときは、「MAC アドレス / マスク」の形で表示されます。

[送信元 IP]

フィルター条件に IP アドレスを使用している場合、指定している送信元 IP アドレスが表示されます。マスクも指定しているときは、「IP アドレス / マスク」の形で表示されます。

[あて先 IP]

フィルター条件に IP アドレスを使用している場合、指定しているあて先 IP ア

15. 画面 - スイッチ構成ビューのダイアログボックス (BS1000)

ドレスが表示されます。マスクも指定しているときは、「IP アドレス / マスク」の形で表示されます。

[送信元ポート]

フィルター条件に IP アドレスを使用し、かつ上位プロトコルに TCP または UDP を使用している場合、指定している送信元 TCP ポート番号または UDP ポート番号が表示されます。マスクも指定しているときは、「ポート番号 / マスク」の形で表示されます。

[あて先ポート]

フィルター条件に IP アドレスを使用し、かつ上位プロトコルに TCP または UDP を使用している場合、指定しているあて先 TCP ポート番号または UDP ポート番号が表示されます。マスクも指定しているときは、「ポート番号 / マスク」の形で表示されます。

[タイプ]

フィルター条件に IP アドレスを使用し、かつ上位プロトコルに ICMP または IGMP を使用している場合、指定している ICMP または IGMP のタイプが表示されます。マスクも指定しているときは、「タイプ / マスク」の形で表示されません。

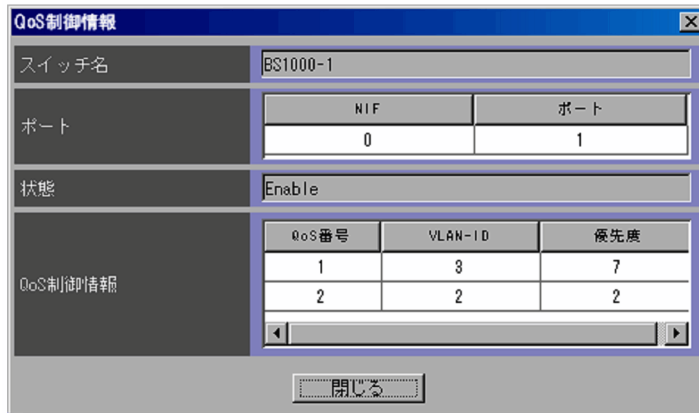
[コード]

フィルター条件に IP アドレスを使用し、かつ上位プロトコルに ICMP を使用している場合、指定している ICMP コードが表示されます。マスクも指定しているときは、「コード / マスク」の形で表示されます。

15.3 [QoS 制御情報] ダイアログボックス

[QoS 制御情報] ダイアログボックスは、スイッチに設定されている QoS 制御の状態を確認するためのダイアログボックスです。[QoS 制御情報] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 15-4 [QoS 制御情報] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[ポート]

該当するポートの NIF 番号とポート番号が表示されます。

[状態]

該当するポートの、QoS 制御情報の設定に対する状態が表示されます。

- 「Enable」
QoS 制御情報の設定が有効になっています。
- 「Disable」
QoS 制御情報の設定が無効になっています。

[QoS 制御情報]

QoS 制御情報の設定内容が表示されます。

[QoS 番号]

QoS 制御情報の識別番号が表示されます。

[VLAN-ID]

該当するポートに設定されている VLAN のうち、該当する QoS 制御の対象

15. 画面 - スイッチ構成ビューのダイアログボックス (BS1000)

VLAN の VLAN-ID が表示されます。

[優先度]

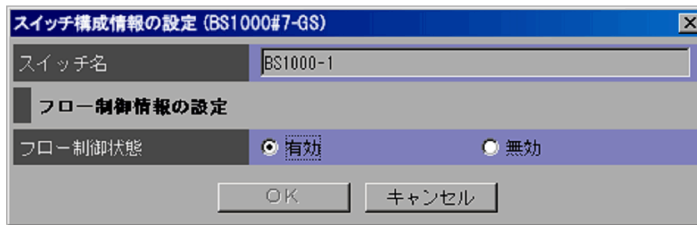
該当する QoS 制御情報に設定されている優先度が表示されます。優先度は 0 ~ 7 の整数で表示されます。優先度は、1 が最も低く、1, 2, 0, 3, 4, 5, 6, 7 の順に高くなります。

15.4 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス

[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスは、スイッチヘスイッチ構成情報を設定するためのダイアログボックスです。なお、スイッチ構成情報の設定は、アクセス制御および QoS 制御の両設定に共通の設定です。

[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 15-5 [スイッチ構成情報の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[フロー制御状態]

フロー制御を有効にするか無効にするかを指定します。

- 「有効」

フロー制御を有効にします。フロー制御を有効にすると、アクセス制御および QoS 制御の設定が有効になります。

- 「無効」

フロー制御を無効にします。フロー制御を無効にすると、アクセス制御および QoS 制御の設定が無効になります。[アクセス制御の設定] ダイアログボックスの [状態], および [QoS 制御の設定] ダイアログボックスの [状態] の設定より優先されます。

デフォルト値は「有効」です。

この項目は、flow コマンドを使用して設定します。

15.5 [アクセス制御情報の設定] ダイアログボックス

[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスは、スイッチへアクセス制御情報を設定するためのダイアログボックスです。[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 15-6 [アクセス制御情報の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[アクセス制御情報一覧]

定義済みのアクセス制御情報がリストに一覧表示されます。

[NIF]

アクセス制御情報が設定されているポートの NIF 番号が表示されます。

[ポート]

アクセス制御情報が設定されているポート番号が表示されます。

[状態]

アクセス制御情報が設定されているポートの状態が表示されます。

- 「Enable」

アクセス制御の設定が有効です。

- 「Disable」

アクセス制御の設定が無効です。

[追加] ボタン

アクセス制御の設定を追加するために使用します。[アクセス制御の設定] ダイアログボックスを表示します。

[変更] ボタン

アクセス制御の設定を変更するために使用します。[アクセス制御の設定] ダイアログボックスを表示します。[アクセス制御情報一覧] で任意の 1 行を選択するとクリックできます。

[削除] ボタン

アクセス制御の設定をスイッチから削除するために使用します。[アクセス制御情報一覧] で任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

15.6 [アクセス制御の設定] ダイアログボックス

[アクセス制御の設定] ダイアログボックスは、スイッチへアクセス制御を設定するためのダイアログボックスです。[アクセス制御の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 15-7 [アクセス制御の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[ポート]

[選択可能ポート]

スイッチに搭載されているポートのうち、まだアクセス制御を設定していないポートが表示されます。

[選択ポート] に追加したい場合は、ポートを選択し [追加 >>] ボタンをクリックします。選択したポートは [選択ポート] に移り、[選択可能ポート] からは削除されます。

一度に複数のポートを選択して追加できます。ただし、一度に複数のポートを追加した場合、以降の設定内容 ([状態] および [フィルター条件]) は、選択したポートすべてに対して設定されます。ポートごとに別の設定をしたい場合

は、ポートを一つずつ選択して設定してください。

[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスで [変更] ボタンをクリックした場合は、[選択可能ポート] は選択できません。

[選択ポート] への追加は、flow filter コマンドを使用して設定します。

[選択ポート]

選択したポートが表示されます。

設定を解除したい場合は、ポートを選択し [<< 削除] ボタンをクリックします。一度に複数のポートを選択して設定を解除できます。選択したポートは、[選択可能ポート] へ移り、[選択ポート] から削除されます。

[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスで [変更] ボタンをクリックした場合は、[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスで選択したポートが表示されています。なお、この場合 [選択ポート] は選択できません。

[状態]

選択したポートのアクセス制御状態を指定します。

- 「Enable」
アクセス制御情報の設定を有効にします。
- 「Disable」
アクセス制御情報の設定を無効にします。

デフォルト値は「Enable」です。

この項目は、flow filter コマンドを使用して設定します。

[フィルター条件]

[選択ポート] に選択したポートに、[フィルター条件の設定 - 基本設定] ダイアログボックスおよび [フィルター条件の設定 - 拡張設定] ダイアログボックスで定義したフィルター条件が表示されます。


[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスで [変更] ボタンをクリックした場合は、[選択ポート] に表示されているポートに設定されているフィルター条件が表示されます。


表示される項目は [優先番号]、[動作]、および [フィルター条件] です。[優先番号] の昇順にソートして表示されます。各項目の表示内容は、[アクセス制御情報] ダイアログボックスと同じです。詳細については、「15.2 [アクセス制御情報] ダイアログボックス」を参照してください。

なお、この項目は、カラムごとにソートできません。



[優先順位変更]



フィルター条件の優先順位を、一つ上、または下の順位のフィルター条件と入れ替えるために使用します。

上の順位のフィルター条件と入れ替えたい場合は、フィルター条件を 1 行選択したあと、 ボタンをクリックします。下の順位のフィルター条件と入れ替え

たい場合は、フィルター条件を 1 行選択したあと、 ボタンをクリックします。

15. 画面 - スイッチ構成ビューのダイアログボックス (BS1000)

フィルター条件は、優先番号順にソートして表示されているので、 ボタンをクリックすると、選択したフィルター条件と、一つ上に表示されているフィルター条件が入れ替わります。 ボタンをクリックすれば、一つ下に表示されているフィルター条件と入れ替わります。

 ボタンおよび  ボタンは、連続してクリックできます。

[追加] ボタン

ポートにフィルター条件を追加するために使用します。[フィルター条件の設定 - 基本設定] ダイアログボックスを表示します。

[変更] ボタン

フィルター条件の設定を変更するために使用します。[フィルター条件] で、任意の 1 行を選択するとクリックできます。

[削除] ボタン

フィルター条件をポートから削除するために使用します。[フィルター条件] で、任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

15.7 [フィルター条件の設定 - 基本設定] ダイアログボックス

[フィルター条件の設定 - 基本設定] ダイアログボックスは、ポートにフィルター条件を設定するためのダイアログボックスです。[フィルター条件の設定 - 基本設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 15-8 [フィルター条件の設定 - 基本設定] ダイアログボックス

表示項目について説明します。

[優先番号]

フィルター条件の優先番号を指定します。プルダウンメニューから選択することもできます。優先番号には、1 ~ 15 の整数から、まだ対象ポートに割り当てられていない番号を指定できます。

この項目は、[アクセス制御の設定] ダイアログボックスで [変更] をクリックした場合は編集できません。

この項目は、flow filter コマンドの list サブコマンドを使用して設定します。

[動作]

フィルター条件に一致したときの動作を指定します。

- 「転送」
フィルター条件に一致したパケットを転送します。
- 「廃棄」
フィルター条件に一致したパケットを廃棄します。

デフォルト値は「転送」です。

15. 画面 - スイッチ構成ビューのダイアログボックス (BS1000)

この項目は、flow filter コマンドの list サブコマンドを使用して設定します。

[送信元 MAC]

フィルター条件に MAC アドレスを使用する場合に指定します。この項目を指定した場合、必ず [あて先 MAC] も指定してください。

[MAC アドレス]

送信元 MAC アドレスを、「nn:nn:nn:nn:nn:nn」形式で指定します。使用できる文字は、数字、a ~ f, A ~ F, および「:」(コロン)です。また、すべての MAC アドレスを指定したい場合は、プルダウンメニューから「any」を選択できます。「any」または「ANY」と入力して指定することもできます。

[MAC マスク]

送信元 MAC アドレスを複数指定したいときに、[MAC アドレス] と合わせて「nn:nn:nn:nn:nn:nn」形式で指定します。[MAC アドレス] が「any」の場合は指定できません。使用できる文字は、数字、a ~ f, A ~ F, および「:」(コロン)です。

例えば、[MAC アドレス] を「aa:aa:aa:aa:aa:aa」、[MAC マスク] を「ff:ff:ff:ff:00:00」と指定した場合は、aa:aa:aa:aa:00:00 ~ aa:aa:aa:aa:ff:ff の範囲が有効になります。

この項目は、flow filter コマンドの list サブコマンドを使用して設定します。

[あて先 MAC]

フィルター条件に MAC アドレスを使用する場合に指定します。この項目を指定した場合、必ず [送信元 MAC] も指定してください。

[MAC アドレス]

あて先 MAC アドレスを「nn:nn:nn:nn:nn:nn」形式で指定します。使用できる文字は、数字、a ~ f, A ~ F および「:」(コロン)です。また、すべての MAC アドレスを指定したい場合は、プルダウンメニューから「any」を選択できます。「any」または「ANY」と入力して指定することもできます。

[MAC マスク]

あて先 MAC アドレスを複数指定したいときに、[MAC アドレス] と合わせて「nn:nn:nn:nn:nn:nn」形式で指定します。[MAC アドレス] が「any」の場合は指定できません。使用できる文字は、数字、a ~ f, A ~ F, および「:」(コロン)です。

例えば、[MAC アドレス] を「aa:aa:aa:aa:aa:aa」、[MAC マスク] を「ff:ff:ff:ff:00:00」と指定した場合は、aa:aa:aa:aa:00:00 ~ aa:aa:aa:aa:ff:ff の範囲が有効になります。

この項目は、flow filter コマンドの list サブコマンドを使用して設定します。

[IP バージョン]

フィルター条件に IP を使用する場合に、IP アドレスのバージョンを選択します。

「IPv4」および「IPv6」のどちらかを選択します。

デフォルト値は「IPv4」です。

なお、フィルター条件に MAC アドレスと IP アドレスの両方を使用する場合は、IPv4 だけ選択できます。

[送信元 IP]

フィルター条件に IP アドレスを使用する場合に指定します。この項目を指定した場合、必ず [あて先 IP] も指定してください。

[IP アドレス]

送信元 IP アドレスを指定します。

[IP バージョン] で「IPv4」を選択した場合は、IPv4 形式

(nnn.nnn.nnn.nnn) で指定します。使用できる文字は、数字、および「.」(ピリオド)です。

[IP バージョン] で「IPv6」を選択した場合は、IPv6 形式

(nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn) で指定します。省略形式での指定はできません。使用できる文字は、数字、a ~ f, A ~ F および「:」(コロン)です。すべての IP アドレスを指定したい場合は、プルダウンメニューから「any」を選択できます。「any」または「ANY」と入力して指定することもできます。

なお、この項目に IPv6 アドレスを指定した場合、[あて先 IP] の [IP アドレス] に指定できるのは、「any」だけです。

[IP マスク]

送信元 IP アドレスを複数指定したいときに、[IP アドレス] と合わせて指定します。[IP アドレス] が「any」の場合は指定できません。

[IP マスク] は、IP アドレスマスク長の形式で指定します。

[IP バージョン] で「IPv4」を選択した場合は、0 ~ 32 の整数から指定しま

す。[IP バージョン] で「IPv6」を選択した場合は、0 ~ 128 の整数から指定します。

この項目は、flow filter コマンドの list サブコマンドを使用して設定します。

[あて先 IP]

フィルター条件に IP アドレスを使用する場合に指定します。この項目を指定した場合、必ず [送信元 IP] も指定してください。

[IP アドレス]

あて先 IP アドレスを指定します。

[IP バージョン] で「IPv4」を選択した場合は、IPv4 形式で指定します。使用できる文字は、数字および「.」(ピリオド)です。

[IP バージョン] で「IPv6」を選択した場合は、IPv6 形式で指定します。使用できる文字は、数字、a ~ f, A ~ F, および「:」(コロン)です。すべての IP アドレスを指定したい場合は、プルダウンメニューから「any」を選択できま

15. 画面 - スイッチ構成ビューのダイアログボックス (BS1000)

す。「any」または「ANY」と入力して指定することもできます。

なお、この項目に IPv6 アドレスを指定した場合、[送信元 IP] の [IP アドレス] に指定できるのは、「any」だけです。

[IP マスク]

あて先 IP アドレスを複数指定したいときに、[IP アドレス] と合わせて指定します。[IP アドレス] が「any」の場合は指定できません。

[IP マスク] は、IP アドレスマスク長の形式で指定します。

[IP バージョン] で「IPv4」を選択した場合は、0 ~ 32 の整数から指定します。[IP バージョン] で「IPv6」を選択した場合は、0 ~ 128 の整数から指定します。

この項目は、flow filter コマンドの list サブコマンドを使用して設定します。

[拡張設定] ボタン

[フィルター条件の設定 - 拡張設定] ダイアログボックスを表示します。

[送信元 MAC] および [あて先 MAC] が設定されていない場合で、かつ [送信元 IP] および [あて先 IP] が設定されている場合にクリックできます。

[送信元 MAC] および [あて先 MAC]、または [送信元 IP] および [あて先 IP] のどちらか一組は必ず指定してください。

15.8 [フィルター条件の設定 - 拡張設定] ダイアログボックス

[フィルター条件の設定 - 拡張設定] ダイアログボックスは、フィルター条件を拡張するためのダイアログボックスです。ただし、フィルター条件に IP アドレスだけを使用する場合の拡張設定なので、フィルター条件に MAC アドレス、または MAC アドレスおよび IP アドレスの両方を使用する場合には使用しません。

[フィルター条件の設定 - 拡張設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 15-9 [フィルター条件の設定 - 拡張設定] ダイアログボックス

表示項目について説明します。

[使用有無]

[フィルター条件の設定 - 基本設定] で指定したフィルター条件に加えて、上位プロトコルについてもフィルター条件を指定する場合にチェックします。この項目をチェックすると、[上位プロトコル] が選択できます。デフォルトは選択されていません。

[上位プロトコル]

使用する上位プロトコルを指定します。指定できる項目は次のとおりです。

- 「TCP」
- 「UDP」

15. 画面 - スイッチ構成ビューのダイアログボックス (BS1000)

- 「ICMP」
- 「IGMP」
「IGMP」は、[フィルター条件の設定 - 基本設定] ダイアログボックスで「送信元 IP」および「あて先 IP」に IPv4 アドレスを入力したときだけ選択できます。
- 「その他」
「その他」を指定した場合は、[プロトコル番号] を必ず指定してください。
プロトコル番号を複数指定したい場合は、[プロトコル番号] と合わせて [プロトコル番号マスク] を指定してください。
例えば、プロトコル番号が 128 (0x80) でプロトコル番号マスクが 240 (0xf0) の場合は、128 ~ 143 (0x8f) の範囲が有効になります。
[プロトコル番号] および [プロトコル番号マスク] は、0 ~ 255 の整数から指定します。

デフォルト値は「TCP」です。

[送信元ポート]

[上位プロトコル] で「TCP」または「UDP」を選択した場合に指定します。

[ポート番号]

送信元ポート番号を 0 ~ 65535 の整数から指定します。

すべてのポート番号を指定したい場合は、プルダウンメニューから「any」を選択できます。「any」または「ANY」と入力して指定することもできます。

[ポートマスク]

送信元ポート番号を複数指定したい場合に、[ポート番号] と合わせて 0 ~ 65535 の整数から指定します。[ポート番号] が「any」の場合は指定できません。

この項目は、flow filter コマンドの list サブコマンドを使用して設定します。

[あて先ポート]

[上位プロトコル] で「TCP」または「UDP」を選択した場合に指定します。

[ポート番号]

あて先ポート番号を 0 ~ 65535 の整数から指定します。

すべてのポート番号を指定したい場合は、プルダウンメニューから「any」を選択できます。「any」または「ANY」と入力して指定することもできます。

[ポートマスク]

あて先ポート番号を複数指定したい場合に、[ポート番号] と合わせて 0 ~ 65535 の整数から指定します。[ポート番号] が「any」の場合は指定できません。

この項目は、flow filter コマンドの list サブコマンドを使用して設定します。

[ICMP タイプ]

[上位プロトコル] で「ICMP」を選択した場合に指定します。この項目を指定した場合、必ず [ICMP コード] も指定してください。

[ICMP タイプ]

ICMP タイプを 0 ~ 255 の整数から指定します。

すべてのタイプを指定したい場合は、プルダウンメニューから「any」を選択できます。「any」または「ANY」と入力して指定することもできます。

[タイプマスク]

ICMP タイプを複数指定したい場合に、[ICMP タイプ] と合わせて 0 ~ 255 の整数から指定します。[ICMP タイプ] が「any」の場合は指定できません。この項目は、flow filter コマンドの list サブコマンドを使用して設定します。

[ICMP コード]

[上位プロトコル] で「ICMP」を選択した場合に指定します。この項目を指定した場合、必ず [ICMP タイプ] も指定してください。

[ICMP コード]

ICMP コードを 0 ~ 255 の整数から指定します。

すべてのタイプを指定したい場合は、プルダウンメニューから「any」を選択できます。「any」または「ANY」と入力して指定することもできます。

[コードマスク]

ICMP コードを複数指定したい場合に、[ICMP コード] と合わせて 0 ~ 255 の整数から指定します。[ICMP タイプ] が「any」の場合は指定できません。この項目は、flow filter コマンドの list サブコマンドを使用して設定します。

[IGMP タイプ]

[上位プロトコル] で「IGMP」を選択した場合に指定します。

[IGMP タイプ]

IGMP タイプを 0 ~ 255 の整数から指定します。

すべてのタイプを指定したい場合は、プルダウンメニューから「any」を選択できます。「any」または「ANY」と入力して指定することもできます。

[タイプマスク]

IGMP コードを複数指定したい場合に、[IGMP タイプ] と合わせて 0 ~ 255 の整数から指定します。[IGMP タイプ] が「any」の場合は指定できません。この項目は、flow filter コマンドの list サブコマンドを使用して設定します。

15.9 [QoS 制御情報の設定] ダイアログボックス

[QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスは、QoS 制御情報を設定するためのダイアログボックスです。

[QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 15-10 [QoS 制御情報の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[QoS 制御情報一覧]

定義済みの QoS 制御情報がリストに一覧表示されます。

[NIF]

QoS 制御情報が設定されているポートの NIF 番号が表示されます。

[ポート]

QoS 制御情報が設定されているポート番号が表示されます。

[状態]

QoS 制御情報が設定されているポートの状態が表示されます。

- 「Enable」

QoS 制御の設定が有効です。

- 「Disable」

QoS 制御の設定が無効です。

[追加] ボタン

QoS 制御の設定を追加するために使用します。[QoS 制御の設定] ダイアログボックスを表示します。

[変更] ボタン

QoS 制御の設定を変更するために使用します。[QoS 制御の設定] ダイアログボックスを表示します。[QoS 制御情報一覧] で任意の 1 行を選択するとクリックできます。

[削除] ボタン

QoS 制御の設定をスイッチから削除するために使用します。[QoS 制御情報一覧] で任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

15.10 [QoS 制御の設定] ダイアログボックス

[QoS 制御の設定] ダイアログボックスは、スイッチへ QoS 制御を設定するためのダイアログボックスです。[QoS 制御の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 15-11 [QoS 制御の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[スイッチ名]

該当するスイッチの名称が表示されます。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名が表示されます。

[ポート]

[選択可能ポート]

スイッチに搭載されているポートのうち、まだ QoS 制御を設定していないポートが表示されます。

[選択ポート] に追加したい場合は、ポートを選択し [追加 >>] ボタンをクリックします。選択したポートは [選択ポート] に移り、[選択可能ポート] からは削除されます。

一度に複数のポートを選択して追加できます。ただし、一度に複数のポートを追加した場合、以降の設定内容 ([状態] および [優先条件]) は、選択したポートすべてに対して設定されます。ポートごとに別の設定をしたい場合は、ポートを一つずつ選択して設定してください。

[QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスで [変更] ボタンをクリックした場

合は、[選択可能ポート] は選択できません。

[選択ポート] への追加は、flow cos コマンドを使用して設定します。

[選択ポート]

選択したポートが表示されます。

設定を解除したい場合は、ポートを選択し [<< 削除] ボタンをクリックします。一度に複数のポートを選択して設定を解除できます。選択したポートは、[選択可能ポート] へ移り、[選択ポート] から削除されます。

[QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスで [変更] ボタンをクリックした場合は、[QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスで選択したポートが表示されています。なお、この場合 [選択ポート] は選択できません。

[状態]

選択したポートのアクセス制御状態を指定します。

- 「Enable」
QoS 制御情報の設定を有効にします。
- 「Disable」
QoS 制御情報の設定を無効にします。

デフォルト値は「Enable」です。

この項目は、flow cos コマンドを使用して設定します。

[優先条件]

[選択ポート] に選択したポートに、[優先条件の設定] ダイアログボックスで定義した優先条件が表示されます。

[QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスで [変更] ボタンをクリックした場合は、[選択ポート] に表示されているポートに設定されている優先条件が表示されます。

表示される項目は [QoS 番号]、[VLAN-ID]、および [優先度] です。各項目の表示内容は、[QoS 制御情報] ダイアログボックスと同じです。詳細については、「15.3 [QoS 制御情報] ダイアログボックス」を参照してください。

[追加] ボタン

ポートに優先条件を追加するために使用します。[優先条件の設定] ダイアログボックスを表示します。

[変更] ボタン

優先条件の設定を変更するために使用します。[優先条件] で、任意の 1 行を選択するとクリックできます。

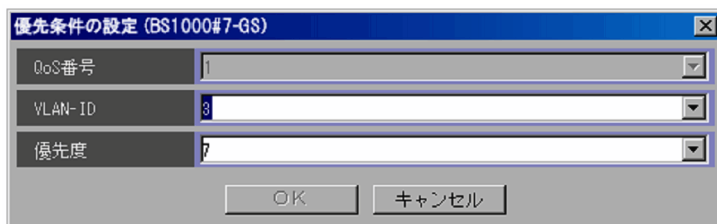
[削除] ボタン

優先条件をポートから削除するために使用します。[優先条件] で、任意の行を選択するとクリックできます。複数行を一度に選択できます。

15.11 [優先条件の設定] ダイアログボックス

[優先制御の設定] ダイアログボックスは、ポートに優先条件を設定するためのダイアログボックスです。[優先条件の設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 15-12 [優先条件の設定] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[QoS 番号]

優先条件を追加するための識別子として、番号を指定します。プルダウンメニューから選択することもできます。QoS 番号には、1 ~ 32 の整数から、まだ対象ポートに割り当てられていない番号を指定できます。

この項目は、[QoS 制御の設定] ダイアログボックスで [変更] をクリックした場合は編集できません。

この項目は、flow cos コマンドの list サブコマンドを使用して設定します。

[VLAN-ID]

優先条件の対象となる VLAN の VLAN-ID を 2 ~ 4063 の整数の範囲で指定します。

この項目には、対象ポートが所属している VLAN-ID のうち、まだ対象ポートに対して優先条件が指定されていない ID を指定できます。

プルダウンメニューから選択することもできます。

[QoS 制御の設定] ダイアログボックスで複数ポートを [選択ポート] に選択した場合、プルダウンメニューには、該当する複数ポートについて選択できるすべての VLAN-ID がすべて表示されます。

この項目は、flow cos コマンドの list サブコマンドを使用して設定します。

[優先度]

該当する優先条件の優先度を指定します。プルダウンメニューから選択することもできます。0 ~ 7 の整数から指定できます。ほかの優先条件に使用している優先度と同じ値も指定できます。

優先度は、1 が最も低く、1, 2, 0, 3, 4, 5, 6, 7 の順に高くなります。

なお、この項目は、IEEE802.1p 標準が推奨する優先度値を使用しています。

IEEE802.1p 標準が推奨する各優先度の用途について、次の表に示します。

表 15-1 各優先度の用途

優先度値	用途分類	IEEE802.1p 標準が推奨する用途
7	特殊用途	ネットワーク制御
6		音声
5		ビデオ
4		制御された負荷
3	一般用途	エクセレントエフォート (優先度高に指定するとき使用)
0		ベストエフォート (普通の優先度に指定するとき使用)
2		予備 (未定義)
1		バックグラウンド (優先度低に指定するとき使用)

この項目は、flow cos コマンドの list サブコマンドを使用して設定します。

15.12 [設定結果] ダイアログボックス

[設定結果] ダイアログボックスは、設定内容の結果を確認するためのダイアログボックスです。次の情報を設定した場合に表示されます。

- アクセス制御情報
- QoS 制御情報

15.12.1 [設定結果] ダイアログボックス (アクセス制御情報)

[設定結果] ダイアログボックス (アクセス制御情報) は、アクセス制御情報を設定した結果を確認するためのダイアログボックスです。[アクセス制御情報の設定] ダイアログボックスでの設定が完了して、[OK] ボタンをクリックしたときに表示されます。ただし、設定内容すべてがスイッチに反映される前に、ネットワーク構成情報の設定が処理中であることを示すメッセージを閉じた場合は表示されません。[設定結果] ダイアログボックス (アクセス制御情報) を次の図に示します。

図 15-13 [設定結果] ダイアログボックス (アクセス制御情報)



表示項目について説明します。

[NIF]

アクセス制御情報を設定した NIF 番号が表示されます。

[ポート]

アクセス制御情報を設定したポート番号が表示されます。

[操作]

該当するポートに対して実行した操作が、「追加」、「変更」、または「削除」で表示されます。

[結果]

該当するポートに対して実行した操作の結果が表示されます。「成功」または「失敗」が表示されます。

[原因]

結果が失敗だった場合、JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージが表示されます。形式は次のとおりです。

「KDNV1nnnn-E メッセージ本文」

JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージの説明と対処方法については、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング」を参照してください。

15.12.2 [設定結果] ダイアログボックス (QoS 制御情報)

[設定結果] ダイアログボックス (QoS 制御情報) は、QoS 制御情報を設定した結果を確認するためのダイアログボックスです。[QoS 制御情報の設定] ダイアログボックスでの設定が完了して、[OK] ボタンをクリックしたときに表示されます。ただし、設定内容すべてがスイッチに反映される前に、ネットワーク構成情報の設定が処理中であることを示すメッセージを閉じた場合は表示されません。[設定結果] ダイアログボックス (QoS 制御情報) を次の図に示します。

図 15-14 [設定結果] ダイアログボックス (QoS 制御情報)



表示項目について説明します。

[NIF]

15. 画面 - スイッチ構成ビューのダイアログボックス (BS1000)

QoS 制御情報を設定した NIF 番号が表示されます。

[ポート]

QoS 制御情報を設定したポート番号が表示されます。

[操作]

該当するポートに対して実行した操作が、「追加」、「変更」、または「削除」で表示されます。

[結果]

該当するポートに対して実行した操作の結果が表示されます。「成功」または「失敗」が表示されます。

[原因]

結果が失敗だった場合、JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージが表示されま
す。形式は次のとおりです。

「KDNV1nnnnn·E メッセージ本文」

JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージの説明と対処方法については、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング」を参照してください。

16 運用関連コマンド

この章では、JP1/Cm2/NC で使用できるコマンドのうち、JP1/Cm2/NC の運用中に使用するコマンドについて説明します。このマニュアルでの記述形式を説明したあと、各コマンドの詳細について説明します。

コマンドの記述形式

コマンド使用時の注意事項

コマンド一覧

コマンドの記述形式

コマンドの説明で使用する見出し、およびコマンドの指定形式について説明します。

コマンドの説明で使用する見出し

このマニュアルでは、次の表に示す見出しを使ってコマンドの詳細を説明しています。

表 16-1 コマンドの説明で使用する見出し

見出し	説明
形式	コマンドの記述形式をまとめています。形式の説明で使用する記号の意味については、「はじめに」を参照してください。
機能	コマンドの機能を説明します。
実行権限	コマンドの実行に必要な権限を説明します。
格納場所	コマンドの格納場所を説明します。
引数	コマンドの引数を説明します。なお、引数にはオプションも含まれます。
注意事項	コマンドを使用する場合に注意することを説明します。また、条件によって制限を受けることがあれば説明します。
戻り値	コマンドの実行後に戻される値を示します。
使用例	オプションを選択したり、具体的な値を入力したりしたコマンドの使用例を示します。
補足事項	補足事項を説明します。出力があるコマンドについては出力形式を説明します。

コマンドの指定形式

コマンドの指定形式を次に示します。

```
ncxxxx
  [△-オプションA[△値a[,値b[,値c…]]]]    … (1)
  [△-オプションB[△値a[,値b[,値c…]]]]    … (1)
  [△任意名X[△任意名Y[△任意名Z…]]]      … (2)
```

(凡例)

△: 1バイト以上の空白文字を必ず指定します。空白文字を省略できません。

(1) をオプションと呼びます。(2) を引数と呼びます。

次に、引数の指定方法を説明します。

- オプションを複数指定する場合、指定順序は任意です。
- 値を持たないオプションに値を指定した場合、システムはその値以降をすべて任意名として処理します。
- 指定できないオプションを指定した場合、エラーになります。

- 指定できる数以上の任意名を指定した場合、エラーになります。
- 引数に指定する文字は、大文字・小文字が区別されます。大文字・小文字の使い分けに注意してください。

コマンド使用時の注意事項

この節では、コマンド使用時の注意事項を説明します。

Windows Vista , Windows 7 , Windows Server 2008 , および Windows Server 2008 R2 で JP1/Cm2/NC が提供するコマンドの注意事項

JP1/Cm2/NC が提供するコマンドは、管理者権限で実行する必要があります。「管理者 : コマンドプロンプト」で実行してください。

「管理者 : コマンドプロンプト」は、Windows Vista , Windows 7 , Windows Server 2008 , および Windows Server 2008 R2 で提供されている機能を使用して起動してください。起動方法の例を次に示します。

1. [スタート] ボタンをクリックします。
2. [すべてのプログラム] - [アクセサリ] を選択します。
3. [コマンド プロンプト] を右クリックして , [管理者として実行] をクリックします。

管理者のパスワードまたは確認を求められた場合は、画面の指示に従って、パスワードを入力するか、または確認情報を設定してください。

コマンド一覧

JP1/Cm2/NC のマニュアルでは、コマンドを JP1/Cm2/NC の運用サイクルごとに分類し、各マニュアルに詳細説明を振り分けて記載しています。

この節では、運用中に使用するコマンドの一覧を示します。そのほかのコマンドの説明については、「付録 D コマンド一覧および文法記載先マニュアル」を参照して、説明の記載先マニュアルを参照してください。

JP1/Cm2/NC の運用中に使用するコマンドは、ISAM 関連コマンドだけです。一覧を次に示します。

各コマンドの形式、機能などの詳細説明は、以降にアルファベット順に記載しています。

表 16-2 ISAM 関連のコマンド一覧

コマンド名	機能
ncmiscond	ISAM ファイルの無効領域を圧縮するためのコマンドです。ISAM は、レコードを更新したり、レコードを削除したりすると、データファイルに無効領域が発生します。そのため、データファイルの無効データを除去して、データファイルを圧縮するために使用します。
ncmisinfo	ISAM キー定義情報を表示するためのコマンドです。未使用領域率を表示して、データファイルの無効領域を圧縮する時期（DB 再編成の時期）を知るために使用します。

ncmiscond

形式

ncmiscond [-r] ISAMファイル名

機能

JP1/Cm2/NC - Manager 用 ISAM 関連コマンドです。データファイルの無効領域を圧縮します。同時に、キーファイルを再構築します。ISAM ではレコードを更新したり、レコードを削除したりすると、データファイルに無効領域が発生します。このコマンドでは、データファイルの無効データを除去して、データファイルを圧縮します。また、キー定義ファイルのキー情報に従って、キーを抽出しながらキーファイルを再構築します。ただし、ファイルにキーが定義されていない場合、キーファイルは再構築しません。

データファイルの無効領域を圧縮する時期（DB 再編成の時期）の目安については、次に示すコマンドを実行して未使用領域率を確認してください。

ncmisinfo -u ISAMファイル名

未使用領域率が 50% 以上の場合、ncmiscond コマンドを実行して、DB の再編成を実施してください。ncmisinfo コマンドの詳細については、「ncmisinfo」を参照してください。

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - Manager インストール先フォルダ ¥bin¥

引数

-r

データファイルおよびキーファイルの圧縮率を表示する場合に指定します。指定すると、ファイル圧縮ユーティリティの実行結果として、圧縮前のファイルサイズに対する圧縮後のファイルサイズの割合が表示されます。

ISAM ファイル名

無効領域を圧縮するデータファイルのファイル名を指定します。引数に指定するファイル名およびファイルの格納先を次の表に示します。

表 16-3 ISAM 関連ファイル一覧

ファイル名	デフォルトの格納フォルダ
NCM_ACL_INTR	<i>NCM_Path</i> ¥db
NCM_AX_ACLLST	
NCM_AX_ENHINF	
NCM_AX_ESSNINF	
NCM_AX_IPV4INF	
NCM_AX_IPV4PKT	
NCM_AX_IPV6INF	
NCM_AX_MACFLTR	
NCM_AX_PORTINF	
NCM_BI_POOL	
NCM_BI_POOLBIND	
NCM_BI_RSPT	
NCM_BS_ACLINF	
NCM_BS_ENHANCE	
NCM_BS_FLWCTL	
NCM_BS_IPINF	
NCM_BS_MACINF	
NCM_BS_PROTINF	
NCM_BS_QOSINF	
NCM_BS_UPLINK	
NCM_CS_PORTMODE	
NCM_CS_VLANBAS	
NCM_CS_VLANENH	
NCM_CS_VTP	
NCM_DBVERSION	
NCM_ES_APOLINF	
NCM_ES_BINDINF	
NCM_ES_BINDLKP	
NCM_ES_COMINF	
NCM_ES_GENINF	
NCM_ES_GRPINF	
NCM_ES_POLINF	
NCM_ES_RSINF	
NCM_ES_ZONINF	

16. 運用関連コマンド

ncmiscond

ファイル名	デフォルトの格納フォルダ
NCM_PORT_PROF	
NCM_RS_CONF	
NCM_RS_PORT	
NCM_SLB_SWCONF	
NCM_SVR_BIND	
NCM_SWTH_CONFIG	
NCM_SWTH_LOOKUP	
NCM_SWTH_PORT	
NCM_SWTH_PROTOC	
NCM_VLAN_CONFIG	
NCM_VLAN_INF	
NCM_VLAN_IPADDR	
NCM_VLAN_PORT	
NCM_VLAN_PROTOC	
NCM_VS_CONF	
NCM_VS_PORT	

注

各ファイルの拡張子は、次のどれかになります。

- キー定義ファイルの場合、「.KDF」
- 主キーファイルの場合、「.K01」
- 副キーファイルの場合、「.Knn」（「nn」には 02 ~ 99 の値が入ります）
- データファイルの場合、「.DRF」

ドライブおよびディレクトリを省略した場合は、カレントドライブおよびカレントディレクトリが仮定されます。複数のファイルを指定する場合は、ファイル名を 1 文字以上のスペースで区切ります。また、ワイルドカード「*」を使用してファイルを指定できます。なお、スペースを含むファイル名を指定する場合は、「」（引用符）で囲みます。指定例を次に示します。

(例)

- 「c:¥data」フォルダにあるすべてのファイルを指定する場合
ncmiscond c:¥data¥*
- 「c:¥data」フォルダにある、ファイル名が「SAMPLE」で始まるファイルを指定する場合
ncmiscond c:¥data¥SAMPLE*

注意事項

- ファイルを圧縮するときにワークファイルを使用します。また、ファイルの圧縮では、

データファイルの複製を作成してからキーファイルを構築します。このとき、ISAMファイルの中で最もサイズが大きいファイルの3倍以上の空き容量が必要です。そのため、容量の大きいファイルを圧縮する場合には、ドライブまたはパーティションに十分な空き容量があるか注意してください。

- 複数のファイルを指定してコマンドを実行した場合で、処理の途中で入出力エラーが発生したとき、またはファイルがなかったときは、その時点でコマンドの実行は終了します。
- 圧縮率を表示するオプションを指定して実行した場合、結果が表示されるまでに時間が掛かることがあります。

戻り値

0	正常終了。
1	異常終了。

ncmisinfo

形式

ncmisinfo [-u] ISAMファイル名

機能

索引順編成ファイルを構成するデータファイルに関する情報、およびキーファイルに関する情報を表示します。未使用領域率を表示することで、データファイルの無効領域を圧縮する時期（DB再編成の時期）を知ることができます。未使用領域率が50%以上の場合、ncmiscond コマンドを実行して、DBの再編成を実施してください。ncmiscond コマンドの詳細については、「ncmiscond」を参照してください。

次に示すキー定義ファイルの内容を表示します。

データファイルに関する情報

レコード形式、レコード長、フラグ類

キーファイルに関する情報

キーファイルページ長、キー項目名、キー項目数、キーファイル名、フラグ類、キーの要素数、キーの位置、キーの長さ、キーの属性

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - Manager インストール先フォルダ ¥bin¥

引数

-u

レコードの削除や更新によってデータファイルおよびキーファイルに未使用領域ができます。このファイルの未使用領域サイズの割合を表示する場合に指定します。なお、未使用領域率が高い場合は、ファイル圧縮ユーティリティ（ncmiscond コマンド）で未使用領域率を0にできます。

ISAM ファイル名

キー定義情報を表示するファイルのファイル名を指定します。引数に指定するファイル名は、「表 16-3 ISAM 関連ファイル一覧」を参照してください。ドライブおよびディレクトリを省略した場合は、カレントドライブおよびカレントディレクトリが仮定されません。複数のファイルを指定する場合は、ファイル名を1文字以上のスペースで区切ります。また、ワイルドカード「*」を使用してファイルを指定できます。スペースを含むファイル名を指定する場合は、「」（引用符）で囲みます。指定例を次に示します。

(例)

- 「c:¥data」フォルダにあるすべてのファイルを指定する場合
ncmisinfo c:¥data¥*
- 「c:¥data」フォルダにある、ファイル名が「SAMPLE」で始まるファイルを指定する場合
ncmisinfo c:¥data¥SAMPLE*

注意事項

- 複数のファイルを指定してコマンドを実行した場合で、処理の途中で入出力エラーが発生したとき、またはファイルがなかったときは、その時点でコマンドの実行は終了します。
- 検証結果をテキストファイルなどに出力したい場合は、>のあとに出力先のファイル名を指定して、リダイレクトしてください。指定例を次に示します。

(例)

```
ncmisinfo sample > info.txt
```

- 未使用領域を表示するオプションを指定して実行した場合、キー定義情報が表示されるまでに時間が掛かることがあります。
- 未使用領域を表示するオプションを指定して実行した場合で、指定した索引順編成ファイルがほかの処理で使用中のとき、占有エラーとなります。

戻り値

0	正常終了。
1	異常終了。

付録

付録 A 制限値一覧

付録 B JP1/Cm2/NC - Adaptor が発行するコマンド一覧

付録 C DB 更新時に [Network Element Configuration - View] ウィンドウが
取得する情報

付録 D コマンド一覧および文法記載先マニュアル

付録 E 各バージョンの変更内容

付録 F 用語解説

付録 A 制限値一覧

付録 A.1 文字の制限

次に示す文字は、JP1/Cm2/NC でスイッチ名や備考（コメント）などを設定する場合に使用できません。

シフト JIS と SJIS で、UCS-2 に対してマッピングが異なる文字

～ || - ¢ & ー

丸付き数字（シフト JIS のコード番号：8740～8753）

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳

ローマ数字の大文字（シフト JIS のコード番号：8754～875D）

I II III IV V VI VII VIII IX X

単位の記号類（シフト JIS のコード番号：875F～8775）

ミリ キロ メトル トン ゼ 録 毘 担 ドル トン 録 mm cm km mg kg cc m²

そのほかの記号類（シフト JIS のコード番号：877E～879C）

〒 " „ No. KK. Tel. 上 中 下 左 右 (株) (有) (代) 晒 疋 嘲
≡ ≡ ∫ φ Σ √ ⊥ ∠ ⊥ ∠ ∴ ∩ ∪

IBM 拡張文字コード表 (シフト JIS のコード番号 : FA40 ~ FC4B)

区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
シフトJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
FA40	11501	i	ii	iii	iv	v	vi	vii	viii	ix	x	I	II	III	IV	V	VI
FA50	11517	VII	VIII	IX	X	一	丨	'	ˆ	㊦	No.	TEL	∴	續	襲	鎂	銈
FA60	11533	𪛗	𪛘	𪛙	𪛚	精	銀	昇	𪛜	丨	𪛞	任	公	仔	但	𪛟	𪛠
FA70	11549	𪛡	𪛢	𪛣	𪛤	𪛥	𪛦	𪛧	𪛨	𪛩	𪛪	𪛫	𪛬	𪛭	𪛮	𪛯	𪛰
FA80	11564	𪛱	𪛲	𪛳	𪛴	𪛵	𪛶	𪛷	𪛸	𪛹	𪛺	𪛻	𪛼	𪛽	𪛾	𪛿	𪜀
FA90	11580	𪜁	𪜂	𪜃	𪜄	𪜅	𪜆	𪜇	𪜈	𪜉	𪜊	𪜋	𪜌	𪜍	𪜎	𪜏	𪜐
FAA0	11602	𪜑	𪜒	𪜓	𪜔	𪜕	𪜖	𪜗	𪜘	𪜙	𪜚	𪜛	𪜜	𪜝	𪜞	𪜟	𪜠
FAB0	11618	𪜡	𪜢	𪜣	𪜤	𪜥	𪜦	𪜧	𪜨	𪜩	𪜪	𪜫	𪜬	𪜭	𪜮	𪜯	𪜰
FAC0	11634	𪜱	𪜲	𪜳	𪜴	𪜵	𪜶	𪜷	𪜸	𪜹	𪜺	𪜻	𪜼	𪜽	𪜾	𪜿	𪝀
FAD0	11650	𪝁	𪝂	𪝃	𪝄	𪝅	𪝆	𪝇	𪝈	𪝉	𪝊	𪝋	𪝌	𪝍	𪝎	𪝏	𪝐
FAE0	11666	𪝑	𪝒	𪝓	𪝔	𪝕	𪝖	𪝗	𪝘	𪝙	𪝚	𪝛	𪝜	𪝝	𪝞	𪝟	𪝠
FAF0	11682	𪝡	𪝢	𪝣	𪝤	𪝥	𪝦	𪝧	𪝨	𪝩	𪝪	𪝫	𪝬	𪝭			
FB40	11701	𪝱	𪝲	𪝳	𪝴	𪝵	𪝶	𪝷	𪝸	𪝹	𪝺	𪝻	𪝼	𪝽	𪝾	𪝿	𪞀
FB50	11717	𪞁	𪞂	𪞃	𪞄	𪞅	𪞆	𪞇	𪞈	𪞉	𪞊	𪞋	𪞌	𪞍	𪞎	𪞏	𪞐
FB60	11733	𪞑	𪞒	𪞓	𪞔	𪞕	𪞖	𪞗	𪞘	𪞙	𪞚	𪞛	𪞜	𪞝	𪞞	𪞟	𪞠
FB70	11749	𪞡	𪞢	𪞣	𪞤	𪞥	𪞦	𪞧	𪞨	𪞩	𪞪	𪞫	𪞬	𪞭	𪞮	𪞯	𪞰
FB80	11764	𪞱	𪞲	𪞳	𪞴	𪞵	𪞶	𪞷	𪞸	𪞹	𪞺	𪞻	𪞼	𪞽	𪞾	𪞿	𪟀
FB90	11780	𪟁	𪟂	𪟃	𪟄	𪟅	𪟆	𪟇	𪟈	𪟉	𪟊	𪟋	𪟌	𪟍	𪟎	𪟏	𪟐
FBA0	11802	𪟑	𪟒	𪟓	𪟔	𪟕	𪟖	𪟗	𪟘	𪟙	𪟚	𪟛	𪟜	𪟝	𪟞	𪟟	𪟠
FBB0	11818	𪟡	𪟢	𪟣	𪟤	𪟥	𪟦	𪟧	𪟨	𪟩	𪟪	𪟫	𪟬	𪟭	𪟮	𪟯	𪟰
FBC0	11834	𪟱	𪟲	𪟳	𪟴	𪟵	𪟶	𪟷	𪟸	𪟹	𪟺	𪟻	𪟼	𪟽	𪟾	𪟿	𪠀
FBD0	11850	𪠁	𪠂	𪠃	𪠄	𪠅	𪠆	𪠇	𪠈	𪠉	𪠊	𪠋	𪠌	𪠍	𪠎	𪠏	𪠐
FBE0	11866	𪠑	𪠒	𪠓	𪠔	𪠕	𪠖	𪠗	𪠘	𪠙	𪠚	𪠛	𪠜	𪠝	𪠞	𪠟	𪠠
FBF0	11882	𪠡	𪠢	𪠣	𪠤	𪠥	𪠦	𪠧	𪠨	𪠩	𪠪	𪠫	𪠬	𪠭	𪠮		
FC40	11901	𪠱	𪠲	𪠳	𪠴	𪠵	𪠶	𪠷	𪠸	𪠹	𪠺	𪠻	𪠼	𪠽			

NEC 選定 IBM 拡張文字コード表 (シフト JIS のコード番号 : ED40 ~ EEFC)

区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
シフトJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
ED40	8901	續	襲	鏗	銑	甌	偈	焯	昱	精	銀	昇	彌	丨	仝	任	佶
ED50	8917	仔	但	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻
ED60	8933	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞
ED70	8949	厓	厲	規	雙	吃	味	咩	哿	喆	巫	坦	垠	垠	垠	垠	垠
ED80	8964	塚	增	撫	爰	麥	奮	奮	奮	好	妹	孖	窠	甯	寘	寬	奈
ED90	8980	岄	岑	崧	崧	崧	崧	崧	崧	崧	崧	崧	崧	崧	崧	崧	崧
EDA0	9002	愨	悅	愨	愨	愨	愨	愨	愨	愨	愨	愨	愨	愨	愨	愨	愨
EDB0	9018	擎	教	昀	昕	昂	昉	昉	昉	昉	昉	昉	昉	昉	昉	昉	昉
EDC0	9034	曠	曠	曠	曠	曠	曠	曠	曠	曠	曠	曠	曠	曠	曠	曠	曠
EDD0	9050	褶	樺	橫	舞	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺
EDE0	9066	浯	涖	涖	涖	涖	涖	涖	涖	涖	涖	涖	涖	涖	涖	涖	涖
EDF0	9082	瀟	瀨	炆	炆	炆	炆	炆	炆	炆	炆	炆	炆	炆	炆	炆	炆
EE40	9101	狄	猻	猪	獷	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣
EE50	9117	璉	璉	璉	璉	璉	璉	璉	璉	璉	璉	璉	璉	璉	璉	璉	璉
EE60	9133	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪
EE70	9149	綠	緒	繪	罇	羨	羽	茁	莘	茂	菇	萃	菴	蒹	蕓	蕓	蕓
EE80	9164	董	蔞	薰	蘊	甦	虻	婁	訥	訥	詹	誦	閭	誦	諸	諶	諶
EE90	9180	譚	賸	賴	賢	趕	尅	軋	返	逸	遼	郎	都	鄉	鄧	鈇	釧
EEA0	9202	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧
EEB0	9218	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑
EEC0	9234	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑
EED0	9250	隴	隴	靈	靈	靈	靈	靈	靈	靈	靈	靈	靈	靈	靈	靈	靈
EEE0	9266	高	齏	齏	齏	齏	齏	齏	齏	齏	齏	齏	齏	齏	齏	齏	齏
EEF0	9282	ii	iii	iv	v	vi	vii	viii	ix	x	一	丨	'	"			i

付録 B JP1/Cm2/NC - Adaptor が発行するコマンド一覧

JP1/Cm2/NC - Adaptor はスイッチのコマンドを発行して情報を設定します。管理対象スイッチごとに、JP1/Cm2/NC - Adaptor が発行するコマンドについて一覧で示します。各コマンドの詳細やサブコマンドについては、スイッチのソフトウェアマニュアルを参照してください。

付録 B.1 JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series が発行するコマンド一覧

JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series が、管理対象スイッチに対して発行するコマンドの一覧を、対象スイッチごとに次の表に示します。

(1) AX2400S および AX3600S に対して発行するコマンド

JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series が AX2400S および AX3600S に対して発行するコマンドを次に示します。

表 B-1 JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series が AX2400S および AX3600S に対して発行する運用コマンド一覧

分類	コマンド名称	機能
モード切り替え	enable	装置管理者へのモード変更
	disable	装置管理者モードの終了
	exit	現在のユーザーモード、コマンド入力モードの終了
	configure	構成定義コマンドモードの開始
	end	構成定義コマンドモードの終了
ターミナル設定	set terminal pager	ページング処理の有無設定
装置管理	show system	装置運用状態 / 統計情報表示
メッセージ・ログ	set logging console	システムメッセージレベル設定
VLAN 情報	show vlan	VLAN 情報の表示

表 B-2 JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series が AX2400S および AX3600S に対して発行する構成定義コマンド一覧

分類	コマンド名称	機能
構成定義操作	save	構成定義ファイルの保存
	exit	構成定義コマンドモードの終了
	end	構成定義コマンドモードの終了

分類	コマンド名称		機能
	interface gigabitethernet		構成定義コマンド（インターフェース）モードへのモード変更
	interface tengigabitethernet		構成定義コマンド（インターフェース）モードへのモード変更
	interface vlan		構成定義コマンド（インターフェース）モードへのモード変更
構成定義設定（VLAN 関連）	state		VLAN 構成情報の「状態」の設定
	name		VLAN 構成情報の「VLAN 名」の設定
	vlan-mac		VLAN 構成情報の「VLAN ごとの MAC アドレス 使用有無」の設定
	vlan-dot1q-ethertype		VLAN Tag の TPID 設定
	vlan-mac-prefix		VLAN ごとの MAC アドレスプレフィックス設定
構成定義設定（VLAN インターフェース関連）	ip address		IPv4 アドレスの設定
	ipv6 address		IPv6 アドレスの設定
	ipv6 enable		IPv6 アドレスの使用有無
構成定義設定（ポート 関連）	switchport mode		ポートモードの設定
	switchport dot1q ethertype		TPID の設定
	switchport access vlan		ポート種別をアクセスポートに設定
	switchport trunk native vlan		ポート種別をネイティブ指定のトランクポートに 設定
	switchport trunk allowed vlan		ポート種別をトランクポートに設定
	show interface		ポート情報の表示
構成定義設定（フロー 検出モード）	flow detection mode		フロー検出モードの設定
	show flow		フロー検出モードの表示
構成定義設定（アクセ ス制御リスト関連）	mac access-list extended	permit	MAC フィルター条件（転送）の設定
		deny	MAC フィルター条件（廃棄）の設定
		remark	MAC フィルターの補足説明の設定
	show mac access-list extended		MAC フィルターの表示
	ip access-list standard	permit	IPv4 アドレスフィルター条件（転送）の設定
		deny	IPv4 アドレスフィルター条件（廃棄）の設定
		remark	IPv4 アドレスフィルターの補足説明の設定

分類	コマンド名称	機能						
	show ip access-list standard	IPv4 アドレスフィルターの表示						
	ip access-list extended	<table border="1"> <tr> <td>permit</td> <td>IPv4 パケットフィルター条件（転送）の設定</td> </tr> <tr> <td>deny</td> <td>IPv4 パケットフィルター条件（廃棄）の設定</td> </tr> <tr> <td>remark</td> <td>IPv4 パケットフィルターの補足説明の設定</td> </tr> </table>	permit	IPv4 パケットフィルター条件（転送）の設定	deny	IPv4 パケットフィルター条件（廃棄）の設定	remark	IPv4 パケットフィルターの補足説明の設定
permit	IPv4 パケットフィルター条件（転送）の設定							
deny	IPv4 パケットフィルター条件（廃棄）の設定							
remark	IPv4 パケットフィルターの補足説明の設定							
	show ip access-list extended	IPv4 パケットフィルターの表示						
	show access-list	IPv4 フィルターの表示						
	ipv6 access-list	<table border="1"> <tr> <td>permit</td> <td>IPv6 フィルター条件（転送）の設定</td> </tr> <tr> <td>deny</td> <td>IPv6 フィルター条件（廃棄）の設定</td> </tr> <tr> <td>remark</td> <td>IPv6 フィルターの補足説明の設定</td> </tr> </table>	permit	IPv6 フィルター条件（転送）の設定	deny	IPv6 フィルター条件（廃棄）の設定	remark	IPv6 フィルターの補足説明の設定
permit	IPv6 フィルター条件（転送）の設定							
deny	IPv6 フィルター条件（廃棄）の設定							
remark	IPv6 フィルターの補足説明の設定							
	show ipv6 access-list	IPv6 フィルターの表示						
構成定義設定（アクセス制御関連）	mac access-group	MAC フィルターの適用						
	ip access-group	IPv4 フィルターの適用						
	ipv6 traffic-filter	IPv6 フィルターの適用						

注

コマンドのモードを表します。このコマンドを実行して、コマンドモードを変更してから permit, deny, remark などのコマンドを使用します。

(2) AX5400S および AX7800S に対して発行するコマンド

JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series が AX5400S および AX7800S に対して発行するコマンドを次に示します。

表 B-3 JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series が AX5400S および AX7800S に対して発行する運用コマンド一覧

分類	コマンド名称	機能
モード切り替え	enable	装置管理者へのモード変更
	disable	装置管理者モードの終了
	exit	現在のユーザーモード、コマンド入力モードの終了
	configure	構成定義コマンドモードの開始
	end	構成定義コマンドモードの終了
ターミナル設定	set terminal pager	ページング処理の有無設定
装置管理	show system	装置運用状態 / 統計情報表示
PSU/NIF 管理	show nif	NIF 運用情報の表示
メッセージ・ログ	set logging console	システムメッセージレベル設定

分類	コマンド名称	機能
VLAN 情報	show vlan	VLAN 情報の表示

表 B-4 JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series が AX5400S および AX7800S に対して発行する構成定義操作コマンド一覧

操作コマンド名称	機能
save	構成定義ファイルを保存
exit	構成定義コマンドモードを終了
end	構成定義コマンドモードを終了
prompt	実行確認メッセージの表示・非表示の設定
show	構成定義情報の表示

表 B-5 JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series が AX5400S および AX7800S に対して発行する構成定義コマンド一覧

コマンド名称	定義内容
vlan	VLAN 情報
ip	IP ルーティング情報
vlan-tpid	VLAN TPID 情報
vlan-mac-prefix	VLAN ごとの MAC アドレス情報
vlan-drop-unknown	未定義フレーム破棄機能情報

付録 B.2 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series が発行するコマンド一覧

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series が、管理対象スイッチに対して発行するコマンドの一覧を、対象スイッチごとに次の表に示します。

(1) BS1000 に対して発行するコマンド

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series が BS1000 に対して発行するコマンドを次に示します。

表 B-6 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series が BS1000 に対して発行する運用コマンド一覧

分類	コマンド名称	機能
モード切り替え	enable	装置管理者へのモード変更
	disable	装置管理者モードの終了
	exit	現在のユーザーモード, コマンド入力モードの終了
	configure	構成定義コマンドモードの開始
	end	構成定義コマンドモードの終了
装置管理	show system	装置運用状態 / 統計情報表示
PSU/NIF 管理	show nif	NIF 運用情報
VLAN 情報	show vlan	VLAN 情報
アクセス制御および QoS 制御情報	show flow	アクセス制御および QoS 制御情報

表 B-7 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series が BS1000 に対して発行する構成定義操作コマンド一覧

操作コマンド名称	機能
save	構成定義ファイルを保存
exit	構成定義コマンドモードを終了
end	構成定義コマンドモードを終了
prompt	実行確認メッセージの表示・非表示の設定
show	構成定義情報の表示

表 B-8 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series が BS1000 に対して発行する構成定義コマンド一覧

コマンド名称	定義内容
vlan	VLAN 情報
flow	フロー制御状態の設定
flow cos	QoS 制御
flow filter	アクセス制御

(2) BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 に対して発行するコマンド

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series が BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 に対して発行するコマンドを次に示します。

表 B-9 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series が BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 に対して発行する運用コマンド一覧

分類	コマンド名称	機能
モード切り替え	enable	装置管理者へのモード変更
	disable	装置管理者モードの終了
	exit	現在のユーザーモード, コマンド入力モードの終了
	configure	構成定義コマンドモードの開始
	end	構成定義コマンドモードの終了
ターミナル設定	set terminal pager	ページング処理の有無設定
装置管理	show system	装置運用状態 / 統計情報表示
メッセージ・ログ	set logging console	システムメッセージレベル設定
VLAN 情報	show vlan	VLAN 情報の表示

表 B-10 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series が BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 に対して発行する構成定義コマンド一覧

分類	コマンド名称	機能
構成定義操作	save	構成定義ファイルの保存
	exit	構成定義コマンドモードの終了
	end	構成定義コマンドモードの終了
	interface gigabitethernet	構成定義コマンド (インターフェース) モードへのモード変更
	interface tengigabitethernet	構成定義コマンド (インターフェース) モードへのモード変更
	interface vlan	構成定義コマンド (インターフェース) モードへのモード変更
構成定義設定 (VLAN 関連)	state	VLAN 構成情報の「状態」の設定
	name	VLAN 構成情報の「VLAN 名」の設定
	vlan mac	VLAN 構成情報の「VLAN ごとの MAC アドレス使用有無」の設定
	vlan dot1q ethertype	VLAN Tag の TPID 設定
	vlan mac prefix	VLAN ごとの MAC アドレスプレフィックス設定
構成定義設定 (VLAN インターフェース関連)	ip address	IPv4 アドレスの設定
	ipv6 address	IPv6 アドレスの設定
	ipv6 enable	IPv6 アドレスの使用有無
構成定義設定 (ポート関連)	switchport mode	ポートモードの設定

分類	コマンド名称		機能
	switchport dot1q ethertype		TPID の設定
	switchport access vlan		ポート種別をアクセスポートに設定
	switchport trunk native vlan		ポート種別をネイティブ指定のトランクポートに設定
	switchport trunk allowed vlan		ポート種別をトランクポートに設定
	show interface		ポート情報の表示
構成定義設定 (フロー検出モード)	flow detection mode		フロー検出モードの設定
	show flow		フロー検出モードの表示
構成定義設定 (アクセス制御リスト関連)	mac access-list extended	permit	MAC フィルター条件 (転送) の設定
		deny	MAC フィルター条件 (廃棄) の設定
		remark	MAC フィルターの補足説明の設定
	show mac access-list extended		MAC フィルターの表示
	ip access-list standard	permit	IPv4 アドレスフィルター条件 (転送) の設定
		deny	IPv4 アドレスフィルター条件 (廃棄) の設定
		remark	IPv4 アドレスフィルターの補足説明の設定
	show ip access-list standard		IPv4 アドレスフィルターの表示
	ip access-list extended	permit	IPv4 パケットフィルター条件 (転送) の設定
		deny	IPv4 パケットフィルター条件 (廃棄) の設定
		remark	IPv4 パケットフィルターの補足説明の設定
	show ip access-list extended		IPv4 パケットフィルターの表示
	show access-list		IPv4 フィルターの表示
	ipv6 access-list	permit	IPv6 フィルター条件 (転送) の設定
deny		IPv6 フィルター条件 (廃棄) の設定	
remark		IPv6 フィルターの補足説明の設定	
show ipv6 access-list		IPv6 フィルターの表示	
構成定義設定 (アクセス制御関連)	mac access-group		MAC フィルターの適用
	ip access-group		IPv4 フィルターの適用
	ipv6 traffic-filter		IPv6 フィルターの適用

分類	コマンド名称	機能
構成定義設定 (アップリンクフェイルオーバー関連)	uplink-failover port-control	ポート単位制御の設定
	uplink-failover partial-mode	部分ポート単位制御の設定
	uplink-failover	アップリンクフェイルオーバーの設定
	uplink-failover-group	アップリンクフェイルオーバーグループへの所属

注

コマンドのモードを表します。このコマンドを実行して、コマンドモードを変更してから permit, deny, remark などのコマンドを使用します。

付録 B.3 JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch が発行するコマンド一覧

JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch が、Cisco Catalyst に対して発行するコマンドの一覧を、次の表に示します。

表 B-11 JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch が発行するコマンド一覧

分類	コマンド名称	機能
入力モードの移動	configure terminal	CONFIG モードに移動
	interface gigabitethernet	CONFIG-IF モードに移動
	interface tengigabitethernet	
	interface vlan	
	vlan	<ul style="list-style-type: none"> • CONFIG-VLAN モードに移動 • VLAN の作成, または削除
	vlan database	VLAN モードに移動
	end	CONFIG モードの終了
	exit	ログアウト
VLAN 関連	name	VLAN の動作状態を設定
	state	各ポートの VLAN モードを設定
	said	アクセスポートが所属する VLAN を設定
ポート設定関連	switchport mode	ポートの VLAN メンバースhipモードを設定
	switchport trunk encapsulation	トランクポートのカプセル化形式を設定
	switchport trunk	ポート種別をトランクポートに設定
	switchport access vlan	ポート種別をアクセスポートに設定

分類	コマンド名称	機能
IP アドレス	ip address	IP アドレスを設定
ターミナル設定	terminal length 0	端末画面出力の一時停止機能の無効化
ログ・メッセージ	no logging console	システムメッセージのコンソール出力抑止
設定の保存	write memory	変更内容をフラッシュメモリに保存
情報表示	show version	モデル番号, ファームウェアのバージョン情報の表示
	show vtp status	VTP 情報の表示
	show interfaces switchport	レイヤー 2 モードのポートに関する情報の表示
	show	標準範囲 VLAN の設定情報の表示 (VLAN モード)
	show running-config vlan	拡張範囲 VLAN の設定情報の表示
	show running-config	SVI 情報の表示

付録 B.4 JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer が発行するコマンドについて

JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer は F5 社が提供している API を使用して、情報を設定します。

付録 B.5 JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series が発行するコマンド一覧

JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series が、GS3000 および GS4000 に対して発行するコマンドの一覧を、以降の表に示します。

表 B-12 JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series が発行する運用コマンド一覧

分類	コマンド名称	機能
モード切り替え	enable	装置管理者へのモード変更
	disable	装置管理者モードの終了
	exit	現在のユーザーモード, コマンド入力モードの終了
	configure	構成定義コマンドモードの開始
	end	構成定義コマンドモードの終了
ターミナル	set terminal pager	ページング処理の有無設定
装置管理	show system	装置運用状態 / 統計情報表示
PSU/NIF 管理	show nif	NIF 運用情報
メッセージ・ログ	set logging console	システムメッセージレベル設定
VLAN 情報	show vlan	VLAN 情報

表 B-13 JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series が発行する構成定義操作コマンド一覧

操作コマンド名称	機能
save	構成定義ファイルを保存
exit	構成定義コマンドモードを終了
end	構成定義コマンドモードを終了
prompt	実行確認メッセージの表示・非表示の設定
show	構成定義情報の表示

表 B-14 JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series が発行する構成定義コマンド一覧

コマンド名称	定義内容
vlan	VLAN 情報
ip	IP ルーティング情報
vlan-tpid	VLAN TPID 情報
vlan-mac-prefix	VLAN ごとの MAC アドレス情報
vlan-drop-unknown	未定義フレーム破棄機能情報

付録 B.6 JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal が発行するコマンド一覧

JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal が、HA8000-ie/Loadflowbal に対して発行するコマンドの一覧を、以降の表に示します。

表 B-15 JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal が発行する運用コマンド一覧

分類	コマンド名称	機能
レベル移行	enable	Privileged EXEC レベルへの移行
	exit	Privileged EXEC レベルを終了
	configure terminal	グローバル CONFIG レベルへの移行
page-display モード	skip-page-display	page-display モードの無効化
装置管理	show version	装置情報詳細表示
実行設定管理	show running-config	実行設定情報表示

表 B-16 JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal が発行する構成定義操作コマンド一覧

操作コマンド名称	機能
write memory	実行設定を startup-config ファイルに保存
exit	グローバル CONFIG レベルを終了

表 B-17 JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal が発行する構成定義コマンド一覧

コマンド名称	定義内容
server predictor	ロードバランシング方法の設定
server port	ポートプロファイルの設定
server real-name	物理サーバの設定
server virtual-name	論理サーバの設定

付録 B.7 JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager が発行するコマンドについて

JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager は、System Traffic Manager との間で専用インターフェースを使用して情報を設定します。

付録 C DB 更新時に [Network Element Configuration - View] ウィンドウが取得する情報

ほかの JP1/Cm2/NC - View によって JP1/Cm2/NC - Manager の DB が更新された場合、[Network Element Configuration - View] ウィンドウで再取得される最新情報は現在表示しているビューによって異なります。JP1/Cm2/NC - Manager の DB で更新された情報と、各ビューで取得する情報の関係を次の表に示します。

表 C-1 JP1/Cm2/NC - Manager の DB 更新時に各ビューが取得する情報

更新された情報	現在表示しているビュー	取得する情報
スイッチが持つすべての構成情報 (JP1/Cm2/NC - Adaptor を起動したとき)	すべてのビュー	JP1/Cm2/NC - View を起動したときと同様の情報が取得されます。
スイッチが持つすべての構成情報 (JP1/Cm2/NC - Adaptor を停止したとき、または構成情報の同期を取ったとき)	管理対象ビュー	更新されたスイッチのスイッチ情報 ¹ が取得されます。
	VLAN ビュー	更新されたスイッチの情報だけ取得されます。 <ul style="list-style-type: none"> 該当するスイッチが VLAN ビューに表示されている場合は、スイッチ情報¹および VLAN 情報が取得されます。ただし、VLAN 定義情報は取得されません。 該当するスイッチの状態が変化した場合は、スイッチ情報¹が取得されます。 そのほかの場合は、何も取得されません。²
	SLB ビュー	更新されたスイッチの情報だけ取得されます。 <ul style="list-style-type: none"> 該当スイッチが SLB ビューに表示されている場合は、スイッチ情報¹および SLB 情報が取得されます。 該当スイッチの状態が変化した場合は、スイッチ情報¹が取得されます。 そのほかの場合は、何も取得されません。²
	スイッチ構成ビュー	更新されたスイッチの情報だけ取得されます。 <ul style="list-style-type: none"> 該当スイッチがスイッチ構成ビューに表示されている場合は、スイッチ情報¹、VLAN 情報³(ただし、VLAN 定義情報は取得されません)、アクセス制御情報、アクセス制御リスト情報、QoS 制御情報、およびアップリンクフェイルオーバー情報が取得されます。 そのほかの場合は、何も取得されません。²

更新された情報	現在表示しているビュー	取得する情報
VLAN 情報	管理対象ビュー	更新されたスイッチのスイッチ情報 ¹ が取得されます。
	VLAN ビュー	更新されたスイッチのスイッチ情報 ^{1, 4} および VLAN 情報が取得されます。
	SLB ビュー	更新されたスイッチの情報だけ取得されます。 <ul style="list-style-type: none"> 該当スイッチが SLB ビューに表示されている場合は、スイッチ情報¹が取得されます。 そのほかの場合は、何も取得されません。²
	スイッチ構成ビュー	更新されたスイッチの情報だけ取得されます。 <ul style="list-style-type: none"> 該当スイッチがスイッチ構成ビューに表示されている場合は、スイッチ情報¹および VLAN 情報が取得されます。ただし、VLAN 定義情報は取得されません。 そのほかの場合は、何も取得されません。²
SLB 情報	管理対象ビュー	更新されたスイッチのスイッチ情報 ¹ が取得されます。
	VLAN ビュー	更新されたスイッチの情報だけ取得されます。 <ul style="list-style-type: none"> 該当スイッチが VLAN ビューに表示されている場合は、スイッチ情報¹が取得されます。 そのほかの場合は、何も取得されません。²
	SLB ビュー	更新されたスイッチのスイッチ情報 ¹ および SLB 情報が取得されます。
	スイッチ構成ビュー	更新されたスイッチの情報だけ取得されます。 <ul style="list-style-type: none"> 該当スイッチがスイッチ構成ビューに表示されている場合は、スイッチ情報¹が取得されます。 そのほかの場合は、何も取得されません。²
アクセス制御情報 アクセス制御リスト情報	管理対象ビュー	更新されたスイッチのスイッチ情報 ¹ が取得されます。
QoS 制御情報 アップリンクフェイルオーバー情報	VLAN ビュー	更新されたスイッチの情報だけ取得されます。 <ul style="list-style-type: none"> 該当スイッチが VLAN ビューに表示されている場合は、スイッチ情報¹が取得されます。 そのほかの場合は、何も取得されません。²

更新された情報	現在表示しているビュー	取得する情報
	SLB ビュー	更新されたスイッチの情報だけ取得されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 該当スイッチが SLB ビューにある場合、スイッチ情報¹が取得されます。 • そのほかの場合は、何も取得されません。²
	スイッチ構成ビュー	更新されたスイッチのスイッチ情報 ¹ 、アクセス制御情報、アクセス制御リスト情報、QoS 制御情報、およびアップリンクフェイルオーバー情報が取得されます。
スイッチ構成情報	管理対象ビュー	更新されたスイッチのスイッチ情報 ¹ が取得されます。
	VLAN ビュー	更新されたスイッチの情報だけ取得されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 該当スイッチが VLAN ビューにある場合は、スイッチ情報¹および VLAN 情報が取得されます。ただし、VLAN 定義情報は取得されません。 • そのほかの場合は、何も取得されません。²
	SLB ビュー	更新されたスイッチの情報だけ取得されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 該当スイッチが SLB ビューにある場合は、スイッチ情報¹および SLB 情報が取得されます。 • そのほかの場合は、何も取得されません。²
	スイッチ構成ビュー	更新されたスイッチの情報だけ取得されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 該当スイッチがスイッチ構成ビューに表示されている場合は、スイッチ情報¹、VLAN 情報³(ただし、VLAN 定義情報は取得されません)、アクセス制御情報、アクセス制御リスト情報、QoS 制御情報、およびアップリンクフェイルオーバー情報が取得されます。 • そのほかの場合は、何も取得されません。²

注 1

スイッチ情報とは、リストエリアのスイッチリスト、スイッチ情報リスト、および [スイッチ情報] ダイアログボックスに表示される内容をいいます。

注 2

DB の情報が更新されたときの動作を「確認」にしても「情報更新の確認」ダイアログは表示されません。

注 3

QoS 制御情報の設定で使用するために取得されます。

注 4

更新された情報が VLAN 定義情報だけの場合は更新されません。

付録 D コマンド一覧および文法記載先マニュアル

JP1/Cm2/NC で使用できるコマンドの一覧および文法が記載されているマニュアルを示します。

コマンド一覧は、次のグループに分けて記載します。

- JP1/Cm2/NC を制御するコマンド
- HNTRLib2 用コマンド
- ISAM 関連のコマンド
- CLI 運用関連のコマンド
- トラブルシューティング関連のコマンド

(凡例)

機能・構築：

マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」で説明しています。

運用・操作：

このマニュアルで説明しています。

CLI 運用：

マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration CLI 運用ガイド」で説明しています。

トラブル：

マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング」で説明しています。

表 D-1 JP1/Cm2/NC を制御するコマンド一覧 (JP1/Cm2/NC - Manager 関連)

コマンド名	機能	記載マニュアル
ncmuser	マネージャーサーバにログインを許可するユーザーを設定するためのコマンドです。	機能・構築
ncmconvertdb	マネージャーサーバの DB を旧バージョン形式から新バージョン形式に変換するためのコマンドです。	
ncmcreatedb	マネージャーサーバの DB を作成するためのコマンドです。	
ncmunlock	マネージャーサーバの DB に掛けられたロックを強制的に解除するためのコマンドです。	トラブル

表 D-2 JP1/Cm2/NC を制御するコマンド一覧 (JP1/Cm2/NC - Adaptor 関連)

コマンド名	対象製品	機能	記載マニュアル
ncaaxpwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series	JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンドです。管理対象スイッチへのアクセス用パスワードを登録します。また、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したすべてのスイッチを一覧で表示するために使用します。	機能・構築
ncabipwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer		
ncabspwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series		
ncacspwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch		
ncagspwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series		
ncalfpwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/ Loadflowbal		
ncastpwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager		

表 D-3 HNTRLib2 用コマンド一覧

コマンド名	機能	記載マニュアル
hntr2util	HNTRLib2 用コマンドです。統合トレース (HNTRLib2) が出力する統合トレースログファイルの設定を変更するためのコマンドです。	機能・構築

表 D-4 ISAM 関連のコマンド一覧

コマンド名	機能	記載マニュアル
ncmischk	ISAM ファイル (索引順編成ファイル) を検証するためのコマンドです。	トラブル
ncmiscond	ISAM ファイルの無効領域を圧縮するためのコマンドです。	運用・操作
ncmisinfo	ISAM キー定義情報を表示するためのコマンドです。	
ncmismkctr	ISAM ロックテーブルの情報を表示するためのコマンドです。	トラブル

表 D-5 CLI 運用関連のコマンド一覧

コマンド名	機能	記載マニュアル
nevclecmd	CLI を実行するためのコマンドです。	CLI 運用
nevcsetup	CLI の環境設定をするためのコマンドです。	

表 D-6 トラブルシューティング関連のコマンド一覧

コマンド名	対象製品	機能	記載マニュアル
ncmlog.bat	JP1/Cm2/NC - Manager (32 ビット版 OS の場合)	障害発生時に資料を採取するためのコマンドです。	トラブル
ncmlog_x64.bat	JP1/Cm2/NC - Manager (64 ビット版 OS の場合)		
ncvlog.bat	JP1/Cm2/NC - View (32 ビット版 OS の場合)		
ncvlog_x64.bat	JP1/Cm2/NC - View (64 ビット版 OS の場合)		
ncaaxlog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series		
ncabilog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer		
ncabslog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series (32 ビット版 OS の場合)		
ncabslog_x64.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series (64 ビット版 OS の場合)		
ncacslog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch		
ncagslog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series		
ncalflog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/ Loadflowbal		

コマンド名	対象製品	機能	記載マニュアル
ncastlog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager		

付録 E 各バージョンの変更内容

(1) 09-01 の変更内容

- BS2000 および BS320 に対して、アップリンクフェイルオーバーを設定および管理できるようにした。
- アップリンクフェイルオーバーのサポートに伴い、画面図の説明を追加・変更した。
- nemiscond コマンドで指定できる ISAM 関連ファイルに、次のファイルを追加した。
 - NCM_BS_ENHANCE
 - NCM_BS_UPLINK
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series が発行するコマンド一覧に、アップリンクフェイルオーバー関連の情報を追加した。
- データベース更新時に [Network Element Configuration - View] ウィンドウが取得する情報にアップリンクフェイルオーバー関連の情報を追加した。

(2) 09-00 の変更内容

- JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS1000 の後継製品として JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series を提供し、サポートする管理対象スイッチに BS2000 を追加した。
- BS2000 の追加に伴い、[IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックスを変更した。
- JP1/Cm2/NC - Manager の適用 OS に Windows Server 2003(x64) , Windows Server 2003 R2(x64) および Windows Server 2008 を追加した。
- JP1/Cm2/NC -View の適用 OS に Windows Server 2003(x64) , Windows Server 2003 R2(x64) , Windows Vista , および Windows Server 2008 を追加した。
- トラブルシューティング関連の次のコマンドを追加した。
ncabslog_x64.bat , ncmlog_x64.bat , ncvlog_x64.bat

(3) 08-10 の変更内容

- AX2400S , AX3600S および BS320 のサポートする機能にアクセス制御を追加した。
- AX2400S , AX3600S および BS320 のサポートする VLAN で設定できるポートモードに「トンネリング」を追加した。
- nemiscond コマンドの対象ファイルに、次の ISAM ファイルを追加した。
NCM_ACL_INTR , NCM_AX_ACLLST , NCM_AX_IPV4INF ,
NCM_AX_IPV4PKT , NCM_AX_IPV6INFN , CM_AX_MACFLTR

(4) 08-00 の変更内容

- BS1000 について、アクセス制御および QoS 制御の設定・管理をサポートした。
- サポートする管理対象スイッチに、AX2400S , AX3600S , および小型 BS を追加した。
- JP1/Cm2/NC - View の画面に、アクセス制御および QoS 制御を設定・管理するスイッチ構成ビューを追加した。

- JP1/Cm2/NC - View の画面から、ヘルプボタンを削除した。

なお、08-00 対応マニュアルでは、前版の 07-52 対応マニュアルを 4 分冊しています。
07-52 対応マニュアルと 08-00 対応マニュアルの関係は次のとおりです。

07-52 対応マニュアル		08-00 対応マニュアル		
章番号	タイトル	マニュアル	章番号	タイトル
1 章	JP1/Cm2/NC の概要	機能・構築	1 章	JP1/Cm2/NC の概要
2 章	JP1/Cm2/NC の機能		2 章	JP1/Cm2/NC の機能
3 章	インストールとセットアップ		3 章	インストールとセットアップ
4 章	JP1/Cm2/NC の起動と終了	機能・構築	3.4	運用上の注意事項 ¹
		運用・操作	1 章	JP1/Cm2/NC の起動と終了
5 章	ネットワーク構成情報の表示	運用・操作	2 章	ネットワーク構成情報の表示
6 章	VLAN の設定		3 章	VLAN の設定
7 章	SLB の設定		4 章	SLB の設定
-	-		5 章	VLAN および SLB 以外の情報の設定
8 章	画面・基本画面		6 章	画面・基本画面
-	-		7 章	画面・VLAN ビューのダイアログボックス (AX2400S・AX3600S・小型 BS)
9 章	画面・VLAN ビューのダイアログボックス (AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000)		8 章	画面・VLAN ビューのダイアログボックス (AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000)
10 章	画面・VLAN ビューのダイアログボックス (BS1000)	9 章	画面・VLAN ビューのダイアログボックス (BS1000)	
11 章	画面・VLAN ビューのダイアログボックス (Cisco Catalyst)	10 章	画面・VLAN ビューのダイアログボックス (Cisco Catalyst)	
12 章	画面・SLB ビューのダイアログボックス (BIG-IP)	11 章	画面・SLB ビューのダイアログボックス (BIG-IP)	
13 章	画面・SLB ビューのダイアログボックス (HA8000-ie/Loadflowbal)	12 章	画面・SLB ビューのダイアログボックス (HA8000-ie/Loadflowbal)	
14 章	画面・SLB ビューのダイアログボックス (STM)	13 章	画面・SLB ビューのダイアログボックス (STM)	
-	-	14 章	画面・スイッチ構成ビューのダイアログボックス (BS1000)	
15 章	コマンド	機能・構築	4 章	セットアップ関連コマンド

付録 E 各バージョンの変更内容

07-52 対応マニュアル		08-00 対応マニュアル		
章番号	タイトル	マニュアル	章番号	タイトル
		運用・操作	15 章	運用関連コマンド
		トラブル	2 章	トラブルシューティング関連コマンド
16 章	定義ファイル	機能・構築	5 章	定義ファイル
17 章	他製品との連携	機能・構築	6 章	他製品との連携
		トラブル	2 章	トラブルシューティング関連コマンド ²
18 章	トラブルシューティング	トラブル	1 章	トラブルシューティング
19 章	CLI の概要	CLI	1 章	CLI の概要
20 章	CLI の運用		2 章	CLI の運用
21 章	CLI 関連コマンド		3 章	CLI 関連コマンド
22 章	構成パラメーター定義ファイル		4 章	構成パラメーター定義ファイル
23 章	メッセージ	トラブル	3 章	メッセージ
付録 A	ファイルおよびディレクトリ一覧	機能・構築 ³	付録 A	ファイルおよびディレクトリ一覧
		トラブル ³	付録 A	
付録 B	ポート番号一覧	機能・構築 ³	付録 B	ポート番号一覧
		トラブル ³	付録 B	
付録 C	制限値一覧	機能・構築 ³	付録 C	制限値一覧
		運用・操作 ³	付録 A	
		CLI ³	付録 A	
付録 D	JP1/Cm2/NC・Adaptor が発行するコマンド一覧	運用・操作	付録 B	JP1/Cm2/NC・Adaptor が発行するコマンド一覧
付録 E	DB 更新時に [Network Element Configuration - View] ウィンドウが取得する情報	運用・操作	付録 C	DB 更新時に [Network Element Configuration - View] ウィンドウが取得する情報
	-	機能・構築	付録 D	コマンド一覧および文法記載先マニュアル
		運用・操作	付録 D	
		CLI	付録 B	

07-52 対応マニュアル		08-00 対応マニュアル		
章番号	タイトル	マニュアル	章番号	タイトル
		トラブル	付録 C	
付録 F	クラスタシステムでの運用	機能・構築	付録 E	クラスタシステムでの運用
付録 G	各バージョンの変更内容	機能・構築 ₄	付録 F	各バージョンの変更内容
		運用・操作 ₄	付録 E	
		CLI ₄	付録 C	
		トラブル ₄	付録 D	
付録 H	用語解説	機能・構築 ₃	付録 G	用語解説
		運用・操作 ₃	付録 F	
		CLI ₃	付録 D	
		トラブル ₃	付録 E	

(凡例)

- : 07-52 対応マニュアルには該当しない。

機能・構築 : JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド

運用・操作 : JP1/Cm2/Network Element Configuration 運用・操作ガイド

CLI : JP1/Cm2/Network Element Configuration CLI 運用ガイド

トラブル : JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング

注 1

07-52 対応マニュアルの「4.4 運用上の注意事項」のうち、システムの運用に関する注意事項だけ記載しています。

注 2

07-52 対応マニュアルの「17.1.7 JP1/Cm2/NC - Manager for Cosminexus 関連コマンド」のうち、トラブルシューティングに関するコマンドの記載先を変更しました。

注 3

記述内容は各マニュアル共通です。

注 4

08-00 の変更内容については、各マニュアルで記述内容が異なります。それより前のバージョンの変更内容は、各マニュアルで共通です。

(5) 07-52 の変更内容

- サポートする管理対象スイッチに、STM を追加した。
- JP1/Cm2/NC のプログラムに、JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager

を追加した。

- 次のメッセージを追加した。
KDNV10685-E・KDNV10686-E・KDNV10687-E・KDNV10688-E・
KDNV10689-I・KDNV10690-E・KDNV10691-E・KDNV10692-E・
KDNV10693-E・KDNV10694-E

(6) 07-51 の変更内容

- サポートする管理対象スイッチに、AX5400S および AX7800S を追加した。
- サポートする管理対象スイッチに、BIG-IP を追加した。
- サポートする管理対象スイッチに、Cisco Catalyst を追加した。
- JP1/Cm2/NC のプログラムに、JP1/Cm2/NC・Adaptor for AX Series を追加した。
- JP1/Cm2/NC のプログラムに、JP1/Cm2/NC・Adaptor for Cisco Switch を追加した。
- JP1/Cm2/NC のプログラムに、JP1/Cm2/NC・Adaptor for F5 Load Balancer を追加した。
- CLI (Command Line Interface) によってスイッチを設定する機能をサポートし、JP1/AJS2 などと連携してシステムを自動運用できるようにした。
- 次のメッセージを追加した。
KDNV10129-E ~ KDNV10133-E, KDNV10137-E, KDNV10307-E ~
KDNV10310-E, KDNV10528-E ~ KDNV10567-E, KDNV10637-E ~
KDNV10684-E, KDNV10816-E ~ KDNV10818-E, KDNV11000-E ~
KDNV11006-E, KDNV11012-E, KDNV11025-E, KDNV11031-E,
KDNV11100-E, KDNV11108-E, KDNV11109-E, KDNV11111-E, KDNV11119-E,
KDNV11125-E, KDNV11200-I ~ KDNV11249-I, KDNV11251-I ~
KDNV11257-E, KDNV11300-E ~ KDNV11304-E, KDNV11306-E ~
KDNV11309-E, KDNV11311-E ~ KDNV11321-E, KDNV20110-E,
KDNV20728-E, KDNV20826-E, KDNV21017-E, KDNV30161-E ~
KDNV30173-E
- 次の英文メッセージを追加した。
KDNV30050-E ~ KDNV30055-E, KDNV30060-E ~ KDNV30067-E,
KDNV30070-E, KDNV30071-E, KDNV30090-W ~ KDNV30092-W
- 次のメッセージの説明を変更した。
KDNV30114-E

(7) 07-50 の変更内容

- JP1/IM との連携機能を追加した。
- サポートする管理対象スイッチに、GS3000 を追加した。
- サポートする管理対象スイッチに、BS1000 を追加した。
- JP1/Cm2/NC のプログラムに、JP1/Cm2/NC・Adaptor for BS1000 を追加した。
- VLAN に追加するスイッチの種類を選択できる [スイッチの選択] ダイアログボックスを追加した。
- スイッチの変更をするときに選択できるスイッチの数を一つだけにした。

- 定義情報を削除するときに選択できるスイッチおよび VLAN の数を複数にした。
- BS1000 用のポート VLAN 設定画面を追加した。
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS1000 用のパスワード設定コマンドである「ncabspwd」を追加した。
- トラブルシューティング関連のコマンドを追加した。
ncabslog.bat , ncaolog.bat , ncmcolog.bat , ncmcolog.sh , ncagslog.bat ,
ncalflog.bat , ncmlog.bat , ncvlog.bat
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS1000 の定義ファイルを追加した。
- 「JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf)」に、JP1 イベントを発行するかどうかを設定できる [Notify Event] セクションを追加した。
- Cosminexus 連携オプションの対応 OS を追加した。
- JP1/Cm2/NC - Manager for Cosminexus ランタイム部の UNIX マシンへのインストール方法を追加した。
- JP1/Cm2/NC - Manager for Cosminexus ランタイム部 (UNIX) の情報採取ツールで採取できる情報およびフォルダ一覧を追加した。
- クラスタシステムでの運用を追加した。
- 次のメッセージを追加した。
KDNV10126-E ~ KDNV10128-E , KDNV19031-E , KDNV20404-E ,
KDNV20727-E , KDNV21000-E ~ KDNV21003-E , KDNV21005-E ~
KDNV21016-E , KDNV21100-E , KDNV21102-E ~ KDNV21105-W
- 次のメッセージ本文を変更した。
KDNV10006-W , KDNV10108-E , KDNV10116-E , KDNV10124-E ,
KDNV10504-W , KDNV10513-E , KDNV10518-E , KDNV10519-E ,
KDNV10525-E , KDNV10614-E , KDNV10616-I , KDNV10620-I , KDNV19000-E ,
KDNV19001-E , KDNV19006-E , KDNV19008-I ~ KDNV19010-E ,
KDNV19012-E , KDNV19013-I , KDNV19020-E , KDNV19025-E ,
KDNV19028-E , KDNV19029-E , KDNV19066-E , KDNV20505-E ,
KDNV20600-E , KDNV20700-I , KDNV20705-E , KDNV20707-E ~
KDNV20709-E , KDNV20711-E , KDNV20714-E ~ KDNV20716-E ,
KDNV20719-E , KDNV20721-E , ~ KDNV20723-E , KDNV20725-E ,
KDNV20726-E , KDNV20805-I

(8) 07-11 の変更内容

- JP1/Cm2/NC の機能に、サーバロードバランシング (SLB) を管理する機能を追加した。
- 他製品との連携機能を追加した。
- サポートする管理対象スイッチに、HA8000-ie/Loadflowbal を追加した。
- JP1/Cm2/NC のプログラムに、JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal を追加した。
- JP1/Cm2/NC のメイン画面である [Network Element Configuration -View] ウィンドウを「管理対象ビュー」、「VLAN ビュー」および「SLB ビュー」に細分化した。

- ネットワーク構成ツリーのルートを「ネットワーク」から「ルート」に変更した。
- 構成情報のないスイッチは「管理対象ビュー」だけに表示されるように変更した。
- プログラムのインストールに、バージョンアップを追加した。
- JP1/Cm2/NC - View のログイン画面で、表示するビューを選択するように変更した。
- ショートカットメニューに、[構成情報の同期] を追加した。
- メニューコマンドに、「telnet」を追加した。
- JP1/Cm2/NC - Manager をバージョンアップしたときに使用するコマンドである「ncmconvertdb」を追加した。
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal 用コマンドである「ncalfpwd」を追加した。
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal の定義ファイルを追加した。
- 次のメッセージを追加した。
KDNV10124-E, KDNV10125-E, KDNV10600-I ~ KDNV10605-E, KDNV10608-I ~ KDNV10617-E, KDNV10620-I ~ KDNV10628-I, KDNV10634-I ~ KDNV10636-W, KDNV10939-E, KDNV19000-E, KDNV19001-E, KDNV19005-E ~ KDNV19017-E, KDNV19020-E ~ KDNV19030-E, KDNV19041-E, KDNV19052-E, KDNV19064-E ~ KDNV19074-I, KDNV20015-E, KDNV20016-E, KDNV20201-E ~ KDNV20203-E, KDNV20505-E, KDNV20600-E, KDNV20602-E ~ KDNV20604-I, KDNV20700-I ~ KDNV20726-E, KDNV30157-E ~ KDNV30160-E, KDNV31022-E
- 次のメッセージ本文を変更した。
KDNV20801-E
- JP1/Cm2/NC が提供している保守用コマンドを使用するときの注意事項を追加した。
- ネットワーク構成ツリーを再構成したときに取得する情報一覧を追加した。

付録 F 用語解説

用語解説については、マニュアル「JP1 Version 9 JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド (3020-3-T05-30)」を参照してください。

索引

A

AX2400S および AX3600S

- 画面 (VLAN ビュー) 193
- 画面 (スイッチ構成ビュー) 365
- システム状態の変更について 11
- 注意事項 11
- ミラーポートに設定されているポートについて 11

AX5400S および AX7800S

- VLAN にポートを設定する場合の注意 11
- 画面 219
- システム状態の変更について 11
- 注意事項 11
- 認識できる NIF の状態 11

B

BIG-IP

- 画面 289
- 注意事項 12
- プール名の指定について 12
- ロードバランシング方法 165
- 論理サーバポート名の指定について 12

BS1000

- 画面 (VLAN ビュー) 243
- 画面 (スイッチ構成ビュー) 435
- システム状態の変更について 13
- 冗長化 (二重化) されているスイッチの設定について 13
- 注意事項 13

BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40

- 画面 (VLAN ビュー) 193
- 画面 (スイッチ構成ビュー) 365
- システム状態の変更について 13

C

Cisco Catalyst

JP1/Cm2/NC で扱うポートについて 14

VTP アドバタイズによる情報の更新について 14

VTP の扱いについて 14

拡張範囲 VLAN の作成について 14

画面 263

注意事項 14

CLI

環境設定をする 498

実行する 498

D

DB

掛けられたロックを強制的に解除する 496

旧バージョン形式から新バージョン形式に変換する 496

再編成の時期 470

作成する 496

G

GS3000 および GS4000

VLAN にポートを設定する場合の注意 15

画面 219

システム状態の変更について 15

注意事項 14

認識できる NIF の状態 14

H

HA8000-ie/Loadflowbal

画面 315

注意事項 15

ロードバランシング方法 171

I

[IPv4 アドレスフィルター条件の設定] ダイアログボックス 404

- IPv4 アドレスフィルター条件を設定する 404
- [IPv4 アドレスフィルター情報] ダイアログボックス 376
- [IPv4 アドレスフィルターの設定] ダイアログボックス 401
- IPv4 アドレスフィルターの設定内容を確認する 376
- IPv4 アドレスフィルターを設定する 401
- [IPv4 パケットフィルター条件の設定] ダイアログボックス
- AX2400S・AX3600S 409
 - BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 416
- IPv4 パケットフィルター条件を設定する
- AX2400S・AX3600S 409
 - BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 416
- [IPv4 パケットフィルター情報] ダイアログボックス 378
- [IPv4 パケットフィルターの設定] ダイアログボックス 406
- IPv4 パケットフィルターの設定内容を確認する 378
- IPv4 パケットフィルターを設定する 406
- [IPv6 フィルター条件の設定] ダイアログボックス 425
- IPv6 フィルター条件を設定する 425
- [IPv6 フィルター情報] ダイアログボックス 380
- [IPv6 フィルターの設定] ダイアログボックス 422
- IPv6 フィルターの設定内容を確認する 380
- IPv6 フィルターを設定する 422
- ISAM 関連ファイル一覧 471
- ISAM キー定義情報を表示する 469
- ISAM ファイル (索引順編成ファイル) を検証する 497
- ISAM ファイルの無効領域を圧縮する 469
- ISAM ロックテーブルの情報を表示する 497
- J**
-
- JP1/Cm2/NC
- ~以外の手段による構成定義変更について 10
 - 起動 5
 - サービス一覧 2
 - 終了 8
 - スイッチとの間の通信経路について 10
- JP1/Cm2/NC - Adaptor
- 起動 5
 - サービス一覧 3
 - 終了 8
- JP1/Cm2/NC - Manager
- 起動 5
 - サービス一覧 2
 - 終了 8
 - ログインする 124
- JP1/Cm2/NC - View
- 起動 6
 - サービス一覧 2
 - 終了 8
- M**
-
- MAC アドレス 240
- [MAC フィルター条件の設定] ダイアログボックス 398
- MAC フィルター条件を設定する 398
- [MAC フィルター情報] ダイアログボックス 374
- [MAC フィルターの設定] ダイアログボックス 395
- MAC フィルターの設定内容を確認する 374
- MAC フィルターを設定する 395
- N**
-
- ncmiscond 470
- ncmisinfo 474
- [Network Element Configuration - View] ウィンドウ
- SLB ビュー 152
 - VLAN ビュー 141
 - 概要 126
 - 管理対象ビュー 134

構成要素 128
 サイズと表示 127
 取得する情報 (DB 更新時) 492
 スイッチ構成ビュー 185

Q

QoS 制御情報 132
 [QoS 制御情報] ダイアログボックス 441
 QoS 制御情報の設定 132
 [QoS 制御情報の設定] ダイアログボックス 456
 QoS 制御情報の設定ボタン 186
 QoS 制御情報を設定した結果を確認する 463
 QoS 制御情報を設定する 456
 QoS 制御の状態を確認する 441
 [QoS 制御の設定] ダイアログボックス 458
 QoS 制御を設定する 458

S

SLB 情報 130
 SLB の構成や状態を表示 152
 SLB ビュー
 会社リスト 177
 画面遷移図 116
 グループ情報リスト 181
 グループリスト 180
 構成要素 153
 サブツリーリスト (BIG-IP) 162
 サブツリーリスト (HA8000-ie/
 Loadflowbal) 170
 サブツリーリスト (STM) 176
 スイッチリスト (BIG-IP) 161
 スイッチリスト (HA8000-ie/
 Loadflowbal) 169
 スイッチリスト (STM) 175
 ゾーン情報リスト 179
 ゾーンリスト 178
 ツールバー 153
 ツリーエリア (BIG-IP) 154
 ツリーエリア (HA8000-ie/
 Loadflowbal) 156

ツリーエリア (STM) 158
 ツリーエリアで選択した要素とリスト
 エリアに表示される内容の対応
 (BIG-IP) 161
 ツリーエリアで選択した要素とリスト
 エリアに表示される内容の対応
 (HA8000-ie/Loadflowbal) 169
 ツリーエリアで選択した要素とリスト
 エリアに表示される内容の対応
 (STM) 175
 ネットワーク構成要素 (BIG-IP) 155
 ネットワーク構成要素 (HA8000-ie/
 Loadflowbal) 157
 ネットワーク構成要素 (STM) 159
 バインドリスト 183
 プールリスト 166
 物理サーバ情報リスト 182
 物理サーバポートリスト (BIG-IP)
 167
 物理サーバポートリスト (HA8000-
 ie/Loadflowbal) 173
 物理サーバリスト (BIG-IP) 167
 物理サーバリスト (HA8000-ie/
 Loadflowbal) 172
 物理サーバリスト (STM) 181
 プロパティ画面 23
 メニューコマンド 132
 リストエリア (BIG-IP) 160
 リストエリア (HA8000-ie/
 Loadflowbal) 168
 リストエリア (STM) 174
 論理サーバポートリスト (BIG-IP)
 163
 論理サーバポートリスト (HA8000-
 ie/Loadflowbal) 171
 論理サーバリスト (BIG-IP) 162
 論理サーバリスト (HA8000-ie/
 Loadflowbal) 170

STM

ESTM Admin を使用して STM を設
 定する場合の注意 16
 画面 347
 注意事項 16

バインド構成情報の設定について 16
ロードバランシング方法 180

T

telnet 133

TPID 228

V

[VLAN 一覧] ダイアログボックス

AX2400S・AX3600S・BS2000・
BS320・BS500・BS500 1Gbx40
199

AX5400S・AX7800S・GS3000・
GS4000 224

BS1000 247

Cisco Catalyst 268

[VLAN インターフェース] ページ ([アクセス
制御情報] ダイアログボックス) 384

[VLAN インターフェース] ページ ([アクセス
制御情報の設定] ダイアログボックス)
430

VLAN および SLB 以外の設定状況を表示し
たり, 設定したりする 185

VLAN 管理ドメインの配下にどのようなス
イッチがあるかを確認する

AX2400S・AX3600S・BS2000・
BS320・BS500・BS500 1Gbx40
198

AX5400S・AX7800S・GS3000・
GS4000 223

BS1000 246

Cisco Catalyst 267

VLAN 管理ドメインリスト 144

VLAN 構成情報の設定 130

[VLAN 構成情報の設定] ダイアログボック
ス

AX2400S・AX3600S・BS2000・
BS320・BS500・BS500 1Gbx40
207

AX5400S・AX7800S・GS3000・
GS4000 231

BS1000 251

Cisco Catalyst 276

VLAN 構成情報の設定ボタン 142

VLAN 構成情報を設定する

AX2400S・AX3600S・BS2000・
BS320・BS500・BS500 1Gbx40
207

AX5400S・AX7800S・GS3000・
GS4000 231

BS1000 251

Cisco Catalyst 276

VLAN ごとの MAC アドレス 228

VLAN 情報 130

VLAN 定義情報を VLAN 管理ドメインに追
加する

AX2400S・AX3600S・BS2000・
BS320・BS500・BS500 1Gbx40
201

AX5400S・AX7800S・GS3000・
GS4000 226

BS1000 249

Cisco Catalyst 270

VLAN 定義の追加 130

[VLAN 定義の追加] ダイアログボックス

AX2400S・AX3600S・BS2000・
BS320・BS500・BS500 1Gbx40
201

AX5400S・AX7800S・GS3000・
GS4000 226

BS1000 249

Cisco Catalyst 270

VLAN 定義の変更 130

[VLAN 定義の変更] ダイアログボックス

AX2400S・AX3600S・BS2000・
BS320・BS500・BS500 1Gbx40
202

AX5400S・AX7800S・GS3000・
GS4000 227

BS1000 250

Cisco Catalyst 271

VLAN に追加するスイッチの種類を選択する

AX2400S・AX3600S・BS2000・
BS320・BS500・BS500 1Gbx40
210

- AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000 234
- BS1000 254
- Cisco Catalyst 280
- VLAN の構成情報を設定した結果を確認する
 - AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 216
 - AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000 241
 - BS1000 260
 - Cisco Catalyst 287
- VLAN の構成や状態を表示 141
- VLAN の状態を開放・閉塞
 - AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 213
 - AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000 238
 - BS1000 258
 - Cisco Catalyst 284
- VLAN ビュー
 - VLAN 管理ドメインリスト 144
 - VLAN リスト 145
 - 画面遷移図 113
 - 構成要素 142
 - スイッチリスト 146
 - ツールバー 142
 - ツリーエリア 142
 - ツリーエリアで選択した要素とリスト
エリアに表示される内容の対応 144
 - ネットワーク構成要素 143
 - プロパティ画面 20
 - ポートリスト 147
 - メニューコマンド 132
 - リストエリア 144
- VLAN リスト 145

- あ**

- アイコンの色と状態 128
- アクセス制御情報 131
 - [アクセス制御情報] ダイアログボックス
 - AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 382
 - BS1000 438
 - アクセス制御情報の設定 131
 - [アクセス制御情報の設定] ダイアログボックス
 - AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 427
 - BS1000 444
 - アクセス制御情報の設定ボタン 186
 - アクセス制御情報を設定した結果を確認する
 - AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 433
 - BS1000 462
 - アクセス制御情報を設定する
 - AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 427
 - BS1000 444
 - アクセス制御の状態を確認する
 - AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 382
 - BS1000 438
 - [アクセス制御の設定] ダイアログボックス 446
 - [アクセス制御リスト情報] ダイアログボックス 372
 - アクセス制御リスト情報の設定 131
 - アクセス制御リスト情報の設定結果を確認する 432
 - [アクセス制御リスト情報の設定] ダイアログボックス 392
 - アクセス制御リスト情報を設定する 392
 - アクセス制御リストの内容を確認する 372
 - アクセス制御を設定する 446
 - AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 82
 - BS1000 95

アダプターサーバ

- ～が管理しているスイッチを確認 134
- ～と管理しているスイッチの対応を確認 134

アダプターリスト 137

[アップリンクフェイルオーバー] ページ

- BS2000・BS320・BS500・BS500
- 1Gbx40(スイッチ構成情報の設定) 389
- BS2000・BS320・BS500・BS500
- 1Gbx40(スイッチ情報) 370

う

運用上の注意事項 10

お

オプション 133

か

会社リスト 177

確認 133

画面遷移 112

- SLB ビュー 116
- VLAN ビュー 113
- 管理対象ビュー 112
- スイッチ構成ビュー 119

管理対象ビュー

- 画面遷移 112
- 構成要素 135
- スイッチリスト 138
- ツールバー 135
- ツリーエリア 135
- ツリーエリアで選択した要素とリスト
エリアに表示される内容の対応 137
- ネットワーク構成要素 136
- メニューコマンド 132
- リストエリア 136

き

起動

- JP1/Cm2/NC - Adaptor 5
- JP1/Cm2/NC - Manager 5
- JP1/Cm2/NC - View 6
- プログラムを起動する順序 5

く

グループ情報リスト 181

[グループの選択] ダイアログボックス 359

グループリスト 180

こ

構成情報の同期 132

構成リスト 190

コマンド

- ncmiscond 470
- ncmisinfo 474
- 一覧 469
- 記述形式 466
- 指定形式 466
- 説明で使用する見出し 466

コマンド使用時の注意事項 468

さ

サービス

- JP1/Cm2/NC - Adaptor 3
- JP1/Cm2/NC - Manager 2
- JP1/Cm2/NC - View 2
- 起動する方法(手動) 5
- 起動方法 5
- 終了する方法(手動) 8
- 終了方法 8
- スタートアップの種類 2

最新の情報に更新 132

最新の情報に更新ボタン 135

再編成の時期 469

サブツリーリスト

- BIG-IP 162
- HA8000-ie/Loadflowbal 170
- STM 176

し

自動 133

終了

JP1/Cm2/NC - Adaptor 8

JP1/Cm2/NC - Manager 8

JP1/Cm2/NC - View 8

終了 (ログアウト) 130

手動 133

障害発生時に資料を採取する 498

状態アイコン 128

す

[スイッチ一覧] ダイアログボックス

AX2400S ・ AX3600S ・ BS2000 ・

BS320 ・ BS500 ・ BS500 1Gbx40
198

AX5400S ・ AX7800S ・ GS3000 ・

GS4000 223

BS1000 246

Cisco Catalyst 267

スイッチ構成情報の設定 130

[スイッチ構成情報の設定] ダイアログボ
ックス

AX2400S ・ AX3600S (スイッチ構成
ビュー) 385

AX2400S ・ AX3600S ・ BS2000 ・
BS320 ・ BS500 ・ BS500 1Gbx40
203

AX2400S ・ AX3600S ・ BS2000 ・
BS320 ・ BS500 ・ BS500 1Gbx40
(スイッチ構成ビュー) 387

AX5400S ・ AX7800S ・ GS3000 ・
GS4000 228

BS1000 443

Cisco Catalyst 272

HA8000-ie/Loadflowbal 324

スイッチ構成情報の設定ボタン 142

[スイッチ構成情報] ページ

AX2400S ・ AX3600S (スイッチ構成
ビュー) 368

AX2400S ・ AX3600S ・ BS2000 ・

BS320 ・ BS500 ・ BS500 1Gbx40
(VLAN ビュー) 196

AX5400S ・ AX7800S ・ GS3000 ・
GS4000 222

BS1000 437

Cisco Catalyst 265

HA8000-ie/Loadflowbal 318

スイッチ構成情報を設定

AX2400S ・ AX3600S (スイッチ構成
ビュー) 385

BS2000 ・ BS320 ・ BS500 ・ BS500
1Gbx40 (スイッチ構成ビュー)
387

スイッチ構成情報を設定する

AX2400S ・ AX3600S ・ BS2000 ・

BS320 ・ BS500 ・ BS500 1Gbx40
(VLAN ビュー) 203

AX5400S ・ AX7800S ・ GS3000 ・
GS4000 228

BS1000 443

Cisco Catalyst 272

HA8000-ie/Loadflowbal 324

スイッチ構成ビュー 132

画面遷移図 119

構成要素 186

構成リスト 190

スイッチリスト 189

ツールバー 186

ツリーエリア 187

ツリーエリアで選択した要素とリスト
エリアに表示される内容の対応
188

ネットワーク構成要素 187

プロパティ画面 26

ポートリスト 189

リストエリア 188

[スイッチ情報] ダイアログボックス

AX2400S ・ AX3600S ・ BS2000 ・

BS320 ・ BS500 ・ BS500 1Gbx40
(VLAN ビュー) 195

- AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 (スイッチ構成ビュー) 367
 - AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000 221
 - BIG-IP 290
 - BS1000 (VLAN ビュー) 244
 - BS1000 (スイッチ構成ビュー) 436
 - Cisco Catalyst 264
 - HA8000-ie/Loadflowbal 317
 - スイッチ情報リスト 139
 - スイッチとの接続状態 128
 - スイッチにどの VLAN が割り当てられているかを確認する
 - AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 199
 - AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000 224
 - BS1000 247
 - Cisco Catalyst 268
 - スイッチの基本情報やスイッチ構成情報を確認する
 - AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 (VLAN ビュー) 195
 - AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 (スイッチ構成ビュー) 367
 - AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000 221
 - BS1000 244, 436
 - Cisco Catalyst 264
 - HA8000-ie/Loadflowbal 317
 - スイッチの基本情報を確認する
 - BIG-IP 290
 - スイッチの設定が失敗した場合について 10
 - [スイッチの選択] ダイアログボックス
 - AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 210
 - AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000 234
 - BS1000 254
 - Cisco Catalyst 280
 - スイッチへ SLB の情報を設定 152
 - スイッチへ VLAN の情報を設定 141
 - スイッチへのアクセス用パスワードを登録
 - JP1/Cm2/NC・Adaptor 497
 - スイッチ名
 - AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 211
 - AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000 235
 - BS1000 255
 - Cisco Catalyst 281
 - スイッチリスト
 - SLB ビュー (BIG-IP) 161
 - SLB ビュー (HA8000-ie/Loadflowbal) 169
 - SLB ビュー (STM) 175
 - VLAN ビュー 146
 - 管理対象ビュー 138
 - スイッチ構成ビュー 189
 - ステータスバー 129
 - すべてのスイッチを一覧で表示する
 - JP1/Cm2/NC・Adaptor 497
- ## せ
-
- 制限値一覧 478
 - 接続先のマネージャーサーバを変更する 130
 - 接続先変更 130
 - [設定結果] ダイアログボックス (QoS 制御情報) 463
 - [設定結果] ダイアログボックス (VLAN 構成情報)
 - AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 216
 - AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000 241
 - BS1000 260
 - Cisco Catalyst 287
 - [設定結果] ダイアログボックス (アクセス制御情報)

- AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 433
- BS1000 462
- [設定結果] ダイアログボックス (アクセス制御リスト情報) 432
- [設定結果] ダイアログボックス (バインド構成情報)
 - BIG-IP 312
 - HA8000-ie/Loadflowbal 344
 - STM 362
- [設定結果] ダイアログボックス (物理サーバ構成情報)
 - BIG-IP 311
 - HA8000-ie/Loadflowbal 343
 - STM 361
- [設定結果] ダイアログボックス (論理サーバ構成情報)
 - BIG-IP 310
 - HA8000-ie/Loadflowbal 342
- [全般] ページ
 - AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 (VLAN ビュー) 195
 - AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 (スイッチ構成ビュー) 367
 - AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000 221
 - BS1000 436
 - Cisco Catalyst 264
 - HA8000-ie/Loadflowbal 317
 - STM 348

そ

- [ゾーン情報] ダイアログボックス 348
- ゾーン情報リスト 179
- ゾーンの基本情報を確認する 348
- [ゾーンの選択] ダイアログボックス 356
- ゾーンリスト 178
- ゾーンを選択する 356

ち

注意事項 10

- AX2400S および AX3600S に関する ~ 11
- AX5400S および AX7800S に関する ~ 11
- BIG-IP に関する ~ 12
- BS1000 に関する ~ 13
- BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 に関する ~ 13
- Cisco Catalyst に関する ~ 14
- GS3000 および GS4000 に関する ~ 14
- HA8000-ie/Loadflowbal に関する ~ 15
- STM に関する ~ 16
- スイッチの構成定義変更に関する ~ 10
- プログラム終了時の ~ 8

つ

ツールバー 128

- SLB ビュー 153
- VLAN ビュー 142
- 管理対象ビュー 135
- スイッチ構成ビュー 186

ツリーエリア 128

- SLB ビュー (BIG-IP) 154
- SLB ビュー (HA8000-ie/Loadflowbal) 156
- SLB ビュー (STM) 158
- VLAN ビュー 142
- 管理対象ビュー 135
- スイッチ構成ビュー 187

ツリーエリアで選択した要素とリストエリアに表示される内容の対応

- SLB ビュー (BIG-IP) 161
- SLB ビュー (HA8000-ie/Loadflowbal) 169
- SLB ビュー (STM) 175
- VLAN ビュー 144
- 管理対象ビュー 137

スイッチ構成ビュー 188
ツリーの更新 133

て

定義済みの VLAN 定義情報を変更する
AX2400S・AX3600S・BS2000・
BS320・BS500・BS500 1Gbx40
202
AX5400S・AX7800S・GS3000・
GS4000 227
BS1000 250
Cisco Catalyst 271
デフォルト VLAN 36

と

統合トレースログファイル
設定を変更する 497

ね

ネットワーク構成ツリー 128
ネットワーク構成要素
SLB ビュー (BIG-IP) 155
SLB ビュー (HA8000-ie/
Loadflowbal) 157
SLB ビュー (STM) 159
VLAN ビュー 143
管理対象ビュー 136
スイッチ構成ビュー 187

は

バージョン情報 133
バインド
グループを追加する 359
物理サーバを追加する 360
バインド構成情報の設定 131
[バインド構成情報の設定] ダイアログボ
ックス
BIG-IP 306
HA8000-ie/Loadflowbal 338
STM 354
バインド構成情報の設定ボタン 153

バインド構成情報を設定した結果を確認する
BIG-IP 312
HA8000-ie/Loadflowbal 344
STM 362

バインド構成情報を定義する 354
[バインドの設定] ダイアログボックス
BIG-IP 308
HA8000-ie/Loadflowbal 340
STM 357

バインドの設定を追加, 変更する
BIG-IP 308
HA8000-ie/Loadflowbal 340
STM 357

バインドリスト 183

ひ

ビュー 132
ビュー選択メニュー 128
表示 132

ふ

ファイル 130
[フィルター条件の設定 - 拡張設定] ダイア
ログボックス 453
[フィルター条件の設定 - 基本設定] ダイア
ログボックス 449
フィルター条件を拡張する 453
フィルター条件を設定する 449
[プールの設定] ダイアログボックス 301
プールの設定を変更 301
プールリスト 166
プールを追加 301
物理サーバ構成情報の設定 131
[物理サーバ構成情報の設定] ダイアログ
ボックス
BIG-IP 299
HA8000-ie/Loadflowbal 333
STM 351
物理サーバ構成情報の設定ボタン 153
物理サーバ構成情報を設定した結果を確認す
る
BIG-IP 311

- HA8000-ie/Loadflowbal 343
 - STM 361
 - [物理サーバ情報] ダイアログボックス
 - BIG-IP 292
 - HA8000-ie/Loadflowbal 322
 - 物理サーバ情報リスト 182
 - 物理サーバの基本情報を確認する
 - BIG-IP 292
 - HA8000-ie/Loadflowbal 322
 - [物理サーバの設定] ダイアログボックス
 - BIG-IP 303
 - HA8000-ie/Loadflowbal 335
 - STM 353
 - 物理サーバの設定を変更
 - BIG-IP 303
 - HA8000-ie/Loadflowbal 335
 - STM 353
 - [物理サーバの選択] ダイアログボックス 360
 - [物理サーバポートの設定] ダイアログボックス
 - BIG-IP 305
 - HA8000-ie/Loadflowbal 337
 - 物理サーバポートの設定を変更
 - BIG-IP 305
 - HA8000-ie/Loadflowbal 337
 - 物理サーバポートリスト
 - BIG-IP 167
 - HA8000-ie/Loadflowbal 173
 - 物理サーバポートを追加
 - BIG-IP 305
 - HA8000-ie/Loadflowbal 337
 - 物理サーバリスト
 - BIG-IP 167
 - HA8000-ie/Loadflowbal 172
 - STM 181
 - 物理サーバを設定する
 - BIG-IP 299
 - HA8000-ie/Loadflowbal 333
 - STM 351
 - 物理サーバを追加
 - BIG-IP 303
 - HA8000-ie/Loadflowbal 335
 - STM 353
 - [フロー検出モード] ページ
 - BS2000・BS320・BS500・BS500
1Gbx40(スイッチ構成情報の設定)
387
 - BS2000・BS320・BS500・BS500
1Gbx40(スイッチ情報) 369
 - プロパティ画面
 - SLB ビュー 23
 - VLAN ビュー 20
 - スイッチ構成ビュー 26
- へ
-
- ヘルプ 133
 - 編集 130
- ほ
-
- [ポート VLAN - 拡張設定] ダイアログボックス
 - AX2400S・AX3600S・BS2000・
BS320・BS500・BS500 1Gbx40
213
 - AX5400S・AX7800S・GS3000・
GS4000 238
 - BS1000 258
 - Cisco Catalyst 284
 - [ポート VLAN - 基本設定] ダイアログボックス
 - AX2400S・AX3600S・BS2000・
BS320・BS500・BS500 1Gbx40
211
 - AX5400S・AX7800S・GS3000・
GS4000 235
 - BS1000 255
 - Cisco Catalyst 281
 - ポート VLAN を設定する
 - AX2400S・AX3600S・BS2000・
BS320・BS500・BS500 1Gbx40
211
 - AX5400S・AX7800S・GS3000・
GS4000 235
 - BS1000 255

Cisco Catalyst 281

ポート情報
 AX2400S・AX3600S・BS2000・
 BS320・BS500・BS500 1Gbx40
 212
 AX5400S・AX7800S・GS3000・
 GS4000 236
 BS1000 256
 Cisco Catalyst 282

ポートに優先条件を設定する 460
 [ポートの設定] ダイアログボックス
 AX2400S・AX3600S・BS2000・
 BS320・BS500・BS500 1Gbx40
 205
 Cisco Catalyst 274

[ポートの選択] ダイアログボックス 230
 [ポートプロファイルの設定] ダイアログ
 ボックス 326
 [ポート] ページ ([アクセス制御情報] ダイ
 アログボックス) 383
 [ポート] ページ ([アクセス制御情報の設定
] ダイアログボックス) 428

ポートリスト 147
 スイッチ構成ビュー 189

ボタン
 QoS 制御情報の設定ボタン 186
 VLAN 構成情報の設定ボタン 142
 アクセス制御情報の設定ボタン 186
 最新の情報に更新ボタン 135
 スイッチ構成情報の設定ボタン 142
 バインド構成情報の設定ボタン 153
 物理サーバ構成情報の設定ボタン
 153
 論理サーバ構成情報の設定ボタン
 153

[ポリシー] ページ 349

み

未使用領域率を表示する 474
 未定義フレーム破棄ポート 229

む

無効領域を圧縮する時期 470

め

メニューコマンド一覧 129
 メニューバー 130

も

文字の制限 478

ゆ

[優先条件の設定] ダイアログボックス 460

よ

用語解説 507

り

リストエリア 129
 SLB ビュー (BIG-IP) 160
 SLB ビュー (HA8000-ie/
 Loadflowbal) 168
 SLB ビュー (STM) 174
 VLAN ビュー 144
 管理対象ビュー 136
 スイッチ構成ビュー 188

ろ

ロードバランシング方法
 BIG-IP 165
 HA8000-ie/Loadflowbal 171
 STM 180

[ログイン] ダイアログボックス 124
 ログインを許可するユーザーを設定する 496
 論理サーバ構成情報の設定 130
 [論理サーバ構成情報の設定] ダイアログ
 ボックス
 BIG-IP 293
 HA8000-ie/Loadflowbal 327
 論理サーバ構成情報の設定ボタン 153

- 論理サーバ構成情報を設定した結果を確認する
BIG-IP 310
HA8000-ie/Loadflowbal 342
- [論理サーバ情報] ダイアログボックス
BIG-IP 291
HA8000-ie/Loadflowbal 320
- 論理サーバと物理サーバをバインドする
BIG-IP 306
HA8000-ie/Loadflowbal 338
- 論理サーバの基本情報を確認する
BIG-IP 291
HA8000-ie/Loadflowbal 320
- 論理サーバの構成情報を設定する
BIG-IP 293
HA8000-ie/Loadflowbal 327
- [論理サーバの設定] ダイアログボックス
BIG-IP 295
HA8000-ie/Loadflowbal 329
- 論理サーバの設定を変更
BIG-IP 295
HA8000-ie/Loadflowbal 329
- 論理サーバポート , および物理サーバポート
で使用するポートを追加 , または設定する
326
- [論理サーバポートの設定] ダイアログボ
ックス
BIG-IP 297
HA8000-ie/Loadflowbal 332
- 論理サーバポートの設定を変更
BIG-IP 297
HA8000-ie/Loadflowbal 332
- 論理サーバポートリスト
BIG-IP 163
HA8000-ie/Loadflowbal 171
- 論理サーバポートを追加
BIG-IP 297
HA8000-ie/Loadflowbal 332
- 論理サーバリスト
BIG-IP 162
HA8000-ie/Loadflowbal 170
- 論理サーバを追加
BIG-IP 295